

岐阜県文化財保護センター

調査報告書 第162集

岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告書  
第 2 分 冊  
(西濃圏域)

2023

岐阜県文化財保護センター

ぎ ふ けん こ だい ちゅう せい じ いん あと そう ごう ちょう さ ほう こく しょ  
岐阜県古代・中世寺院跡総合調査報告書

第 2 分 冊

(西濃圏域)

2023

岐阜県文化財保護センター



## 第 2 分 冊 目 次

### 第3章 西濃圏域の寺院

第1節 西濃圏域の概要	1
第2節 寺院一覧表	3
第3節 寺院地形観察図、遺構図、地籍図	43
参考文献	
第4節 寺院分布図	167
第5節 西濃圏域のまとめ	222

## 挿図目次

図 1 西濃圏城市町区域図	1	図 28 栗原九十九坊跡 地形観察図（2）	90
図 2 円興寺旧境内（元円興寺跡）		図 29 栗原九十九坊跡 地形観察図（3）	91
地形観察図（1）	45	図 30 菩提山・南宮山 地形観察図位置図	92
図 3 円興寺旧境内（元円興寺跡）		図 31 多芸七坊跡 地形観察図位置図	93
地形観察図（2）	46	図 32 伊富岐神社奥の院 地形観察図	95
図 4 円興寺旧境内（元円興寺跡）		図 33 石仏谷遺跡 地形観察図	97
地形観察図（3）	47	図 34 宮処寺跡 遺構図	99
図 5 善性寺旧境内 地形観察図	49	図 35 美濃国分尼寺跡 遺跡位置図	101
図 6 瑞巖山天喜寺 地形観察図	51	図 36 美濃国分尼寺跡 遺構図	101
図 7 観音寺旧境内 地形観察図	53	図 37 宮代廃寺跡 遺跡位置図	103
図 8 金生山明星輪寺寶光院 地形観察図	55	図 38 宮代廃寺跡 塔跡遺構図	103
図 9 祖光寺（祖光寺跡遺跡） 地形観察図	57	図 39 鏡智山玉養院瑠璃光寺 地形観察図	105
図 10 美濃国分寺跡 遺構図	59	図 40 密蔵院 地形観察図	107
図 11 柏尾寺（柏尾廃寺跡） 地形観察図（1）	61	図 41 長英山宝蔵院照光寺（照光寺跡）	
図 12 柏尾寺（柏尾廃寺跡） 地形観察図（2）	62	地形観察図	109
図 13 柏尾寺（柏尾廃寺跡） 地形観察図（3）	63	図 42 照宝山蓮淨院祖宝寺 地形観察図	111
図 14 大威徳山竜泉寺（竜泉寺廃寺跡）		図 43 野上廃寺跡 地形観察図	113
地形観察図	65	図 44 堂前遺跡 地形観察図	115
図 15 光堂寺廃寺跡（勢至寺跡）		図 45 本地堂跡・日吉神社八坊跡 地籍図	117
地形観察図（1）	67	図 46 横蔵寺旧境内（旧横蔵寺跡）	
図 16 光堂寺廃寺跡（勢至寺跡）		地形観察図（1）	119
地形観察図（2）	68	図 47 横蔵寺旧境内（旧横蔵寺跡）	
図 17 光堂寺廃寺跡（勢至寺跡）		地形観察図（2）	120
地形観察図（3）	69	図 48 横蔵寺旧境内（旧横蔵寺跡）	
図 18 光明寺（薬師山遺跡） 地形観察図	71	地形観察図（3）	121
図 19 一乗山菩提寺 地形観察図	73	図 49 谷汲山華厳寺 地形観察図（1）	123
図 20 観音寺 地形観察図	75	図 50 谷汲山華厳寺 地形観察図（2）	124
図 21 威徳寺旧境内（石越遺跡） 地形観察図	77	図 51 谷汲山華厳寺 地形観察図（3）	125
図 22 薬師堂跡・薬師堂遺跡 地形観察図	79	図 52 等光寺旧境内 地形観察図	127
図 23 観音堂跡・千手堂跡 地形観察図	82	図 53 医王山東光寺 地形観察図	129
図 24 南宮山全体 地形観察図位置図	83	図 54 溪徳山洞泉寺・洞泉寺旧境内	
図 25 南宮山頂経塚群 地形観察図	85	地形観察図	131
図 26 南宮大社（南宮神社神宮跡） 地形観察図	87	図 55 施無畏山觀音寺・觀音寺旧境内	
図 27 栗原九十九坊跡 地形観察図（1）	89	地形観察図	133

図 56	補陀山釣月院 地形観察図	135
図 57	(仮)木曾屋廃寺 地形観察図	137
図 58	寺屋敷遺跡 遺跡位置図	139
図 59	寺屋敷遺跡 発掘区全体図	139
図 60	寺平遺跡 遺跡位置図	141
図 61	寺平遺跡 発掘区全体図	141
図 62	上原遺跡 遺跡位置図	143
図 63	上原遺跡 遺構図	143
図 64	宝雲山来振寺(来振寺境内遺跡) 地形観察図	145
図 65	妙満山東明寺 地形観察図	147
図 66	領家実相院跡・三千仏遺跡 地籍図	149
図 67	善能寺旧境内(寺内遺跡) 地籍図	151
図 68	善南寺旧境内 地形観察図	153
図 69	弓削寺・弓削寺旧境内 地形観察図(1) 平安寺位置図	155
図 70	弓削寺・弓削寺旧境内 地形観察図(2)	156
図 71	弓削寺・弓削寺旧境内 地形観察図(3)	157
図 72	洞海山平安寺 地形観察図	159
図 73	高畠遺跡 遺構図	161
図 74	分布図(I1 古木)	168・169
図 75	分布図(I2 冠山)	170・171
図 76	分布図(I3 能郷白山)	172・173
図 77	分布図(J1 広野)	174・175
図 78	分布図(J2 美濃徳山)	176・177
図 79	分布図(J3 能郷)	178・179
図 80	分布図(K1 美濃川上)	180・181
図 81	分布図(K2 美濃広瀬)	182・183
図 82	分布図(K3 樽見)	184・185
図 83	分布図(L1 近江川合)	186・187
図 84	分布図(L2 横山)	188・189
図 85	分布図(L3 谷汲)	190・191
図 86	分布図(L4 美濃神海)	192・193
図 87	分布図(M2 美束)	194・195
図 88	分布図(M3 池野)	196・197
図 89	分布図(M4 北方)	198・199
図 90	分布図(N2 関ヶ原)	200・201
図 91	分布図(N3 大垣)	202・203
図 92	分布図(N4 岐阜西部)	204・205
図 93	分布図(O2 靈仙山)	206・207
図 94	分布図(O3 養老)	208・209
図 95	分布図(O4 竹鼻)	210・211
図 96	分布図(P2 篠立)	212・213
図 97	分布図(P3 駒野)	214・215
図 98	分布図(P4 津島)	216・217
図 99	分布図(Q3 阿下喜)	218・219
図 100	分布図(Q4 弥富)	220・221
図 101	西濃圏域地形断面図(1)	231
図 102	西濃圏域地形断面図(2)	232
図 103	西濃圏域古代寺院分布図(1)	233
図 104	西濃圏域古代寺院分布図(2)	234
図 105	西濃圏域中世寺院分布図	235
図 106	西濃圏域地形観察図模式図(1)	236
図 107	西濃圏域地形観察図模式図(2)	237
図 108	栗原九十九坊跡 遺物採集状況	238

## 表目次

表 1	大垣市寺院一覧表(1)	5
表 2	大垣市寺院一覧表(2)	6
表 3	大垣市寺院一覧表(3)	7
表 4	大垣市寺院一覧表(4)	8
表 5	大垣市寺院一覧表(5)	9
表 6	大垣市寺院一覧表(6)	10
表 7	大垣市寺院一覧表(7)	11
表 8	大垣市寺院一覧表(8)	12
表 9	大垣市寺院一覧表(9)	13
表 10	大垣市参考寺院一覧表(1)	13

表 11 大垣市参考寺院一覧表（2）	14	表 36 輪之内町寺院一覧表	30
表 12 大垣市参考寺院一覧表（3）	15	表 37 輪之内町参考寺院一覧表（1）	30
表 13 大垣市参考寺院一覧表（4）	16	表 38 輪之内町参考寺院一覧表（2）	31
表 14 海津市寺院一覧表（1）	16	表 39 安八町寺院一覧表（1）	31
表 15 海津市寺院一覧表（2）	17	表 40 安八町寺院一覧表（2）	32
表 16 海津市寺院一覧表（3）	18	表 41 安八町参考寺院一覧表	32
表 17 海津市寺院一覧表（4）	19	表 42 捩斐川町寺院一覧表（1）	32
表 18 海津市参考寺院一覧表（1）	19	表 43 捩斐川町寺院一覧表（2）	33
表 19 海津市参考寺院一覧表（2）	20	表 44 捩斐川町寺院一覧表（3）	34
表 20 海津市参考寺院一覧表（3）	21	表 45 捩斐川町寺院一覧表（4）	35
表 21 養老町寺院一覧表（1）	21	表 46 捩斐川町寺院一覧表（5）	36
表 22 養老町寺院一覧表（2）	22	表 47 捩斐川町参考寺院一覧表（1）	36
表 23 養老町寺院一覧表（3）	23	表 48 捩斐川町参考寺院一覧表（2）	37
表 24 養老町参考寺院一覧表（1）	24	表 49 大野町寺院一覧表（1）	37
表 25 垂井町寺院一覧表（1）	24	表 50 大野町寺院一覧表（2）	38
表 26 垂井町寺院一覧表（2）	25	表 51 大野町寺院一覧表（3）	39
表 27 垂井町寺院一覧表（3）	26	表 52 大野町参考寺院一覧表（1）	39
表 28 垂井町参考寺院一覧表（1）	26	表 53 大野町参考寺院一覧表（2）	40
表 29 垂井町参考寺院一覧表（2）	27	表 54 池田町寺院一覧表（1）	41
表 30 関ヶ原町寺院一覧表（1）	27	表 55 池田町寺院一覧表（2）	42
表 31 関ヶ原町寺院一覧表（2）	28	表 56 池田町参考寺院一覧表	42
表 32 関ヶ原町参考寺院一覧表	28	表 57 寺院の成立状況	230
表 33 神戸町寺院一覧表（1）	28	表 58 時期別の成立数等	230
表 34 神戸町寺院一覧表（2）	29	表 59 時期別の立地数	231
表 35 神戸町参考寺院一覧表	29		

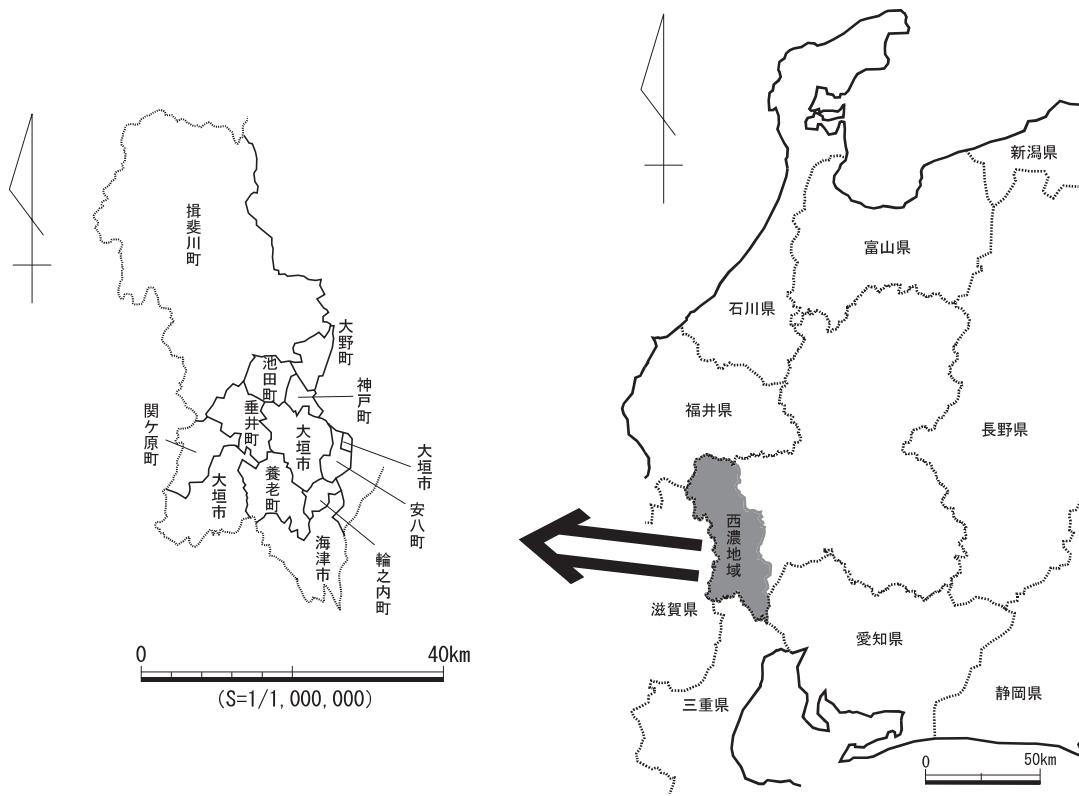
### 第3章 西濃圏域の寺院

## 第1節 西濃圏域の概要

西濃圏域は岐阜県の南西部、美濃地方の西部に位置し、愛知県・三重県・滋賀県・福井県に接する。構成する市町は、大垣市・海津市・養老町・垂井町・関ヶ原町・神戸町・輪之内町・安八町・揖斐川町・大野町・池田町の2市9町であり、その面積は1,433.37km<sup>2</sup>で、これは岐阜県全体の13.5%を占める。

西濃圏域には、福井県境の美濃越前山地、滋賀県境の伊吹山地、三重県境の養老山地及び鈴鹿山地があり、福井県境付近が源となる揖斐川は西濃圏域を南流し、伊勢湾に注ぐ。濃越前山地から伊吹山地北部は標高約1,200mから1,400mの山地で、能郷白山(標高1,617m)や伊吹山(標高1,377m)など、白山信仰に関連の深い山々が連なる。一方、養老山地・鈴鹿山地は標高約800~600mの山地であり、濃尾平野に面した山麓には複数の扇状地が形成され、多芸七坊など中世を中心に栄えた寺院群が展開している。また、古代以降には東山道や鎌倉街道、中山道などが東西を通過し、特に古代には美濃国府や美濃国分寺・国分尼寺、美濃国一宮である南宮神社などが設置され、美濃国の政治の中心地であった。

今回の調査では、西濃圏域において 1,012ヶ寺の寺院を調査対象とし、そのうち 602ヶ寺の古代・中世寺院を確認した。



## 図 1 西濃圏域市町区域図



第 2 節 寺 院 一 覧 表



表1 大垣市寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略歴	分布 図
1	02003		医王山 円願寺	青墓町 (不破郡)	宝暦 2年		嘉祥元(1225)年、円興寺の貞存法印が隠居寺として成立した。円興寺36坊の一坊である。宝暦2(1752)年に宇西中道から現在地に移転。円興寺36坊の一坊である。昭和になり焼失し、現在は西町集会所となっている。	G・H		
2	02003b		円願寺旧境内	青墓町 宇西中道 (不破郡)	嘉祥元年	天台宗				N3
3	02004		仏道山 寶光院 成願寺	野口 (多芸郡)	伝延暦年間 若しくは 弘仁 6年	天台宗	延暦年間(782~806)又は弘仁6(815)年、伝教大師が成立。中世には成善提院末寺となつたが、延享2(1745)年に全海が再興し再び延暦寺末寺となつた。	G、H、I		N3
4	02005		篠尾山円興寺	青墓町 (不破郡)	江戸初期					N3
5	02005b		円興寺旧境内 (元円興寺跡)	青墓町 (不破郡)	伝延暦 9年	天台宗	本文参照		本文参照	44 N3
6	02007		虎溪山 龍潤寺	上石津町 下山湯谷 (石津郡)	応永32年以 前	天台宗→ 臨済宗 若しくは 曹洞宗→ 真言宗	成立時期不明。元は天台宗であったが、応永32(1425)年に禪宗に転宗し再興。七堂伽藍があったとされるが、元龜2(1517)年の信長の兵火にかかり荒廃。文化13(1816)年に再建し、昭和に至りて真言宗に転宗。	G、H、石仏		02
7	02009		金銀山 國分寺	青野町 (不破郡)	元和元年				本文参照	58 N3
8	02009b	国	國分寺旧境内 (美濃國國分寺跡) (國分寺遺跡)	青野町 (不破郡)	天平13年~ 宝龜 6年	真言宗	本文参照			58 N3
9	02010		白光山 文殊寺	錦町 (安八郡)	大正12年	真言宗	成立時期不明。(秀賢が滋賀県膳所寺、弥勒院を成立した。)元和3(1617)年に戸田氏鉄に従い尼ヶ崎に行き、寛永12(1635)年には大垣に移った。17世紀後半頃には文殊院を成立し、明治3(1870)年に文殊寺と改称した。大正12(1923)年に隣接地に、現在の場所に寺地を移す。	G		
10	02014		希靈山 正覚院	上石津町 宮羽ヶ原 (石津郡)	元禄 3年	真言宗	弘仁6(815)年、空海が郁李山に建立したと伝わる。康和3(1101)年に外谷に、さらに文治4(1188)年に奥に移った。元禄3(1690)年に西高木家より羽ヶ原の隠寺境内に移され共存、明治初(1868)年に合併し「正覚院」を称した。津島神社は往昔奥村にあった真言宗の正覚院の鎮守であったという。津島神社南の山麓に平坦面を確認したが、正覚院の旧跡と関係があるか不明。	G、石仏		
11	02015		金梁山 慈應寺	長松町 (不破郡)	伝平安時代	真言宗	寺伝によると、慈應大師により成立。天正年間(1573~92)の兵火により焼失した。元禄9(1696)年に大垣寒松寺堯雅法印が中興し、遮那院末寺となる。天正12(1584)年に、大垣遮那院住僧が成立したという説もある。	G、H、石仏		N3
12	02018		旭光山 遍證院 圓通寺	西外側町 (安八郡)	寛永12年	浄土宗	戸田家の菩提寺。慶長6(1601)年又は慶長3(1598)年江州で成立し、元和3(1617)年に尼崎移転。寛永12(1635)年に大垣に移転し圓通寺と称した。	G、H、I、 石仏		
13	02019		宝池山 清涼院 松壽寺	中川町 (安八郡)	昭和期	天台宗→ 浄土宗	成立時期不明であるが、安八郡高橋村にあり天台宗に属し蓮生寺と称した。その後遮那院とともに大垣町の北東に移転しさらに昭和に現在地に移転。江戸期に転宗。	H、石仏		
14	02021		花岡山 阿弥陀院 如来寺	星飯町 (不破郡)	寛永15年	天台宗→ 浄土宗	建久6(1195)年に尾張甚目寺の僧定尊が成立。中世と思われる絵図に三重塔が描かれている。天正年間(1573~93)の織田信長の兵火により焼失。元は天台宗であつが寛永15(1638)年に浄土宗に転宗し、現在地に移転。			
15	02026		一道山 修善寺	赤坂町 (不破郡)	伝文明15年	浄土宗	文明15(1483)年に僧十蓮社方營南階の成立の説もあるが、成立時期は不明確。寛文12(1672)浄土宗に転宗。	G、H、石仏		N3
16	02030		稱念山 大運寺	新町 (安八郡)	寛永18年 若しくは 寛永19年	伝真言宗→ 浄土宗	寛永18(1641)年又は同19(1642)年に建立、開基は青木庭岸上人。聽取で、成立時は真言宗に属し道故山理清寺と称す。萬治元年(1658)年に大運寺に改称。浄土宗への転宗時期は不明。	G、H、I		
17	02037		白雲山 東光寺	赤坂町 (不破郡)	嘉慶年間	浄土宗	嘉慶年間(1235~1238)に、浄土宗西山派西山弥天鑑智國師慧上人が、11宇の伽藍を建立したうちの一つ。天文年間(1532~1555)に堂を再興した。	G、H		N3
18	02038		紫雲山 安樂寺	赤坂町 (不破郡)	慶安 2年		聖徳太子が開基したという伝承が残る。文治元(1185)年、山の東北に堂宇を移転して浄土宗に転宗し、京都知恩院の末寺となった。慶安2(1649)年に現在地に移転した。	G、H、I		
19	02038b		安樂寺旧境内	赤坂町 (不破郡)	文治元年	法相宗→ 浄土宗				N3
20	02039		星晨寺	見取町 (安八郡)	貞享 4年	?→ 浄土宗	天延年間(973~976)に源信が室宇神宮寺に七堂伽藍を創立。貞享4(1687)年室宇から現在地に移転。濃尾大震災で建物が倒壊し明治33(1900)年に現在の仮堂を再建した。			
21	02043		清光山 密嚴院 明台寺	墨俣町 墨俣寺町 (安八郡)	16世紀後半	浄土宗	伝承では、12世紀前半に興教大師が上宿に成立した。明応年間(1492~1501)に本堂を再建。16世紀後半頃に浄土宗西山派に転宗し墨俣寺町に移転。	G、H、I、 石仏		
22	02044		晴明山 正光寺	上石津町 下山山上 (石津郡)	嘉永 6年	天台宗→ 真宗	成立時期不明。元は天台宗に属し多良村大字奥にあり正光坊と称す。延享年間(1744~48)に真宗に転宗、閑領道場。嘉永6(1853)年に現在地に移転し晴明山正光寺と称す。			
23	02045		廬舎那山 圓光寺	上石津町 打上 (石津郡)	天正 4年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。元は天台宗に属し明西寺と称した。天正4(1576)年に真宗に転宗、圓光寺の寺号を得た(江戸中期改称の説もある)。			P2

## 6 第3章 西濃圏域の寺院

表2 大垣市寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
24	02046		舟岡山 専想寺	上石津町 打上 (石津郡)	明治時代	真宗	明治中頃に了覚寺の木下法城が、真宗本願寺派に帰依し転派。京都府下より専想寺を移転、引地した。			
25	02048		法雲山 縁覚寺	安井町 (安八郡)	不明	真言宗→ 真宗	文安2(1445)年、楠正隆長男榮蓮が大垣本町に成立。天正14(1586)年に真宗に転宗。慶長14(1609)年建立説あり。元和5(1619)年に縁覚寺の寺号を得。現在地への移転時期不明。			
26	02049		法雲山 教覚寺	青野町 (不破郡)	慶長5年以降	?→ 真言宗→ 真宗	天平13(741)年、行基成立。教覚院と号され美濃國分寺の末寺として建立された後、真言宗に転宗。親鸞が当寺に泊し、真宗に転宗。大永の戦や閑ヶ原合戦で焼失したが再興。	G、H		
27	02050		国府山 延長寺	青墓町 (不破郡)	不明	天台宗→ 真宗	延長元(923)年に順智坊が成立。元は天台宗であったが、明徳2・元中8(1391)年に真宗に転宗。垂井町府中から現在地に移転と伝わるが、その時期・位置不明。	G・H		
28	02051		三塚山 三重院 真徳寺	三塚町 (安八郡)	文永11年	天台宗→ 真宗	文永11(1274)年に有存により成立。天台宗に属し三重寺と号した。天文2(1533)年、真宗に転宗し真徳寺に改めた。	G・H	N4	
29	02052		法溪山 淨圓寺	新町 (安八郡)	萬治2年	真宗	天文9(1540)年に流意が不破郡長松に一棟の堂を創立した。焼失・庵廻後、萬治2(1659)年に現在地に再興。			
30	02053		熊谷山 光照院 林雙寺	楽田町 (安八郡)	明応元年以前	真言宗→ 真宗	成立時期不明。もとは真言宗の光昭院と称した。明応元(1492)年又は明応6(1497)年に真宗に転宗。慶長年間(1596~1615)に真宗大谷派に転じ、墨俣満福寺に属し享保6(1721)年に西本願寺派に転派。	G、石仏	N4	
31	02054		福源寺	南一色町 (安八郡)	文明3年 若しくは 文明9年	天台宗→ 真宗	文明3(1471)年又は文明9(1477)年に西光が創立。応仁の頃転宗。宝永4(1707)に福源寺の寺号を得る。		N3	
32	02055		慈雲山 専光寺	木戸町 (安八郡)	不明	天台宗→ 真宗	永徳年間(983~985)に、惠信僧都の門弟宣流法印が開創に係った。元は天台宗であったが、文明年間(1469~1487)に真宗に転宗した。聴き取りでは、もとは本巣にあり水没したため現在地に移転したという(移転時期不明)。			
33	02056		世安山 淨勝寺	東町 (安八郡)	慶長年間	天台宗→ 真宗	もとは天台宗。長享3(1489)年に浄円が蓮如上人に帰依し、安八郡開発村の出郷北鳩に道場を成立。慶長年間(1596~1615)現在地に移転。鎌倉時代中期頃から世安荘と称し寛永年間(1624~1644)に淨勝寺の寺号を得る。		N4	
34	02057		通念寺	本今町 (安八郡)	明応元年 若しくは 永正6年	真宗	明応元(1492)年了信が蓮如上人に帰依して成立。永正6(1509)年に了西が成立したとする説もある。	G、H	N3	
35	02058		七寶山 圓性寺	桧町 (安八郡)	伝大永15年 以前	伝天台宗→ 真宗	永正15(1518)に寿元が成立。ただし、寺伝によればもとは天台宗で、永正15(1518)年に真宗に転宗したとされる。なお、大永年間(1521~1528)に柘植大炊守が境内を寄付した。		N3	
36	02059		興隆山 安臨寺	横曾根町 (多芸郡)	近代	真宗	大永3(1523)年に道西により成立。元和4(1618)年に真宗東本願寺に転派し、今尾西願寺に属したが、のち直末となる。元は養老に寺が存在したが、前田住職の頃に現在地に移転。			
37	02060		青柳山 徳勝寺	青柳町 (不破郡)	応永32年以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。もとは天台宗であったが、応永32(1425)年に真宗に転宗。弘安3(1280)年に一宮南宮神社に大鐘を鋳造して奉獻し、明治維新後に徳勝寺に納められた。	G	N3	
38	02061		俯仰山 了信寺	北切石町 (安八郡)	大永2年 若しくは 享禄3年	真宗	大永2(1522)年又は享禄3(1530)年に沼波善徳により成立。延寶2(1674)年に了信寺の寺号を得た。		N3	
39	02062		転輪山 淨專寺	宮町 (安八郡)	享保12年	真宗	延徳3(1491)年又は大永年間(1521~1528)に祐雲と春意により成立。城主の命令や焼失により移転を繰り返したが、享保12(1727)年に現在地に移る。			
40	02063		沼波山 善永寺	花園町 (安八郡)	伝元和元年	天台宗→ 真宗	成立時期不明であるが元は天台宗であった。元和2(1616)年(聴き取りでは元和元年)に現在地に妙円寺跡を再興。延宝5(1677)年に長福寺に、さらにその後善永寺に改称。			
41	02064		金生山 樂榮寺	馬之瀬町 (安八郡)	明治37年	天台宗→ 真宗	もとは天台宗に属し、中島郡大須庄(羽島郡桑原町)に成立。大永3(1523)年に真宗に転宗。室町期に安八郡馬の瀬村に、その後白鬚神社の北東に、さらに明治37(1904)年に河川工事に伴い現在地へ移転。	G		
42	02065		偏照山 長源寺	静里町 (不破郡)	安永6年	真言宗→ 真宗	弘仁13(822)年弘法大師が創立し、功德光院と称した。嘉徳元(1235)年に真宗に転宗し、長源寺と改めた。安永6(1777)年に徳光から現在地に移転。	G、石仏		
43	02066		宝樹山 德藏寺	枝郷 (安八郡)	不明	天台宗→ 真宗	聴き取りでは明応年間(1492~1501)に成立され広隆山空信受院と称した。元は天台宗であったが6世の代に真宗に転宗し、徳藏寺を授与されたという。安八郡名森村森部より三ツ森に移転し、さらに現在地に移転。移転時期は不明。			
44	02067		早聖山 西性寺	荒川町 (不破郡)	不明	真宗	暦応3・延元5(興国元)(1340)年に早野繁右衛門が創立し、寛永15(1638)に西性寺と称する。聴き取りでは、他の地から移転してきたとされる。移転時期は不明。			
45	02068		法雲山 淨宝寺	南若森町 (不破郡)	伝弘仁9年	天台宗→ 真宗	弘仁9(818)年に淨順が医王山若森院を成立。その後、淨觀が蓮如上人に帰依して真宗に転宗。石山本願日記の天文22(1553)年1月の条に「若森教尊」の記載あり。		N3	
46	02069		大嶋山 光正寺	大島町 (安八郡)	明徳元年 若しくは 明応9年	真宗	康応2(明徳元)・元中7(1390)年、又は明応9(1500)年に淨志が成立した。	G、H	N4	
47	02070		雙六山 智教寺	青野町 (不破郡)	明治34年	真宗	文明7(1475)年、滋賀県双六村に成立、双六道場と号す。天正12(1584)年に雙六町に移転、覚玄道場。慶長4年に智教寺、宝永2(1705)年に智教寺に改称。明治34(1901)年に現在地に移転。			

表3 大垣市寺院一覧表(3)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
48	02071		清白山 法泉寺	赤坂町 (不破郡)	永禄元年 若しくは 永禄3年	真宗	永禄元(1558)年、小林喜兵衛長吉が開基とする説と、永禄3(1560)年岐阜城主齋藤山城守龍興の臣玄(小林喜兵衛)とする説がある。慶長年間(1596~1615)に真宗に転宗。	G、I、石仏		N3
49	02072		月桂山 正福寺	赤坂町 (不破郡)	明徳4年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明だが、宝祐(応永29(1422)年没)が開基。もとは天台宗に属し威徳院西光坊と称したが、明徳4(1393)年に真宗に転宗。	G、H		N3
50	02073		照田山 福乗寺	長沢町 (安八郡)	不明	?→ 真宗	室町時代後期に教善が成立し長光寺と称す。江戸時代初期に真宗に転宗し福乗寺と改称。聴取で成立期は三塚の城跡付近にあり後現在地に移転(移転時期は不明)。	G		
51	02074		沼波山 妙圓寺	禾森町 (安八郡)	文明14年	真宗	文明14(1482)年に政因(沼波次郎大夫定親)により成立。寛永9(1632)年に寺号、元和2(1616)年に山号を得た。	G・集石		N3
52	02075		金光山 福勝寺	今宿町 (安八郡)	17世紀後半	天台宗→ 真宗	寺伝では成立時期は安土桃山時代。元は天台宗であったが、了加が字寺田に成立し真宗に転宗した。寛文2(1662)年に福勝寺の寺号を得た。1650年頃の水害後に現在地に移転。聴き取りによると、成立当時は約200m程南東、白蛇神社の東側の字寺田に存在したという。			
53	02075b		福勝寺旧境 内	今宿町 (安八郡)	安土桃山時 代					N4
54	02076		一乘院 円順山 尊勝寺	小野 (安八郡)	大永3年	天台宗→ 真宗	保元2(1157)年、了空が本郷郡古橋村に成立。元は天台宗であったが、康永元・興國3(1342)年に真宗に転宗。大永3(1523)年に現在地に移転。元暦期には15ヶ寺の末寺があった。	G・H		N4
55	02077		扶桑山 淨徳寺	綾野 (不破郡)	嘉応2年 若しくは 觀応2年・ 正平6年	天台宗→ 真宗	嘉応2(1170)年又は觀応2・正平6(1351)年に成立。開基は開成院道院院主。もとは天台宗であったが、真宗本願寺に転宗した。転宗の時期は文永7(1270)年、承元11(1514)年、大永元(1521)年の各説がある。	G		N3
56	02078		常盤山 藤田寺	浅西 (安八郡)	延宝6年	真宗	天文22(1553)年に慶元により不破郡十六村に成立。延宝6(1678)年に現在地に移転。			
57	02079		細川山 永勝寺	上面 (安八郡)	正徳4年	真宗	文明5(1473)年に不破郡矢道村に成立。安八郡三城村(現大垣市)へ移り、正徳4(1714)年に上面村に移しまもなく寺号を許された。			
58	02080		蘆舎那山 久遠寺	桧町 (安八郡)	文明3年	天台宗→ 真宗	文明3(1471)年に淨禪が成立。元は天台宗であったが、真宗に転宗した。			N3
59	02081		大悟山 廓然寺	久徳町 (不破郡)	永正10年	真宗	永正10(1513)年に玄昌が成立。万治2(1659)年に廓然寺の寺号を得た。			N3
60	02082		樹寶山 眞淨寺	東前 (安八郡)	慶長7年	真宗	慶長7(1602)年に東高橋村来光寺の通所として創立、元和元(1615)年に眞淨寺の寺号を得た。	G		N4
61	02084		靈照山 長勝寺	郭町東 (安八郡)	明治18年	天台宗→ 真宗	應永2(1395)年に寂念が成立。安八郡林村石原林村にあり天台宗に属したが、天文年間(1532~55)に真宗に転宗。その後、移転を繰り返し、明治18(1885)年に現在地に移転。			
62	02085		白淵山 總福寺	中川町 (安八郡)	伝大永4以 前	天台宗→ 真宗	大永4(1524)年に僧教順が実如上人に帰依し成立。伝教大師成立の伝承もあり元は天台宗で超勝院と号す。			N3
63	02087		紫雲山 淨光寺	川口 (安八郡)	承応元年	真宗	永正元(1504)年に亮覚により不破郡福田村に成立。天正14(1586)年に大垣中町に、さらに承応元(1652)年に現在地に移転。	G、I		
64	02088		聖嶽山 淨徳寺	上石津町 上原海道 (石津郡)	江戸初期	天台宗→ 真宗	成立時期不明。天台宗に属し上原猿ヶ井戸にあり清淨福德寺と称した。式内社多良大神社の神宮寺でもあることから、平安末期には観音堂があったと考えられている。蓮如の代に真宗に転宗。慶長年間(1596~1615)に領主高木氏の菩提寺として寺号を得た。聴き取りでは、当初は上石津町役場(グラウンド)付近にあり、役場のあたりから石仏が掘り出されていたという。江戸初期に現在地へ移転したという。	G、石仏		
65	02088b		淨徳寺旧境 内	上石津町 上原海道 (石津郡)	伝平安時代 末期					02
66	02089		光深山 徳立寺	青柳町 (不破郡)	16世紀後半	真宗	成立時期不明。修城が顯如上人に帰依して成立し、尾州光明寺に属した。			N3
67	02090		溪巖山 等覚寺	墨俣町 墨俣寺町 (安八郡)	文明9年以 前	真宗	成立時期不明であるが開基は淨玄。文明9(1477)年に再興。	G		N4
68	02091		松島山 伝香寺	上石津町 上鐵冶屋 西屋敷 (石津郡)	文禄2年	真言宗→ 真宗	成立時期は不明であるが真言宗に属した。文禄2(1593)年、開基宗哲が真宗に帰依し道場を開く。明暦2(1656)に伝香寺の寺号を得た。			02
69	02093		寶樹山 大泉寺	久瀬川町 (安八郡)	宝永16年	天台宗→ 真宗	成立時期不明。もと天台宗で真宗に転宗。明応2(1493)年又は永正8(1511)年成立。元和年間(1615~24)建立、宝永16(1731)年頃現在地に移転説あり。	G		
70	02094		観心山 光泉寺	入方 (安八郡)	宝暦元年	天台宗→ 真宗	寺伝では平安時代に成立。元は天台宗であったが、徳治2(1307)年に真宗に転宗、大藪(輪之内町)、中曾根と移り、宝暦元(1751)年に現在地に移転。			
71	02095		龍谷山 善念寺	竹島町 (安八郡)	天和2年	真言宗→ 真宗	弘仁年間(810~824)に柔連が江州にて成立。元は真言宗であったが文明4(1472)年真宗に転宗し、大垣に移転。室町末に竹島町、天和2(1682)年に現在地に。	G		
72	02096		花松山 正受寺	外花 (安八郡)	伝文明年間	真宗	聴き取りでは、文明年間(1469~87)頃に成立され、移転していないという。	G		03
73	02097		種徳山 琳光寺	上石津町 牧田上野 (石津郡)	不明	真言宗若しく は天台宗→ 真宗	応仁元(1467)年に成立。真言宗に属し大日寺と称す(天台宗とする説もある)。大永6(1526)年に真宗に転宗、惣道場。移転繰り返し移転時期不明。	G、H、I、 石仏		
74	02099		七峰山 正円寺	静里町 (不破郡)	文治5年	天台宗→ 真宗	文治5(1189)年积僧增栄が成立し、天台宗に属し七峯山宗曉寺と称した。応仁年間(1467~69)に真宗に転宗し、尾州大野光明寺に属する。	G、I、経塚		N3
75	02100		天照山 行超寺	浅草 (安八郡)	慶長年間	真宗	慶長年間(1596~1615)に了誓により成立し、寛文2(1662)年に行超寺の寺号を得た。			03

## 8 第3章 西濃圏域の寺院

表4 大垣市寺院一覧表(4)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
76	02101		舟岡山 了覚寺	上石津町 打上 (石津郡)	文明年間以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。開基は了然と伝わる。元は天台宗であるが、文明年間(1469~1487)に真宗に転宗。		P2	
77	02102		肥遼山 広栄寺	上石津町 時山 東屋敷 (石津郡)	永正8年 若しくは 延徳元年	天台宗?→ 真宗	永正8(1511)年に開基大乗坊一寿が惣道場を建立、延宝9(1681)年に広栄寺の寺号を得た。ただし、延徳元(1489)年に天台宗寺院を成立、寛文年間(1661~73)に転宗、弘化2(1845)年に広栄寺と称したとする説がある。		P2	
78	02103		日光山 遍得寺	上石津町 西山屋敷 (石津郡)	文禄3年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。元は天台宗であったが、文禄3(1594)年に東本願寺第12世教如法子の立山が真宗に転宗し再興。唯願寺末寺。		02	
79	02104		仏光山 念通寺	上石津町 下多良 北脇堂角 (石津郡)	不明	天台宗→ 真宗	寺伝では天禄2(971)年、天台宗の化仏光明山天禄寺を建立。開基は恵心僧都。正嘉2(1258)年洪水で堂宇等損壊されたが再建。明応9(1500)年に真宗に転宗し、道場となる。元和7(1621)年に念通寺に改称し、寛文5(1665)年に寺号許可を得た。領主高木家の菩提所。現在地への成立時期は不明。			
80	02105		千喬山 唯願寺	上石津町 下山下 (石津郡)	15世紀後半 以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。天台宗に属し大橋道場と称した。蓮如の代の頃に淨金が開基、明慶の代に唯願寺と改称した。		02	
81	02107		歎喜山 善性寺	上石津町 牧田上野 (石津郡)	元文元年	真言宗→ 真宗	本文参照	G、H	48	
82	02107b		善性寺旧境 内	上石津町 牧田 (石津郡)	大永3年			本文参照		N2
83	02108		一乘山 康安寺	西之川町 (安八郡)	正安3年	真宗	成立時期不明。僧光嚴が成立し超勝院と号した。正安3(1301)年に真宗に転宗。南德寺・円慶寺は康安寺の末寺。		N3	
84	02109		津布良山 了誓寺	津村町 (安八郡)	大永元年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。大永元(1521)年に僧願了が真宗に転宗し、了誓寺の前身の道場が成立したとされる。寛永16(1639)年までに了誓寺の寺号を得た。		N4	
85	02110		慈雲山 常法寺	上石津町 牧田和田 (石津郡)	慶長年間	真宗	寛治2(1088)年又は寛治7年(1093)年に權僧都覚念が一之瀬村川東に結び、獅子吼寺と称す。延文2・正平12(1357)年又は同3年に真宗に転宗し常法寺に改。慶長年間(1596~1615)に現在地に移転。寛永12(1635)年に常法寺の寺号を得る。		02	
86	02111		北野山 源龍寺	古宮町 (安八郡)	不明	天台宗→ 真宗	成立時期不明。中島郡大須庄比野郷(羽島郡桑原町)にあり天台宗に属した。明応6(1497)年に真宗に転宗。文禄3(1594)年に世保庄西馬の瀬村に移転。現在地への移転時期は不明。			
87	02112		金勝山 龍華院 広専寺	墨俣町 墨俣寺町 (安八郡)	慶長年間	真宗	『濃州徇行記』に「広専寺開基了海、寛正2(1461)年遷化」とあり、それ以前に羽島郡西加賀野井で真宗寺院を成立。慶長年間(1596~1615)年、現在地(西光寺の跡地)に移転。	G	N4	
88	02113		終生山 福存寺	上石津町 上多良 堂ノ上 (石津郡)	文禄元年	真宗	文禄元(1592)年、恵海が小庵を建立し開基。寛永17(1640)年に福存寺の寺号を得た。唯願寺末寺。		02	
89	02114		宝樹山 林正寺	上石津町 牧田山村 (石津郡)	明応元年	真宗	明応元(1492)年に祐信(伊藤九郎祐親)により成立。大永5(1525)年に本堂を建立しこれを創立とする説もあり。元和9(1623)年に林正寺の寺号を得た。		N3	
90	02115		虎府山 正安寺	荒川町 (不破郡)	天正元年	天台宗→ 真宗	正安元(1299)年に成立。元は天台宗であったが、文明2(1470)年に真宗に転宗。文明2(1470)年に慶春が成立説あり。		N3	
91	02116		佛照山 勝光寺	荒川町 (不破郡)	元徳2年	天台宗→ 真宗	元徳2(1330)年に淨久が創立。元は天台宗であつたが、文明年間(1469~1487)に真宗に転宗。	G、石仏	N3	
92	02118		真福山 徳養寺	笠木町 (安八郡)	元和元年 若しくは 元禄6年	真宗	天正8(1580)年に僧都賢順が開基。元は坂東報恩寺の末寺。天和元(1681)年又は元禄6(1693)年に河間村から現在地に移転。			
93	02119		寶受山 正賢寺	加賀野 (安八郡)	永正年間以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。もと天台宗で光照寺と称す。永正年間(1504~1521)初再興、正賢寺と改称。永正14(1517)年に真宗に転宗。	G、H	N4	
94	02121		南涼山 立源寺	長松町 (不破郡)	大永5年	真宗	大永5(1525)年に正玄(富田鞠負)が真宗に帰依して成立した。はじめは西願寺に属し、後に本山直末となる。		N3	
95	02123		松原山 光圓寺	池尻町 (安八郡)	元和年間	真宗	文亀年間(1501~1504)、赤坂村横蔵街道に庵室を創立(もとは淨願院と称し赤坂正福寺末)。慶長年間(1596~1615)に転宗し、元亀山と称した。関ヶ原合戦後に新町に移り、さらに元和年間(1615~24)に現在地に移転。			
96	02124		恵日山 西光寺	矢道町 (不破郡)	応永3年	天台宗→ 真宗	応永3(1396)年、楠連成が成立。元は天台宗であったが、宝徳2(1450)年に真宗に転宗。		N3	
97	02125		良峰山 慶円寺	十六町 (不破郡)	不明	天台宗→ 真宗	天文8(1539)年、道玄が成立した。元は天台宗であったが、永禄3(1560)年に真宗に転宗した。聴き取りでは、他の地から移転してきたとされる。移転時期不明。	G、石仏		
98	02127		三杉山 明秀寺	昼飯町 (不破郡)	元禄14年 若しくは 享保7年	真宗	天文7(1475)年、源義家の子孫の栄伝が矢道で小庵を成立。元禄14(1701)年又は享保7(1722)年に昼飯に寺基を移し、現在に至る。	G、I		
99	02128		光照山 正安寺	赤坂町 (不破郡)	大永6年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。元は比叡山門流光照山菩提院と称した。大永6(1526)年又は天文10(1541)年に真宗に転宗した。	G、H、I、 石仏	N3	
100	02129		尊號山 泉宗寺	島町 (不破郡)	暦応年間 若しくは 応安2年・ 正平24年	真宗	暦応年間(1338~1342)に土岐美濃守の家臣掘倉人資次が成立したとする説と、応安2・正平24(1369)年に宗覚が成立し真像坊と称したとする説がある。元は天台宗であつたが、永禄11(1568)年又は天正元(1573)年に真宗に転宗した。	G、H、石仏	N3	
101	02131		宝池山 蓮成寺	波須町 (安八郡)	伝天文6年	真宗	成立時期不明(聽取で天文6(1537)年)。開基某が宣如上人に帰依し創立。寛文7(1667)年に蓮成寺の寺号を得る。			

表5 大垣市寺院一覧表(5)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
102	02132		延徳山 蓮正寺	荒川町 (不破郡)	延徳元年	真宗	延徳元(1489)年に、願了(蓮如上人の法弟)が成立。	G、I		N3
103	02133	市	勅許山 聚楽寺 (高倉天皇勅願所)	野口 (多芸郡)	平成11年	天台宗→ 真宗	承久2(1114)年又は大治3(1128)年に円覚が養老町蛇持に成立。元は天台宗であったが、宝治2(1248)年に真宗に転宗。天正の末(1591年頃)に野口町に移転(02133b)。平成11(1999)年に杭瀬川河川敷から境内に移転。			
104	02133b		聚楽寺旧境内	野口 (多芸郡)	宝治2年					03
105	02134		青苔寺	船町 (安八郡)	慶長12年以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。もとは天台宗であったが、慶長12(1607)年に真宗に転宗。			
106	02135		熊谷山 淨源寺	大村 (安八郡)	近代	天台宗→ 真宗	文明5(1473)年、墨俣満福寺の隠居所として創立。元は天台宗であったと思われ、建久年間(1190~1199)に真宗に転宗と伝わる。聴き取りでは、大村町の河川敷から100年程前に現在地に移転した。			
107	02136		法輪山 神崇院 淨真寺	万石 (安八郡)	昭和期	真宗	仁寿2(852)年弘法大師が創立し、神崇寺と号し、長友明神の別当であった。文明9(1477)年に真宗に転宗し、天和2(1682)年に淨真寺と改称した。聴き取りによると、昭和初期には約500m程西方に寺は存在していた。	G、H、I		
108	02137		宝林山 顕性寺	林町 (安八郡)	文明元年以前	天台宗→ 真宗	景顯が成立したが、時期は不明。もとは天台宗に属し阿彌陀寺と称した。文明元(1469)年に蓮如上人から六字名号と尊像を与えられ、明応3(1494)年に顕性房と称した。	G、H		N3
109	02138		実寶山 正專寺	中曾根町 (不破郡)	天明元年	天台宗→ 真宗	慶長4(1599)年に成立したという説と同年に寺号を得たという説がある。元は天台宗であったが、後に真宗に転宗した。天明元(1781)年に現在地に移転。			
110	02139		得生山西圓寺	草道島町 (安八郡)	伝弘仁2年	天台宗→ 真宗	弘仁2(811)年に最澄によって成立された天台宗寺院。永仁年間(1293~1299)に真宗に転宗。天文年間(1532~1555)以降は触頭として美濃国30余ヶ寺の支配役を務めた。聴き取りでは、かつて伽藍の外側に道三堀(環濠)があったという。	G、H		N3
111	02140		泉流山 善得寺	高瀬 (多芸郡)	近現代	真宗	天正7(1579)年に善義により成立、今尾西願寺に属した。のち本山直末になる。明暦4(1658)年に善得寺の寺号を得た。河川工事や養老鉄道工事に伴い移転を繰り返し、大正~昭和初期に移転。			
112	02141		佛號山 円休寺	木戸町 (安八郡)	江戸時代	天台宗→ 真宗	成立時期不明。開基は信誓又は虚空。もとは多芸郡横屋村にあり天台宗であったが、文明年間(1469~1487)年に真宗に転宗。江戸初期に現在地に移転した。			
113	02142		戸隱山 長明寺	割田 (安八郡)	文禄3年	天台宗→ 真宗	文禄3(1594)年に成立。天台宗に属し超光院と称した。教如上人に帰依し真宗に転宗した際に、長明寺に改称した。			N3
114	02143		大瀧山 雲霧寺	内原 (安八郡)	寛永19年	真宗	建暦2(1212)年に入証により不破郡大瀧村に成立。寛永19(1642)年に現在地に移転。			
115	02144		登龍山 満念寺	曾根町 (安八郡)	長享2年以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明である。もとは天台宗であったが、長享2(1488)年に真宗に転宗し満念寺と号した。はじめは小野専勝寺の配下。	墓碑(天正)		N3
116	02145		法雲山 西重寺	北方町 (安八郡)	寛永8年	天台宗→ 真宗	成立時期不明である。元は天台宗に属し真福寺と号した。永正5(1508)年真宗に転宗。寛永8(1631)年に村東より西に移り、現在地に移転。	G、I、石仏		
117	02146		大井山 通誓寺	貝曾根町 (安八郡)	明応3年	真宗	明応3(1494)年に空賢が成立した。	G		N4
118	02147		大垣別院 開闢寺	伝馬町 (安八郡)	寛永元年	真宗	慶長7(1602)年、中町に垂井真徳寺通所として成立。寛永元(1624)年に現在地に移転。安永2(1773)年に大垣掛所願証寺に、さらに万延元(1860)年に開闢寺と改称。			
119	02149		曾杭山 円徳寺	曾根町 (安八郡)	延喜10年	真宗	延喜10(910)年、藤原道隆が建立し、寒窓寺と称した。延暦寺末円徳院と号する。康永元・興国3(1342)年に真宗に転宗。寛永12(1635)年に円徳寺と改めた。	G、H		N3
120	02150		臺高山 真光寺	福田町 (不破郡)	長禄元年以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。元は熊野神社の社寺で天台宗福成院とい。長禄元年(1457)年に真宗に転宗し真光寺に改めた。	G、H、石仏		N3
121	02153		現龍山 長圓寺	荒尾町 (不破郡)	天文8年以前	天台宗→ 真宗	天文8(1539)年に行弥により成立。成立時は専光坊と号し、天台宗。後、真宗に転宗した。元和2(1616)年に長円寺に改称。	G、石仏		N3
122	02154		開法山 善樂寺	荒尾町 (不破郡)	慶長8年	真宗	慶長8(1603)年に了泉(一説に円心)により成立。元禄5(1692)年に善樂寺と号する。			N3
123	02155		広瀬山 明円寺	上石津町 奥牛王 (石津郡)	文亀2年	天台宗→ 真宗	成立時期不明。天台宗に属し奥村宇滝の尻にあった。文亀2(1502)年に真宗に転宗し現在地に移転。慶長5(1600)年に大谷派に転宗した。地元での聴き取りによると、当初の位置は宇滝の尻の津島神社付近であるという。	G、石仏		02
124	02155b		明円寺旧境内	上石津町 奥牛王 (石津郡)	文亀2年以前					02
125	02156		常照山 西來寺	墨俣町 上宿北浦 (安八郡)	元和2年以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明であるが、天台宗に属した。元和2(1616)年に了然が真宗に転宗、道場として発足。元禄14(1701)年に西來寺の寺号を得た。			
126	02157		金足山 熊谷院 満福寺	墨俣寺町 (安八郡)	天正年間以降	天台宗→ 真宗	寛和年間(985~987)年に成立、天台宗に属した。嘉靖元(1235)年、祐照(熊谷直照)が羽栗郡足近村に真宗に転宗し成立金足山熊谷院満福寺と称した。天正年間(1573~92)に墨俣に移り、葉栗郡福島村に移るが、再び墨俣に戻った。現在地への移転時期は不明。	G、H、I		N4
127	02158		本正寺	墨俣寺町 (安八郡)	慶長14年以前	真宗	成立時期不明であるが、二ツ木村八幡神社西隣にあった。文明17(1485)年に円覚が再興。慶長14(1609)年以前には現在地に移転したとされる。			
128	02158b		本正寺旧境内	墨俣寺町 (安八郡)	文明17年以前					N4

## 10 第3章 西濃圏域の寺院

表6 大垣市寺院一覧表(6)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、造構	調査 略票	分布 図
129	02159	五乗山 誓運寺	船町 (安八郡)	江戸時代	真宗	寛正5(1464)年、多芸郡和田村に寺を創立した。室町期に本尊は永寿寺に預けられ、江戸期に現在地に移転し、再興した。大永3(1523)年が開基とする説もあり。				
130	02160	塚越山 淨福寺	河間町 (安八郡)	江戸時代中期	天台宗→ 真宗	成立時期不明であるが、天台宗に属し西音院と称した。成立当初は現境内から600m程北の現在製造工場が建つあたりにあったという。大永2(1522)年に真宗に転宗した。江戸中期に現在地に移転した。	G	N3		
131	02160b	淨福寺旧境 内	河間町 (安八郡)							
132	02161	青柳山 因西寺	外野 (安八郡)	大正12年	天台宗→ 真宗	成立時期不明。元は天台宗、文明9(1477)年に真宗に転宗。割田村にあり大正12(1923)年に現在地へ移転。				
133	02162	龜甲山 真照寺	綾野 (不破郡)	弘長元年	天台宗→ 真宗	弘長元(1261)年に智念が成立。天台宗に属し、龜甲院と称した。長享2(1488)年に真宗に転宗。尾州西方寺に属したが、後に近江大通寺に属す。			N3	
134	02163	久徳山 順行寺	平町 (安八郡)	明治35年	天台宗→ 真宗	成立時期不明。元は天台宗で明応5(1496)年に転宗、不破郡久徳村に建立。室町期に西馬瀬古宮村に移転、明治35(1902)年掛斐川の大改修で現在地に移転。				
135	02164	牛屋山 願宗寺	俵町 (安八郡)	寛永5年	真言宗 若しくは 臨済宗→ 真宗	大同2(807)年、当所の牛屋川のほとりに弘法大師が建立。寛正元(1460)年又は明応年間(1492~1501)に真宗に転宗。寛永5(1628)年に現在地へ移転。また、成立時期不明で、本巣郡根尾村宇大井にあって臨済宗に属したという説もある。				
136	02165	若森山 淨覺寺	新町 (安八郡)	明暦元年	天台宗→ 真宗	元は若森村(久瀬川字若森森)にあった天台宗若盛山薬師寺の塔頭六坊の内の枝之坊と支院。文明11(1479)年、真宗に転宗。大永5(1525)年に大垣八幡宮前に移り、淨覺寺に改めた。寛永18(1641)年に高橋町に、さらに明暦元(1655)年に現在地に移転。				
137	02166	象背山 法泉寺	上石津町 牧田二又 (石津郡)	不明	天台宗→ 真宗→ 天台宗→ 真宗	成立時期は不明。元は天台宗であったが、永仁3(1295)年真宗に転宗し、藤田寺建立。応仁の乱の際には天台宗長法寺と称し、寛永2(1625)年に再び真宗に転宗。宝永7(1710)年の文献では若松院、安永6(1777)年に法泉寺と称した。現在地への移転の時期は不明。				
138	02167	留百山 順念寺	伝馬町 (安八郡)	萬治元年	真宗	文明3(1471)年に明専が成立し、東大寺と号した。萬治元(1658)年に現在地に移転、寛文4(1664)年又は延寶5(1677)年に現在の寺号に。	G、H			
139	02168	賴光山 来光寺	南高橋町 (安八郡)	明治33年	真言宗→ 真宗	永暦元(1160)年が創立。もとは真言宗であったが、永正17(1520)年に真宗に転宗。高橋村(若園町)にあったが、明治33年(1900)に南高橋町に移転。	G			
140	02169	佛教山 受圓寺	笠縫町 (安八郡)	伝弘仁6年	天台宗→ 真宗	弘仁6(815)年頃最澄が草創し、護法堂莊嚴院と称したと伝わる。永和3・天授3(1377)年に真宗に転宗し、受圓寺と改めた。永和年間(1375~1379)に建立した四足門が残る。	G、石仏		N3	
141	02170	放光山 養樂寺	平町 (安八郡)	明治35年	天台宗→ 真宗	成立時期不明。元は森部村にあり天台宗であったが、永正8(1511)年に真宗に転宗。(一説には永正6(1509)年とされる)室町期に南今ヶ淵、中須村、安八郡平村、明治35(1902)年掛斐川の改修により現在地に移転。				
142	02171	金光山 長徳寺	三津屋町 (安八郡)	不明	天台宗→ 真宗	成立時期不明であるが、興福寺村にあり天台宗に属し真福寺と号した。貞觀年間(859~877)に寺号を長徳寺に改めた。貞治2・正平18(1363)年に真宗に転宗。興福寺村から現在地に移転したが、移転時期は不明。				
143	02172	曇心山 念勝寺	中野町 (安八郡)	慶長年間	真宗	曇心元・延元3(1338)年に幽影が近江愛知郡大門村に成立。慶長年間(1596~1615)現在地に移転、墨俣満福寺の配下。	G、H		N3	
144	02173	眞寶山 等覚坊	新町 (安八郡)	承應2年	天台宗→ 真宗	仁壽3(853)年に慈覺大師が安八郡中澤村に天台宗の寺を成立し、弥勒寺と称した。應仁元(1467)年に焼失し林町に再建。文明5(1473)に真宗に転宗。天正12(1584)年に高橋村に移転後、さらに承應2(1653)年に現在地に。	G			
145	02174	蓮泉寺	墨俣町 下宿屋敷添 (安八郡)	延徳元年	天台宗→ 真宗	成立時期不明であるが、天台宗に属し冷仙院と号した。延徳元(1489)年に道喜(道基)が真宗に転宗。寛文12(1672)年の文書には礼専寺、明暦元(1655)年の文書には蓮泉寺と記載されており、この間に改称している。	G		M4	
146	02175	白雲山 本善寺	上石津町 一之瀬川西 (石津郡)	大永3年	伝天台宗→ 真宗	大永3(1523)年、西円坊証秀(俊成?)により真宗道場「西円坊」が成立。元禄7(1694)年類焼したため領主が仮堂を寄進。享保12(1727)年に本善寺と改めた。なお、「寺地は元天台宗」とする説がある。				
147	02176	福島山 永寿寺	多芸島 (多芸郡)	嘉禎元年	真宗	嘉禎元(1235)年に成立され、天保15(1844)年に本堂が再建されている。	G		03	
148	02177	村上山 南德寺	友江 (安八郡)	伝天正10年	天台宗→ 真宗	聴き取りによると、天正10(1582)年に成立され天台宗に属したが、江戸時代後期に真宗に転宗したという。			03	
149	02178	喜光山 祐念寺	大外羽 (多芸郡)	享保19年	真宗	大永6(1526)年又は天文9(1540)年に祐西が多芸郡津屋村に成立。草道島西円寺に属す。享保19(1734)年現地に移転。				
150	02181	津波山 宗休寺	楽田町 (安八郡)	宝暦4年	天台宗→ 真宗	成立時期不明であるが、大野郡東津波村にあった(東津波寺か)。元は天台宗であったが、その後真宗に転宗し広福寺に。宝暦4(1754)年に唯頓寺隠遁所として現在地に移転した。明治15(1882)年に宗休寺と改称。				
151	02182	大井山 明寂寺	藤江町 (安八郡)	慶長年間 若しくは 寛文8年	真宗	文明5(1473)年又は明應3(1494)年に道賢により安八郡下宿に成立。栗津文書の記載から、寛文8(1668)年までには現在地に移転された。なお、墨俣上宿に成立し、慶長年間(1596~1615)に藤江町に移ったとする説もある。				
152	02183	梅香山 瑠宝寺	釜笛 (安八郡)	天正10年	真宗	天正10(1582)年に了願により成立。慶安2(1649)年に瑠宝寺の寺号を得た。			03	

表7 大垣市寺院一覧表(7)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
153	02184		寶樹山 恩受寺	上笠 (多芸郡)	慶長2年以降	真宗	慶長2(1597)年に了智が教如上人に帰依して成立した。聽き取りによると、過去に水害被害が多く、河川敷に在った墓地も移転したとのことである。現在地への移転時期不明。	G, H		
154	02186		養老山 専徳寺	難波野町 (安八郡)	明治時代	真宗	天正6(1578)年、安八郡南波村(輪之内町南波)成立。明治の揖斐川改修により現在地に移転。			
155	02187		大井山 発願寺	開発町 (安八郡)	文暦元年	天台宗→ 真宗	文暦元(1234)年に成立。天台宗に属し清光院と称した。明応2(1493)年に真宗に転宗、発願寺に。草創は根尾村大井の臨済宗寺院の説もある。	G	N4	
156	02188		遠照山 乗蓮寺	中町 (安八郡)	承應2年	天台宗→ 真宗	成立時期不明。南新町にあり天台宗に属したが、文明11(1479)年真宗に転宗。承應2(1466)年に現在地に移転。			
157	02189		郡境山 徳円寺	久瀬川町 (安八郡)	不明	天台宗→ 真宗	天文4(1535)年に若森城主宮川吉左衛門尉安定が開基。寺域は安八郡と不破郡にまたがっていた。初めは天台宗であったが、その後、真宗に転宗。永禄13(1570)年に久瀬川村に移転したが、現在地への移転時期は不明。		N3	
158	02190		竹林山 日月光院 勝樂寺	三木本町 (安八郡)	応安4年・ 建徳2年	天台宗→ 真宗	応安4・建徳2(1371)年に西覺坊が創立。元は天台宗であったが応永4(1397)年に真宗に転宗し、墨俣満福寺に属した。		N4	
159	02192		寶照山 唯願寺	深池町 (安八郡)	延宝2年	真宗	長享元(1487)年、釈了西により成立、宝照山唯願寺と称した。その後、本巣郡横屋村(梶南町)、安八郡古宮村に移り、延宝2(1674)年に安八郡深池村に移転し現在に至る。			
160	02193		平正山 速入寺	今福町 (安八郡)	元禄2年以前	真宗	天文3(1534)年に平塚頼誠が繪輪に成立。その後、不破郡塩田村に移り、元禄2(1689)年以前に今福町に移転。正保2(1645)年に速入寺の寺号を得た。			
161	02194		圓光山 善教寺	開発町 (安八郡)	16世紀後半	真宗	成立時期不明で、切戸村(現万石町)の「豆寺」(大垣商業高校付近)にあったと伝わる。長享元(1487)年に真宗に転宗し開発村に移転。天正4(1576)年に災いに遭い切戸村に移ったが、数年後、再び開発村に移る。	G, H	N4	
162	02194b		善教寺旧境内	開発町 (安八郡)	長享元年以前				N4	
163	02195		淨光山 西生寺	和合本町 (安八郡)	永正8年以前	真宗	成立時期不明。永正8(1511)年に真宗に転宗。大裏聖德寺に属したが、のち本山直末となる。		N4	
164	02196		東谷山 藏林寺	上石津町 時山 西屋敷 (石津郡)	伝元亀2年	真言宗→ 真宗	寺伝では元亀2(1571)年の石山合戦から逃れて来た、近江国法藏寺の僧により真言宗寺院が成立したと伝わる。天保年間(1831~44)に開基覚了が真宗に転宗。嘉永2(1849)年に藏林寺の寺号を得た。			
165	02197		松岡山 明覺寺	上石津町 上中組 (石津郡)	天正19年	真宗	寛正6(1465)年に宇岡山に道場を開く。天正19(1591)年に現在地に移転再建。寛永7(1630)年に明覺寺の寺号を得た。	G, H, I 石仏	P2	
166	02198		説南山 極念寺	上石津町 三ツ里 馬瀬 (石津郡)	明応年間頃	天台宗→ 真宗	成立時期不明。元は天台宗に属したが、文明2(1470)年に真宗に転宗。馬瀬の西南にあり一帯を「十王堂」と称す。明応年間(1492~1501)の火災後、現在地に移転。	G, H, 石仏	02	
167	02199		清涼山 福正寺	上石津町 谷畑岡峰 (石津郡)	元和元年	真言宗→ 真宗	寛政元(1460)年には真言宗龍門院と称する道場で宇大野にあつた。天和元(1681)年現在地に移り、翌年、福正寺の寺号を得た。			
168	02200		柴間山 光受寺	墨俣町 墨俣寺町 (安八郡)	寛永10年	真宗	成立時期不明。二ツ木村法藏寺に住していたとされる。永享3(1431)年に真宗に転宗。文明3(1471)年に美濃脇村に移転し、寛永10(1633)年に現在地に移転。	G		
169	02201		安養山 善教寺	寺内町 (安八郡)	明暦元年	天台宗→ 真宗	成立時期不明。伊勢国安濃津に安養寺を創立天台宗、永正年間(1504~21)に真宗に転宗寛文13(1673)年に善教寺に改。城主命令で移転練り返し明暦元(1655)年に現在地に移転。	G, H		
170	02203		済生山 正林寺	上石津町 祢宜上 三分一 (石津郡)	享保13年	臨済宗	正覚院の一坊正林坊。文治4(1188)年頃に建立か。享保13(1728)年に高木西家6代貞解が祢宜上「常楽庵跡」に移り、再建。高木西家の菩提所。			
171	02205		瑞巖山 天喜寺	上石津町 一之瀬 川東 (石津郡)	伝天喜5年	天台宗→ 臨済宗	本文参照	本文参照	50	02
172	02206		久昌山 法雲寺	上石津町 牧田上野 (石津郡)	13世紀初頃	臨済宗	後鳥羽院の時代(1198~1221)に、勤翁天励和尚が小宇を建立。寛保3(1743)年に伊勢国渡会郡山田村正法寺の第2世広山が成立。	G, H, I 石仏	N2	
173	02207		松貞山 本堂寺	上石津町 三ツ里 松之木 (石津郡)	平安時代か	天台宗→ 臨済宗	成立時期不明。天台宗に属した多羅七堂社のうち最大であったため本堂寺と称された。万治年間(1658~61)に妙心寺派の小宇を構え、延宝9(1681)年に高木東家の菩提所となつた。	G, I, 石仏	02	
174	02208		慧日山 慈眼院	上石津町 堂之上岡 (石津郡)	正徳元年以前	臨済宗	成立時期不明。往古は七堂伽藍であったが焼失。正徳元(1711)年に安立禪翁(三輪六右衛門)が堂宇を建立。宝聚院末寺。			
175	02209		延命山 地蔵寺	上石津町 下山湯谷 (石津郡)	中世末期	臨済宗	鎌倉時代、勤翁和尚が鎌倉より本尊地蔵菩薩を奉還したものとも伝わる。中世末期より地蔵堂として存在し、元禄5(1692)年に本堂寺末寺として再建。		02	
176	02210		金剛山 觀音寺	上石津町 宮上ノ山 (石津郡)	昭和期	天台宗→ 臨済宗		本文参照	02	
177	02210b	県	觀音寺旧境内 (觀音寺経塚)	上石津町 多良 三ツ里 (石津郡)	平安時代末期		本文参照		52	02

表8 大垣市寺院一覧表(8)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	造物、造構	調査 略票	分布 図
178	02211		飯高山 宝聚院	上石津町 牧田門前 (石津郡)	伝平治元年	真言宗→ 臨済宗	伝承では平治元(1159)年、木曾義仲が成立し、真言宗に属し 義仲寺と称した。文安元(1444)年、江州高野永源寺の悦巖が 再興し宝聚院に改称。安土桃山~江戸初期に永源寺派から妙 心寺派に転派。寺域内の木曾神社は明治に移転し「宝聚院 墓」として遺跡登録。	G、H、I、 石仏		N2
179	02212		醫王山 禪桂寺	藤江町 (安八郡)	昭和期	臨済宗	天正14(1586)年又は同15年に薬師堂(薬師寺)として成立と伝 わる。その後現在地にて再興し長福寺と称したが、寛文 5(1665)年に禪昌寺、さらに禪桂寺に改めた。国道258号線建設 に伴い、昭和時代に移転。	G、H、I		
180	02217		法幢寺	静里町 (不破郡)	享保21年	臨済宗	応仁元(1467)年に和田義房が成立し、僧秀林が開山。時期不明 だが法幢庵と称している。大風雨で堂宇が流失したため、 享保21(1736)年に西隣へ移した。	G、石仏		
181	02221		長勝寺	林町 (安八郡)	明治41年	臨済宗	建武4・延元2(1337)年に無相大師が開山した。寛保年間 (1741~1744)に寂室智が安八郡加納村に成立した説もあり。 明治41年に現在地に移転。			
182	02223		鳳林山 徳秀寺	新町 (安八郡)	承應3年	臨済宗	永禄6(1563)年に惟山丹公首座が大垣八幡曲輪に一棟の堂を 成立。寛永10(1633)年に高橋町に移り、徳秀寺と称した。承 應3(1654)年に現在地に移転。	G		
183	02224		曹源山 華溪寺	曾根町 (安八郡)	享保年間	臨済宗	寛弘7(1010)年に源信僧都が創立したとされる説と、天正4 (1576)年に曾根城主稻葉一鉄による成立で南化和尚が開山した とする説もある。享保年間(1716~1736)に揖斐川堤防の 東側から曾根城の本丸跡に移転。	G、I、石仏		
184	02224b		華溪寺旧境 内	曾根町 (安八郡)	寛弘7年 若しくは 天正4年					N3
185	02226		補陀山 報恩寺	綾野 (不破郡)	永祿元年	曹洞宗	永祿元(1558)年に昌山により成立。曹洞宗禪堂寺に属し、報 恩寺と称した。	G、H、I		N3
186	02231		桃源山 全昌寺	船町 (安八郡)	慶安4年	曹洞宗	慶長年間(1596~1615)に尼ヶ崎に成立。雪山和尚を開山と し、桃源山全昌寺と称した。慶安4(1651)年に現在地に伽藍 を造営。	G、H		
187	02232		高輪山 瑞光寺	上石津町 上多良 樺原 (石津郡)	弘仁年間 若しくは 正治2年	真言宗→ 曹洞宗	弘仁年間(810~24)又は正治2(1200)年に成立し真言宗に属し た。慶長年間(1596~1615)に正覚山薬師寺と称されていた。 その後については、安永7(1778)年に今須妙応寺の第20世現 瑞妙覚が中興したとする説と、天明6(1786)年に今須妙応寺 の圓空和尚隠居地として再建したとする説があり、寺号を瑞 光寺に改めた。	G、H、I		02
188	02235		馨王山 法永寺	静里町 (不破郡)	寛文年間以前	曹洞宗	寛文年間(1661~1673)、和田作左衛門・佐々間梅右衛門など が成立し、不破郡綾野報恩寺昌山が開山。なお、弘長2 (1262)年成立とする説もある。			
189	02236		妙運山 妙法寺	赤坂町 (不破郡)	天正5年 若しくは 天正10年	日蓮宗	正中年間(1324~1326)祖師御弟子中老僧日法上人の開基、も と不破郡府中村にあり、天正年間(1573~1592)織田信長の兵 火で焼失。天正5(1577)年又は天正10(1582)年に現在地に移 転。	G		N3
190	02237		遠照山 本願寺	伝馬町 (安八郡)	寛文11年	日蓮宗	天正19(1591)年4月に経王院日勝により高橋村に成立。元和2 (1616)年に歩行町に、寛文11(1671)年に現在地に移転。			
191	02238		大塚山 寶光寺	三塚町 (安八郡)	天文16年	真言宗→ 日蓮宗	天文16(1547)年に大塚城主織田豊磨守が成立。もとは真言宗 であったが、元禄4(1691)年に日蓮宗に転宗。	G、H		N4
192	02248		寶受山 清廣寺	北方町 (安八郡)	延徳3年以前	真言宗→ 真宗	成立時期不明。元は真言宗であったが、延徳2(1491)年に真 宗に転宗。			N3
193	02250		正林山 敬恩寺	長松町 (不破郡)	16世紀初頭 頃	真宗	成立時期は、文亀元(1501)年・永正2(1505)年・大永2 (1522)年の説あり。大永3(1523)年に敬恩寺の寺号を得る。	G、I		N3
194	02253		大井山 妙永寺	室本町 (安八郡)	大永3年	真宗	大永3(1523)年に大井莊室村竹中空西が成立。永祿年間(1558 ~1570)に兵火で焼失、室村に堂を建て妙永寺と号す。	G、石仏		N3
195	02255		慈眠山 蓮華院 觀音寺	西崎町 (安八郡)	享保4年	天台宗→ 淨土宗→ 単立	慶長5(1600)年に覺音が安八郡中川村に成立。初めは天台宗 であったが、享保4(1719)に現在地に移転し淨土宗に転宗した。 現在は単立。			
196	02258		金生山 明星輪寺 寶光院	赤坂町 (不破郡)	伝朱鳥元年	単立	本文参照	本文参照	54	N3
197	02260	市	牛屋山 大日寺 遮那院 (御朱印地遮 那院跡)	清水町 (安八郡)	永祿年間	真言宗	白鳳年間に、百濟の王子沙門金珠上人が天武天皇の勅願所と して大垣城西方の牛屋に成立。天長年間(824~834)に弘法大 師が「大日寺遮那院」と名付けたと言われる。永祿年間(1558 ~1570)に大垣城築城に伴い現在地へ移転。現在は墓地となっ ており、近年整備が完了したという。	G		N3
198	02261		醫王山 光明院 神宮寺	西外側町 (安八郡)	慶長12年	天台宗→ 真言宗	成立時期不明。もとは大垣八幡宮近辺(現在の02018円通寺の 地)にあり天台宗であったが、天正年間(1573~1593)に真言 宗に転宗。慶長12(1607)年に宮村八幡宮西に移転。			
199	02261b		神宮寺旧境 内	西外側町 (安八郡)	天正年間以 前					N3
200	02262		勝軍山 密嚴院 寒松寺	西外側町 (安八郡)	不明	真言宗→ 淨土宗→ 真言宗	天正7(1579)年、大垣八幡宮鳥居の西(02262b)に法藏坊成 立。勝軍山密嚴院と称した。02210遮那院の末寺。寛永年間 (1624~1644)に淨土宗に転宗するが、寛文2(1662)年に再び真 言宗とした。移転後の位置不明。			N3
201	02262b		寒松寺旧境 内	西外側町 (安八郡)		真言宗				N3
202	02263		大聖山 金剛輪寺 南光院	西外側町 (安八郡)	不明		成立時期不明だが大津で草創。慶長5(1600)年、戸田一西、 戸田氏鏡に従い江州膳所に封ぜられ後に尼崎、岐阜町、鳥見 町と移り宝曆7(1757)年に現在地に移転。明治初期に寺号を 廃し金刀比羅神社として改称。位置不明。			
203	02268		若盛山 薬師寺	若森町 (不破郡)	不明	天台宗	弘仁年間(810~824)、伝教大師の成立とされ塔頭六坊を有し た。寿永2(1183)年に焼失。位置不明。			

表9 大垣市寺院一覧表(9)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
204	01201b		精泰寺旧境内	上石津町 牧田山村 (石津郡)	不明	臨済宗	寺伝では足利尊氏草創とされるが詳細不明。慶長5(1600)の乱に焼失したが元禄4(1691)年に再建。昭和35(1960)年、名神高速道路建設に伴い岐阜市に移転(01201)。林正寺付近にあったというが、旧境内の詳細な位置不明。			
205	02275		八幡山正蓮寺	上石津町 牧田平井 (石津郡)	不明	真言宗→ 真宗	弘仁13(822)年に開基三輪秀信により真言宗の無量寿院成立。貞永元(1232)年に真宗に転宗し正蓮寺に改称。成立時は牧田川西にあり天正13(1585)年に川東下平井に移り、天正18(1590)年又は17世紀中頃まで閑ヶ原に移転。位置不明。			
206	02277		高正山法喜院	上石津町 一之瀬 川東 (石津郡)	貞治5年・ 正平21年	臨済宗	貞治5・正平21(1366)年、道香が成立。天喜寺五院塔頭の一つで寺の裏手「法喜院平」にあり。応永15(1408)年心省が中興、文化6年又は文政6(1823)年に天喜寺の質林祖文が寺域を改めて天喜寺末寺として表参道沿いに再建。聴き取りで「法喜院平」は天喜寺裏手の平地を指す。			
207	02278		玉鳳院	上石津町 一之瀬 川東 (石津郡)	不明	臨済宗	貞治5・正平21(1366)年、道香が成立したもので五院塔頭の一つ。法喜院以外の4院の詳細は不明。ただし、玉鳳院のみは「明治初期に廃寺した」という記載が残る。位置不明。			
208	02285		祖光寺 (祖光寺跡遺跡)	上石津町 細野 (石津郡)	伝飛鳥時代	?→ 天台宗→ 臨済宗	本文参照	本文参照	56	P2
209	02286		證願寺	上石津町 上 (石津郡)	不明	不明	行基開基、養老寺や行基寺と同時代。元龟2(1571)年、信長の兵火にかかり焼失。『時村史』に同寺跡から仏像、五輪石、土器片が出土と記載あるが位置不明。字正願寺地内を現在地確認したが特定できません。	不明		
210	02287		(上野庵寺跡)	上石津町 牧田上野 (石津郡)	不明	不明	県遺跡地図には「古墳」として搭載されているが、詳細不明。現在は宅地。			
211	02288		(湯谷庵寺跡)	上石津町 下山 (石津郡)	鎌倉時代	不明	県遺跡地図では「鎌倉社寺跡」とされているが、詳細不明。			02
212	02293		不動山西山寺泉淨院	上石津町 西山 (石津郡)	文明8年	不明	文明8(1476)年、近江多賀大社般若院の不動明王を迎える安置。宮寺であったが、明治の神仏分離で別に堂を建て本尊を安置した。			02
213	02294		西光寺	墨俣町 上宿 (安八郡)	不明	天台宗 若しくは 真言宗か	天台宗又は真言宗寺院で沿革不明。慶長15(1610)年及び寛永8(1631)年の「西橋村名寄帳」に西光寺の字名残り明台寺境内で奈良末～平安初の瓦出土。明台寺及び広寿寺付近に所在と推測、詳細な位置不明。			
214	02295		光明寺	墨俣町 上宿 (安八郡)	不明	天台宗 若しくは 真言宗か	天台宗又は真言宗寺院と思われるが沿革不明。慶長15(1610)年の文書には光明寺の字名が記載。昭和21(1946)年に不破神社の境内で建物の礎石が確認たというが、現在不破神社内では確認できない。詳細な位置不明。			
215	02296		大仙寺	墨俣町 下宿三昧 (安八郡)	不明	天台宗	大垣明寂寺の前の寺号と言い、天台宗に属したという。文明5(1473)年又は明應3(1494)年に道賢が安八郡下宿に成立了。位置不明。			
216	02297		法蔵寺	墨俣町 二ツ木 (安八郡)	不明	臨済宗	成立時期不明。正安3(1301)年頃南山国師が法蔵寺に住み三十二院を建立した(法蔵寺第1世が南山国師とする説もある)。かつては二ツ木村にあり、江戸時代中期には墨俣村に移転。鎌倉街道に面南していたといい、字名「法蔵寺」が残るが、現在は住宅地が広がる。詳細な位置不明。			
217	02298		大通寺	墨俣町 墨俣 (安八郡)	不明	天台宗 若しくは 真言宗か	「二ツ木庄村地理考」には「大通寺・本覚寺・明光寺の三魔寺は墨俣村にあり」とあるが、沿革や位置など詳細不明。			
218	02299		本覚寺	墨俣町 墨俣 (安八郡)	不明	天台宗 若しくは 真言宗か	「二ツ木庄村地理考」には「大通寺・本覚寺・明光寺の三魔寺は墨俣村にあり」とあるが、沿革や位置など詳細不明。			
219	02300		明光寺	墨俣町 墨俣 (安八郡)	不明	天台宗	「二ツ木庄村地理考」には「大通寺・本覚寺・明光寺の三魔寺は墨俣村にあり」とあるが、沿革や位置など詳細不明。			
220	02301		城越庵寺	墨俣町 墨俣 城之越 (安八郡)	不明	天台宗	白鬚神社の神宮寺として墨俣町史に記載されるが、その沿革や所在位置は不明。神社は現存するが、昭和13年に河川敷から移転したもので旧所在地は不明。			
221	02302		二ツ木庵寺	墨俣町 二ツ木 (安八郡)	不明	天台宗	02301城越庵寺と同様に神宮寺と鎮守の宮との関係で「二ツ木庵寺と弁才天」があり、神社・庵寺跡の時期・位置不明。 「古寺跡で五輪石塔等出土」とあるが特定できません。			

表10 大垣市参考寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	02001		藏泉山長命寺	新町 (安八郡)	明治37年	天台宗	元禄元(1668)年光敏が成立、藏泉坊と称。明治維新時に廃寺、郡上長瀧寺に移設。明治37(1904)年に現在地に再興。昭和40(1965)年に長命寺と改称。	
2	02008		松島山多良教会	上石津町 祢宜上 (石津郡)	不明	真言宗	成立時期不明。昭和以降の寺院名簿には記載される。	
3	02016		明月山向暖寺長光院	新町 (安八郡)	寛永年間	真言宗	寛永年間(1624~44)年に信濟が一棟の堂を建立し、明月庵と称した。寛文5(1665)年又は寛文7(1667)年に向暖寺、さらに延寶7(1679)年には長光院に改名。明治初期に宮社分離し本堂のみとなった。	

表11 大垣市参考寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
4	02017	弘法院	神田町 (安八郡)	不明	天台宗	昭和32(1957)年の寺院名鑑には記載あるが平成13(2001)年には記載なし。 所在不明。		
5	02020	薬師院	楽田町 (安八郡)	明和年間	浄土宗	明和年間(1764~72)に成立。		
6	02023	宝林山 安養寺	荒尾町 (不破郡)	正徳5年以 前	浄土宗	戸田氏晴が父の菩提のために、赤坂にあった古寺を移転再興して建設。正徳5(1715)年に藩主が制札を下した。		
7	02025	紫雲山 求淨庵	久瀬川町 (安八郡)	享保年間	浄土宗	享保年間(1716~1736)に勝沼儀左衛門が勝沼家菩提のために創立。文政7(1824)年、西久瀬川宇金屋敷に再興し求淨庵と称した。		
8	02027	永福寺	青野町 (不破郡)	昭和期	浄土宗	京都知恩院末寺。天保年間(1831~1844)に、専意和尚により成立。昭和時代に滋賀県栗東市より現在地に移転。		
9	02028	常樂山 清念寺	南切石町 (安八郡)	元禄5年	浄土宗	元禄5(1692)年に松壽寺直譽上人が成立。	G、H	
10	02029	深蓮山 林松院	長松町 (不破郡)	元治元年	浄土宗	元治元(1864)年に諦誓善亮上人が寺庵を創立して、本岡庵と号した。明治に松坂市樹敬寺末寺の林松院を移転。	G	
11	02032	智光庵	楽田町 (安八郡)	伝江戸時代	浄土宗	聴き取りによると、江戸時代に安樂寺の仏を穴を掘り埋めその100年後に建立した。説教場の尼寺であったという。		
12	02033	宝池院	青柳町 (不破郡)	不明	浄土宗	成立時期不明、かつては尼寺であった。	G	
13	02034	照徳山 常樂寺	船町 (安八郡)	寛文2年	浄土宗	元和3(1617)年、尼ヶ崎に香華院として伽藍を創立した。寛永15(1638)年に宮町に伽藍を造営。寛文2(1662)年に現在地に移転。	G、H	
14	02035	西竜寺	西之川町 (安八郡)	不明	浄土宗	成立時期不明。位置不明。		
15	02036	青蓮山 天清院	赤坂町 (不破郡)	江戸時代	浄土宗	成立時期不明、もと安八郡柳瀬村に所在。寛文12(1672)年に氏信3男没しその菩提所を正蓮寺とし、不破郡赤坂村に移転し青蓮寺に改称。	G、I	
16	02047	寿量山 本誓寺	上石津町 細野 (石津郡)	文政7年	天台宗→ 真宗	成立時期不明。字上中組(明覚寺東)に成立。元は天台宗であったが、宝暦2(1752)年に真宗に転宗し、惣道場とされる。文政7(1824)年に現在地に移転。		
17	02086	護摩山 大型寺	米野町 (安八郡)	寛永17年	真宗	寛永17(1640)年に祐信が成立。天和2(1682)年に大型寺の寺号を得た。		
18	02092	終生山 託念寺	上石津町 上多良堂ノ上 (石津郡)	元和2年	真宗	元和2(1616)年了専(井之口新十郎)が一寺を建立。		
19	02098	望龍山 聞光寺	上石津町 牧田萩原 (石津郡)	享保2年 若しくは 享保3年	真宗	寛保2(1742)年又は同3年に松山法城により成立。文政9(1826)年に聞光寺の寺号を得た。		
20	02106	松林山 感生寺	上石津町 前ヶ瀬 (石津郡)	寛文9年	真宗	寛文9(1669)年、本願寺第14世琢如法弟の釈円可(小寺善事)が成立。天和2(1682)年、感生寺の寺号を得た。		
21	02117	白毫山 光福寺	古宮町 (安八郡)	正保元年	真言宗→ 真宗	成立時期不明。もとは真言宗であったが、正保元(1644)年に真宗に転宗。正徳3(1713)年に光福寺の寺号を得た。	G	
22	02120	三宝山 真樂寺	榎戸町 (不破郡)	天明3年 若しくは 文化8年	真宗	天明3(1783)年、信慶が成立した。当初は阿弥陀堂と称したが、第二世が真樂寺に改めた。文化8(1811)成立とする説もあり。		
23	02122	真福寺	大井 (安八郡)	昭和24年以 前	真宗	成立時期不明。古くは道場であったが、昭和24(1949)年に設立が認可され、真福寺の寺号を得た。		
24	02126	寶來山 光照寺	十六町 (不破郡)	慶長9年か 慶長10年	真宗	慶長9(1604)年に祐善が成立したとする説と、慶長10(1605)年に揖斐郡宝来町の下野祐善が成立したとする説がある。		
25	02148	五辻山 木淨寺	築捨町 (安八郡)	正保4年	真宗	正保4(1647)年に了西により成立。		
26	02151	五雲山 松林寺	浅中 (安八郡)	延宝4年	真宗	承応元(1652)年に佐師川村(海津郡平田町)に成立。延宝4(1677)年に現在地に移転。	G、H、I	
27	02152	西美濃教会	静里町 (不破郡)	不明	真宗	大垣市綾野村から文政7(1824)年に現在地に移転し、西美濃教所と称した。位置不明。		
28	02179	白寶山 覺童寺	西大外羽 (多芸郡)	明治時代以 降	真宗	寛永16(1639)年に泰觀により成立、明治以降に現在地へ移転。		
29	02180	理專寺	和合新町 (安八郡)	万治元年	真宗	万治元(1658)年に僧了道が成立。		
30	02185	久遠山 本覚寺	直江町 (安八郡)	明治35年	真宗	慶長19(1614)年、揖斐郡本庄村にて真宗道場を成立。明治35(1902)年に揖斐川の大改修により現在地に移転した。	G、I	
31	02191	百寶山 碧還寺	外潤 (安八郡)	慶安元年	真宗	慶安元(1648)年、外潤村民の共同経営による惣道場として創立。承応2(1653)年に碧還寺の寺号を得た。		
32	02202	子悅山 超誓寺	見取町 (安八郡)	昭和4年	真宗	文化6(1809)年憲淨が京都市下京区醍醐通鎌屋町に成立。昭和4(1929)年に現在地に移転。		
33	02204	大雄山 乾徳寺	上石津町 牧田二又 (石津郡)	昭和35年	臨済宗	天和2(1682)年、妙心寺塔頭南涌院第2世の蒙山開基。現本堂は、昭和35(1960)年名神高速道路建設に伴い移築。	G	
34	02213	松永山 慈王寺	東長町 (安八郡)	明治26年	臨済宗	成立時期不明。明治26(1893)年に近江国神崎郡石馬寺の中の慈王院を移転し、慈王寺と称す。		
35	02214	大勝寺	福田町 (不破郡)	万治3年	臨済宗	万治3(1660)年に、大垣徳秀寺雷門和尚の弟子龍山(傍島清左衛門)が創立。	G、H	
36	02215	奇峯山 乾崇寺	上石津町 牧田多尾 (石津郡)	万治元年	臨済宗	万治元(1658)年、大雄正智を勧請開山とし、万嶽惠徳が成立。平成21(2009)年に養老町高田の24075即心寺と合併し、養老町に即心山乾崇寺が成立した。現在も堂や墓地が残る。	G	
37	02216	靈泉山 慈溪寺	北方町 (安八郡)	万治2年	臨済宗	万治2(1659)年に大円宝鑑国師が成立。末寺に清德院・円通庵・横倉薬師庵の3ヶ寺がある。	G、H、I、石 仏	
38	02218	大悲山 千手寺	青野町 (不破郡)	寛永7年	臨済宗	北方町慈溪寺末寺。寛永7(1630)年、愚堂國師により成立。明治に妙心寺末となる。	G	

表12 大垣市参考寺院一覧表(3)

番号	寺院番号	史跡	山院号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
39	02219	淨見山瑞雲寺	桧町(安八郡)	寛永元年 若しくは元禄5年	臨済宗	寛永元(1624)年に利山が成立したとする説と、元禄5(1692)年に足利の淨因寺より利山和尚を招き成立したとする説がある。		
40	02220	乾龍山圓成寺	荒尾町(不破郡)	延宝2年	伝天台宗→臨済宗	延宝2(1674)年に、靈峯により成立。聴き取りでは、平安時代に瑞巖老師が成立し、天台宗であったとされる。	G、H、 一石G	
41	02222	善心山大悲院	寺内町(安八郡)	不明	臨済宗	寛永元年(1624)年、河地重左衛門が大垣田町に一棟の堂を創立したとする説と、寛文2(1662)年大宗が成立したとする説がある。元禄5(1692)年の大火による焼失後、南寺内村に移転(移転時期不明)。		
42	02225	壽岳山江月寺	馬場町(安八郡)	大正期	臨済宗	天和2(1682)年、相譽迎西が開基。竹島町で成立され江月庵と号した。明治に西長町に移り、大正に現在地へ移転。		
43	02227	瑞雲山龍松寺	長松町(不破郡)	17世紀後半	曹洞宗	成立時期不明。大垣全昌寺の文鏡和尚が戸田氏鉄(寛永12(1635)年に大垣藩に入封、慶安4(1651)年に隠居)の帰依で長松に隠居所成立、龍松庵と号す。明暦3(1657)年に全昌寺月光が成立説あり。明治に龍松寺と改称。	G、H、I、石仏	
44	02228	福寿山神宮寺	綾野町(不破郡)	寛永元年	曹洞宗	寛延元(1748)年に通山が成立して、福寿山神宮庵と称した。報恩寺末寺。近年、神宮寺と改称した。	G	
45	02229	薬王寺	久瀬川町(安八郡)	昭和初期	曹洞宗	元は綾野町の求淨庵、報恩寺の末寺。昭和初めに柄木県安蘇郡田沼町の曹洞宗薬王寺をここに移し、寺号を薬王寺と改めた。	G	
46	02230	法性寺	荒尾町(不破郡)	明治35年	曹洞宗	延宝元(1673)年に全昌寺明山和尚が、戸田自寛のために中曾根村に成立説と安永5(1776)年に明山和尚の弟子逸尚が成立説とあり。安永5(1776)年に荒尾村薬師堂の地へ移転し廃絶、明治35(1902)年現在地に再興。	G、H、石仏	
47	02233	洞海山悟空寺	上石津町細野(石津郡)	文化年間	曹洞宗	文化年間(1804~1818)に貞弁郡藤原町篠立長楽寺の抜雲覚瑞が一字の坊舎を建立し、觀音庵(「安樂寺」との記載もあり)と称した。昭和時代に悟空寺として再建。	G、H、I、石仏	
48	02234	冷水山正覚寺	船町(安八郡)	寛文5年	曹洞宗	寛永17(1640)年に戸田氏鉄が成立。寛文5(1665)年に現在地に移転。移転前の場所は不明。	G、H、石仏	
49	02239	法光山実相寺	伝馬町(安八郡)	寛文12年	日蓮宗	元和2(1616)年、尊性院日泉が辰ノ口(東外側町)に成立。寛文12(1672)年に現在地に移転。		
50	02240	妙経山常隆寺	船町(安八郡)	寛永12年	日蓮宗	慶長15(1610)年に、三河国僧日持が江州膳所において成立。元和3(1617)年に尼崎へ移ったが、寛永12(1635)年戸田家に従い現在地へ移転。	G、H、I	
51	02252	沼波山本明寺	番組町(安八郡)	享保13年 若しくは享和3年	真宗	元禄元(1688)年に安八郡切石村の沼波永玄により成立。享保13(1728)年又は享和3(1803)年に現在地に移転。		
52	02254	極樂院空也堂大垣別院	久瀬川町(安八郡)	不明	単立	沿革は不明。なお、極樂院空也堂は京都に所在し空也念佛の道場とされる。		
53	02264	都卒山彌勒寺般若院	歩行町(安八郡)	寛文12年	真言宗	成立時期不明であるが、尼崎に草創。戸田氏鉄の移封に伴い、寛永12(1635)年頃に般若院秀尊により成立。寛文12(1672)年七軒町に寺地を得。位置不明。		
54	02265	金藏院	新町(安八郡)	不明	真言宗	成立時期不明で、元は北新町(現新町)にあった。享和2(1802)年の記録では、秋葉社と脇宮箇所が存在した。位置不明。		
55	02266	解脱寺廃寺	青野町(不破郡)	不明	不明	寛文3(1663)年、山城八幡岩本坊(京都府)の増刷の隠居所として建立。その後青野へ移転されたが、移転時期・位置は不明。		
56	02267	専修寺	南郷町(安八郡)	不明	不明	成立時期不明だが、本尊(木本地蔵尊像)は江戸時代の建立である。単誓が開基。	G	
57	02270	東光山薬師寺	上石津町牧田萩原(石津郡)	元禄4年	臨済宗	前身は薬師堂と思われるが詳細不明。元禄4(1691)年に天喜寺の勅請開山とし心応智闇により成立。		
58	02271	真清庵跡	上石津町牧田門前(石津郡)	江戸時代	臨済宗	江戸時代に宝聚院末寺として成立されたとされるが、寺院の沿革や位置は不明。		
59	02272	淨泉院	上石津町牧田上野(石津郡)	不明	真言宗	成立時期不明。真言宗の人和國長谷寺末とされる。牛頭天王祠・基礎人明神祠・神明祠・天神祠・白山祠などが存在したという。位置不明。		
60	02273	祥雲山龍泉寺	上石津町牧田上野(石津郡)	不明	臨済宗	寛永13(1636)年に天喜寺第17世裕谷が成立。位置不明。		
61	02274	安樂寺	上石津町牧田乙坂(石津郡)	不明	臨済宗	江戸時代に養老町宇田村の大通寺末として成立。位置や沿革の詳細は不明。明治初期には廃寺名簿に記載。		
62	02276	觀音院跡	上石津町牧田(石津郡)	不明	不明	『養老郡志』によると、宝永7(1710)年五月の村調古文書内に、御本丸の寺院として乾崇寺や常法寺などと共に列記。位置不明。		
63	02279	薬師堂	上石津町一之瀬川東(石津郡)	不明	不明	延宝9(1681)年の村況に「境内東西十三間、南北三十五間、堂宇二間に三間」と記載。聴き取りでは、天喜寺南東部に薬師畑の地名が残るという。位置不明。		
64	02280	桂昌庵	上石津町多良祢宜上(石津郡)	不明	臨済宗	成立時期不明。正林寺末であり、享保13(1728)年に奥村正覚院の一坊正林坊が「正林寺」となり、その時に桂昌庵を併せたとされる。位置不明。		
65	02281	定林寺	上石津町多良上原(石津郡)	不明	臨済宗	成立時期及び沿革不明。正林寺の末寺とされる。位置不明。		
66	02282	息耕寺	上石津町三ツ里松之木(石津郡)	不明	臨済宗	成立時期及び沿革不明。元禄10(1697)年には本堂寺末となつたものと思われる。多良松之木(現三ツ里)に存在したとされるが、位置不明。		

## 16 第3章 西濃圏域の寺院

表13 大垣市参考寺院一覧表(4)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
67	02283	明光山 淨法寺	上石津町 三ツ里 松之木 (石津郡)	明和4年	浄土宗		成立時期不明。知恩院末。元は時村大字上(02283b)にあったが、明和4(1767)年に現在地に移転。大正末期に松之木平に移築された(位置不明)。地元の方への聽き取りによると、02283bは、時地区字上の中組鶴谷、延坂へ向かう道路の入口東脇の山裾に存在したといい、平坦面を確認した。	
68	02283b		淨法寺旧境内					
69	02284	隠丈寺	上石津町 宮羽ヶ原 (石津郡)	延宝元年以前	不明		成立時期不明、津島神社の延宝元(1673)年棟札に隠丈寺の社僧が加持祈祷の記載あり。元禄3(1690)年、隠丈寺境内に正覺院が移転し合併。明治初年まで共存。多良大神神社の神宮寺。	

表14 海津市寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
1	21003	慈眼山 瑞應院	海津町 高須 (石津郡)	伝天平15年	法相宗→ 真言宗		天平15(743)年、行基により成立と伝わる。元は法相宗であったが、後、真言宗智山派に転宗した。元は千手院と称していたが、元禄5(1692)年に瑞應院と改めた。	G、H、I、 石仏	P4	
2	21004	臥龍山 行基寺	南濃町 上野河戸 (石津郡)	天明元年	?→ 浄土宗		聖武天皇勅願により行基が開基。元禄13(1700)年松平津守義行が高須に封ぜられる際に臥龍山菩提寺の再興を望み、宝永2(1705)年に再興、臥龍山行基寺と称した。高須藩主の菩提寺。永和3(1377)年銘の板碑残る。元は本堂裏山の上の七重塔は、建武・元弘の乱(1331~1336)に兵火をまぬがれ天明元(1781)年現在地へ移転。	G、H、I、 石仏、 板碑、層塔		
3	21004b	行基寺旧境内 (行基寺跡)	南濃町 上野河戸 (石津郡)	14世紀前半 以前						P3
4	21008	三輪山 圓満寺	南濃町 庭田 (石津郡)	天正元年	法相宗→ 天台宗→ 浄土宗		天智天皇7(668)年に行基が開基した、聖武天皇の勅願寺。現在地より約1.5km北西の三輪に七堂伽藍その他十二神社十二の別院を建立。延暦23(804)年、法相宗から天台宗に転宗。南北朝の戦で焼失。天正元(1573)年に現在地に小堂を建て、延宝3(1675)年に堂宇完成。貞享元(1684)年、浄土宗に転宗。	G、I、石仏	P3	
5	21009	志津山 善教寺	南濃町 志津 (多芸郡)	元応年間以 前	天台宗→ 浄土宗		成立時期不明。元は天台宗に属し、勢至山岩井坊善教寺と称した。元応年間(1319~21)、相州正宗の門人志津三郎兼氏が境内に居住。天正年間(1573~92)、信長の兵火により焼失し、元和(1615~24)年間には山伏密蔵院が住職となつた。天和年間(1681~84)、慈眼寺住職典南和尚が再建、勢至山善教寺と改称。元禄3(1690)年、大垣円通寺聰菴和尚が浄土宗に転宗し、志津山東向院善教寺と改称。	G、H、I、 板碑型G、 石仏	P3	
6	21013	福聚山 慈眼寺	南濃町 津屋 (多芸郡)	17世紀前半	天台宗→ 浄土宗		嘉祥2(849)年成立。多芸七坊の一つで天台宗。福寿山藤内寺と称し等の原にあった。嘉承年間(1106~08)円通寺と改称。慶長10(1605)年に淨土宗に転宗、慈眼寺と改称。高須城主徳永昌重が現在地に堂宇建立、福寿山慈眼寺と称す。			
7	21017	西福寺	平田町 野寺 (海西郡)	永正14年	真宗		延徳3(1491)年、慶端が中島郡堀津村に一字を成立し慶覚寺と称した。永正14(1517)年、洪水により現在地に移転し、寺号を西福寺に改称。		04	
8	21018	淨國寺	南濃町 山崎 (石津郡)	永祿4年	真宗		永祿4(1561)年、淨國寺の了古が開基。尾張国甲新田正林寺末。		P3	
9	21020	光照山 桂林寺	南濃町 志津 (多芸郡)	大永3年以 前	天台宗→ 真宗		成立時期不明。元は天台宗であったが、大永3(1523)年に住職教意が真宗に転宗し、傍躰坊と称した。慶安2(1649)年に桂林寺と改称。西願寺末寺。		P3	
10	21022	空竟山 覺琳寺	海津町 長瀬 (海西郡)	文祿3年	真宗		文祿3(1594)年、西敬により成立。		P4	
11	21023	三国山 榮通寺	海津町 福江 (石津郡)	応永・正平 23年	真宗		応永元・正平23(1368)年、実惠により成立。		P4	
12	21026	龍華山 常休寺	海津町 秋江 (海西郡)	文亀元年	真宗		文亀元(1501)年、善西により成立。		P4	
13	21027	金剛山 願信寺	海津町 茅野 (石津郡)	慶長9年	真宗		慶長9(1604)年、祐了により成立。天文日記の五年四月廿六日の条に「勢州尾州濃州、此三ヶ国へ、周休を差下並上野状下、申事には、今度願證寺往生言語同断也」とある。			
14	21028	坂本山 教西寺	海津町 高須 (石津郡)	慶長9年	真宗		慶長9(1604)年、西教により成立。			
15	21029	宝樹山 唯善寺	海津町 平原 (安八郡)	寛正7年	真宗		成立時期不明であるが、開基は唯善。寛正7(1466)年、草庵で俗道場を開いた。永正11(1514)年唯善寺の寺号を得た。		P4	
16	21031	丹後山 蓮應寺	海津町 西小島 (石津郡)	文安2年	真宗		文安2(1445)年、徳応により成立。		P3	
17	21033	求聞呪山 安養坊	海津町 高須 (石津郡)	寛永元年	天台宗→ 真宗		成立時期不明。天台宗に属し下石津郡上野河戸村にあったが、その後、伊勢国南郷別保村に移転。寛永元(1624)年、正玄が真宗に転宗し現在地へ移転。			
18	21036	一乗山 淨圓寺	海津町 高須 (石津郡)	明応2年	真宗		明応2(1493)年、賢法により成立。	石仏	P4	
19	21038	一竹山 覺念寺	海津町 札野 (石津郡)	明応2年	真宗		明応2(1493)年、明寂により成立。		P4	

表15 海津市寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山院号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
20	21039		藤白山 皆得寺	海津町 外浜 (海西郡)	天文8年	真宗	天文8(1539)年、崇後に成立。			P4
21	21041		松尾山 専敬寺	海津町 大和田 (海西郡)	文明3年	真宗	文明3(1471)年、常通により成立。			P4
22	21042		大和田山 應聲寺	海津町 大和田 (海西郡)	明応元年	真宗	明応元(1492)年、祐念により成立。			P4
23	21045		比叡山 蓮臺寺	海津町 松木 (海西郡)	慶安5年	真宗	文明10(1478)年正順が尾張國中島郡大和田郷に成立、蓮台寺と称。天正2(1574)年同国竹腰村へ移転。寛永3(1626)年、美濃國中島郡大須村に慶安5(1652)年に現在地に移転。	G		
24	21046		慧日山 頓了寺	海津町 平原 (安八郡)	応永24年	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。頓了は駒野に法道場開き天台宗惠日院と称。応永24(1417)年、現在地に移転。元は天台宗で寛正元(1460)年に転宗寺号を慧日山頓了寺に改称。			P4
25	21047		多羅乘山 良源寺	海津町 日原 (海西郡)	不明	真宗	文明3(1471)年、亮源により成立。聴き取りによると、かつては長良川・揖斐川の付近にあり、後現在地に移転したとい。移転時期不明。			
26	21048		寺尾山 徳恩寺	南濃町 庭田 (石津郡)	元禄2年	法相宗→ 天台宗→ 真宗	成立時期不明、行基が開基と伝。法相宗で寺尾山元休院と称。延暦23(804)年、天台宗に転宗。文安元(1444)年、空觀が同村宇堂前に再建し真宗に転宗。慶安2(1649)年徳恩寺と改称。元禄2(1689)年、大字庭田字中道に移転。	G、石仏		
27	21049		無量寿山 來入寺	南濃町 庭田 (石津郡)	伝推古天皇 7年	法相宗→ 天台宗→ 真宗	推古天皇7(599)年、聖德太子が創立。元は法相宗であったが、天台宗のち真宗に転宗。慶長5(1600)年、教如が当寺へ入興。			P3
28	21050		水晶山 願超寺	南濃町 羽沢 (石津郡)	寛永20年	真宗	天文19(1550)年、願正(忠右衛門)により成立。寛永20(1643)年、勢州桑名郡香取村立勝寺祐法師を招き一宇を建立。			
29	21051		駒野山 三台院 南明寺	南濃町 駒野 (石津郡)	永正元年	天台宗→ 真宗	永正元(1504)年、竜曉院源正法師が開基。天台宗に属し野寺と称した。南無妙寺と号し、寛政元(1789)年、真宗に転宗し南明寺に改称。	G、H		P3
30	21052		信夫山 綠林寺	海津町 鹿野 (海西郡)	天正17年	真宗	天正17(1589)年、明順により成立。			P4
31	21055		御崎山 眞宗寺	海津町 高須 (石津郡)	寛永3年	真宗	応仁元(1467)年、祐正が成立。天正年間(1573~1592)、尾張国海西郡早尾村に移転し、寛永3(1626)年現在地へ移転。			
32	21056		雲龍山 報土寺	海津町 成戸 (海西郡)	建保5年	真宗	建保5(1217)年、慶円により成立。			P4
33	21057		弘誓山 誓賢寺	海津町 長久保 (海西郡)	文明12年	真宗	文明12(1480)年、道願により成立。享保18(1733)年の文書によると、西願寺末の誓玄寺と称した。			P4
34	21059		文明山 安立寺	海津町 大字瀬古 (海西郡)	天正18年	真宗	天正18(1590)年、法泉により成立。			P4
35	21060		臥龍山 隨願寺	海津町 深浜 (石津郡)	不明	天台宗→ 真宗	天文3(1534)年、南柳により成立。聴き取りによると、元は天台宗で、愛知県愛西市隨順寺からこの地に移転したとい。移転時期不明。			
36	21061		大悲山 願船寺	海津町 安田 (石津郡)	文明13年	真宗	文明13(1481)年、恵教により成立。			P4
37	21062		華王山 淨福寺	海津町 秋江 (海西郡)	文龜4年	真宗	文龜4(1504)年、福淨により成立。			P4
38	21063		横座山 淨嚴寺	南濃町 徳田 (石津郡)	享保20年	真宗	享禄4(1531)年に祐証が開基し真宗に属した。寛6(1666)年焼失し、元禄14(1701)年に堂宇を建立。享保20(1735)年に現在地に移転。聴き取りでは、元天台宗で北西の山麓にあり火災後に現在地に移転したとい。旧境内の詳細な位置不明。			
39	21064		獅子孔山 遠久院 津屋山 本慶寺	南濃町 津屋 (多芸郡)	明応元年	天台宗→ 真宗	伝行基成立、獅子孔山遠久寺と称し江州犬上郡河瀬庄にあつた。宗念(川瀬源吾左衛門貞信)が志津村に獅子孔山遠久寺禪坊を建立。後、野中に移築。元は天台宗、寛正4年(1463)に真宗に転宗。文正元年(1466)本慶寺と改称。他説では、文明2(1470)年に了専(貞信)が真宗に帰依し志津野中に成立。長享元(1487)年に中屋敷に移り、明応元(1492)年に領主の供養のため現在地(津屋城内)に移す。			03
40	21065		願海寺	南濃町 太田 (石津郡)	天文18年	真宗	天文18(1549)年、太田休順開基。			P4
41	21066		聖福山 了圓寺	南濃町 境 (石津郡)	慶長8年	真宗	慶長8(1603)年、稻岡円教により成立。			Q4
42	21068		般若山 清淨寺	南濃町 安江 (石津郡)	永祿6年	真宗	永祿6(1563)年、岡田清兵衛が願如上人に帰依し积了教を称した。			P3
43	21070		童曉山 徳永寺	南濃町 駒野 (石津郡)	安永年間	真宗	永正元年(1504)、竜曉院源正法師が成立、野寺と称。後に再興し唯仏寺に改、慶長年間(1596~1615)に高須城主の命で徳永寺と改称。寛永12(1635)年に城山麓に堂宇構え、安永年間(1772~81)に城移転のため現在地に移転。	G、H、石仏		

## 18 第3章 西濃圏域の寺院

表16 海津市寺院一覧表(3)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
44	21071		龍華山西淨寺	南濃町上野河戸(石津郡)	天正元年	真宗	天正元(1573)年、正林により成立。			P3
45	21072		梅木山大專寺	南濃町羽沢(石津郡)	大永5年	天台宗→真宗	成立時期不明。寺石津郡河戸庄山麓伊崎にあり天台宗。大永5(1525)年、善海法師が真宗に転宗し現在地に移転。梅木山大仙寺と称。延宝5(1677)年、大專寺に改称。	G、H、I、石仏		P3
46	21073		瑞雲山龍芳寺	南濃町上野河戸(石津郡)	大永3年	伝天台宗→真宗	大永3(1523)年、慶順により成立。聴き取りでは、元天台宗であったというが、転宗時期不明。	G、H、板碑形G、石仏		P3
47	21074		蓮華山存徳寺	南濃町山崎(石津郡)	不明	天台宗→真宗	成立時期不明、天台宗で蓮華寺と称。文安元(1444)年、西藏坊行空が再興し真宗に転宗。聴取で元は北谷蓮華台・山崎大門にあった。			
48	21076		仏照山順照寺	平田町仏師川(安八郡)	大永2年	真宗	大永2(1522)年成立、開基は貝沼西生。西願寺末寺。享保18(1733)年の文書には順正寺と記載。			04
49	21077		紫雲山覺明寺	平田町三郷(安八郡)	文明5年以降	真言宗→真宗	文明5(1473)年成立、法性寺と称した。始め真言宗。信徳者の森八海により現在地に移転、淨専坊を請じ開基とした。明応年間(1492~1501)に、覚明寺の寺号を得て真宗に転宗。	G、石仏		04
50	21078		善導山龍善寺	平田町仏師川(安八郡)	慶長4年	真宗	慶長4(1599)年、貝沼法円が成立。西願寺末寺。			04
51	21079		法性山萬念寺	平田町幡長(海西郡)	文明10年	真宗	文明10(1478)年に円順が開基し、万念寺の寺号を得た(前念寺とする説もある)。			04
52	21080		極樂山正休寺	平田町野寺(海西郡)	永正3年	真宗	永正3(1506)年に正休が開基し、正林寺と称した。	G		04
53	21081		式部山西雲寺	平田町岡(海西郡)	永祿7年	真宗	永祿7(1564)年、尾州藩の八神忠主毛利元盛の子了恵(毛利式部)が成立。			04
54	21082		正法山西源寺	平田町今尾(安八郡)	慶長15年	天台宗→真宗	成立時期不明。元は天台宗であったが、天文7(1538)年、覺恵(三輪門之丞義正)が真宗に転宗、西源寺の寺号を得た。成戸村報土寺末寺。慶長15(1610)年、今尾村に移転。			
55	21083		黃金山専通寺	南濃町奥条(石津郡)	寛永2年頃	天台宗→真宗	成立時期不明であるが、元は天台宗に属した。寛永2(1625)年に義道が開基。東本願寺末。			
56	21084		宝池山大乘院明蓮寺	平田町西島(安八郡)	不明	天台宗→真宗	元は天台宗、文明元(1469)年に心子が転宗、前念寺と称。他説で木村にあり寺門散光輪坊が法相宗真福寺を八幡宮地前に移転、宝池山大乘院妙蓮寺と改称。文明年間(1469~87)報土寺末寺、大永2(1522)年に真宗の道場、慶長9(1604)年に明蓮寺と改称。現在地への移転時期不明。			
57	21085		不動山円超寺	平田町勝賀(安八郡)	宝徳3年以前	真言宗→真宗	成立時期不明。元は真言宗に属し法性坊と称した。宝徳3(1451)年又は延徳2(1490)年に真宗に転宗。第3世了西が圓超寺と改称。	G		04
58	21087		紫雲山中嶋寺	南濃町吉田(石津郡)	天正7年	真宗	天正7(1579)年、水谷祐淨が開基。元和7(1621)年に全正寺の寺号を得たが、延宝3(1675)年に中嶋寺と改称。			P4
59	21089		明圓山妙勝寺	平田町蛇池(安八郡)	徳治元年以前	真言宗→真宗	成立時期不明。開基は真澄(徳治元(1306)年没)。元は真言宗であったが、宗祖大師に帰依した際に真宗に転宗。			04
60	21090		金色山円光寺	平田町者結(海西郡)	寛文4年	真宗	慶長2(1597)年、安八郡則安村に浄念が成立。寛永2(1625)年に海西郡野市場村に、さらに寛文4(1627)年に現在地に移る。	G、H、石仏		
61	21091		鳳雲山蓮休寺	平田町三郷(安八郡)	文亀元年	天台宗→真宗	文亀元(1501)年、天台宗の東尋坊(中島四郎左衛門)により成立。寛永14(1637)年、真宗に転宗。成戸村報土寺末。	G、石仏		04
62	21092		三光山淨圓寺	平田町須賀(安八郡)	不明	真宗	応仁2(1468)年に慶祐が成立。第5代浄圓の頃に勝村に道場を建て、後に現在地に移転。移転時期不明。	G、石仏		
63	21094		今尾山淨德寺	平田町今尾(安八郡)	文明12年	真宗	文明12年(1480)、祐膳開基。6世徳淨(元今尾城主)が淨德寺の寺号を得た。			04
64	21095		高橋山淨雲寺	平田町土倉(安八郡)	永正16年	真宗	西仁が承元元(1207)年法然上人を館に招待。高橋左近言真は西仁の意を継ぎ、本願寺三世覺如上人に帰依、淨了が本願寺の徒弟となり永正16(1519)年に寺号賜る。			P3
65	21096		安住山真光寺	平田町脇野(安八郡)	元禄年間	天台宗→真宗	永正7(1510)年、玄祐が成立。天台宗に属し伊勢国にあった。空正の代に真宗に転宗し美濃國西郷に移住。後に高須町に、さらに元禄年間(1688~1704)に現在地に移転。	G		
66	21097		紫雲山安証寺	平田町高田(安八郡)	中世か	天台宗→真宗	成立時期不明。元は天台宗であったが、教如上人(慶長19(1614)年没)に帰依し、宣如上人(万治元(1658)年没)の時、惣道場安証寺の号を得た。東本願寺末。			P4
67	21098		小笠原山西願寺	平田町今尾(安八郡)	伝寛政2年	天台宗→真宗	成立時期不明であるが、天台宗に属し尾州松山にあった。天福元年(1233)、願心房が真宗に転宗し西願寺に改称。文暦年間(1234~1235)、濃州安八郡脇田村に移り、更に松ノ木村に、再び脇田村に戻り、後現在地に移転(寛政2(1790)年に城郭拡張のため移転)。天正期に16寺、享保18年に24寺の末寺あり、安八・海西・不破3郡の他、尾張国に勢力が及んでいたとされる。	G		

表17 海津市寺院一覧表(4)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
68	21099		専要山西林寺	海津町高須(石津郡)	慶長7年	真宗	慶長7(1602)年、慶徳により成立。			P4
69	21102		菩薩山寒窓寺	南濃町上野河戸(石津郡)	承応3年以降	法相宗?→臨済宗	天平年間(729~749)、聖武天皇の勅命で行基が成立と伝わる。承応3(1654)年、高須城主小笠原土佐守貞信が臥龍山菩提寺を再興し、臥龍山寒窓寺と改めた(21098b、現境内南西側)。その後、越州勝山海禅寺三世列道和尚が再興し、菩薩山寒窓寺に改称。成立当初の旧境内は位置不明。	G、石仏		
70	21102b		寒窓寺旧境内	南濃町上野河戸(石津郡)	承応3年					
71	21106		万歳山廣徳寺	海津町高須(石津郡)	慶長6年	臨済宗	成立時期は不明。興禪寺と称し安八郡直江村で開基。夢相開山という。慶長6(1601)年に高須村に移転し、廣徳寺と改称。			P4
72	21109		瑞祥山圓成寺	南濃町太田(石津郡)	宝永5年	天台宗→曹洞宗	天平6(734)年、行基が開基、天台宗。天文5(1536)年、智空中興曹洞宗に転宗、守護小稻葉城主太田左馬之助頼高の菩提寺。長島一揆で焼失。宝永5(1708)年、今須妙応寺18世笑山開山、笠峯が現在地に再建。享保4(1719)午圓成寺に改称。			
73	21110		菅井山最勝寺	平田町今尾(安八郡)	元禄5年以前	天台宗→曹洞宗	成立時期不明。元は天台宗に属したが、元禄5(1692)年、第17世俊品良英和尚が曹洞宗に転宗。閑ヶ原の妙応寺末。			03
74	21113		翠光山常栄寺	平田町今尾(安八郡)	慶長10年	日蓮宗	成立時期不明、字蛇池付近にあった。慶長10(1605)年、京都妙伝寺日惠聖人が開基となり今尾城主が現在地へ移転、山号を市橋山とした。元和5(1619)年に山号を翠光山と改称。	G		
75	21115		春日山鹿野苑院真福寺	不明	不明	法相宗→真言宗?	成立時期不明。09005徳林寺とともに土岐頼遠の祈禱所。法相宗に属し木村にあり春日山鹿野苑院真福寺と称。度々洪水により堂宇流れ小堂を再建。元尾張後村父子の寄進地に建立、中島觀音堂と称。近国6か国の真言宗の本寺であり塔頭も12坊を数えた。位置不明。			
76	21116		福林寺	平田町今尾(安八郡)	不明	真言宗か	成立時期不明。大須宝生院所蔵の高野山秘記奥書に「康永四年濃州郡戸庄内今尾福林寺」と記載。位置不明。写経の種類から真言宗であった可能性がある。			
77	21117		高田寺	平田町今尾高田(安八郡)	不明	不明	天平宝字7(763)年、前監物主典從七位上高田登足人が高田寺の僧を殺し下獄、封を没収さる。この高田寺と奈良県桜井市高田の高田寺を本寺説あり。位置不明。			
78	21118		増福寺	平田町蛇池(安八郡)	不明	真言宗	成立時期不明であるが、真言宗に属したとされる。一宮市童光寺所蔵の春日版大般若経7巻の裏面に「美濃国駿田郷増福寺」と魚形の黒印が押捺されている。この増福寺は駿田部落の南方の字前並にあったが慶長8(1603)年の洪水で寺が廃絶し、元増福寺の墓地にあった蛇池宝篋印塔を宝延寺に移したという。位置不明。			
79	21119		観音寺	平田町勝賀(安八郡)	不明	不明	成立時期不明。勝村郷内の鳩森神社の神宮寺であり、観応3(1352)年に同神社の祢宜が社領の一部を観音寺に寄進したとされる。位置不明。			
80	21120		普賢院超光寺	平田町野寺(海西郡)	不明	不明	成立時期不明。海西郡野寺村にあり、伝教大師成立とされる。位置不明。			

表18 海津市参考寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	21001		高野山弘正寺	平田町今尾(安八郡)	不明	真言宗	成立時期及び沿革不明。	
2	21002		南山東天寺教会	南濃町駒野(石津郡)	不明	真言宗	成立時期不明及び沿革不明。	
3	21005		護国山宝延寺	平田町蛇池(安八郡)	不明	浄土宗	成立時期及び詳細な沿革不明。明治維新の際、廢寺となった。境内の頬光塚(蛇池宝篋印塔)や石塔婆は、慶長8年(1603)年の洪水で増福寺が廃絶したため移転されたという。	G、H
4	21006		宝樹院	南濃町山崎(石津郡)	貞享年間	浄土宗	貞享年間(1684~1688)、高須円心寺の法眷が当地へ隠居の際に、本寺中の院号を移転。	I
5	21007		明徳山薬師寺	平田町須賀(安八郡)	享保元年以前	浄土宗	成立時期は不明。享保元(1716)年に教法院専教師が再興。	G、石仏
6	21010		綜蓮庵	南濃町志津(多芸郡)	寛正11年	浄土宗	寛政11(1799)年、志津山善教寺の綜蓮社練菴上人が念佛道場の私庵として開基。綜蓮庵と称した。	
7	21011		要行山圓心寺	海津町高須(石津郡)	元和6年	浄土宗	元和6(1620)年、綠山により成立。庫裏内に文政8(1825)年作の地図あり、本寺の位置に「満福山圓心寺」と記載あり。	H、I、石仏
8	21012		臨迎寺	南濃町志津(多芸郡)	不明	浄土宗	成立時期不明。元は庭田円満寺の塔頭で庭田字三輪にあり、臨迎寺と称した。円満寺12世良舟彗海が移転。移転時期不明。	

表19 海津市参考寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
9	21014		提徳院	海津町 福岡 (石津郡)	正徳2年	浄土宗	正徳2(1712)年、道心により成立。現在は「福岡多目的集会場」で、半鐘が掛り「提徳院」の札を掲げる。札には「円心寺十九世」の記載あり。	
10	21015		高西山 地蔵寺	海津町 高須 (石津郡)	享保11年	浄土宗	享保11(1726)年、緑山により成立。	石仏
11	21016		東明山 瑠璃光院 薬師寺	海津町 帆引新田 (石津郡)	宝暦10年	浄土宗	宝暦10(1760)年、慧柔により成立。	
12	21019		宝林山 西方寺	海津町 平原 (安八郡)	慶安元年	真宗	慶安元(1648)年、西方が成立。蓮如上人真影の裏書に「濃州石津郡河戸莊内成田、内野小堤村」と記載。	
13	21021		如意山 安楽寺	海津町 福一色 (海西郡)	元和7年	真宗	元和7(1621)年、福尊により成立。	
14	21024		薩雲山 遠照寺	海津町 駒ヶ江 (海西郡)	正保3年	真宗	正保3(1646)年、西敏により成立。	
15	21025		法龍山 皆受寺	海津町 金廻 (桑名郡)	元和元年	真宗	元和元(1615)年成立。	
16	21030		高須別院 二恩寺	海津町 高須 (石津郡)	文政12年	真宗	文政12(1829)年、達如開基により桑名御坊掛所として建立。安政年間(1854~1860)に成立し、明治11(1878)年に別院と改称。	
17	21032		水照山 法円寺	海津町 高須 (石津郡)	正保3年	真宗	正保3(1646)年、祐心により成立。	石仏
18	21034		熊谷山 皆善寺	南濃町 戸田 (石津郡)	17世紀前半頃	真宗	了伝が養老山中三宝山にて専ら念仏修行し寺基を開く。宣如筆御讚付の宗祖御影から、当寺の開基は宣如(万治元(1658)年没)時代と考えられている。	
19	21035		解脱山 圓勝寺	海津町 稻山 (石津郡)	正保元年	真宗	正保元(1644)年、祐意により成立。	
20	21037		光照山 伝号寺	海津町 東小島 (石津郡)	延宝2年	真宗	延宝2(1674)年、宗存により成立。	
21	21040		桑原山 蓮念寺	海津町 立野 (海西郡)	寛文10年	真宗	寛文10(1670)年、明林により成立。	
22	21043		高津山 願立寺	海津町 高須 (石津郡)	慶長19年	天台宗→ 真宗	成立時期不明であるが、天台宗に属した。慶長19(1614)年、了意が成立。	
23	21044		紫光山 龍蓮寺	海津町 馬目 (石津郡)	慶長19年	真宗	慶長19(1614)年、証誓により成立。	
24	21053		光耀山 圓滿寺	海津町 神桐 (海西郡)	慶長13年	真宗	慶長13(1608)年、了誓により成立。	
25	21054		最勝山 正念寺	海津町 札野 (石津郡)	延宝元年	真宗	延宝元(1673)年、正善により成立。	
26	21058		鶴泉山 統攝寺	海津町 帆引新田 (石津郡)	正徳2年	真宗	正徳2(1712)年、淨泉により成立。	
27	21067		西敬寺	南濃町 境 (石津郡)	慶長16年以降	真宗	慶長16(1611)年、祐珍法師が開基。元伊勢国香取にあったが、2代祐照法師が現在地に移転。	
28	21069		安田山 教覚寺	南濃町 田鶴 (石津郡)	延宝5年以降	真宗	慶安4(1651)年、小笠原土佐守貞信公から法泉寺が太田新田に新たな寺屋敷を賜り、延宝5(1677)年に教覚寺の寺号を得た。その後、度重なる水害のため移転(移転時期は不明)。	
29	21075		円通寺	平田町 蛇池 (安八郡)	享保元年	真宗	享保元(1716)年、実応により成立。	G
30	21086		願超寺	南濃町 松山 (石津郡)	寛永20年	真宗	寛永20(1643)年、祐念開基。聴き取りによると、祐念は多度町袖井立勝寺の僧であり、初めは道場であったという。	
31	21088		梅松山 阿弥陀寺	平田町 三郷 (安八郡)	寛永2年	真宗	寛永2(1625)年、雄蓮により成立。聴き取りでは、地頭地主であった早川家の堂として建立されたという。	
32	21093		光円寺	平田町 脇野 (安八郡)	不明	真宗	成立時期不明であるが開基は顕清。	
33	21100		龍蓮寺	南濃町 津屋 (多芸郡)	不明	真宗	詳細不明。現地には神社あり。	
34	21101		貞松山 長江院	平田町 野寺 (海西郡)	安永2年	臨濟宗	安永2(1773)年、安八郡下大博村心岩院天叟が成立。	G

表20 海津市参考寺院一覧表(3)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
35	21103		大悲山 覺法寺	南濃町 上野河戸 (石津郡)	不明	臨済宗	宝永2(1705)年、委心により成立。江州伊庭庄法光寺末。	G、I
36	21104		円成寺	海津町 帆引新田 (石津郡)	不明	臨済宗	貞享2(1685)年、諦善により成立。位置不明。	
37	21105		三宝山 真正寺	南濃町 奥条 (石津郡)	不明	臨済宗	成立時期不明及び沿革不明。	G、H、I、石 仏
38	21107		秋江山 清光院	海津町 秋江 (海西郡)	寛文3年	曹洞宗	寛文3(1663)年、龜春により成立。	
39	21108		石津山 昌運寺	海津町 高須 (石津郡)	万治2年	曹洞宗	万治2(1659)年、異川により成立。	G、H、石仏
40	21111		宝珠山 春光寺	海津町 鹿野 (海西郡)	不明	曹洞宗	成立時期及び沿革不明。	
41	21112		啓運山 法華寺	海津町 高須 (石津郡)	元禄15年	日蓮宗	元禄15(1702)年、弘誓により成立。境内管理する方によると、高須の殿様が祈願寺として建てたといい、「高須日記」中に法華寺の記載残る。境内北東部に本堂跡地の高台あり。	G
42	21121		豊秀山 開善寺	平田町 高須 (安八郡)	不明	不明	成立時期不明。元禄4(1691)年に高須藩主小笠原貞信が越前国勝山に移封の際に禅海寺と改。大正時代に廃寺、寒窓寺に合併。圓心寺藏の文政8(1825)年絵図に「豊秀山開善寺」と記載、本寺は圓心寺の西側にあり。	
43	21122		智通寺	平田町 今尾元町 (安八郡)	不明	真宗	成立時期は不明。寛文12(1672)年、今尾元町から大牧新田に移転。位置不明。	
44	21123		長休寺	平田町 今尾東町 (安八郡)	不明	不明	成立時期は不明である。三州野寺村本証寺末寺。享保9(1724)年、今尾東町から安八郡大吉新田に移転。位置不明。	
45	21124		竜王院	海津町 馬自 (石津郡)	不明	不明	元禄15(1702)年、弘誓が開基。昭和36年に廃寺となる。位置不明。	
46	21126		月輪寺	南濃町 山崎 (石津郡)	不明	不明	聞き取りによると、愛知県の長福寺別邸という。	

表21 養老町寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
1	24001		仏照山 玉泉寺	金屋 (多芸郡)	応永元年	天台宗	応永元(1394)年、貞舜の開基といわれている。	G、H、I、 石仏		03
2	24003		護國山 久保寺	養老 (多芸郡)	昭和2年	天台宗	昭和2(1927)年に郡上郡長瀧寺山内大日坊を移して久保寺と改称した。	G、 石仏(柏尾 廃寺出土)		
3	24010		華光山 妙円寺	上方 (多芸郡)	文明11年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。文明11(1479)年、真宗本願寺派に転宗。貞享4(1687)年本尊を受け、正徳3(1713)年本堂再建。元は天台宗であったと伝。	G、I		03
4	24011		醍醐山 寿量院 専了寺	栗笠 (多芸郡)	中世	天台宗→ 真宗	治承元(1177)年成立。勢至村にあり勢至千軒寺3か寺の一つ。後、栗笠に移転(移転時期不明)。聽取で元は天台宗、文明17(1485)年に真宗大谷派に転宗。	G、H、I、 板状G、 石仏		03
5	24012		満促山 覚林寺	大野 (多芸郡)	大永2年	真宗	大永2(1522)年成立。享保6(1721)年に本堂を再建している。			03
6	24013		寂光山 正覚寺	安久 (多芸郡)	明治14年以 降	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。天台宗であったが、慶長2(1597)年に転宗。明治14(1881)年、牧田川の洪水により堂宇流失。また聞き取りによると、牧田川改修工事により現在地に移転。			
7	24014		慈願山 徳願寺	安久 (多芸郡)	応仁2年	?→ 真宗	応仁2(1468)年に伊東彦重郎善光により成立。時期は不明だが、真宗大谷派に転宗した。本寺の境内から外の南側には過去に寺院があり、墓地を住職が遺物や墓を安置し直した。	G、I		03
8	24015		藤田山 西勝寺	宇田 (多芸郡)	鎌倉時代	天台宗→ 禪宗→ 真宗	鎌倉時代の成立で天台宗に属し実相院と称した。貞和6(觀応元)・正平5(1350)年に真宗に転宗。応安年間(1368~75)の頃、禪宗に帰依し、最勝寺に改めた。大永6(1526)年、再び真宗大谷派に転宗。元和2(1616)年に西勝寺の寺号を得た。	G、H、I、 石仏、層塔		03
9	24016		椿井山 淨誓寺	石畠 (多芸郡)	伝古代	天台宗→ 真宗	成立時期不明であるが、開基は淨隆(寺伝によると、聖武天皇に隨行した行基の弟子という)。天台宗に属し誓願寺と称した。明応4(1495)年に真宗に転宗し淨誓寺と改めた。	G、H、I、 板状G、 石仏		03
10	24017		竹林山 長願寺	室原 (不破郡)	永正10年	天台宗→ 真宗	永正10(1513)年僧正応が成立。寺伝によると、元は天台宗であったが、寛永年中(1624~44)真宗大谷派に改宗した。			N3
11	24022		高樹山 應順寺	中 (多芸郡)	享禄2年	天台宗→ 真宗	成立時期は不明であるが天台宗に属し、證願寺と称し養老町の上多度村大字小倉にあった。享禄2(1529)年に現在地に移転、真宗大谷派に転宗し応順寺と改めた。			03
12	24024		永代山 称名寺	根占地 (多芸郡)	寛永11年	天台宗→ 真宗	文永年間(1264~1275)に成立。元は天台宗、永正12(1515)年に転宗。元和年間に今尾町、寛永年間に中郷村に移り、寛永11(1634)年再び当地に戻る。			03
13	24025		専念寺	高田 (多芸郡)	15世紀以前	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。文化11(1814)年に焼失し由緒不明、蓮如上人(明応8(1499)年没)時に天台宗から転宗。	G		03

表22 養老町寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
14	24026		養流山 淨本寺	高田 (多芸郡)	明応 9年	?→ 真宗	明応9(1500)年に成立し淨本寺と称した。同年に真宗大谷派に転宗したとする説もある。	G、I		03
15	24027		了福寺	竜泉寺 (多芸郡)	寛正5年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。元は天台宗であったが、寛正5(1464)年に真宗大谷派に転宗し了福寺に改めた。	G、I、 古瀬戸		03
16	24030		三光山 明圓寺	根古地 (多芸郡)	不明	真宗	大永3(1523)年に成立。真宗大谷派に転宗、転宗時期不明。聴き取りによると、三河の本悟寺から移転したという。移転の時期不明。			
17	24031		東耀山 林覚寺	五日市 (多芸郡)	近代	天台宗→ 真宗	寛正2(1461)年、西蔵坊惠現が開山。天台宗に属した。文明16(1484)年真宗に転宗し、寛永16(1639)年に東耀山林覚寺と改めた。元は現在地から500m東にあったが、120年前に現在地に移転したという。			
18	24032		柏尾山 存徳寺	柏尾 (多芸郡)	16世紀	天台宗→ 真宗	24086柏尾庵寺跡が織田信長により焼き払われたため、1500年代に現在地に建立。元は天台宗であったが真宗大谷派に転宗し、存徳寺と称した。天文10(1541)年、真宗大谷派に改宗し存徳寺と称した。	G、H、I、 板状G、 石仏、 宝塔		03
19	24036		多度山 正慶寺	養老 (多芸郡)	永正 7年	天台宗→ 真宗	永正7(1510)年に了念が成立し天台宗に属した。時期は不明だが真宗大谷派に転宗した。	G		03
20	24037		法龍山 尊光寺	船附 (多芸郡)	慶長11年	天台宗→ 真宗	長祿2(1458)年、滋賀県の坂本に創建、天台宗・慶長11(1606)年に了教が現在地に再興し、真宗大谷派に転宗。			
21	24038		宝珠山 淨誓寺	下笠 (多芸郡)	文明13年	天台宗→ 真宗	久寿2(1155)年に成立。天台宗に属し妙香山宝珠院觀音寺と称した。文明11(1479)年、真宗大谷派に転宗し淨誓寺と改めた。觀音寺と称した当時は小字構、小字懐の西の地にあったと伝わるが、文明13(1481)年に現在地に移った。	G、H、I、 板状G、 石仏		03
22	24039		人悲山 願専寺	上之郷 (多芸郡)	大同 3年	天台宗→ 真宗	大同3(808)年に玄賓が開基。応徳2(1085)年に再建されたが荒廃。文治3(1187)年、天台宗の寺院として源熙院と称したが、明応6(1497)年に真宗大谷派に転宗し願専寺に改めた。	G、I、石仏		03
23	24040		靈瑞山 蓮光寺	直江 (多芸郡)	文明11年	天台宗→ 真宗	文明11(1479)年に成立。聴き取りによると、元は天台宗であったが、真宗大谷派に転宗した。転宗時期不明。	G、H		03
24	24041		光雲山 楽邦寺	祖父江 (多芸郡)	不明	真宗	文明4(1462)年に淨元が成立し、天正7(1579)年に淨了が再興した。聴き取りでは、現境内の北東部から移転したというが、移転時期は不明。	G		03
25	24042		飛雲山 蓮生寺	大坪 (多芸郡)	元禄 9年	真宗	慶長2(1597)年に釈賢海が成立し、同じ町内の若宮神社付近にあった。元禄9(1696)年に現在地に移転した。			
26	24042b		蓮生寺旧境 内	大坪 (多芸郡)	慶長 2年					N3
27	24043		瑞華山 蓮澤寺	色目 (多芸郡)	伝大永 4年	真宗	大永4(1524)年の成立は定かではないが、寺内に文化年間(1804~18)の記録が残っている。正徳2(1712)年と安政3(1856)年に再建した。			N3
28	24044		焼栗山 西徳寺	宇田 (多芸郡)	寛正 6年	真宗	寛正6(1465)年、京都山科別院を譲り受け成立。時期は不明だが、真宗大谷派に転宗した。	H、G、I、 石仏		03
29	24045		小倉山 福勝寺	小倉 (多芸郡)	元応 2年	伝天台宗→ 真宗	元応2(1393)年に成立。西勝房と称したが、後に福勝寺と改めた。聴き取りによると、元は天台宗に属したという。	H、G、I		03
30	24046		法性山 西福寺	押越 (多芸郡)	天正11年	伝天台宗→ 真宗	天正11(1583)年に観専成立。聴き取りによると元は天台宗であったが、永正3(1506)年に真宗大谷派に転宗した			03
31	24047		受誓寺	高田 (多芸郡)	文明14年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。天台宗に属し天台宗蓮寺と称したが、文明14(1482)年、真宗大谷派に転宗して受誓寺と改めた。	G、H、石仏		03
32	24048		石津山 善正寺	鳥江 (多芸郡)	昭和期	天台宗→ 真宗	永仁元(1293)年に成立。天台宗で、石津山大恩院と称す。文明16(1484)年に真宗に転宗、大永3(1523)年に善正寺に改。昭和の牧田川改修工事で移転を繰り返す。	G、石仏		
33	24049		景陽寺	高田 (多芸郡)	天文14年	真宗	天文14(1545)年に成立。慶安4(1651)年に景陽寺の寺号を得た。	G、I		03
34	24050		弘誓山 淨雲寺	下笠 (多芸郡)	元亀 2年頃	真宗	建暦2(1212)年に慶雲が開基、天台宗。元亀2(1571)年比叡山の焼き討ちで長野県戸隠から現在の地に移転。転宗の時期不明。			03
35	24051		光雲山 安福寺	室原 (不破郡)	文明 8年	真宗	天平年間(729~749)に行基が河内国安福郷に成立の畿内四十九院の一つ。建長6(1254)年再建。文明8(1476)年に当地に移転。	G、石仏		N3
36	24052		金龍山 長圓寺	飯ノ木 (多芸郡)	大永 2年	真宗	大永2(1522)年に成立。実如上人より弥陀の御絵像の下附を受けた。			03
37	24053		盧舍那山 真泉寺	沢田 (石津郡)	天正年間以 降	天台宗→ 真宗	成立時期不明。天台宗で大威德山正願院。当時觀世音講堂・弥陀尊金堂・護摩堂・経営堂あり天正年間(1573~92)兵火で焼失。大永3(1523)年、真宗大谷派に転宗。旧境内(24053b)山中に「寺坂」の地名、平坦面・墓地の石積み確認。	G、H		03
38	24053b		真泉寺旧境 内	沢田 (石津郡)	天正年間以 前				03	
39	24054		了覚寺	蛇持 (多芸郡)	長祿元年	真宗	長祿元(1457)年に開基。時期は不明だが、真宗大谷派に転宗した。	G、H		03
40	24055		竹林山 相順寺	飯田 (多芸郡)	天文 5年	真宗	天文5(1536)年に成立。時期は不明だが、真宗大谷派に転宗した。元和6(1620)年に本堂を建立した。			03
41	24056		象鼻山 念長寺	橋爪 (多芸郡)	享祿元年以 前	真宗	成立時期は不明。享祿元(1528)年に真宗大谷派に転宗し、象鼻山念長寺と称した。栗原九十九坊の一つといわれている。			03
42	24057		紫雲山 淨蓮寺	三神町 多岐墳 (多芸郡)	天文 5年	天台宗→ 真宗	成立時期は不明であるが天台宗に属し、青蓮寺と号した。天文5(1536)年、真宗大谷派に転宗し淨蓮寺と改めた。	G、I		03
43	24058		飯積山 光敬寺	飯積 (多芸郡)	天文 3年以 前	法相宗→ 天台宗→ 真宗	成立時期は不明であるが現在地に移転し天台宗に転宗し、さらに天文3(1534)年、真宗大谷派に転宗した。	石仏		03

表23 養老町寺院一覧表(3)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
44	24060		西林寺	一色 (多芸郡)	寛正2年	真宗	寛正2(1461)年成立、西林坊と称した。昭和17(1942)年に西林寺と改めた。	G、 石仏、板碑		03
45	24061		東郡山 福智院 興専寺	栗笠 (多芸郡)	明治38年	真宗	聴き取りによると、文和年間(1352~56)に興専法師が開基。明治38年に現在地に移転したという。なお、文明16(1484)年に真宗大谷派に転宗。	G、H、I、 石仏		
46	24063		文殊山 智通寺	大巻 (安八郡)	寛正元年	真宗	寛正元(1460)年に成立。天和3(1683)年、真宗大谷派に転宗。			03
47	24064		紫雲山 法覚寺	船附 (多芸郡)	永禄元年	真宗	大永6(1526)年、慶了(安田織部)が、養老町大野の米野に安田法覚寺を成立了。永禄元(1558)年に現在地に移転、慶長11(1606)年に真宗大谷派に転宗。	G		03
48	24065		安久山 長頸寺	西岩道 (多芸郡)	永正年間	天台宗→ 真宗	永正(1504~1521)頃に法珍が開基。天台宗に属した。寛永年間(1624~1644)に転宗。			03
49	24066		元正院 瀧寿山 養老寺	養老公園 (多芸郡)	天正18年	法相宗→ 天台宗→ 真宗	多芸七坊の一つ。養老元(717)年又は天平宝字年間(757~765)に源氏内閣基が開基、法相宗に属す。元正天皇病氣の平癒の勅願所。平安時代に天台宗に転宗。永禄5(1562)年に織田信長の兵火により焼失、天正18(1590)年に小堂建て現在地に養老寺を再建。慶長18(1613)年に真宗大谷派に転宗。			03
50	24068		光雲山 隨陽寺	大跡 (多芸郡)	文禄3年	天台宗→ 真宗	文禄3(1594)年に善慶が開基し、天台宗に属した。時期は不明だが、真宗大谷派に転宗した。			03
51	24069		養老山 西源寺	大跡 (多芸郡)	慶長年間	真宗	慶長年間(1596~1615)に成立。聴き取りによると、成立当時から当地に残る。			03
52	24070		無量山 常性寺	岩道 (多芸郡)	天文5年	?→ 真宗	天文5(1536)年に成立、岩銅山常性寺と称す。時期不明で真宗大谷派に転宗、天保15(1844)年に無量山常性寺と改称。	G		03
53	24071		勢至山 専明寺	鷲巣 (多芸郡)	寛永年間	天台宗→ 真宗	元は天台宗で勢至村にあって勢至山光堂寺と称し、多芸七坊の一つ。寛正5(1464)年に真宗に転宗。寛永年間(1624~1644)に鷲巣村に移転。			
54	24071b	市	勢至山 光堂寺 (光堂寺廢寺跡) (勢至寺跡)	勢至・ 石畠 (多芸郡)	天平年間 若しくは 天平宝字年 間	天台宗	本文参照	本文参照	66	03
55	24072		有保山 明樂寺	有尾 (多芸郡)	文明年間以 前	法相宗→ 真宗	成立時期は不明であるが、法相宗に属し薬師寺と称した。文明年間(1469~1487)に真宗に転宗し明樂寺と称した。			03
56	24073		龍鐘山 祐泉寺	蛇持 (多芸郡)	大永4年	天台宗→ 真宗	大永4(1524)年に開基。聴き取りによると、元は天台宗に属した。時期は不明だが、真宗大谷派に転宗した。	G		03
57	24074		西光院	直江 (多芸郡)	不明	天台宗→ 時宗	弘仁9(818)年に成立し天台宗に属した。応永17(1410)年に時宗に転宗。元字経堂という地にあったが、洪水のため字村下に移転、移転時期不明。現在は「時宗西光寺」という石碑が残るのみで空地となっている。			
58	24077		智源山 大通寺	宇田 (多芸郡)	文和2年・ 正平8年 若しくは 応永32年	臨済宗	文和2・正平8(1353)年又は応永32(1425)年に成立。土岐悪五郎康貞の開基であり、合戦により亡くなった一族郎党の靈を弔うために建てられた。	G、H、I、 石仏		03
59	24078		禪応山 福源寺	室原 (不破郡)	文明7年以 前	臨済宗	成立時期は不明であるが、文明7(1475)年の過去帳がある。天正3(1575)に文華が再興するが寛文10(1670)年に焼失し、宝永5(1708)年に復興。熊野神社の宮寺であった。	G、H、I、 石仏		N3
60	24079		松嶽山 實相寺	祖父江 (多芸郡)	天文16年	臨済宗	天文16(1547)年に段海村の城主祖父江新五左衛門を菩提を弔うため建立。天正年間(1573~92)、兵火のため焼失。慶安3(1650)年に堂宇を建立し、天和元(1681)年に再建。	G、H、石仏		03
61	24082		莊福寺	押越 (多芸郡)	昭和7年	臨済宗	建久年間(1190~1199)、阿波守小笠原長清が成立。貞治2(1363)・正平18(1363)年に中興したが、元禄12(1699)年に焼失。昭和7(1932)年、牧田川改修工事により大墳城跡から現在地に移転した。	G、H、I、 石仏		
62	24082b		莊福寺旧境 内	泉町 (多芸郡)	建久年間					03
63	24083		小倉山 光明寺	鷲巣 (多芸郡)	文禄元年	天台宗→ 曹洞宗	天平年間(729~749)に光明皇后の発願で成立され、天台宗に属し小倉山光明寺と称した。多芸七坊の一寺。元亀(1570~1573)の頃織田信長に焼かれた。文禄元(1592)年に鷲巣村に堂を建てたが、安政元(1854)年に焼失し、薬師堂が残る。			03
64	24085		觀音寺	鷲巣 (多芸郡)	不明	単立	成立時期及び沿革不明。位置不明。			
65	24086	県	柏尾寺 (柏尾庵寺跡)	柏尾表山 (多芸郡)	天平年間	法相宗→ 天台宗	本文参照	本文参照	60	03
66	24087	市	大威德山 竜泉寺 (竜泉寺廢寺跡)	竜泉寺 (多芸郡)	伝天平宝宇 年間	天台宗	本文参照	本文参照	64	03
67	24093		自立山 妙徳院	三神町 (多芸郡)	永享5年	不明	永享5(1433)年に舜水が草創、元和年間(1615~24)に法藏が中興。多岐神社の別当寺。福祖センター東隣に石碑あり。	G、H、I、 石仏		03
68	24094		光明寺 (薬師山遺 跡)	鷲巣・ 若宮 (多芸郡)	中世以前	法相宗→ 天台宗	本文参照	本文参照	70	03

表24 養老町参考寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	24002		安養院	童泉寺 (多芸郡)	明治10年以前	天台宗	成立時期不明であるが、觀音堂と称した。明治10(1877)年に焼失し、昭和6(1931)年、茨城県の安養院と合併して再興。	G、H、I、 板状G、 石仏
2	24006		東光山 林照院	瑞穂 (多芸郡)	寛文年間	淨土宗	寛文年間(1661~73)に成立し柳照庵と称した。明治初(1868)年に廃庵。過去に24008天照寺の住職が隠居をする場として、本寺院が建てられたといふ。明治期に廃案となつたが、現在は再建されている。	
3	24007		高稱山 生蓮寺	船附 (多芸郡)	正徳元年	淨土宗	正徳元(1711)年に淨念が成立。松寿寺(旧蓮生寺)を捨て、阿弥陀堂として建てられた。何度も中絶と再興を繰り返し、弘化元(1844)年に再興。	G、石仏
4	24008		八幡山 宝地院 天照寺	根古地 (多芸郡)	明暦3年	淨土宗	明暦3(1657)年に成立。聽き取りによると、海津市の円心寺住職が引退し当地に寺を建てられた。	G、I、石仏
5	24009		明光院	下笠 (多芸郡)	不明	淨土宗	成立時期及び沿革不明。現在は廃寺となっている。	
6	24020		教正寺	泉町 (多芸郡)	不明	真宗	成立時期及び沿革不明。「道場」と書かれた石碑があり、24090道場のことを指していると思われ、本寺と関係が深いと考えられる。	
7	24021		金龍山 玉洞寺	江月 (多芸郡)	昭和30年	天台宗→ 真宗	寛永年間(1624~1644)了春が開基。天台宗で後に真宗大谷派に転宗。栗原九十九坊の四天院玉洞寺。昭和30年代の杭瀬川改修工事で移転。	
8	24023		光流山 真源寺	桜井 (多芸郡)	寛文年間	真宗	寛文年間(1661~1673)に成立、文政6(1823)年に改築。明治13(1880)年に真源寺と称。	
9	24028		般若山 願海寺	鷲巣 (多芸郡)	明和2年 若しくは 昭和23年	真宗	成立時期は、明和2(1765)年又は昭和23(1948)年とされている。現在は駐車場となつていて。寺院の形跡を確認することができず、廃寺であると思われる。	
10	24029		徳満寺	横屋 (多芸郡)	文政年間	真宗	文政年間(1818~1830)に道場で成立、昭和21(1946)年に寺号得。現在は横屋青少年集会場。本堂建物に半鐘が残る。	
11	24033		金龍山 正海寺	室原 (不破郡)	寛永6年	真宗	元は栗原九十九坊の一寺で福寿海院と称す。西美濃十ヶ寺。寛永6(1629)年に定龍が開基、真宗大谷派に改宗。	
12	24034		宝林山 法音寺	京ヶ脇 (多芸郡)	元禄8年 若しくは 明和2年	真宗	元禄8(1695)年又は明和2(1765)年に成立。山麓にある集落の入口に寺のものと思われる現代の墓地あり。	
13	24035		佐竹山 西教寺	明徳 (多芸郡)	元和3年	?→ 真宗	元和3(1617)年に成立。元禄7(1694)年に西教寺と称す。時期不明で真宗大谷派に転宗。	
14	24059		光明山 長誓寺	口ヶ島 (多芸郡)	萬治4年	?→ 真宗	萬治4(1661)年に成立。時期不明で真宗大谷派に転宗。	
15	24067		光撰山 西運寺	大場 (多芸郡)	寛永14年	?→ 真宗	寛永14(1637)年に成立。時期不明で真宗大谷派に転宗。	
16	24075		即心寺	高田 (多芸郡)		?→ 臨済宗	慶安4(1661)年に成立。時期不明で臨済宗妙心寺派に転宗。平成21(2009)年に養老町高田の乾崇寺と合併。	
17	24076		水月山 薬師禪院	大坪 (多芸郡)	元禄6年	真言宗→ 臨済宗	元禄6(1693)年に成立。始め真言宗。時期不明で臨済宗妙心寺派に転宗。	G、H、 板状G、石仏
18	24081		三峰山 観音寺	小倉 (多芸郡)	元禄16年	臨済宗	元禄16(1703)年に成立。	G、H、I、 板状G、石仏
19	24090		道場	泉町 (多芸郡)	不明	真宗	安永9(1780)年、美濃国岩手村教正寺住職観乘坊大慎が不況で休息所を建立。昭和5(1930)年に説教場。位置不明。	
20	24092		木立院	高田 字北浦 (多芸郡)	宝曆元年	不明	宝曆元(1751)年に木立院日秀(千秋庄六郎)により成立。位置不明。	
21	24096		下笠薬師堂	下笠 (多芸郡)	伝江戸期	不明	成立時期は不明。豪族田中嘉平衛が下笠城にいた時期に成立と伝わる。	G、H、I

表25 垂井町寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
1	25001		大日山 正行院	宮代 (不破郡)	延暦12年	天台宗	延暦12(793)年、最澄が南宮神社神官僧侶の滅罪寺として成立。慶長年間以後は社僧を務めたが明治元年に分離。	G、I	N3	
2	25002		朝倉山 真禪院	宮代 (不破郡)	明治初年			G、I、石仏		
3	25002b		真禪院旧境 内	(不破郡)	延暦年間				N3	
4	25002c	県	真禪院旧境 内 (宮廻寺跡)	(不破郡)	飛鳥時代		寺伝では行基が開基し、象背山宮廻寺と称した(25039c)。延暦年間(782~806)に、最澄により南宮神社と両部習合されて南宮大社地に移転し(25039b)、南宮寺宮に改称。明治初年に神仏分離令により堂塔が統廃合されて現在地に移転し、真禪院と称するようなつた。	本文参照	98	N3
5	25003		一乗山 菩提寺	岩手 (不破郡)	天長元年	真言宗	本文参照	本文参照	72	N3
6	25004		貞讚寺	岩手 (不破郡)	承応2年以 前	淨土宗	成立時期不明、行基が開基し安養院と称した。承応2(1653)年、領主竹中重常の息女の菩提のため大垣市蓮生寺の朝誉休心が開山し貞讚寺に改称、知恩院末。	G、H、I、 板状G、石 仏		N2
7	25005		明野山 地蔵院 光堂寺	綾戸 (不破郡)	伝8世紀前 半	天台宗→ 淨土宗	寺伝に行基が開創と伝。天台宗で明野山地蔵院光堂寺と称。本尊は、暦応元・延元3(1338)年の青野ヶ原の戦い、閑ヶ原合戦の難から逃れ響答が再興。			
8	25006		観音寺	敷原 (不破郡)	承応2年	曹洞宗→ 淨土宗	本文参照	G	74	N3
9	25007		普門山 専精寺	垂井 (不破郡)	享保12年	天台宗→ 真宗	寺伝では天安2(858)年に円仁が成立。天台宗に属し、普門山善相寺(院)と呼ばれ字日森にあった。康永3・興国5(1344)年前後に真宗に転宗。移転を繰り返し、享保12(1727)年に現在地に再建。	G、H、I、 石仏、蓮如 字名号(室 町期)		

表26 垂井町寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山院(号)寺院名	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査略票	分布図
10	25010		杉谷山永法寺	垂井(不破郡)	文明8年以前	天台宗→真宗	成立時期は不明であるが、天台宗に属した。文明8(1476)年、空照が真宗に転宗。	G、H、I、石仏		N3
11	25011		一宇山安立寺	府中(不破郡)	仁治元年	不明→真宗	仁治元(1240)年成立、府中寺。寛正5(1464)年真宗に転宗、寛文4(1664)年安立寺に改める。聽取で美濃國府勤め有志建立の伝承あり。	G、H、I、		N3
12	25012		国府山淨林寺	府中(不破郡)	文明元年	天台宗→真宗	文明元(1469)年に亮願が成立。天台宗で宝樹院と称す。明応5(1473)年に真宗に転宗。	G、H、I、石仏		N3
13	25014		佛慧山等運寺	綾戸(不破郡)	大永3年	天台宗→真宗	応永年間(1394~1428)近江国志賀郡堅田に成立、天台宗。長禄4(1460)年に真宗に転宗、大永3(1523)年現在地に移転。			N3
14	25015		風越山威德寺	平尾(不破郡)	天文11年	真宗	本文参照		76	N3
15	25015b		威徳寺旧境内(石越遺跡)	平尾(不破郡)	天文10年以前			本文参照		
16	25016		飛雲山徳法寺	岩手(不破郡)	不明	真宗	寛正2(1461)年に善妙が成立したとする説と、同年に善妙が真宗に転宗したとする説がある(転宗前の宗派は不明)。聞き取りでは、時期不明だが約2km東南東の地点から現在地に移転したという。	G、H、I、石仏		
17	25018		城台山長正寺	岩手(不破郡)	享禄年間	真宗	享禄年間(1528~31)に成立。開基は祥順(西尾谷之進)。明暦4(1658)年に寺号を得た。			N2
18	25020		廣瀬山西念寺	栗原(不破郡)	応永34年	真宗	応永34(1427)年に行円が真言宗清淨院として成立。文明9(1477)年真宗に転宗し寺号を西念寺に改めた。			N3
19	25021		東光山本龍寺	垂井(不破郡)	文明元年以前	天台宗→真宗	成立時期は不明であるが、天台宗に属し遍昭院と称した。文明元(1469)年、教実は真宗に転宗し寺号を本龍寺に改めた。	G、H		N3
20	25022		無量山善行寺	表佐(不破郡)	延徳元年	真宗	延徳元(1489)年に正善(服部源兵衛、清和天皇の後裔の子孫と称する者)により成立。	G		N3
21	25023		藍川山蓮明寺	表佐(不破郡)	不明	真宗	明応年間(1492~1501)又は寛正6(1465)年に善智により成立。聞き取りでは、真言宗の近江町世継にある淨念寺の末寺30ヶ寺のうちの一つで、当初は大清水にあったという。現在地への移転時期は不明。			
22	25024		東光山願林寺	宮代(不破郡)	寛保2年	真宗	明徳3(1392)年又は明応3(1494)年、了願が宮代村字天満に成立。寛保2(1742)年に現在地に移転。	G		
23	25025		中華山西法寺	栗原(不破郡)	康永元・興国3年若しくは明応6年	天台宗→真宗	康永元・興国3(1342)年に順誓により成立。元は天台宗であったが、天文11(1542)年に真宗に転宗。成立時期は明応6(1497)年とする説もある。			N3
24	25026		伊富貴山淨休寺	伊吹(不破郡)	永享8年以前	天台宗→真宗	成立時期は不明である。元は天台宗に属したが、永享8(1436)年に明澄が真宗に転宗。	G		N2
25	25027		天龍山明泉寺	岩手(不破郡)	永禄3年以降	真宗	永禄3(1560)年成立。法覚(岩手城主竹中重時)が大野郡公郷に成立し岩手に城を構えた際に移転説と竹中重時が父の菩提を弔うために成立説あり。	G、I、石仏		N3
26	25028		寶樹山通玄寺	栗原(不破郡)	大永年間以前	天台宗→真宗	元は天台宗で阿弥陀寺と称。大永年間(1521~28)に法秀が真宗に転宗、天正13(1585)年に通玄寺に寺号改称。			N3
27	25030		佛閣山教正寺	岩手(不破郡)	寛永2年若しくは貞享4年	真宗	寛永2(1625)年又は貞享4(1687)年、近江国坂田郡本郷村淨休寺の了惠が成立。			
28	25031		林宝山宝光寺	表佐(不破郡)	正安2年	天台宗→真宗	正安2(1300)年に定空(越知徳光)が成立。元は天台宗であったが、大永4(1524)年真宗に転宗。			N3
29	25032		本光山真正寺	新井(不破郡)	宝徳年間	天台宗→真宗	宝徳年間(1449~52)に成立。天台宗として属したが、明応3(1494)年に真宗に転宗。			N3
30	25033		神護山瑞鶴光院金蓮寺	垂井(不破郡)	慶長5年以後	伝天台宗→時宗	寺伝によると、延暦年間(782~806)に最澄が成立し、南宮神社の神宮寺であった。神護山瑞鶴光院御所野道場と称し、境内には38院あったといふ。応永17(1410)年時宗に転宗。嘉吉元(1441)年、足利持氏の子春王・安王が当寺にて惨殺され、菩提を弔った。この春王安王の墓が旧境内西側に当たり、小字道場野まで寺域(4町)とする伝承がある。関ケ原合戦の際に焼失し、現在地へ再建。	G、H、I、石仏、眉塔		
31	25033b		金蓮寺旧境内	垂井(不破郡)	伝延暦年間			H、三耳壺		N3
32	25034		興国山春光院阿弥陀寺	表佐(不破郡)	正応年間	伝天台宗→時宗	正応年間(1288~93)に成立。京都四条派金蓮寺末であったが、戦後に時宗内の派全てが統一。ただし聞き取りでは、元は天台宗であったといふ。	G、H、I、石仏		N3
33	25035		天徳山隣松寺	宮代(不破郡)	貞和元年・興国6年以前	臨済宗	天徳元(957)年、源経基が成立。貞和元・興国6(1345)年に鎌倉円覚寺の不聞闇闇が中興し臨濟宗円覚寺となる。宝永4(1707)年に俊山が再興した際に、臨済宗妙心寺派に転派。	G、H、I、石仏		N3
34	25036		大雄山忍勝寺	府中(不破郡)	貞享2年	臨済宗	成立時期は不明だが、府中字外中にあった。関ケ原合戦の際に焼失したが、貞享2(1685)年に龍山が現在地に再興。	G、H、I、石仏		
35	25037		白華山大慈寺	宮代(不破郡)	文和3・正平9(1354)年	臨済宗	文和3・正平9(1354)年、南宮神社神馬供養のため相州建長寺の無外を開山に道場成立。以後、社僧を務む。元禄11(1698)年に妙心寺末に転じ神仏分離令後に南宮神社から独立。	G、I、H		N3
36	25038		威徳山清藏寺	府中(不破郡)	天正元年	臨済宗	天正元(1573)年に文翁により成立。関ケ原合戦の際に焼失し、天和元(1681)年に法堂が再建。	G、H、I、石仏		N3
37	25044		象鼻山清水寺(清水寺跡)	栗原(不破郡)	宝治元年以前	天台宗→臨済宗	多芸七坊のうちの1ヶ寺と伝わり、元は天台宗であった。明応年間(1492~1501)に臨済宗に転宗。万治3(1660)年に再建。梵鐘(愛知県知多市八幡神社所蔵)の銘から、当寺は宝治元(1247)年以前に成立されていたと考えられる。現在は公園。	G、灰釉闇器、常滑(甕)		N3
38	25045		松巖山祥光寺	岩手(不破郡)	天文年間以前	曹洞宗	成立時期は不明であるが、禪籬寺授戒帳の記述より、天文年間(1532~55)以前には存在。禪籬寺末。	G、H、I		N3

表27 垂井町寺院一覧表(3)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査略票	分布図
39	25046		在原山 薦師寺	表佐 (不破郡)	元慶3年	?→ 曹洞宗	元慶3(879)年、在原業平が成立、在原山業平寺(如来寺・水薦師)と称す。寛文2(1662)年、永平寺の金毛全威禪師開山に請し再興、曹洞宗に転宗。かつて当寺付近に古代瓦が散在。	布目瓦		N3
40	25048		道徳寺	表佐 (不破郡)	天正8年	臨濟宗→ 曹洞宗	天正8(1580)年、柏堂影森が臨濟宗寺院として開山。宝永5(1708)年に曹洞宗に転宗。			N3
41	25050		普賢山 禪幢寺	岩手 (不破郡)	明応3年	曹洞宗	明応3(1494)年、岩手領主岩手弾正忠典長が岩手氏菩提所として成立。開基は正頼和尚。天正15(1587)年に竹中重門が再興、竹中家菩提所。	G、H、I、 板状G、石 仏		N2
42	25053		日目庵	垂井 (不破郡)	中世か	日蓮宗	成立時期不明。正慶2(1333)年、西国布教の途で亡くなった日目(日蓮の孫弟子)の遺骸を荼毘に付し、法華塚を作った場所を「荼毘所」と呼び、荼毘所に建つ小寺堂が日目庵。	G、H、I、 石仏		N3
43	25054		光明山 明伝寺	大滝 (不破郡)	明応7年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明、伝徳寺又は天徳寺と称。元は天台宗、明応7(1498)年真宗に転宗、寛永18(1641)年に明伝寺の寺号得。			N3
44	25055		月光山 遊景寺	大石 (不破郡)	文明17年	天台宗→ 真宗	文明13(1481)年に信州で成立、天台宗。文明17(1485)年、大石に移転遊結寺。明応元(1492)年、真宗に転宗。昭和54(1979)年、東本願寺派となる。	G、I、石仏		N3
45	25056		平尾御坊 願證寺	平尾 (不破郡)	天文年間以 前	真宗	永正年間(1504~21)蓮淳法印が伊勢国長島に開基、長島の一一向揆で焼失。天文年間(1532~55)證栄が平尾真徳寺再建。寛保3(1743)年に平尾御坊、安永2年(1773)願證寺に改称。	G、H		N3
46	25057	市	美濃国分尼 寺 (美濃国分尼 寺跡) (美濃国分尼 寺跡推定地)	平尾 (不破郡)	伝天平13年	不明	本文参照	本文参照	100	N3
47	25058		民安寺 (民安寺跡)	府中 (不破郡)	文和2・ 正平8年以 前	不明	成立時期不明。文和2・正平8(1353)年、後光厳天皇垂井行在際、大風雨避け民安寺に立寄。寺の位置は府中説と御所野説。	G、H、 石燈籠		
48	25060	県	(宮代廢寺 跡)	宮代 (不破郡)	飛鳥時代	不明	本文参照	本文参照	102	N3
49	25061		(薦師堂跡)	表佐 (不破郡)	伝延暦12年	真宗	本文参照	本文参照	78	N3
50	25062		(觀音堂跡)	宮代 (不破郡)	伝天平神護 2年	不明	本文参照	本文参照	80	N3
51	25063		(千手堂跡)	宮代 (不破郡)	不明	不明	本文参照	本文参照	81	N3
52	25064		(南宮山頂經 塚)	宮代 (不破郡)	中世	不明	本文参照	本文参照	84	N3
53	25065		(栗原九十九 坊跡)	栗原 (不破郡)	伝鎌倉時代 以前	不明	本文参照	本文参照	88	03
54	25066		(栗棘庵跡)	栗原 (不破郡)	伝鎌倉時代 以前	不明	石垣を伴う平坦面有。地元では「リショウジ」と伝わり、利法寺にあたるか。			03
55	25071		伊富岐神社 奥之院 (伊富岐神社 跡) (伊富岐神社 経塚群)	伊吹 (不破郡)	仁寿2年以 前	不明	本文参照	本文参照	94	N2
56	25072		南宮大社 (南宮神社神 宮跡)	宮代峯 (不破郡)	平安時代	不明	本文参照	本文参照	86	N3
57	25078		(石仏谷遺 跡)	府中 (不破郡)	古代～中世	不明	本文参照	本文参照	96	N3
58	25079		(宮代遺跡)	宮代 (不破郡)	古代～中世	不明	弓道場山麓西側には石塔の集積がみられる区域があり、中世～近世にこの付近に所在したとされる礼華寺跡の可能性がある。礼華寺は、明治維新前後に廃寺になったとされる。	土師器、 須恵器		N3
59	25081		(最勝寺觀音 堂跡)	宮代 (不破郡)	不明	不明	詳細不明。幕末頃に作成された『美濃國南宮社之図』などによると、南宮神社北側に位置したとされる。			

表28 垂井町参考寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	25009		旭照山 明円寺	敷原 (不破郡)	延享元年	天台宗→ 真宗	延享元(1744)年に円教が成立。天台宗に属した。後に真宗に転宗。慶應元(1865)年に円城が再興し、明治7(1874)年に明円寺の寺号を得た。	
2	25013		梅溪山 真敬寺	梅谷 (不破郡)	寛文13年	真宗	寛文13(1673)年に円哲が成立。聴き取りによると、元は道場であったといふ。	
3	25017		宝海山 佛名寺	市之尾 (不破郡)	寛永7年 若しくは 元禄5年	真宗	元禄5(1692)年に市之尾村道場として成立され宝永7(1710)年に寺号を得たとする説と、寛永7(1630)年に潭瑞が成立したとする説がある。	
4	25019		本照寺	岩手 (不破郡)	天保10年	真宗	天保10(1839)年、徳法寺の桐山泰円の弟智通により成立。10年前に廃寺になり、建物無し。	
5	25029		泉水山 不退寺	岩手 (不破郡)	貞享3年	真宗	貞享3(1686)年に願心が成立。当屋敷は、永禄年間(1558-70)に沢右京が居住した跡。	G、H、I
6	25039		片岡山 見性寺	宮代 (不破郡)	寛文2年	臨濟宗	寛文2(1662)年に広山により成立。当寺7世が熊耳山小林庵から片岡山見性寺に改称。	G

表29 垂井町参考寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
7	25040		不動院	大滝 (不破郡)	延享年間以降	臨済宗	延享年間(1744~48)に成立、道徳寺と称した。明治18年に再興し不動院に改称。近隣住民の聽き取りでは、元は大滝にあったとのことだが、移転時期不明。	G、H、I
8	25041		茂森庵	不明 (不破郡)	不明	臨済宗	元禄16(1703)年、伊勢国正法寺の代雲が成立。他の沿革・位置不明。	
9	25042		臥龍山玉泉寺	垂井 (不破郡)	寛永5年	臨済宗	寛永5(1628)年、成立愚同國師を開山に請し吉田作右衛門が成立。	G、H、I
10	25043		龍蟠山藤樹寺	宮代 (不破郡)	元禄13年	臨済宗	元禄13(1700)年、大慈寺の乾叟が龍蟠山藤井寺跡地に藤樹庵を成立。延享元(1744)年に藤樹寺と改めた。藤井寺の沿革は不明。	G
11	25047		即現寺	梅谷 (不破郡)	延宝2年	曹洞宗	延宝2(1674)年に安禪が成立。領主神長左衛門の菩提所。	G、H、I、石仏
12	25049		覺源寺	新井 (不破郡)	延宝7~8年	曹洞宗	延宝7(1679)~同8年の頃、覺源(高木利右衛門)が庵室を備えて閑居した。天明6(1786)年に不破郡荒川村川柳庵の末寺に編入。	
13	25051		清月院	宮代 (不破郡)	文政12~13年	曹洞宗	文政11(1828)年又は文政12年、松尾の心月庵主源法了禪尼が、卯塔場(=墓場)を払い鎮め地蔵尊を祀り、翌年自庵と法華塔を建立した。安政3(1856)年に敦賀永建寺の甘雨為森を開山に請い、開創。	H
14	25067		無量寺	不明 (不破郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。位置不明。	
15	25068		八尺堂	垂井 (不破郡)	近世	不明	伝承によると、300年前、御所野ヶ原の利生院で覚如法院と盲目の母が、仏のお告げ通り8尺掘ると3体の地蔵が出てきて、そこに8尺四方の堂を建立した。堂が現存。	G、H、石仏
16	25070		地蔵院	表佐 (不破郡)	寛永年間	真言宗	寛永年間(1624~44)に当村の住僧泰封により成立。明治期に廃寺届が提出されるも、本堂は現存。元尼寺で現在は阿弥陀寺が管理している。	
17	25073		安穩山福寿寺	表佐 (不破郡)	寛保3年	浄土宗	寛保3(1743)年、普現により成立。明治期に廃寺届が提出されるも、本堂は現存。	G、石仏
18	25074		龍蟠山藤井寺	宮代 (不破郡)	不明	不明	成立時期不明。元禄13(1700)年、藤井寺跡地に藤樹庵(現藤樹寺)が成立。	
19	25075		指月寺	梅谷 (不破郡)	不明	不明	成立時期不明。近江国坂田郡万末寺。明治期に廃寺届が提出されている。位置不明。	
20	25076		知恩院 東光寺	不明 (不破郡)	不明	浄土宗	成立時期不明。明治期に廃寺届が提出されている。位置不明。	

表30 関ヶ原町寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
1	26003		寂光院	今須 (不破郡)	天文元年	真言宗	当初は近江国坂田郡上野村(現米原市)の弥高九十九坊の内であつたようだが、永正9(1512)年の火災により宇祖父谷に離散し天文元(1532)年に法印有盛が現在地に成立した。他の文献によると、祖父谷祖宝寺の一坊で貞享年間(1684~88)に現地門前に移ったとも。	G、H、I		N2
2	26004		八幡山聖蓮寺	今須 (不破郡)	天正18年以降	真言宗→真宗	弘仁13(821)年、淨信(三輪秀信)が石津郡牧田村平井に真言宗正蓮寺成立。貞永元(1232)年真宗に転宗。天正13(1587)年に河東の下平井に移転。天正18(1590)年又は17世紀中頃に現在地に移転。元禄14(1701)年以降聖蓮寺に改称し本願寺派に転派。			N2
3	26006		清見山宗徳寺	関ヶ原 (不破郡)	中世	天台宗→真宗	天武天皇元(672)年、御陣場御下屋に成立。円成院と称した。長保2(1000)年に天台宗に、さらに貞和3(1347)年又は明応年間(1492~1501)に真宗に転宗。	I、石仏		N2
4	26008b		法忍寺旧境内	関ヶ原 (不破郡)	天正年間	真言宗→真宗	15世紀代に成立。文明4(1472)年、真宗に転宗。東本願寺末。天正年間(1573~93)に瑞龍寺(大門)に移転。文祿3(1594)年に法忍寺の寺号得。聞き取りで天正年間の所在地を特定。			N2
5	26010		神月山三倫寺	今須 (不破郡)	天文7年	真宗	天文7(1538)年、賢順(三輪治郎右衛門)が開基。『不和郡史』他では「三輪寺」。			N2
6	26015		鶴籠山真念寺	野上 (不破郡)	享徳3年 若しくは 文明年間	伝天台宗→真宗	延喜年間(901~23)比叡山無動寺の相応が南方六坊を建て弟子6人を置く。享徳3(1454)年又は文明年間(1469~87)に円禪が真宗に転宗、成立。天和2(1682)年に山号・寺名を公称。			N2
7	26016		遍照山圓鏡寺	関ヶ原 (不破郡)	江戸時代初頭	天台宗→真宗	成立時期・位置(伊吹山麓の北山)は不明。大永元(1521)年に真宗に転宗。中山道の整備に伴い現在地に移転。	G		
8	26017		光雲山円通寺	玉 (不破郡)	天正11年以前	真言宗→真宗	成立時期・位置不明で真言宗、光明寺と称す。天正11(1583)年に真宗に転宗。寛文年間(1661~73)に円通寺に改称。			N2
9	26018		青坂山妙応寺	今須 (不破郡)	延文5年	曹洞宗	延文5(1360)年、長江重景が成立。県内で最古の曹洞宗寺院とされる。応安7(1374)年や至徳元(1384)年には、重景が現境内を中心に伽藍の整備を実施。境内に長江氏墓、背後に今須城跡が所在。	G、H、I、 一石H 長江氏墓、 妙応寺文書 (室町)		N2
10	26025		鏡智山玉養院 瑞晴光寺	玉 (不破郡)	元禄5年以前	真言宗	本文参照	本文参照	104	N2
11	26027		密藏院((仮)松尾山龍院寺跡)	松尾 (不破郡)	天文5年以前	真言宗	本文参照	本文参照	106	N2
12	26031		医王山光台院 薬師寺	今須 (不破郡)	不明	真言宗	文明元(1469)年、光明坊による開基。薬師山→町東→谷山→門前と移転。位置不明。			
13	26032		宝盤山不動院 今寺	今須 (不破郡)	不明	真言宗	元は法相宗との史料もあり。下土→貝戸と移転。位置不明。			

表31 関ヶ原町寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査略票	分布図
14	26033	長英山 照光寺 (照光寺跡)	今須 (不破郡)	天正年間	真言宗	本文参照		本文参照	108	N2
15	26034	白花山 福智院 円通寺	今須 (不破郡)	不明	真言宗	天文年間(1532~55)に祖宝寺宝積坊尊有が草創。弥高寺末寺。梁行式間半・桁行四間の堂が所在したという。明治11(1878)年の廃寺名簿に記載。位置不明。				
16	26035	堯音坊	今須 (不破郡)	不明	真言宗	天文年間(1532~55)に祖宝寺水木坊有盛が草創。弥高寺末寺。梁行式間半・桁行四間の堂が所在したという。明治11(1878)年の廃寺名簿に記載。位置不明。				
17	26036	照空山 蓮淨院 祖宝寺	今須 (不破郡)	永正9年以降	真言宗	本文参照		本文参照	110	N2
18	26037	小林山 久保寺	今須 (不破郡)	不明	不明	慶長2(1597)年の棟札に寺院名が記載。位置不明。				
19	26040	野上廃寺跡	野上 (不破郡)	伝延喜年間	天台宗か	本文参照		本文参照	112	N2
20	26041	(堂前遺跡)	今須 (不破郡)	中世	不明	本文参照		本文参照	114	02

表32 関ヶ原町参考寺院一覧表

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	25005	清泉山 玉照寺	玉 (不破郡)	正保年間以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。元は天台宗であったが、正保年間(1644~47)に真宗大谷派に転宗。		G
2	26008	幽谷山 法忍寺	関ヶ原 (不破郡)	江戸初期	真宗	江戸時代に宿場整備の一環として現在地に移転。		G
3	26009	香雲山 教楽寺	山中 (不破郡)	不明	天台宗→ 真宗	成立時期不明であるが、元は天台宗に属した願寺と称した。寛永7(1630)年、真宗大谷派に転宗。位置不明。		
4	26011	光輪山 圓照寺	今須 (不破郡)	元和4年	真宗	元和4(1618)年、祐教が現長浜市の順慶寺末寺の總道場として成立。		
5	26012	金剛山 法善寺	今須 (不破郡)	延宝2年以前	真言宗→ 真宗	成立時期不明。延宝2(1674)年の「今須檢地帳」ではかなりの田畠を有する寺院。天和元(1681)年、真宗大谷派に転宗。		
6	26013	大溪山 真宗寺	今須 (不破郡)	貞享4年以前	真宗	貞享4(1687)年、道円の成立とされるが、『改訂近江国坂田郡志』の記述によるとそれ以前から土地を所有し存在していた可能性もある。		
7	26014	笛尾山 願誓寺	関ヶ原 (不破郡)	享保元年	天台宗→ 真宗	成立時期・位置不明で天台宗。享保元(1716)年、真宗大谷派に転宗し小池・小門村の總道場、文化4(1807)年に寺号得る。		
8	26019	宝有山 瑞童寺	関ヶ原 (不破郡)	明暦元年以前	天台宗→ 曹洞宗	明暦元(1655)年に小沢十郎左衛門が居住、成立時期不明。元禄8(1695)年に現垂井町禅燈寺の一峰単提和尚が再興。本堂の脇に平坦面確認。		G, H, I
9	26020	大慈山 觀音寺	今須 (不破郡)	寛文3年	真言宗→ 曹洞宗	寛文3(1663)年、妙応寺第16世遠山春久を開祖、三輪宗無が成立。元は真言宗で慶雲院と称、延宝8(1680)年に曹洞宗に転宗。妙応寺末寺。		I, 石仏
10	26021	大閑山 興正寺	松尾 (不破郡)	宝曆元年	曹洞宗	宝曆元(1751)年、妙応寺和尚が開基。妙応寺末の尼寺。		G
11	26022	金堂山 宝谷寺	今須 (不破郡)	延宝年間以前	天台宗	延宝年間には寺の基礎はできていたといわれる。明治11(1878)年の廃寺名簿に記載され、現在は「觀音寺」と呼ばれる。		G, I, 石仏
12	26023	安樂寺	藤下 (不破郡)	享保7年以前	真宗	享保7(1722)年の「藤下村田畠名寄帳」に所有地が記載。明治11(1878)年の廃寺名簿に記載。		
13	26024	盡泉山 龍泉寺	野上 (不破郡)	天和2年以前	臨済宗	成立は天和2(1682)年とされるが、遡る可能性がある。明治11(1878)年には廃寺名簿に記載。位置不明。		
14	26026	松梅院 北野寺	玉 (不破郡)	延宝8年以前	真言宗	延宝8(1680)年の玉八幡社棟札には別当として記載あり。位置不明。		
15	26028	自性院	松尾 (不破郡)	延宝6年以前	真言宗	延宝6(1678)年には住僧あり、滋賀県の悉地院末寺と推測されている。文久元(1861)年には無住。位置不明。		
16	26029	心月庵	松尾 (不破郡)	明暦元年以前	曹洞宗	明暦元(1655)年の「岡田將監様御檢地名寄帳」に田畠を有することが記載。位置不明。		
17	26030	自鏡寺	今須 (不破郡)	不明	臨済宗	延宝2(1674)年には竹之尻に所在し、宝永年間(1704~11)に貝戸(皆戸)に移転したが、ともに位置不明。		

表33 神戸町寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査略票	分布図
1	27001	持法山 密嚴寺	下宮 (安八郡)	伝弘仁8年	天台宗	本文参照		本文参照	116	M3
2	27002	影向山 神護寺	神戸 (安八郡)	伝弘仁8年	天台宗	本文参照		本文参照	116	M3
3	27008	寂靜山 妙行院 正覚寺	北一色 (安八郡)	伝弘仁8年	天台宗→ 真宗	弘仁8(817)年、最澄が日吉神社を成立時、聖德太子像を感じし建立。寂靜山妙光院と称。貞永元(1232)年に真宗に転宗。聴取で明治時代に池田町の霊間ヶ谷に寺あり焼失。	G, H, I, 無縫塔			
4	27009	青雲山 性顕寺	末守 (安八郡)	天文19年以前	天台宗→ 真宗	弘仁元(810)年に最澄が開基。永徳年間(1381~83)に平野庄北方並野部にあり、天文19年(1550)までの間に末守に移転。蓮如の代に真宗に転宗。	G, H, 石仏、 無縫塔			M3
5	27010	龍寶山 常源寺	下宮 (安八郡)	不明	天台宗→ 真宗	聴き取りによると、元は天台宗に属したが天福元(1233)年に真宗に転宗。寺はかつて野部にあったという。移転時期不明。				
6	27011	青光山 正願寺	西保 (安八郡)	文明3年以前	真宗	成立時期不明。文明3(1471)年に転宗。				N3

表34 神戸町寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
7	27012		崇道山護國院長久寺	川西 (安八郡)	伝弘仁8年	天台宗→真宗	弘仁8(817)年に最澄が開基。自ら本尊を彫り、崇道山護國院長久寺と称した。文明2(1470)年に真宗に転宗。			M3
8	27013		妙響山信願寺	末守 (安八郡)	伝弘仁8年	天台宗→真宗	弘仁年間(810~824)に最澄が開基。文明年間(1469~1487)に真宗に転宗。天明4(1784)年に転宗。			M3
9	27014		醫王山淨誓寺	更屋敷 (安八郡)	慶長年間以前	天台宗→真宗	成立時期不明。慶長年間(1596~1615)に転宗。本堂南側の薬師堂は天台宗の名残という。	G		N3
10	27015		白雲山専修寺	柳瀬 (安八郡)	明応9年以前	天台宗→真宗	成立時期不明、始め天台宗。明応9(1500)年に転宗。寺伝で柳瀬の地城は関ヶ原合戦の際に焼き討ちにあった。	G		N4
11	27016		紫峰山念教寺	南方 (安八郡)	大永3年	天台宗→真宗	大永3(1523)年に淨円が成立。寺伝によると元は天台宗であったが、江戸時代に真宗大谷派に転宗。			N3
12	27017		横超山誓教寺	齊田 (安八郡)	明治末期	浄土宗→真宗	長久3(1042)年成立。寺伝によると元は浄土宗であったが、長享2(1488)年に真宗に転宗。明治末期に巣南町十七条から現在地に移転。			
13	27018		最勝山法泉寺	落合 (安八郡)	不明	?→真宗	成立時期不明。寛正6(1465)年に真宗に転宗。寺伝によると、元は揖斐川付近に寺があったというが、移転時期不明。			
14	27019		觀学院正行寺	柳瀬 (安八郡)	明応9年	真宗	明応9(1500)年に圓慧が成立。			N4
15	27020		舊御坊明徳寺	神戸 (安八郡)	文明年間	真宗	文明年間(1469~1487)に淨専が成立。旧神戸御坊。	G		M3
16	27021		南向山覺養寺	柳瀬 (安八郡)	長禄2年	天台宗→真宗	長禄2(1458)年に深浅により成立。寺伝によると元は天台宗に属したが、寛正5(1464)年真宗に転宗。	G		N3
17	27022		香莊山慶円寺	落合 (安八郡)	文明11年以前	天台宗→真宗	成立時期は不明。聴き取りによると元は天台宗に属したが、文明11年(1479)に転宗。			N4
18	27023		東光山善林寺	八条 (安八郡)	大永3年	真宗	大永3(1523)年に正賢により成立。	G、I		N3
19	27024		醍醐山圓受寺	加納 (安八郡)	文明3年	真宗	文明3(1471)年に淨誓により成立。			N3
20	27026		高田山龍光山永徳寺	横井 (安八郡)	文明3年	真宗	文明3(1471)年に了慶により成立。寛延元(1748)年高田派に転じた。			M3
21	27027		明月山瑠璃光寺	神戸 (安八郡)	伝弘仁8年	臨済宗	弘仁8(817)年、最澄が開基と伝わる。元和2(1616)年に愚堂国師が転宗。	G、H、板状一石五輪塔		M3
22	27028		金龍山瑞雲寺	八条 (安八郡)	永正元年以前	臨済宗	東陽英朝大禪師(永正元(1504)年没)が開山。普山祖宰大禪師が中興開山。	G、H、I、石仏		N3
23	27034	町	(本地堂跡) (日吉八坊寺跡)	神戸 (安八郡)	平安時代	不明	本文参照	本文参照	116	M3
24	30063b		即現寺旧境内	横井 (安八郡)	不明	真宗高田派	現在地は揖斐川町の東津波(30063)。寺伝で平安時代成立で横蔵寺末の了副寺と称し、寛延元(1748)年に永徳寺高田派へ改派、大垣地頭からとめ寺となる。高田派信仰継続で、宝暦年間(1751~64)に道場建て速立寺と改称。聴取で始めは神戸町横井(30063b)にあり移転時期不明。旧境内の位置不明。			
25	27037		不動堂	丈六道 (安八郡)	伝弘仁8年	天台宗	弘仁8(817)年に最澄が日吉神社(27035)成立時に鬼門除け堂宇建立と伝。元禄15年(1702)から下宮勸学院の隠居寺。	G	116	M3
26	27038		(寶蔵院跡)	丈六道 (安八郡)	伝弘仁8年	天台宗	弘仁8(817)年、後安八太夫の依頼を受けて最澄が予安地蔵菩薩を彫刻し堂を建立。寶蔵院と称した。			M3

表35 神戸町参考寺院一覧表

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	27003		天龍山香林院	加納 (安八郡)	不明	浄土宗	成立時期不明及び沿革不明。	G、石仏 板状一石G
2	27005		淨圓寺	中沢 (安八郡)	近現代	浄土宗	僧侶の宿泊所で、明治時代には小屋と炊事場があった。	H、石仏
3	27006		常蓮院	神戸 (安八郡)	不明	浄土宗	成立時期不明及び沿革不明。	
4	27007		地藏院	柳瀬 (安八郡)	不明	浄土宗	成立時期不明。聴き取りによると、現在祠の建つ辺りに寺があったといふ。	G、I
5	27025		三光山廣善寺	神戸 (安八郡)	宝暦年間	真宗	宝暦年間(1751~1764)に成立。	
6	27029		太平山護國寺	神戸 (安八郡)	元和年間	臨済宗	元和年間(1615~1624)に愚堂和尚が開山。寺号は泰平山とする説がある。	G、H、I、 石仏、無縫塔
7	27030		春日山大源寺	瀬古 (安八郡)	寛文元年以降	臨済宗	聴き取りによると、寛文元(1661)年に成立。元は堤防より北に寺はあったという。移転時期不明。	G、H、I、 石仏
8	27031		薬師寺	丈六道 (安八郡)	不明	曹洞宗	成立時期及び沿革不明。	
9	27032		白鳥山光源寺	北一色 (安八郡)	18世紀頃	曹洞宗	寺伝によると、成立時期は18世紀を下らない。元は白鳥神社にあったというが、移転時期不明。	
10	27033		廣大山栄春院	北一色 (安八郡)	正保年間以降	曹洞宗	寺伝によると、正保年間(1644~1648)、安八郡平野村一色の元廣大廃寺跡に当寺を建立。現在への移転時期は不明。	G、H、I、 石仏

### 30 第3章 西濃圏域の寺院

表36 輪之内町寺院一覧表

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査略票	分布図
1	28005		市橋山 善明寺	大藪 (安八郡)	慶長元年	真宗	慶長元(1596)年成立。開基は昭念とする説と照念とする説がある。	G		04
2	28006		福東山 福満寺	福東 (安八郡)	天文年間以降	真宗	寛正元(1460)、盛綱の開基。その後、天文年間(1532~55)に至り、一山を建立して福満寺と号した。もともとは福東城の近く(28006b、現在の揖斐川の中)にあったが、当地に移転したという。移転時期不明。	G、H		
3	28006b		福満寺旧境内	福東 (安八郡)	寛正元年					03
4	28007		下大博 正養寺	新田 (安八郡)	文明9年 若しくは 寛政10年	真宗	文明9(1477)年、淨願開基。專福寺末寺。寛政10(1798)年成立ともいう。			04
5	28009		新田山 尊面院 明看寺	塩喰 (安八郡)	明治30年	真宗	開基は松岡平兵衛で、文明年間(1469~87)、一寺を建立し本願寺宗に属し、住僧には本巣郡鷺巣村中島八右衛門の次男を養子として引取り剃髪し、明看寺住持としたとの説がある。寺伝では、文安3(1446)年に本巣郡鷺巣村から塩喰村へ引き移ったともいう。明治30年頃、揖斐川河川改修工事により現在地に移転。	G		
6	28011		龍華山 淨光寺	福東 (安八郡)	伝承元3年	真宗	寺伝によると、承元3(1209)年成立、始め天台宗。文亀元(1501)年、淨誓が真宗に転宗した。	G		04
7	28012		竹林山 円楽寺	大藪 (安八郡)	文明17年以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。始め天台宗。文明17(1485)年に敬伝が真宗に転宗。当村の有力者渡辺家が門徒であり、婚姻関係を結ぶなど、当寺の物心両面の支えとなつた。	G		04
8	28013		久池山 長然寺	中郷新田 (安八郡)	宝暦3年以降	真宗	明応6(1497)年、成立は了西。尾張國中島郡長岡庄の念佛道場として成立された。その後、安八郡大博村、大博村新田へと移り、宝暦3(1753)年以降に現在地へ移転。			
9	28015		淨景山 長休寺	大吉新田 (安八郡)	元文5年	真宗	天正2(1574)年、開基は了意。元文5(1740)年に今尾(平田町)にあったものを移転。	G		
10	28016		正福寺	本戸 (安八郡)	明応7年頃	天台宗→ 真宗	明治14(1881)年の町村略史に明応7(1498)年坂本祐正開基、明和8(1771)年成立。成立の別説で始め天台宗だが坂本祐正の時に蓮如上人に帰依し、明応7(1498)年に真宗に転じ専光坊と号し、宜如上人に正福寺の号を免許。	G		04
11	28017		智海山 法養寺	塩喰 (安八郡)	近代	真宗	寛正5(1464)年足利政義の開基又は文安3(1446)年成立説あり。元は揖斐川の西側にあり河川工事で現在地に移転。			
12	28019		海松山 福善寺	松内 (安八郡)	元暦元年	天台宗→ 真宗	元暦元(1184)年成立、天台宗に属した。永正7(1510)年、真宗に転宗。	G		03
13	28020		大景山 願正寺	中郷 (安八郡)	寛永13年	真宗	天文13(1544)年、了道(河合四郎兵衛利方)が開創。村明細帳には、寛永13(1636)年より当村に安置とあり、以前は他所にお堂があつたと推測されている。	H		
14	28021		光勝山 本慶寺	四郷 (安八郡)	文明3年	真宗	文明3(1471)年、祖淨が成立。他の沿革は不明。	G、石仏		04
15	28022		法性山 専徳寺	南波 (安八郡)	天文元年	天台宗→ 真宗	天文元(1532)年、正淨が開基で天台宗に属した。天正6(1578)年、真宗に転宗し中興開基とされている。	G		04
16	28024		華頂山 益法寺	里 (安八郡)	大永7年 若しくは 天正・文禄 年間	天台宗→ 真宗	大永7(1527)年又は天正・文禄年間(1573~1596)に織田信長の家臣金森兵庫守の男円蔵坊が一寺を建立した。現在の本尊は、天台宗当時のものが安置されている。			04
17	28025		報恩山 受法寺	四郷 (安八郡)	天正2年	天台宗→ 真宗	天正2(1574)年、了祐が開基で、天台宗に属した。時期は不明ではあるが、真宗に転宗。			04
18	28026		護念山 慶福寺	里 (安八郡)	不明	真宗	延徳3(1491)年、田中伝吉が一寺を開基。元は大垣にあったが、現在地に移転したという。移転時期不明。	G、石仏		
19	28029		得宝山 慶正寺	榆俣 (安八郡)	伝鎌倉時代 以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。聽き取りによると、鎌倉時代には天台宗に属し、慶長11(1606)年に玄西が真宗に転宗したという。	G、H		04
20	28032		法輪山 傳了寺	松内 (安八郡)	明治35年	真宗	成立時期不明、寺伝で元亀年間(1570~1573)成立。元は天台宗に属したが、永正8(1511)年に真宗に転宗。明治35(1902)年揖斐川改修工事により現在地に移転。			
21	28038		永寿寺	不明 (安八郡)	不明	不明	明応元(1492)年大洪水で御堂を流出し移転したとする説と、江戸時代初期まであったが経営困難となり大垣の多芸島に移転したとする説がある。位置不明。			
22	28039		光泉寺	不明	不明	天台宗→ 真宗	成立時期は不明であるが、天台宗に属した。徳治2(1307)年に真宗に転宗。江戸時代初期まであったが、経営困難となり尾張の入戸に移転したとする説がある。位置不明。			

表37 輪之内町参考寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	28001		平養山 智福寺	中郷新田 (安八郡)	17世紀	浄土宗	成立時期は、明治期に残る寺伝では寛永元(1624)年、昭和期に残る寺伝では元禄年間(1688~1704)とある。高閑により開山。	
2	28002		法縁山 了恩寺	福東新田 (安八郡)	寛文10年以降	真宗	寛文10(1670)年、了雲(俗名尾閑善兵衛)は大阪から来て当新田を開拓し、その子吉兵衛が寺を建立。	
3	28003		内野山 乗願寺	福東新田 (安八郡)	寛文17年以降	真宗	寛文17(1640)年、成立は道円。もとは安八町にあり、当地に移転した。移転時期不明。	
4	28004		寶珠山 長延寺	下大博 (安八郡)	万治2年	真宗	万治2(1659)年成立。もと長然寺と号したが、中郷新田の長然寺と同号のため、昭和25(1950)年に長延寺と改めた。	
5	28008		靈松山 正光寺	下大博 (安八郡)	寛永19年	天台宗→ 真宗	寛永19(1642)年、愛知県富田(尾西市)の淨念の開基。始め天台宗。寺伝で寺の起源に郡上市安養寺が関わる可能性あり。	
6	28010		法敬山 良因寺	下大博 (安八郡)	寛文2年 若しくは 寛文9年	真宗	寛文2(1662)年(寛文9(1669)年とも)成立。初代住職は義觀。	

表38 輪之内町参考寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
7	28014		威光山信成寺	榆俣 (安八郡)	不明	真宗	慶長9(1604)年、開基は光休。寺伝によると、滋賀県から当地に移転したという。移転時期は不明。	
8	28018		宇野山西福寺	榆俣 (安八郡)	慶長9年	真宗	慶長9(1604)年、慶端が開基。他の沿革は不明。	
9	28023		佐々木山明教寺	海松新田 (安八郡)	元和8年	真宗	元和8(1622)年、三河国佐々木村上宮寺住職二男の宮内が海松新田にて開基。延宝9(1678)年に明教寺の寺号を得た。	
10	28027		佛教山得淨寺	四郷 (安八郡)	17世紀前半	真宗	聴き取りによると、1620年代に道場がつくれられ、万治元(1658)年に円入が成立し寺号を得たという。	
11	28028		横超山專祐寺	藻池新田 (安八郡)	元和9年	真宗	元和9(1623)年、石津郡下堺村西光寺の二男の祐圓が開基。他の沿革は不明。	石仏
12	28030		棚橋山了常寺	榆俣 (安八郡)	慶長9年	真宗	慶長9(1604)年、常喜が開基。一説には榆俣の寺院の中で最も古く約600～700年前に建立されたともいわれる。	
13	28031		再光山慶安寺	榆俣 (安八郡)	慶長9年	真宗	慶長9(1604)年、直信が開基。他の沿革は不明。	G、I
14	28033		衣斐山太岳寺	榆俣 (安八郡)	昭和2年	臨済宗	成立時期不明。可見郡姫治村雲龍寺第2世の末寺、昭和2年に衣斐義昭が移転・中興。聴取で元は掛斐川町にあり。	
15	28034		平林山心巖院	下大博 (安八郡)	伝慶長年間 若しくは 寛永年間	臨済宗	寛永6(1629)年に牧守鉄が開基。聴き取りによると、慶長年間(1596～1615)の成立ともいう。	G、H、I、 石仏
16	28035		大土山江翁寺	榆俣新田 (安八郡)	承応4年	臨済宗	承応4(1655)年に北村可長が建立。他の沿革は不明。	G、石仏
17	28036		別宗院	中郷 (安八郡)	正徳・享保 年間	黄檗宗	正徳(1711～16)・享保(1716～1736)年間頃に成立。現在は御堂のみが残る。以前は山城国宇治郡大和田村万福寺松院と称した。白髭神社の東隣にあるため通称宮寺とも言われている。	
18	28037		恩行寺	不明 (安八郡)	不明	真宗	慶長19(1613)年に僧念西が開基。明治20年代に尾西市に移転。位置不明。	

表39 安八町寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
1	29002		天王山正明寺	東結 (安八郡)	伝9世紀前半	?→ 浄土宗	仁明天皇御宇(833～850)の時成立と伝。開祖は願答西求。慶長16(1611)年淨土宗へ転宗し、天和2(1682)年に東内寺を正明寺と改る。町指定史跡の鎌倉街道が境内の前。	G		
2	29003		金剛山覚成寺	西結 (安八郡)	文明10年	真宗	文明10(1478)年、開祖は願了律師。祖師が立寄際、転宗し御染筆の名号。後、蓮如が立寄、染筆名号「正信偈」御文授。	G	N4	
3	29004		白龍山圓長寺	牧 (安八郡)	文安4年	真言宗→ 真宗	文安4(1447)年成立。開基は渡辺春澄、始め真言宗。寛正2(1461)年に真宗大谷派に改宗。寛永3(1626)年に白龍山圓長寺と称。		04	
4	29005		東禪院曹溪山蓮德寺	東結 (安八郡)	元弘元年	真宗	本願寺第三世覚如が元弘元(1331)年に通り時、弥陀の画像十字を賜る。開祖は唯円。古くは曹溪山東禪院と号す。明応4(1495)年了円が蓮如自筆の六字の名号、五条袈裟・御珠数・杖・笠をもらい蓮の一子を賜り蓮德寺と改。	G、石仏	N4	
5	29006		金光山智雲寺	善光 (安八郡)	不明	真言宗→ 真宗	成立時期不明、始め真言宗。文禄元(1592)年智了が真宗に帰す。羽島市足近の西方寺から分れた。慶安2(1649)年に寺号を智雲寺と改称。もとは現在の善光公民館付近にあり。		04	
6	29007		興正山照源寺	大森 (安八郡)	近現代か	真宗	成立時期不明、成立は密然、永正8(1511)年真宗に転。元は現在の長良川中にあり、改修工事で当地に移転。			
7	02091b		養樂寺旧境内	中須 (安八郡)	天文5年	?→ 真宗	森部村に成立し、正樂寺といつたが、永正8(1511)年願西が真宗に帰依。享禄3(1530)年南今ヶ瀬へ、天文5(1536)年中須へ。天文21(1552)年大垣市平村(02091)へ移ったが、中須には別に通所を置いた。中須にあったころの名称に「展樂寺」という呼び名もある。			
8	29009		光遙山受徳寺	東結 (安八郡)	明応4年	真宗	明応4(1495)年成立。開祖は清和天皇十八世の後胤、成頼の五男尊正。	G	N4	
9	29010		東光山淨満寺	北今ヶ瀬 (安八郡)	寛喜3年	天台宗→ 真宗	寛喜3(1231)年成立、始め天台宗。天文8(1539)年に真宗、西方寺末寺。寛文2(1662)年に仏像を安置し、淨專へ寺号淨満寺。江戸末期に西方寺より離し本山直末。	G	N4	
10	29011		紫雲山等流寺	西結 (安八郡)	天文年間以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明、天台宗の頃は紫雲山と号した。天文年間(1532～55)の頃、頤如意より掘治郎兵衛(淨了)が弥陀の絵像を賜り、淨了が中興の祖。寛文年間(1661～1673)等流寺と改めた。		N4	
11	29014		南淵山教順寺	南今ヶ瀬 (安八郡)	永祿7年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明、始め天台宗。永祿7(1564)年に僧大安が真宗に帰依して寺を再興。寛永14(1637)年、寺号を教順寺。	G、H	N4	
12	29015		横枕山光顕寺	森部 (安八郡)	伝8世紀	天台宗→ 真宗	最澄の成立と伝わる。長享2(1488)年光顕寺となる。関ヶ原合戦の直前の慶長5(1600)年8月、徳川家康と通じていた教如上人を当寺の須彌壇に匿う。	G	N4	
13	29017		南光山興久寺	南条 (安八郡)	大永7年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。はじめ尾州光明寺末で天台宗。大永7(1527)年に僧淨誓が真宗に転じ興久寺となつた。	G	04	
14	29018		妙應山通性寺	米取 (安八郡)	明応5年	真宗	明応5(1496)年、本願寺実如のとき、明誓が真宗に帰依して建立。報土寺末となる。成立時は寄合所と伝。		04	
15	29019		香雲山敏泉寺	中 (安八郡)	不明	真宗	大永3(1523)年に康治が真宗に帰し建立。三河本澄寺末となる。元は三河にあったが、当地へ移転。移転時期不明。聖德太子像は古来よりあるが伝承は不詳。			

### 32 第3章 西濃圏域の寺院

表40 安八町寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
16	29021	町屋觀音堂	西結 (安八郡)	永享年間	不明	永享年間(1429~41)建立か。元は結神社東隣にあり。現在は公園に南向きの御堂あり。			N4	
17	29023	森部薬師堂	森部 (安八郡)	不明	浄土宗	29015光顧寺の薬師が洪水によって今の薬師堂付近へ流れ着いたといい、光顧寺より古いといわれているが詳細不明。	G、H、I		O4	
18	29027	(伊久良河宮跡)	森部 (安八郡)	不明	不明	成立時期不明。中世の社寺跡として遺跡登録されている。			N4	

表41 安八町参考寺院一覧表

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	29012	円明寺	中須 (安八郡)	寛永12年	真宗	寛永12(1635)年、了玄が真宗に帰依し建立。平成25(2013)年廃寺、跡地残り石碑あり本寺の沿革を記す。		
2	29013	永禄山法嚴寺	大野 (安八郡)	万治4年以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。始め天台宗で了法が真宗に転。万治4(1661)年太子・七高祖ならびに開山の御影を授。もとは永禄堂とも。		
3	29016	道淨寺	西結 (安八郡)	寛政5年	真宗	寛政5年(1793)、開祖は石原欣浄。現在は道浄公園となっている。		
4	29020	雲晴寺	西結 (安八郡)	宝永年間	日蓮宗	宝永年間(1704~11)、開祖は久成院清山日道信士。結村高田又吉の先祖、尾張木曾川法蓮寺の住職が雲晴寺を建立。結神社西側。		
5	29022	地蔵堂	北今ヶ瀬 (安八郡)	不明	不明	成立時期不明。現在は愛宕神社と呼ばれ、御堂が残る。		

表42 捐斐川町寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
1	30001	両界山横藏寺	谷汲神原字坂本 (大野郡)	天保3年		天台宗	本文参照	G、H、I、 板碑状G	L3	
2	30001b		横藏寺旧境内 (旧横藏寺跡)							
3	30002	瑞瓈光山東光寺	若松字西瀬古 (大野郡)	文明10年	天保17年	天台宗	1200年頃まで科洞天土寺の薬師如来を奉る堂を文明10(1478)年寺ヶ洞に移し始。承應2(1653)年堂全焼、貞享4(1687)年横藏寺が持仏修繕、村人が堂再建、東光院と称す。			L3
4	30007	谷汲山華嚴寺	谷汲德積字芝間 (大野郡)	延暦17年	天台宗	本文参照		本文参照	122	L3
5	30010	佛告山光明寺	春日川合字村之内 (池田郡)	弘安3年	天台宗→ 浄土宗	元横藏寺末。弘安3(1280)年に白禅が開基、延宝7(1679)年又は正慶年間(1332~1333)に淨土宗に転宗。	G、H、I、 石仏		M2	
6	30013	清涼山光蓮寺	白樺字七屋敷 (池田郡)	慶安3年	天台宗→ 真宗	正平10(1355)年に光闇が開山。真宗への転宗時期は不明。慶安3(1650)年、大門屋敷(現白樺内)から移転した。旧境内の位置不明。				
7	30014	放光山現徳寺	清水字村ノ内 (大野郡)	延徳元年以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。吉田弾正義久が入寺し、延徳元(1489)年に真宗に転宗。	G		M3	
8	30015	渓龍山受念寺	島字野田 (大野郡)	貞元2年	天台宗→ 真宗	貞元2(977)年に成立、元は天台宗、文明年間(1469~1487)初めに真宗に転宗。	G、H		M3	
9	30016	晴雲山等光寺	黒田字瀬古前 (池田郡)	近代	天台宗→ 真宗	本文参照		本文参照	126	
10	30016b	等光寺旧境内	春日六合池戸平 (池田郡)	元弘年間						
11	30018	佛光山善長寺	谷汲大洞字中屋敷 (大野郡)	寛政12年	天台宗→ 真宗	元横藏寺末。平安期に最澄により利生院成立、弟子最圓が住職の際に荒廃。寛政12(1800)年に東方180m離れた現在地へ移転。転宗時期不明。				
12	30018b	善長寺旧境内	谷汲大洞 (大野郡)	伝弘仁年間						
13	30020	永應山円立寺	谷汲深坂字奥ノ城 (大野郡)	貞元3年	天台宗→ 真宗	貞元3(978)年、多田満仲が開山し淨光院と称。寛和2(986)年、多田院と改め天台宗に属した。文明3(1471)年に真宗に転宗。明暦3(1657)年に円立寺の寺号を得た。戸田伊豆守氏栄公の菩提寺。	G		M3	
14	30021	鈴聲山善明寺	房島字東屋敷 (大野郡)	慶長7年	真宗	慶長7(1602)年、成立。光耀山善明寺(上善明寺)に対して、下善明寺と呼ばれている。			M3	
15	30026	曉雲山妙楽寺	市場字女丘尼旭 (池田郡)	文祿元年	天台宗→ 真宗	文祿元(1592)年に成立。妙教が開基。江戸期に真宗へ転宗。元は尼寺で、地名にも残る。			M3	
16	30027	紫金山長等寺	市場字上市場 (池田郡)	文祿年間以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。文祿年間(1592~1596)に真宗に転宗。	G		M3	

表43 摂斐川町寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
17	30028		広瀬山 妙輪寺	坂内広瀬 宇カスゴ (池田郡)	文明13年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明、元は横蔵寺末。越中坊(悦預房)と称し地侍の祈禱所。文明13(1481)年に真宗本願寺派に転宗し碧松寺と称、慶長年間(1596~1615)東本願寺派に改派。享保年間(1716~1736年)妙輪寺と改称。			K2
18	30029		紫雲山 本照寺	坂内坂本 宇宮上 (池田郡)	文禄元年以 前	禅宗系→ 真宗	元は元小寺と称する。文禄元(1592)年に真宗(西本願寺派)、慶長年間(1596~1615年)に東本願寺派へ改派。天和3(1683)年に栄心坊、貞享2(1685)年に本照寺と称する。	H、I		K2
19	30030		光耀山 善明寺	房島 宇南屋敷 (大野郡)	慶長 8 年	真宗	弘仁3(812)年、最澄により開山。天上寺と称する横蔵寺末の寺、文明10(1478)年に真宗に転宗。永正14(1517)年に稻葉白雲の夜討ちにより焼失際、房島大町へ移転、善明寺と称す。			
20	30030b		善明寺旧境 内	房島 (大野郡)	永正14年頃	天台宗	慶長5(1600)年の治部の乱で再度焼失、慶長8(1603)年に現在の地に再建。上善明寺と呼。天上寺の位置不明。			M3
21	30031		宝生山 明隨寺	春日香六 字正金地 (池田郡)	慶長 5 年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。開基は春誓。慶長5(1600)年に真宗に転宗。			
22	30032		深谷山 圓稱寺	櫻原 字東洞 (大野郡)	文明14年以 前 若しくは 永禄 6 年	天台宗→ 真宗	元は道場であったが、文明14(1481)年に真宗へ転宗し、のちに大谷派へ改派。成立時期は永禄6(1563)年という説もある。	H、I		L2
23	30033		白雲山 淨輪寺	清水 宇後川 (大野郡)	近代	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。西杉原の村を支配する豪族宮川家菩提所として発足した道場であった。慶長年間(1596~1615)に真宗へ転宗。徳山杉原ダム建設に伴い移転。	G、H、I		
24	30033b		淨輪寺旧境 内	鶴見 (池田郡)	慶長年間以 前					K2
25	30034		香流山 遍光寺	春日六合 字下ヶ流 (池田郡)	天正18年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。天正18(1590)年に真宗に転宗、慶長7(1602)年に東本願寺末となる。			M2
26	30035		祐性寺	上野 字中畠 (大野郡)	慶長 2 年	真宗	慶長2(1597)年に成立。			M3
27	30036		金剛山西藏寺	春日美東 字中郷 (池田郡)	慶長 5 年	天台宗→ 真宗	元は横蔵寺末、鎌倉時代に竹専庵と称。室町期に折元から現在地へ移転、文安2(1445)年に存知上人に帰依、慶長5(1600)年に真宗へ転宗。寛永16(1633)年に西藏寺に寺名を改。旧境内位置不明。	G、H、I		M2
28	30037		宝泉山 発心寺	春日美東 字向良 (池田郡)	天文10年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。天文10(1541)年に真宗に転宗。慶長5(1600)年に転派。	I		M2
29	30038		岡尾山 寂靜寺	春日六合 字上ヶ流 (池田郡)	慶長年間以 前	天台宗→ 真宗	慶長年間(1596~1615年)に真宗へ転宗、慶長7(1602)に東本願寺末となる。			M2
30	30039		王君山 法性寺	春日美東 字尾西 (池田郡)	慶長 5 年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。元は千疋坊清涼院と称していた。慶長5(1600)年に真宗に転宗。	G		
31	30040		龍登山 閑窓寺	春日美東 字豆谷 (池田郡)	慶長 5 年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。慶長5(1600)年に真宗に転宗。	G、I		M2
32	30041		無量山 善勝寺	東杉原 字村内 (大野郡)	天正19年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。元横蔵寺末であったが、天正19(1591)年に真宗へ転宗。享保5(1720)年に寺号を善勝寺とした。			K2
33	30042		朝日山 光永寺	春日 小宮神 字村ノ内 (池田郡)	明治14年	天台宗→ 真宗	文応元(1260)年に久瀬外津汲字立道に成立した。文明14(1482)年に真宗に転宗。明治14(1881)年、地元住民からの要望で、現在地に移転。			
34	30044		光明山 専称寺	乙原 字森内 (大野郡)	嘉永 5 年頃	天台宗→ 真宗	文治4(1188)年~建久6(1195)年、横蔵寺第48世が別院として専昌寺一行坊を建てたことが起源。文明14(1482)年に真宗に転宗、慶長年間(1596~1615年)に大谷派に改派。現在の堂は嘉永5(1852)年に再建されたもの。成立時は乙原寺跡とされている場所にあったという。	G、H		
35	30044b		専称寺旧境 内 (乙原寺跡)	乙原 字森内 (大野郡)	文治 4 年~ 建久 6 年					L3
36	30045		功德山 善重寺	日坂 字下村 (池田郡)	天永 6 年	天台宗→ 真宗	天永6(1526)年に成立、天台宗に属した。本願寺第8世蓮如の時に真宗に転宗、慶長5(1600)年に大谷派へ改派。	G、H、I、 石仏		L2
37	30046		南宮山 長光寺	春日美東 字中瀬 (池田郡)	慶長 5 年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。元は天台宗の草庵であったが、慶長5(1600)年に真宗へ転宗。			M2
38	30047		瑠璃光山 西向寺	西津汲 字中武良 (池田郡)	養和元年	天台宗→ 真宗	養和元(1181)年、仙範僧都弟子の円澄が成立。元横蔵寺末で慈師寺と号した。文明6(1474)年に真宗に転宗、天文5(1536)年に西向寺と称した。	G、石仏		L3
39	30048		佛教山 速行寺	市場 字七屋敷 (池田郡)	永禄 2 年	真宗	長祿元(1457)年成立。永禄2(1559)年に市場字中屋敷から移転したというが、旧境内の位置不明。			M3
40	30049		善龍寺	西横山 字桂 (池田郡)	文明 2 年	天台宗→ 真宗	文明2(1470)年、慈雲により成立。初めは林光院と称していたが、文明6(1474)年に真宗に転宗した際、善龍寺に改めた。慶長5(1600)年に大谷派に改派。	G、I、石仏		L2
41	30050		大乘山 福田寺	三倉 字寺環 (池田郡)	伝天文20年	真宗	天文20(1551)年成立と伝わる。慶長12(1607)年に真宗大谷派に転宗。	G、I		L3
42	30051		恵光山 福円寺	外津汲 字立道 (池田郡)	応安 8 年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。元横蔵寺末。応安8(永和元)・文中4(天授元)(1375)年に真宗に転宗。			L3

表44 捐斐川町寺院一覧表(3)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
43	30052		称念寺	坂内坂本字中平 (池田郡)	天文年間以前	?→ 真宗	成立時期不明。往古は薬師堂で天文年間(1532~55)に阿弥陀仏を本尊。慶長年間(1596~1615)に真宗に転宗。昭和18(1943)年頃に焼失。現在は坂本コミュニティセンター。	I、石仏		K2
44	30053		藤橋山勝善寺	東横山字村 (大野郡)	応安8年以前	天台宗→ 真宗	応安8(永和元)・文中4(天授元)(1375)年には横蔵寺の末寺として存在したといわれ、文明14(1482)年に真宗に転宗。慶長5(1600)年に大谷派となり、安八郡横井の永徳寺末の道場となる。寛延年間(1748~1751)に東本願寺直末。	G		L2
45	30054		寂光山真教寺	三輪字下新町 (大野郡)	永正10年以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。永正10(1513)年、蓮如の弟子了因が志津山の寺を現在地に移転と伝。宝曆13(1763)年に本願寺派から大谷派へ改派。聴き取りで元は天台宗。			M3
46	30055		紫光山西蓮寺	和田字松之下 (池田郡)	伝延暦年間 若しくは弘仁年間	真宗	延暦年間(782~806)か弘仁年間(810~823)成立、開基最澄、元横蔵寺末西琳院。康永2(1343)年に普照阿闍梨再興、慶長14(1609)年真宗に転宗。元和4(1618)年に西蓮寺。	G		M3
47	30057		紫雲山長存寺	上南方字田中山 (大野郡)	天文年間	天台宗→ 真宗	成立時期不明。元は天持寺と称し上南方の御堂ヶ洞か寺小場。文明11(1479)年に真宗に転宗、天文年間(1532~55)現在地へ移転。寛永年間(1624~44)の再興時に寺名を長存寺と改。			M3
48	30058		谷汲山大乗寺	三輪字下新町 (大野郡)	慶長2年	真宗	文亀元(1501)年、国枝正時が宇小谷に成立した一字に始まる。慶長2(1597)年に現在地へ移転。同15(1610)年に寺号を長福寺とし、正徳2(1712)年に大乗寺に改める。宇小谷には「大乗寺敷」という私称地(35058b)があり、現在は墓地。			M3
49	30058b		大乗寺旧境内	小谷 (大野郡)	文亀元年					M3
50	30059		湯次山伝明寺	坂内坂本字井ノ口 (池田郡)	寛正年間	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。初めは應聲院と称していたが、寛正年間(1460~66)に真宗本願寺派に転宗した際に、寺号を伝明寺とした。慶長年間(1596~1615)に東本願寺派へ改派。	G		K2
51	30060		籠溪山友徳寺	坂内広瀬字堂前 (池田郡)	貞応元年以前	天台宗→ 真宗	成立時期は不明。元横蔵寺末で、大応院と称する広瀬加賀の菩提所であった。貞応元(1222)年に法善(佐々木治郎光實)が真宗道場を営建すると、門下は道場に帰依するようになり一時荒廃。慶長5(1600)年に東本願寺派、その後大谷派へ改派。正保4(1647)年に友徳寺に改称。	G		K2
52	30061		高流山正業寺	西津汲字西武良 (池田郡)	永徳2・ 弘和2(1382) 年以前	天台宗→ 真宗	成立時期は不明であるが、永徳2・弘和2(1382)年の史料に記載があり、元横蔵寺末。長期間荒廃していたところ、安永3(1774)年に横井永徳寺末高田派に改派し、再興。			
53	30062		等覚寺	東津汲字市抜 (池田郡)	永正9年	天台宗→ 真宗	永正9(1512)年に道場造立。寛文年間(1661~1673)真宗に転宗、永徳寺末光福寺。寛延元(1748)年に永徳寺高田派への改派で大垣地頭からとめ寺。宝曆年間(1751~1764)頃に現神戸町安次の等覚寺(庵寺)を譲受、高田派寺院。	G		
54	30063		仏光山即現寺	東津汲字鎌坂 (池田郡)	不明	天台宗→ 真宗	寺伝で平安時代成立、横蔵寺末了副寺、寛延元(1748)年に永徳寺高田派へ改派で大垣地頭からとめ寺。高田派信仰を続け宝曆年間(1751~64)に道場建立、速玄寺と改称。聴取で始め神戸町横井(30063b)にあり。移転時期不明。	G		
55	30064		雲龍山大興寺	大光寺字水上 (大野郡)	伝延暦年間	天台宗→ 臨済宗	延暦年間に元横蔵寺末で成立と伝、文和5(延元)・正平11(1356)年に土岐頼雄が滝瀧周瀬を請じて開基し天竜寺末、永徳2・弘和2(1382)年南禪寺派、慈聖院の末寺。土岐頼雄の墓あり。	G、H、I		M3
56	30067		医王山東光寺	小野字北屋敷 (大野郡)	伝大同年間	真言宗→ 臨済宗	本文参照	本文参照	128	M3
57	30068		彗照山松林寺	三輪字北新町 (大野郡)	長祿2年	?→ 天台宗→ 臨済宗	長祿2(1458)年、妙心寺第5代義天が成立、焼失。慶長年間(1596~1615)に西尾城主の西尾光教が菩提寺で再建、天台宗に転宗。西尾氏の改易後大破し慶安4(1651)年に代官岡田義政が菩提寺で禅宗に転宗。	G、H、I		M3
58	30070		心華山正受寺	谷汲長瀬山田 (大野郡)	弘化4年	天台宗→ 臨済宗	延暦15(796)年に横蔵寺末で成立。正徳4(1714)年廃絶、弘化4(1847)年に現在地へ移り再興、禅宗妙心寺派に転宗。前身寺院の場所不明。			
59	30072		渓徳山洞泉寺	小津字下瀬古 (大野郡)	近世か	天台宗→ 臨済宗	本文参照	本文参照	130	L3
60	30072b		洞泉寺旧境内	小津字下瀬古 (大野郡)	伝長元年					L3
61	30073		東春山法雲寺	谷汲岐礼字宮ノ上 (大野郡)	正徳年間	臨済宗	天正10(1582)年清水城主稻葉良通(一鉄)が土岐頼芸菩提所として成立し、来春庵と称した。正徳年間(1711~16)に現在地へ移転、法雲寺と改称。土岐頼芸の墓がある。	G、H		
62	30074		臨濟山長山寺	谷汲長瀬字上野 (大野郡)	大正期	天台宗→ 臨済宗	正慶年間(1332~33)、長瀬城主土岐頼実の養子である藤原冬基が開基となり、長山寺を成立。当初は36坊を有したが、天文元(1548)年に焼失。天保4(1833)年に臨済宗に転宗。大正期に移転。	G		
63	30074b		長山寺旧境内	谷汲長瀬 (大野郡)	正慶年間	天台宗→ 臨済宗		G、 石神堂跡、 井戸石組、 集石		L4
64	30075		萬松山瑞巖寺	瑞岩寺字沼 (池田郡)	文和2年	臨済宗	天平年間に行基が地蔵菩薩の小堂を建立と伝、小島城主の土岐頼清土岐氏が堂を再建。建武3・延元元(1336)年に頼清が死去し子の頼康が父の菩提を弔う堂宇建立し京都南禪寺の大林善人和尚を請じ葬儀を執行。文和2(1353)年、後光厳院が小島頼宮に入り土岐頼康に伽藍建立命ず。土岐頼清・頼康父子の墓あり。	G、H、I		M3

表45 摂斐川町寺院一覧表(4)

番号	寺院番号	史跡	山院号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
65	30076		光常院	小島 宇本郷 江川南 (池田郡)	慶長3年	臨済宗	慶長3(1598)年、福壽坊が正觀音像を背負って当地に至り一堂を建立したが、寛永元(1624)年に死去し寺は荒廃した。寛永5(1628)年に常光庵として再興したが再度荒廃。	G		M3
66	30077		薬師寺	上南方 字北村 (大野郡)	天正年間	臨済宗	天正年間(1573~92)に野原家政が成立、寛文の洪水で流出。元禄年間に一宇を再建、安永8(1779)年に薬師庵、寛政年間(1789~1801)に薬師寺に改称。	G		M3
67	30078		徳泉山 中林寺	谷汲名礼 字中林 寺前 (大野郡)	永正14年以降	天台宗→ 臨済宗	山県市南泉寺の東嶺和尚が南泉寺(永正14年(1517)年成立)を離末、中林寺を成立。元は宝光院と徳泉庵の2つの天台宗寺院。天保期に修行僧を抱える道場として興る。	G、石仏		L3
68	30079		広瀬山 巖泉院	坂内広瀬 字篠洞 (池田郡)	応永16年	天台宗→ 曹洞宗	応永16(1409)年に空山が開山し、東泉庵と称した。元は天台宗の寺院であったが万治2(1659)年に曹洞宗に転宗し、岩泉院に改称した。	G、I		K2
69	30080		清光山 月桂院	長良 字村之内 (大野郡)	天正10年	臨済宗→ 曹洞宗	天正10(1582)年、稲葉一鉄が旧宅を菩提寺として成立。開山は湖南宗学。慶長12(1607)年に曹洞宗に転宗。稲葉一鉄の墓がある。	G、H、石仏		M3
70	18065b		法幢山 増徳寺	徳山 字村平 (大野郡)	永享10年	真言宗→ 天台宗→ 曹洞宗	成立時期は不明。永享10(1438)年には徳山城主徳山頼長の菩提寺で存在。後に天台宗、元和元(1615)年に曹洞宗に転宗。徳山ダム建設に際し、昭和6(1931)年に本巣市(18065)へ移転。			J2
71	30082		大貴山 長国寺	日坂 字中村 (池田郡)	応永元年	曹洞宗	成立時期不明。行基が薬師・釈迦・大日・觀音等の像を彫刻し、一宇の堂を建立。寺の荒廃後、土岐頼康が再建、土岐氏没落とともに長国寺は廃絶と伝。応永元(1394)年に天台宗寺院で現在地に再建、応永12(1405)年(慶長年間(1596~1615)の説有)に曹洞宗に転宗。	G、H、I、 石仏		L2
72	30082b		長国寺旧境内 (長国寺跡)	春日美東 (池田郡)	不明	不明		G、石積		L2
73	30083		施無畏山 觀音寺	春日中山 中山之内 (池田郡)	享保18年以降					M2
74	30083b		觀音寺旧境内	春日中山 中山之内 (池田郡)	弘安年間	天台宗→ 曹洞宗	本文参照	本文参照	132	M2
75	30083C		觀音寺旧境内	春日中山 (池田郡)	義和元年					M2
76	30084		金龍山 法幢寺	脛永 字門前 (池田郡)	明応6年	天台宗→ 曹洞宗	成立年代不明、天台宗。清水の運法寺火災で焼失し、明応6(1497)年に不破郡今須の妙應寺の章経辛説和尚が現在地へ移し法幢寺と改称。	G、H、I、 石仏		M3
77	30088		補陀山 釣月院	清水 字後川 (大野郡)	貞和年間	曹洞宗	本文参照	本文参照	134	M3
78	30090		法性山 覺林寺	清水 字村之内 (大野郡)	慶長年間	天台宗→ 日蓮宗	慶長年間(1596~1615)に、丹波守身延山日乾を請じて天台宗の寺院跡を日蓮宗に転宗し成立。	G、石仏		M3
79	30092		恵眼山 本覚寺	谷汲深坂 字西谷 (大野郡)	天正5年	日蓮宗	天正5(1577)年、本国寺日禎の法孫である日譽による成立。	G、石仏		L3
80	30093		觀音堂	谷汲岐礼 字堂ヶ洞 (大野郡)	14世紀頃	単立	成立時期不明、除正光坊が開山し上野山正光寺医王院と称。建武年間(1334~38)に夢窓国師が座禅行い土岐頼貞が里山近くに伽藍を再建。天文21(1552)年に兵乱で焼失。	G		L4
81	30095		(寺屋敷遺跡)	山手 字沢焼 (大野郡)	平安時代後期	不明	本文参照	本文参照	138	J2
82	30096		(寺平遺跡)	塚 字寺平 (大野郡)	10世紀前半	天台宗→ 真宗	本文参照	本文参照	140	J2
83	30097		(仮)小島庵寺	小島 字堂後 (池田郡)	古代	不明	大正13(1924)年に水田より軒丸瓦が出土したことから、古代寺院の存在が推測されているが、沿革・位置は不明。	瓦、G、H、 I		M3
84	30102		極楽寺	極楽寺 (大野郡)	不明	天台宗	元横蔵寺末。成立時期は不明だが、元極楽寺藏法華玄儀釋籤の奥書に文永3(1266)年に寺号が確認できる。天文16(1547)年、齊藤道三の兵火により廃滅する。位置不明。			
85	30103		天神寺	上南方 (大野郡)	不明	不明	成立時期は不明だが最澄成立と伝わる。上南方桂御堂ヶ洞の寺小場に寺があつたといわれる。位置不明。			
86	30104		康永寺	上南方 (大野郡)	不明	不明	成立時期は不明であるが、夢窓国師(1275~1351年)開基、土岐頼雄(?)~1380)成立と伝わる。上南方の桂寺林に寺があつたといわれる。位置不明。			
87	30105		光耀山 天上寺	北方 字天上 (大野郡)	不明	天台宗→真宗	元横蔵寺末。弘仁3(812)年、最澄成立と伝。文明10(1478)年に真宗に転宗。永正14(1517)年に稲葉白雲の兵火で廃絶、大永4(1524)年に房島の大町で再建し善明寺と改。位置不明。	G		
88	30106		白岩山 中蓮寺	北方 字天上 (大野郡)	不明	不明	成立時期は不明だが最澄成立と伝わる。成立後まもなく無住となり荒廃した。位置不明。			
89	30107		(仮)木曾屋 庵寺	谷汲 木曾屋 (大野郡)	中世か	不明	本文参照	本文参照	136	L3
90	30108		棚口庵	谷汲名礼 字小洞 (大野郡)	不明	不明	天正15(1587)年に中林寺の草庵を結び、往来する人々を接待したといわれる。位置は不明。			

表46 捐斐川町寺院一覧表(5)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号寺院名	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査略票	分布図
91	30112		蓮法寺	清水字村之内(大野郡)	不明	天台宗→曹洞宗か	成立時期は不明。明応6(1497)年、不破郡今須の妙應寺の章経辛説和尚が、火災によって頽廃した蓮法寺を移し、法幢寺として再興した。位置不明。			
92	30113		光明寺	脛永字溝口(池田郡)	不明	不明	成立年代は不明だが、善明寺の空淨(天正9(1581)年没)によって建立された。位置不明。後に現本巣市政田に移る。			
93	30114		徳陰庵	市場女丘尼畑(池田郡)	不明	不明	龍徳寺末寺。成立年代は不明だが、永正14(1517)年の文書に寺院名の記載がある。徳陰庵はこの妙樂寺の前身となる尼庵であった可能性がある。位置不明。			
94	30116		東津汲寺	東津汲(池田郡)	不明	不明	明治初年に寺跡で仏像出土。位置不明。大垣市宗休寺の前身「広福寺」に該当する可能性あり。			
95	30117		天龍山相応寺	徳山字門入(大野郡)	不明	不明	成立時期は不明。『揖斐郡志』によると、明治維新時の廃仏毀釈により廃絶したとされる。位置不明。			
96	30118		三井寺	三輪字阿房堂(大野郡)	永和・天授3年	不明	永和3・天授3(1377)年、横蔵寺蟲供養の記録に寺院名が記載。大字三輪阿房堂が三井寺推定地であり、石塔類が散乱する。	G、H、宝塔、重制六面石幢	M3	
97	30120		長福寺	坂内広瀬(池田郡)	延慶2年	天台宗	延慶2(1309)年に成立されたが、中世末期には無住無檀越で、広瀬三ヶ村立会の観音堂となつた。		K2	
98	30121		安養寺	若松西瀬古(大野郡)	伝平安時代	不明	成立時期は不明だが平安時代と伝わる。北側にある八幡神社の神宮寺。明治維新時の廃仏毀釈によって廃絶。現在は田畠。	石垣	L3	
99	30122		(仮)尾西千疋庵寺	春日美栗千疋・尾角(池田郡)	不明	不明	成立時期など詳細不明。聴き取り調査によってかつて寺があったという情報を得た。平坦面が4面程連続し、最上段に基壇状の高まりを確認した。	G、I、石仏、基壇状の高まり		
100	30125		谷山説教場	春日六合字谷山(池田郡)	不明	真宗	天正4(1576)年、織田信長の兵火のため本尊を奉じて難を避け、覚林が堂宇を建立した。仏照寺(大野町)の道場。位置不明。			
101	30126		瀧不動院	春日六合字上之平(池田郡)	14世紀前半	不明	行基が不動明王を彫刻し小堂を建て安置したと伝わる。土岐頼清が不動堂を建て、建武3・延元(1336)年、頼清の子の頼康が不動院と改称し、瑞巖寺子院となる。		M3	
102	30127		(上原遺跡)	上原(大野郡)	古代	不明	詳細不明	本文参照	J2	
103	30128		伎明寺	小津字下瀬古小坂	不明	不明	弘仁年間(810~824)には古坂に存在したといわれる。昭和の始めに30072洞泉寺の本堂脇に岩屋稻荷を移し、洞泉寺領守稻荷として祀られていた。位置不明。			

表47 捐斐川町参考寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号寺院名	所在地(旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	30009		無量山長源寺	三輪字北新町(大野郡)	慶安2年以前	浄土宗	成立時期不明。等与上人(慶安2(1649)年没)によって開山。	G、H、I
2	30011		城台山一心寺	三輪字城台山(大野郡)	天保元年	浄土宗	揖斐領主岡田氏の家臣が播隆上人のために阿弥陀堂を成立。明治12(1879)年に寺名を一心寺に改める。	G
3	30012		照端山長慶寺	北方字寺瀬古(大野郡)	寛文年間	真宗	寛文7(1667)年に長慶寺と称された。境内に「寛文元年2月」銘の瓦がある。	G、I、石仏、瓦
4	30017		白雲山専教寺	谷汲神原字谷口(大野郡)	元禄元年	真宗	元禄元(1688)年、了順によって成立。	
5	30022		桜竜山善立寺	谷汲長瀬河原屋敷(大野郡)	寛文4年若しくは寛文11年	真宗	寛文4(1664)年又は寛文11(1671)年、善立が開山。	G、I
6	30023		明蓮山顕宗寺	谷汲名札林ノ海道(大野郡)	延宝元年	真宗	延宝元(1673)年、三河国勝福寺の舎弟存夕がこの地に移住したところ、村人が帰依するようになり成立。	
7	30024		木倉山西宝寺	谷汲木曾屋(大野郡)	貞享2年	真宗	貞享2(1685)年、了保が成立。	
8	30025		長松山信楽寺	上野字段(大野郡)	元禄元年以前	天台宗→真宗	成立時期は不明。開基は善西。元禄元(1688)年に真宗に転宗。	
9	30056		紫雲山光明寺	脛永字中村(池田郡)	慶応元年	真宗	慶応元(1865)年、坪井得聞によって開基。	
10	30065		积迦院	岡字村(池田郡)	寛政6年以前	臨済宗	成立時期は不明。寛政6(1794)年に廃寺となるが、本尊を現在地へ移し积迦院と称した。	G、I、石仏
11	30066		志津山円通寺	志津山字村ノ内(大野郡)	安永年間	臨済宗	安永年間(1772~1781)に小川理右衛門女恵凛尼が開基。天保11(1840)年に観音庵から円通庵と改称する。	
12	30069		大覚山自性院	小谷字城ヶ峯(大野郡)	昭和36年	臨済宗	天保5(1834)年、高橋八十右衛門によって創立。昭和36(1961)年に現在地に移転。	

表48 摂斐川町参考寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
13	30069b		大覺山 自性院 旧境内	小谷 (大野郡)	天保5年	臨濟宗	天保5(1834)年、高橋八十右衛門によって創立。谷汲巡礼街道に面し、谷汲山への巡礼者を接待した茶所として栄えた。	
14	30071		極楽寺 字村中 (大野郡)		元禄年間	臨濟宗	元禄年間(1688~1704)、細野玄正が成立。廃絶していた極楽寺の本尊を安置する堂(辨天庵)を建立した。地元では「庵寺」と呼ばれている。	G、I
15	30085		不動寺	北方 宇北外門 (大野郡)	寛政年間	曹洞宗	寛政年間(1789~1801)に智香禪尼が成立。文化8(1811年)に不動庵と改称。	G
16	30086		賢徳山 蓮華寺	脛永 字門前 (池田郡)	慶長8年以 前	曹洞宗	成立年代は不明だが、法幢寺の扇翁和尚が開山。慶長14(1609)年の検地帳に「蓮華寺」が見られる。	G、H、宝塔
17	30087		心月院	上東野 字村北 (池田郡)	不明	曹洞宗	成立時期及び沿革不明。	
18	30089		白龍山 長昌寺	坂内川上 字村ノ内 (池田郡)	不明	天台宗→ 曹洞宗	成立時期は不明。初めは常榮院長昌寺と称したが後に今須妙応寺の支配下となり、曹洞宗に転宗した。天保4(1833)年に成立された夜叉龍神社の別当寺となつた。	G、I
19	30091		道慶寺	福島 字石畠 (大野郡)	文化年間	日蓮宗	文化年間(1804~1818)に日聰が成立。道慶庵とも称されている	
20	30094		普賢寺 (普賢寺跡)	開田 字高 (大野郡)	不明	真言宗	寺があつたという伝承が残るが、徳山ダム建設に際して行われた平成3年の発掘調査では遺構は確認できなかつた。縄文・中世・近世の遺物散布地として遺跡登録されている。	G
21	30098		蓮華寺	三輪 字下町 (大野郡)	享保11年	日蓮宗	成立時期は不明。清水覚林寺の日賢が、元上新町に法華庵として中興開基。享保11(1726)年に下町に移転し、明治15(1882)年に寺号を蓮花寺に改称。	
22	30099		西光寺	春日川合 (池田郡)	寛永17年以 前	真宗	成立時期は不明。寛永17(1640)年に西光寺の寺号を得た。寛政8(1796)年の明細帳に、真宗佛光寺派に属し無住と記載、明治8(1875)年廃絶。	G、I、石仏
23	01186b		真宗寺	鶴見 字宮貝戸 (池田郡)	天和3年	真宗	天和3(1683)年成立。摂斐川町大乗寺の別院(道場)で、明治9(1876)年に真宗教務所への届出では長福寺と称す。横山ダム建設に伴い、昭和38(1963)年に岐阜市日光町(01186)に移転。	
24	30101		鬼姫生道場	東杉原 (大野郡)	不明	真宗	文政2(1819)年には存在したと考えられる。横山ダム建設により水没し、位置不明。	
25	30109		常祐寺	谷汲深坂 字北出畑 (大野郡)	不明	日蓮宗	成立時期は不明。明治維新時の廢仏毀釈によって廃絶。位置不明。	
26	30110		建塔寺	谷汲深坂 (大野郡)	不明	日蓮宗	享保12(1727)年に元村字建塔寺から新田に移転、明治期に廃絶。位置不明。	
27	30111		正徳寺	谷汲長瀬 字當田 (大野郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。位置不明。	
28	30119		常栄寺	坂内川上 (池田郡)	不明	天台宗	文政5(1822)年の「長昌寺由緒記」に、長昌寺元屋敷のうちの一つとして常栄院屋敷の名がある。位置不明。	
29	30123		小津白山神 社周辺	久瀬 小津中島 (池田郡)	(神社)	不明	白山神社は貞元2(977)年に成立され、境内の薬師堂内に觀音立像・懸仮等安置。境内入口に薬師堂があり、神社周辺に平坦面を確認したが性格不明。寺院としての沿革はなく、詳細不明。	G、石仏

表49 大野町寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
1	31002		中本山 実相院 (領家実相院 跡)	領家 (大野郡)	伝養老2年	真言宗	本文参照	本文参照	148	M3
2	31003		宝雲山 来振寺 (来振寺境内 遺跡)	稻富 (大野郡)	靈龜元年	真言宗	本文参照	本文参照	144	M4
3	31007		永勝山 西照寺	野 (大野郡)	近現代か	天台宗→ 真宗	成立時期不明。天台宗に属していたが、大永年間(1521~1528)了空のとき真宗に転宗。初発の地は西方北屋敷墓地の東付近で、野村新開地に伴い現在地に移建か。織田河内守家の菩提寺だったとも伝えるが、詳細不明。	G		
4	31008		法光山 順明寺	野 (大野郡)	永正年間頃	天台宗→ 真宗	成立時期不明、竹中宗鑑が成立。大永3(1523)年頃、真宗に改宗し法光山順明寺と改称。一説に天台宗灯明寺と称す。永正年間(1504~1521)竹中宗鑑が真宗に改宗、寺号を順明寺と改め袖子之木洞の布賀利神社付近から現在地に移建とも。	G、H		M4
5	31008b		順明寺旧境 内	野 (大野郡)	大永3年以 前					M3
6	31009		古田山 徳林寺	中之元 (大野郡)	仁安2年	真言宗→ 真宗	仁安2(1167)年、明慶により成立、始め真言宗。文明3(1471)年淨專が転宗、開祖で徳林寺と称す。古くは山号を大法会山と称。七堂伽藍があり幕末に焼失。			M3
7	31010		東雲山 専檀寺 (専大寺跡)	上秋 (大野郡)	正平2年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明。正平2(1347)年に天台宗専大寺と称す。享禄3(1530)年に洪水で流出。天文16(1547)年、長屋景満が再建も、兵火で焼失。享保7(1722)年、東海が真宗の東雲山専檀寺を成立した。専大寺跡からは右記の遺物が出土した。	宝塔(文安4年銘)、 金銅仏、 懸仮、 土師皿、G 古漬戸壺		M4

表50 大野町寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
8	31011		宝来山 光照寺	公郷 (大野郡)	伝天長元年	真言宗→ 真宗	縁起によると、天長元(824)年に弘法大師が一宇を建立、宝来山歓喜院光性寺と号すると伝わる。建武2(1335)年、兵火で焼失。明応3(1494)年、下野祐光が改宗、光照寺と称し成立の開祖。昔は大きな伽藍があったが、焼失、水害等でなくなる。31002実相院の僧坊であったという。	G	M3	
9	31012		壺鳳山 仏照寺	公郷 (大野郡)	不明	天台宗か→ 真宗	延喜3(903)年、豪覚が成立。壺鳳山功德院仮性寺と号す。寛正2(1461)年、覚恩が蓮如に帰依し真宗に転宗、仏照寺と改称。一説に文明2(1470)年の転宗改称とも。天正4(1576)年、兵火で春日谷山村に難を避け堂宇を建立。寺伝で掛斐川町横藏寺と関係する寺でかつては久瀬にあり。	G、H		
10	31013		望龟山 大藏寺	南方 (大野郡)	天文20年以 前	真言宗→ 真宗	天明2(1782)年の略縁起によると、昔は31002実相院の寺坊で大藏坊と称す。天文20(1551)年、真宗に改宗し一字を建立。明和2(1765)年、河村秀慶が再建。現在は廃寺。		M3	
11	31014		仏光山 陽勝寺	瀬古 字辻 (大野郡)	弘治元年以 降	真宗	延喜5(905)年、能登国の良徳の成立。加賀国の行心が開創。蓮如に帰依して転宗。戦火で尾張に移り一宇を建てたが天文元(1532)年流出。弘治元(1555)年、尾張の住人教信が開基。多芸郡多喜嶋村の教西を願主として現在地に陽勝寺を再興。	G、H、I	M3	
12	31015		光曜山 長宝寺	稻富 (大野郡)	15世紀頃	真宗	成立時期不明。開祖の教意が蓮如が阿弥陀号を授、真言宗から真宗に転宗。本巣のチクマ家の傍流が成立。		M4	
13	31016		光雲山 光沢寺	寺内 (大野郡)	延文4年	天台宗→ 真宗	延文4(1359)年、武藤伊織義宗が開祖。天文8(1539)年、了西が天台種から転宗し中興の開祖。		M4	
14	31017		勝慶山 石田善能寺	寺内 (大野郡)	慶長8年～	天台宗→ 真宗	本文参照	G、層塔	M4	
15	31017b		善能寺旧境 内	寺内 (大野郡)	永延元年	天台宗			150	M4
16	31018		易往山 淨勝寺	下方 (大野郡)	大永4年以 前	天台宗→ 真宗	成立時期不明、易往山宝隣院と称した。大永4(1524)年、淨賢が実如宗主に帰依して天台宗から転宗。			
17	31019		解脱山 光專寺	黒野 (大野郡)	貞元元年	天台宗→ 真宗	貞元(976)年、良雄が豊木村宇野に一宇成立、後廢寺。元和年間(1615～23)31022香焼寺心了の長子空生、同宇の建立志し幕府許可せず廢寺再興し真宗に転。	G、H		
18	31020		紫雲山 西光寺	公郷 (大野郡)	建久2年	天台宗→ 真宗	建久2(1191)年、教子の開基。始め天台宗。永正9(1512)年、祐了のとき真宗に改宗。	G	M3	
19	31021		放光山 西光寺	大衣斐 (大野郡)	伝延暦年間	真宗	延暦年間(782～806)、伝教大師の開祖と伝わる。放光山大隆寺と号す。天文15(1546)年、戦火で焼失。屋好上人が越後より寺跡に入り、慶長2(1597)年に一宇を建立。西光寺号を受け本願寺に転宗。旧境内の大隆寺跡は、美濃国の有数の大伽藍で、この付近一帯に、二重八弁の蓮華紋のある瓦や唐草瓦などが散布。出土する瓦が典型的な川原式系の複弁八弁蓮華文鋸歯文線軒丸瓦・四重弧文軒平瓦であるため、白鳳期成立と考えられる。	G、H	M3	
20	31021b		(大隆寺跡)	小衣斐 字折口 (大野郡)	白鳳期	天台宗		古代瓦、須恵器、灰釉陶器、白磁、山茶碗、G、礎石		M3
21	31022		廻向山 成就院 香焼寺	黒野 (大野郡)	中世	天台宗→ 真宗	天慶年間(938～947)、賢雅(惠心僧都)の成立開基。廻向山成就院香焼寺と号す。初めは本巣郡早野村(糸貫町)に建立。その後、現在地に移建。天文6(1474)年吉祥坊義円に至り蓮如に帰依し真宗に改宗。	G、H、I	M4	
22	31023		正法山 妙円寺	五之里 (大野郡)	不明	天台宗→ 真宗	成立時期不明、始め天台宗。永禄7(1564)年に真宗に改宗。以前は同町内の郡家にあった。移転時期不明。	G、H、I		
23	31025		龍谷山 超安寺	本庄 (大野郡)	不明	真宗	寺伝には永正7(1510)年、了休を開基として成立と伝う。同年、真宗に転宗。慶長7年(1602)、本願寺の成立とともに転派。安八郡東本庄村にあったという記録が残る。	G		
24	31027		日出山 長念寺	牛洞 (大野郡)	寛元2年	天台宗→ 真宗	寛元2(1244)年、同宗の成立。西教坊と称し、始め天台宗。天文11(1542)年、真宗に転宗。第三世西効が慶安元(1648)年、木仮本尊及び日出山長念寺の寺号を受ける。	G、I、石仏	M3	
25	31029		崑崙山 月真寺	公郷 (大野郡)	不明	臨済宗	成立時期不明、元臨濟山改禪寺と号す。天正年間(1573～92)は武将竹中半兵衛尉重治の古城跡中にあった。加藤泰武孫の菩提のため、寛永10(1633)年、空山和尚を勧請して開祖とし、現在の寺号に改称。	G、I、石仏	M3	
26	31037		妙海山 本伝寺	瀬古 (大野郡)	慶長元年	日蓮宗	慶長元(1596)年、開山は慈照院日中、開基は檀越上田彦九郎高房。成立当初は、尾張国名古屋小川町・法華寺末だが、現在は本末関係解消。	G	M3	
27	31038		八幡山 常光寺	松山 (大野郡)	延宝6年	日蓮宗	元は浄土宗の浄土寺。寛文6(1666)年、本伝寺第四世善照院日達が転宗、開基となり常光寺と改称。延宝6(1678)年、第三世日順が現在地に移建。「31077淨土寺跡」がこの旧跡か。	G、石仏		
28	31040		龜山道場	上郷 (大野郡)	文亀2年頃	真宗	成立時期不明。文亀2(1502)年12月、大谷本願寺実如より本尊を授与。明治6年、小学校を開校し龜丘舎と称す。その後、保育園として使われ、現在は無住。	G	M3	
29	31041		薬師寺	加納 字の坪 (大野郡)	不明	天台宗	定松寺とも称し、最澄の創立と伝わるが詳細不明。最澄の東国巡錫の折、叡坂坂本から移した山王社(神戸町日吉神社)により見て東北の鬼門に当たるこの地に薬師如来を祀ると言う。位置不明。			
30	31042		祇園寺	黒野 字六里 (大野郡)	不明	臨済宗	南北和尚(慶長9(1604)年寂)開山、仏頂が中興の祖。元文2(1737)年、慈雲のとき字一ノ坪に移建、明治維新の際廢寺。現在は会所だが、小堂が建つ。	G、H、I、 石仏		
31	31043		觀音寺	相羽 字小岩 (大野郡)	不明	不明	饗場二郎光俊(承久3(1221)年没)在城の時の成立と伝える。寺跡に多数の礎石が列をなして埋もれていたが、今は無い。詳細な位置不明。			

表51 大野町寺院一覧表(3)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
32	31044		東源寺	麻生 宇東屋敷 (大野郡)	不明	伝天台宗→ 真宗	麻生宇東屋敷にあり天台宗と伝、慶長年間(1596~1615)以前に廃絶。享保2年(1717)旧跡から阿弥陀仏木像を発掘。宇井ノ上の池に、宝曆10年(1760)6月28日再興、明治6(1873)年廃寺。寺跡の「井ノ上」の地を「東源寺」と称す口碑あり。詳細な位置不明。			
33	31046		妙満山 東明寺	野 宇堂ヶ洞 (大野郡)	室町時代初期	法相宗	本文参照	本文参照	146	M4
34	31047	(柚木洞・布賀利神社遺跡)		野 宇柚木原 (大野郡)	中世	不明	『美濃國神名帳』所収の「従五位不賀利明神」に比定される古社の旧座地一帯。この辺りに31008b順明寺旧境内、31019光専寺、31035不動院があったと伝わる。社殿前からは13~15世紀の土器器皿等が、また社殿西の大岩前では、鍍金銅片や須恵器が出土したが、現在地で寺院跡の痕跡を確認することは出来なかった。	石仏		M3
35	31050		松栄山 出光寺	瀬古 西組屋敷 (大野郡)	文政年間	日蓮宗	正和4(1315)年、厳誉阿闍梨日源により成立。もと字出光寺の地(31050b)より西組屋敷に移転、後さらに文政年間(1818~30)林亀右衛門が移築。第二七世花田妙空尼の後廢寺。現在は区の公民館になっている。旧境内は西瀬古の東北にあたり、七堂伽藍があつたと伝わる。			
36	31050b	出光寺旧境内		瀬古 (大野郡)	正和4年	不明				M3
37	31053	金剛庵 (金剛寺遺跡)		中之本 字金剛寺 (大野郡)	不明	不明	奈良時代の成立と伝え、寺跡とされる中之元八幡神社とその南側一帯には布目瓦が散布していたという。良純、悲海宇慈、心鏡自円が庵主。現在は中之元区会所となっていて、その隣に十王仏を安置する十王堂が残されている。近世末まで金剛庵があつたが、その場所は、現在水田となっている。	布目瓦		M3
38	31054		不存庵	松山 宇尾洞 (大野郡)	室町時代	真宗	成立時期不明だが、寺跡に遺存する五輪塔の様式から室町期の寺といいう。明治年廃庵。その後、松山・志名村連合の森々学校の校舎となるが後に毀たれる。壊された石垣の一部と五輪塔の部材を確認。	G		M3
39	31058		瑞泉寺	大衣斐 宇村ノ内 (大野郡)	不明	不明	成立時期不明。元禄15(1702)年、単伝和尚の再建。明治維新の際に廢寺。大衣斐陣屋跡付近というが位置不明。			
40	31059		金光寺	公郷 四ノ坪 (大野郡)	12世紀初頭 頃	不明	松井隼人正義俊(大治元(1126)年没)の造立といいう。のちに廃絶。現在は神社の敷地内西側に阿弥陀堂が残っている。			M3
41	31060		妙慶寺	宝来 (大野郡)	天文11年	不明	31012仏照寺の境内に石碑があり、「天正11(1582)年覚乗住職が詔如上人の巡化を受けて成立。了宗の時に寺号。仏照寺の門前に一字を建立。」と記。			M3
42	31069		宝蔵寺	五之里 宇寺前 (大野郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。『実相院再建由来書』に天文17(1548)年、31002実相院の末寺。位置不明。			
43	31072		七堂坊	牛洞 (大野郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。口碑に伝わる。位置不明。			
44	31082	(三千仏遺跡)		領家 (大野郡)	不明	不明	寺院についての沿革不明。古墳時代の散布地・社寺跡として遺跡登録されている。			M3
45	31083	(寺内遺跡)	寺内 (大野郡)	不明	不明	本文参照	本文参照	150	M4	

表52 大野町参考寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	31004	実相庵		下方 (大野郡)	不明	浄土宗	往古は宝樹院と号し京都黒谷光明寺山内にあり、明暦年間(1655~1658)実相庵と改称。現在は公園、五輪塔を確認。	G
2	31005		清林寺	西方 (大野郡)	宝永年間	臨済宗→ 浄土宗	宝永年間(1704~11)、開祖は性翁見徹首座。徳川天領下の西方村庄屋・所藤五郎慰憲のため、元禄13(1700)年に一字を建立、久昌院と号。始め臨済宗。昭和2年、第八世山田貞規法尼の時、三重県渡会郡御園村の清林寺の寺号を移し、浄土宗。	G、I、石仏
3	31006	金剛山 心楽寺		福富 (大野郡)	安政4年	浄土宗	安政4(1857)年成立。成立は庄屋の本村井深太左衛門重孝。数年前に廃寺。	
4	31026	信重山 向源寺		下座倉 (大野郡)	明治39年	真宗	移建再興前の寺歴は不詳。飛鳥時代の向原寺ではないかともいわれる。明治39(1906)年信重山と称し、和泉州北郡中百舌鳥村大字東より移建。	
5	31028	玉壺山 慈照寺		下磯 (大野郡)	延宝4年以 前	臨済宗	聖徳太子作の薬師如来を安置する靈跡が荒廃。一大松樹の傍に茅庵に住み象外宗徹が來往、石原忠政らが帰依。延宝4(1676)年古峯宗順を招請し開山。玉壺山慈照寺と公称。	G、石仏
6	31030	延命山 地藏寺		古川 (大野郡)	享和2年	臨済宗	享和2(1802)年、規外祖範尼の創立、覚宗和尚が開山。掛妻川町の東光寺が兼務。	
7	31031	瑞鳳山 願成寺		中之元 (大野郡)	天和元年	臨済宗	大野郡領家村の光月山常照寺(元旧領主西尾豊後守菩提所)天和元(1681)年、西尾八兵衛尉源包教が開基、現在地に移し山号寺号を改め瑞鳳山願成寺成立。	G、H、I、石 仏
8	31032	竜興寺		小衣斐 (大野郡)	伝延宝年間	臨済宗	延宝(1673~1681)の頃、貞光多吉道秀、道秀庵成立と伝える。現在は「小衣斐公民館」。	G、H、I、石 仏
9	31033	圓應山 龍岡院		領家 (大野郡)	享保年間	臨済宗	享保年間(1716~1736)、貞月禪忠の成立。千手院と号、大春和尚を請うて開山、禪忠が開基。明治維新に廃寺。明治36(1903)年5月、山県郡岩野田村の大龍寺末龍岡院の寺号を移し再興。	
10	31034	寿清庵		加納 (大野郡)	宝永年間	曹洞宗	宝永年間(1704~11)、池田郡六之井村(池田町)の妙勝寺寂玄が開山。	G、H、I、 石仏

表53 大野町参考寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
11	31035	不動院	野 (大野郡)	天和3年	曹洞宗	寛文2(1662)年、後藤六郎右衛門の成立するが、同年6月大洪水で流出。古墳上に仮堂を建立し、天和3(1683)年現在の乾屋敷古墳上に移す。元禄2(1689)年、尼寺となる。現在は無住。		
12	31036	明光山智量院	本庄 (大野郡)	安永8年以前	曹洞宗	開基は久居智量(安永8(1779)年示寂)。薬師如来は、約四百年ほど前、本庄超安寺付近の水田より発掘という。	G	
13	31039	慈光院	公郷 (大野郡)	寛文8年	臨済宗	31029月真寺の境内寺院。寛文8(1668)年、高橋重時が一宇を開創、貞享元(1684)年月真寺鏡水が開山、靈応山慈光院と号す。往古は大伽藍であったが、遺跡は公郷字七ノ坪にある。月真寺本堂の南西側に建てられていたが現在は空地である。		
14	31049	明教坊跡	牛洞 字大門 (大野郡)	寛永16年	真宗	寛永16(1639)年、成立及び開基は法順。寛政元(1789)年、義聞坊を明教坊と改称。戦後は神風寺。住職は本尊阿弥陀如来とともに京都舞鶴に移り、昭和28(1953)年廃寺。寺跡(現在はゲートボール場)に谷菊枝碑及び神風院釈迦夫碑を残す。	I、石仏	
15	31051	慶正寺	中之本 字紙木 (大野郡)	文久2年	真宗	旧領主西尾主水、文久2(1862)年、田ノ上村の廃寺を移して再興。明治24(1891)年、宮崎県へ移転し廃寺。		
16	31052	淨源庵布教所	瀬古 西組屋敷 (大野郡)	不明	浄土宗	阿順了、宝暦2(1752)年、瀬古に隠居して小林庵を建立。私庵として存続。明治42(1909)年、淨源庵と改称。昭和15(1940)年、淨源庵布教所と改め、小林両家に依り維持。昭和56年(1981)廃寺。位置不明。		
17	31055	石仏堂	牛洞 字南谷 (大野郡)	不明	不明	成立時期不明。洞西北山中、不動堂の門前にあったものを不動堂の廃絶の後に移建すると伝わる。		
18	31061	法花坊	南方 字法花坊 (大野郡)	不明	不明	成立時期不明。昔この付近一帯に七堂伽藍のあったと伝わる。天保9(1831)年の田畠改帳には「東觀音堂・北觀音堂」などの地名を記す。詳細な位置不明。		
19	31062	千代寺	稻富 (大野郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。口碑に伝わる。大字上秋との境に通称地名として残る。位置不明。		
20	31063	修善寺	野 (大野郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。口碑に伝わる。位置不明。		
21	31064	明覚寺	下方 (大野郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。口碑に伝わる。位置不明。		
22	31065	觀音寺	上磯 西寺脇 (大野郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。口碑に伝わる。位置不明。		
23	31066	法正寺 (法正寺・御屋敷遺跡)	上磯 (大野郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。口碑に伝わる。法正寺・御屋敷遺跡付近に、「法正寺」という通称地名が残る。遺跡のやや東方で布目瓦が確認されたことがあるという。		
24	31067	永明寺	下磯 字川北 (大野郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。口碑に伝わる。位置不明。		
25	31068	真正寺	五之里 字寺前 (大野郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。口碑に伝わる。位置不明。		
26	31070	大御堂	公郷 (大野郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。八幡社の2つの社殿には八幡神と大日如来を祀り、この辺りに大日堂があったという。また、地元ではその周辺を「大御堂」と呼ぶ。詳細な位置不明。		
27	31071	金剛寺	大衣斐 (大野郡)	不明	不明	成立時期及び沿革不明。口碑に伝わる。位置不明。		
28	31073	願成寺	中之元 (大野郡)	不明	不明	成立時期不明。中之元字願成寺は田中部落の裏にあり、ここにもと願成寺という庵があったという。位置不明。31031願成寺と同一の可能性もある。		
29	31074	加根寺	瀬古 (大野郡)	不明	不明	加根寺は東瀬古部落の東北にあったと伝え、五輪石塔が地中より出る。「上加根寺」「下加根寺」の地名が残るが、詳細不明。		
30	31076	曾根寺	瀬古辻 字曾根寺 (大野郡)	不明	不明	成立時期不明、瀬古の内辻字曾根寺にあった。墓地の南で、西に鐘撞堂の地名が残り、七堂伽藍があったと伝える。詳細な位置不明。		
31	31077	淨土寺	松山 (大野郡)	不明	不明	成立時期不明。松山の西山中に墓地があり、淨土寺墓といい、その南下の地に淨土寺があったと伝わる。掛斐広城斎場の建設時に大量の五輪塔が見つかっており、この付近に淨土寺があったとの伝聞はあるが、寺跡の痕跡は見つけられなかった。		
32	31078	仁王堂	松山 (大野郡)	不明	不明	成立時期不明。松山の内志名字仁王堂にあったというが、地域の方への聴き取りでは、西郡神社・常光寺の北東の山裾にあったのではないかともいう。ここにあった仁王像は伊豆国三島神社に移されたと伝わる。西郡神社や「31038常光寺」と関係があると考えられる。詳細な位置不明。		
33	31079	觀音堂	牛洞 (大野郡)	不明	不明	牛洞字南谷は掛斐へ山越えする坂の登り口で、ここに觀音堂があつたと伝える。本尊は谷汲へ移し堂は廃絶。位置不明。		
34	31080	不動堂	牛洞 (大野郡)	不明	不明	成立時期不明。牛洞字大谷の地に不動尊を安置付近より五輪石を発見。ここにあった石仏は、字南谷の31055石仏堂に移す。	G、石仏	
35	31081	妙見堂	松山 (大野郡)	不明	不明	天明年間(1781~89)、多芸郡高田の了雲が尊像を守護して安置すべき地を求めていたが、この地に有志を得て、堂宇を建立。天保2(1831)年に堂を再建。数年前に廃寺となり堂宇は取り壊されたが、跡地が残る。		

表54 池田町寺院一覧表(1)

番号	寺院番号	史跡	山院号 寺院名	所在地 (旧都名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
1	32003		高尾山 善南寺	片山 (池田郡)	昭和18年	天台宗→ 浄土宗	本文参照		152	
2	32003b		善南寺旧境内	堂ヶ谷 (池田郡)	文和2年				M3	
3	32003c		善南寺旧境内 (善南寺跡) (善南寺中世墓)	片山 (池田郡)	伝弘仁2年				M3	
4	32006		白鳥山 淨妙寺	白鳥 (安八郡)	嘉領元年	浄土宗・ 天台宗→ 真宗	嘉禎元(1235)年、成立開山は明春。第八世までは浄土と天台兼建学。第九世空善の時に真宗に転派して第十二世了順が慶長13(1608)年本尊阿弥陀如来を安置した。	G, H		M3
5	32007		八幡山 薬師院 正円寺	八幡 (池田郡)	伝平安時代	天台宗→ 真宗	成立は最澄。天台宗当時は薬師院といったが、文明2(1470)年に西信が蓮如上人に帰依し転宗した。この時上人より授与の名号及本尊を安置した。	G, I		M3
6	32008		華中山 正道寺	六之井 (池田郡)	万治元年	真言宗→ 真宗	始めは方県郡鶴飼郷で長光寺(岐阜市32008b)と称し真言宗。寛永年間(1624~1644)宗玄が准如上人に帰依し転宗、正道寺と改。万治元(1658)年に六之井に移転。			
7	32010		法林山 宝光寺	八幡 (池田郡)	元禄5年	真宗	応永2(1395)年、垂井町表佐習井庄に寶光寺を成立。天正3(1575)年に頼如上人に本山直末内陣出仕の扱いを受ける。元禄5(1692)年に当地に堂宇を建立した。	G		
8	32011		金峰山 徳通寺	八幡 (池田郡)	16世紀以前	天台宗→ 真宗	天台宗当時は八幡宮の別当職を務め明光院といった。織田信長によって焼き払われたが再建し、慶長15(1610)年慶珍の代に教如上人に帰依し転宗した。	G		M3
9	32015		貨園山 宝地院 善福寺	萩原 (池田郡)	延宝年間	天台宗→ 浄土宗→ 真宗	承和年間(834~848)成立。成立時は池田山の伽耶洞に成立、始め天台宗で宝地院と称。竜玄律師(建保6(1218)年没)時、法然に帰依し浄土宗に転宗、寺域を草深(32015b)、寺域4町5反)に移転。覚従法師(文亀元(1501)年没)代、蓮如に帰依し真宗に転宗。延宝(1673~1681)頃火災で現在置に移転。旧境内詳細不明。	G, I		
10	32015b		善福寺旧境内	深草 (池田郡)	13世紀前半頃	天台宗→ 真宗				M3
11	32016		五雲山 西法寺	般若畑 (池田郡)	伝平安時代	天台宗→ 真宗	最澄の弟子円澄津師が当地に一堂を建立し広洞山十院といつた。慶長5(1600)年、教如を西済が助けてから帰依し、真宗に転宗。五雲山西法寺と改めた。	G、石仏		M3
12	32017		遍照山 光慶寺	本郷 (池田郡)	文久2年	天台宗→ 真宗	最澄の成立と伝えられる。元久2(1205)年に天台宗権僧都が中興。掛斐川町谷汲から当地に移転。明応5(1496)年、教如により真宗に転宗。	G, H, I		M3
13	32018		仏日山 正光寺	片山 (池田郡)	永正11年以前	天台宗→ 真宗	成立時期不明、始め天台宗。永正11(1514)年の「しゃうこう寺8某書状案」がある。慶長13(1608)年に慶心が教如に帰依して、寛永11(1634)年宣如のとき寺号を許された。	G		M3
14	32020		七宝山 善性寺	片山 (池田郡)	永仁元年	真宗	永仁元(1293)年、開基は了順。天正11(1583)年了智が本願寺頼如上人に帰依し転宗した。	G		M3
15	32021		金地山 正林寺	片山 (池田郡)	文明4年	天台宗→ 真宗	文明4(1472)年、慶願が横蔵寺に入、発心後片山に一寺建立。橋本山正林坊と称。元和6(1620)年慶専代に宣如に帰依し転宗。明暦3(1657)年正林寺と号す。	G, I、石仏		M3
16	32022		金生山 淨徳寺	市橋 (池田郡)	伝延暦年間	真言宗→ 天台宗→ 真宗	寺伝では延暦年間(782~806)空海が一寺を建立したという。長経年中(1457~1460)乗祐が寺堂を再興し、輝巖山真光定院といった。後に天台宗に転宗。文明5(1473)年玄祐の代蓮如に帰依し真宗に転宗。大垣市明星輪寺の末寺。	G, I		
17	32023		金剛山 長福寺	本郷 (池田郡)	不明	臨済宗	慶長5(1600)年関ヶ原合戦により、32031龍徳寺境内自性庵が焼失廃退のを、明和年間(1764~1772)に寿仙が再興。自性庵の成立時期不明。			
18	32025		靈宝山 神護寺	沓井 (池田郡)	慶長年間以前	臨済宗	成立時期不明、開基は野原氏。慶長年間(1596~1615)に野原家政が神護庵再興。元禄10(1697)年に野原家定が再興し神護寺。当地の東部に薬師堂確認。近隣の堤防沿いに石積。	G, H, I、 石仏		M3
19	32026		阿梨耶山 弓削寺	段 (池田郡)	慶長7年	臨済宗	本文参照	154	M3	
20	32026b		弓削寺旧境内 (弓削古堂跡) (弓削古堂跡中世墓)	段 (池田郡)	伝弘仁8年					
21	32027		淨興山 金光寺	六之井 (池田郡)	文明年間	臨済宗	文明年間(1469~1487)、康忠により成立。	G		M3
22	32028		仏巖山 禪藏寺	願成寺 (池田郡)	伝延文元年	臨済宗	寺伝で延文元(1356)年成立。美濃守護職土岐頼忠開基、覺源禪師開山。成立時土岐氏寄進の寺領多く本堂伽藍と16の塔頭あり壮大。寺付近に旧跡の平坦面や石積み確認。	G, H, I、 石積		M3
23	32029		洞海山 平安寺	舟子 (池田郡)	応徳年間	天台宗→ 臨済宗	本文参照		158	M3
24	32030		楊岐山 安国寺	小寺 (池田郡)	暦応2年	臨済宗	暦応2(1339)年、開基は此山妙在禪師。古寺は七堂伽藍あり寺域広く戦後の農地改革影響。	G, H, I		M3
25	32031		雲門山 龍徳寺	本郷 (池田郡)	伝弘仁年間	臨済宗	観応2(1351)年成立説開基は池田教依説と国枝氏説。南北朝末に荒廃、文明年間(1469~1486)悟渓国師開祖、西川宗洵和尚成立住持で中興再建、寺域広大。弘仁年中(810~824)最澄成立説も。	G, H, I、 石仏		M3
26	32032		現妙山 瑞泉寺	八幡 (池田郡)	永祿2年	臨済宗	永祿2(1559)年、開基は稻葉忠通。現在はこども園となつており、寺院としての活動はしていない。	G, H, I、 石仏		M3
27	32033		臥竜山 涼雲寺	片山 (池田郡)	伝平安時代	天台宗→ 臨済宗	開創は専心僧都。美濃の高野山。始め天台宗。関ヶ原の戦い時焼失、地蔵堂残る。後に京都妙心寺末寺で冷涼庵と改称、貞享4(1687)年涼雲寺と改。	G, H、 石仏、層塔		M3

表55 池田町寺院一覧表(2)

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構	調査 略票	分布 図
28	32037		宝林山妙勝寺	六之井 (池田郡)	明治初期	真言宗→ 曹洞宗	延喜9(909年)、鎮守府將軍正四位上右馬助式部大丞内蔵頭六孫王が一寺成立、福聖寺、真言宗。文明17(1485年)源久友再興。天正3(1575年)宗照再建、妙勝寺と改め曹洞宗に転宗。神仏分離で現位置に移転、旧境内位置不明。			M3
29	32041		稻荷山 神照院 五穀寺	市橋 (池田郡)	伝古代	真言宗	延暦20(801年)(天武3(674年)か)空海成立と伝。持統天皇の勅願所で真言宗の靈場。天正年間(1573~1591)焼失退廃を慶長年中(1596~1614)盛遍再建。	G		
30	32042		(高畑遺跡)	片山 (池田郡)	7世紀末	不明	本文参照	本文参照	160	M3

表56 池田町参考寺院一覧表

番号	寺院番号	史跡	山(院)号 寺院名	所在地 (旧郡名)	建立時期	宗派	沿革等	遺物、遺構
1	32001		聖國山全福寺	六之井 (池田郡)	享保4年	天台宗	享保4(1719年)、多賀又左衛門為頼が小庵を建立して春性庵と称したが、延享2(1745年)になって現在の寺号に改めた。	
2	32002		大仏山淨林院	片山 (池田郡)	元禄9年	浄土宗	元禄9(1696年)、松岡七郎右衛門先祖菩提のため庵室造立を志す。兄海厭の出家先である海津郡の円満寺より阿弥陀如来座像を一体貴い、一寺を建て、淨林院といった。海厭を開祖とする。	G
3	32004		御勝山 松寿院	池野 (池田郡)	明治21年	浄土宗	成立時期不明。明治21(1888年)に大垣市より移転。現在は「栄町会館」。	
4	32009		圓乗山 正行寺	杉野 (大野郡)	不明	真宗	成立時期及び沿革不明。	
5	32012		東雲山 淨光寺	下東野 (池田郡)	宝曆7年以前	真言宗→ 真宗	成立時期不明、始め真言宗。宝曆7(1757年)、顕淨法師が東本願寺徒如上人に帰依して転宗した。	G
6	32014		光照山 立斎寺	山洞 (池田郡)	延享2年	?→ 真宗	延享2(1745年)、開基は賢淨法師。淨信(寛永14(1637年)没)の時代に教如上人に帰依し真宗に転宗。	G
7	32019		曉雲山 東西寺	池野 (池田郡)	元文4年	真宗	元文4(1739年)、厚見郡加納宿の宮田吉左衛門が池田野新田を開発後に一寺を建立、真宗東西両派の道場として阿弥陀寺と号す。明治23(1890年)に東西寺と改称。	
8	32024		護法山 毘沙門院	池野 (池田郡)	元文4年	臨済宗	元文4(1739年)の新田開発の際、毘沙門天の銅像が発掘され宮田吉左衛門の菩提寺として堂舎を建立。真性淨明禪師を開山始祖とした。32031龍徳寺と関係の深いという。	石仏
9	32034		円通山 觀音庵	六之井 (池田郡)	正徳5年	曹洞宗	正徳5(1715年)、妙勝寺泰州により成立。三十三体の觀音像を安置して觀音庵といい、谷汲山參詣巡礼街道沿いにあった。現在は石碑が残る。	石仏
10	32035		梅桜山 川柳院	宮地 (池田郡)	元禄7年	曹洞宗	元禄7(1694年)成立。熊野神社の宮寺であったが、後年兵乱、火災などで廃絶し、江戸時代再興。昭和40(1965年)同寺の内陣を宮地会館の中に安置した。	
11	32036		鳳林山 長興寺	上田 (池田郡)	延宝2年以前	臨済宗 →曹洞宗	成立時期不明、始め臨濟宗。延宝2(1674年)に大垣市の全昌寺丹海和尚が隠居したので、大垣城主戸田氏西が彼を長興寺住職とし曹洞宗に改めさせた。	G、I
12	32038		智正山 善光寺	池野 (池田郡)	不明	真言宗	成立時期及び沿革不明。	I
13	32040		瑞璫光山 栄光院	萩原 (池田郡)	嘉永元年	曹洞宗	揖斐川町脛永の法幢寺十八世戒岳恵孝が嘉永元(1848年)に開山。	G、H、I、石 仏

第3節 寺院地形観察図  
遺構図  
地籍図

大垣市  
養老町  
垂井町  
関ヶ原町  
神戸町  
揖斐川町  
大野町  
池田町

## [大垣市]

地区	西濃	寺院番号	02005b	県遺跡番号	21202-2294	分布図番号	N3
ふりがな	しのおさんえんこうじ（もとえんこうじあと）	所在地	大垣市青墓町字西谷（字円興寺谷）				
寺院名（史跡・遺跡名）	篠尾山円興寺旧境内（元円興寺跡）						
時代区分	古代（奈良）～				宗派	天台宗	
立地	山麓（山腹）				現状（植生）	山林（アカマツ）	
東西規模	500m	南北規模	600m	標高（比高差）	150(100)m	平坦面分類	A+C1+D
沿革	<p>寺伝によれば、延暦9（790）年にこの地に豪族池田氏が建てた仏堂に、東国への布教活動の折に訪れた天台宗開祖最澄が聖観音像を彫刻して納め伽藍を建立し自らが開基となった。（大垣市2013）</p> <p>最澄が大谷の里の大炊氏の帰依を得て、円興寺山頂に一寺を創建したとされる。（大垣市1977）</p> <p>過去帳によれば、源頼朝が寺領寄進をしたとされ、かつては塔頭・末寺など100余寺を数えたとい。天正2（1574）年に織田信長の兵火にかかり塔頭焼失。その後慶長6（1601）年に雷火によって再び焼失。現在の地に再興されたのは万治元（1658）年。（大垣市1968、道下淳他1987）</p>						
遺構	石積み、湧水地点、推定塔跡、推定鐘堂跡、礎石、源朝長の墓（市指定史跡・平安）、集石						
遺物	山茶碗、五輪塔						
有形文化財等	聖観音立像（国指定、平安）						
参考文献	大垣市2013『大垣市史』通史編 自然・原理～近世、大垣市1968『新修大垣市史』通史編一、大垣市1977『大垣市史』青墓編、道下淳他1987『岐阜県百寺』郷土出版社						
備考	西美濃三十三靈場第三十二番札所						

**調査所見** 小字名は主要遺構群が「元円興寺谷」、北遺構群が「切ヶ谷」「梨ヶ谷」、北谷遺構群が「不動谷」「柿木谷」、南谷遺構群が「元円興寺谷」「一之谷」にあたる。なお、現存の円興寺は主要遺構群の金堂跡推定地から南西へ約650mに位置する。平成2（1990）年大垣市詳細分布調査概要報告の主要遺構群、北遺構群、北谷遺構群、南谷遺構群の4グループ別に記載する。**【北遺構群】**北側では遺跡範囲の北端にあたる尾根上に長方形の平坦面があり四方は切岸によって基壇状の高まり、北辺及び南辺には低位の土壘がある。南側に尾根西端と南斜面に狭小な平坦面がある。**【北谷遺構群】**主要遺構群鐘堂跡推定地の北東谷斜面に点在する平坦面群で、谷筋に参道があり、金生山方面や池田町方面へ抜ける道へ繋がる。谷筋上方に大規模な平坦面が棚段状に広がり、西斜面には椿円形の小規模平坦面がある。細長い平坦面を谷北端西斜面と東斜面で7面確認した。北谷の南東丘陵山頂平坦面に塚が築かれ、「延暦9（790）年 白鬚神社創建之地」の石碑がある。**【主要遺構群】**寺院中心部に金堂、講堂、僧房、鐘堂、推定塔跡とされる平坦面群がある。表面には五輪塔部材や遺物の山茶碗などが散見される。南西方向の尾根に通路状の平坦面がある。**【南谷遺構群】**表参道から仁王門跡や源朝長公墓所を含み、裏参道の谷筋の両斜面などで確認できる平坦面群がある。裏参道北斜面の谷筋には、南へ開けた段状地形を成す平坦面を12面確認した。下位の平坦面では、石垣や石段が残存する。中位の平坦面では直径3m程の小円丘が認められる。上方部は土砂崩落によって急傾斜となる。裏参道の中程には40m程に渡る細長い平坦面があり、いくつかの段差をもち最下面では石積みや五輪塔を確認した。主要遺構群東側谷には、棚状や通路状の小・中規模平坦面が15面程確認した。慶長元（1596）年から万治元（1658）年にあたったとされる「田之堂」は南谷遺構群に位置すると考える。

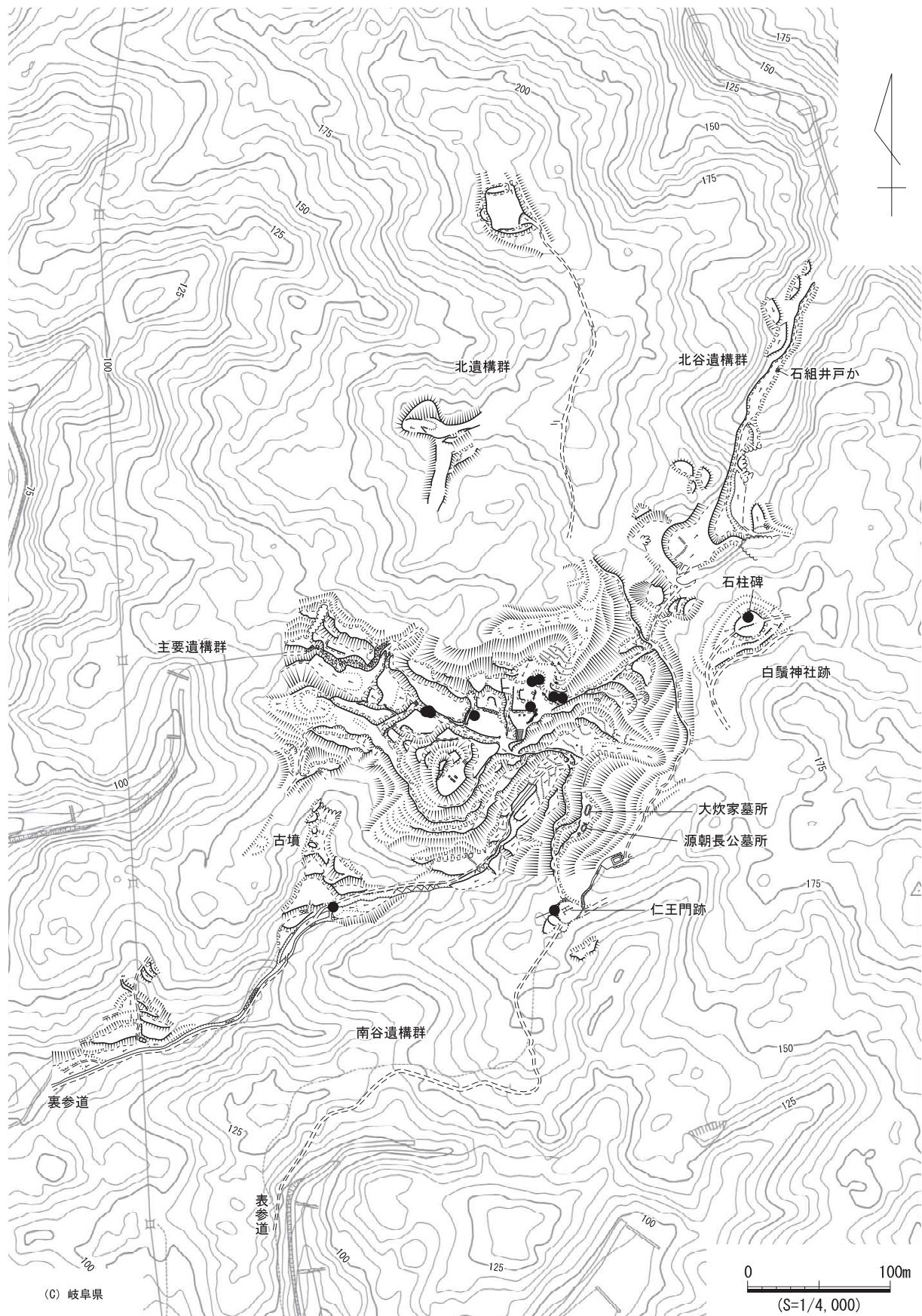


図2 円興寺旧境内（元円興寺跡）地形観察図（1）

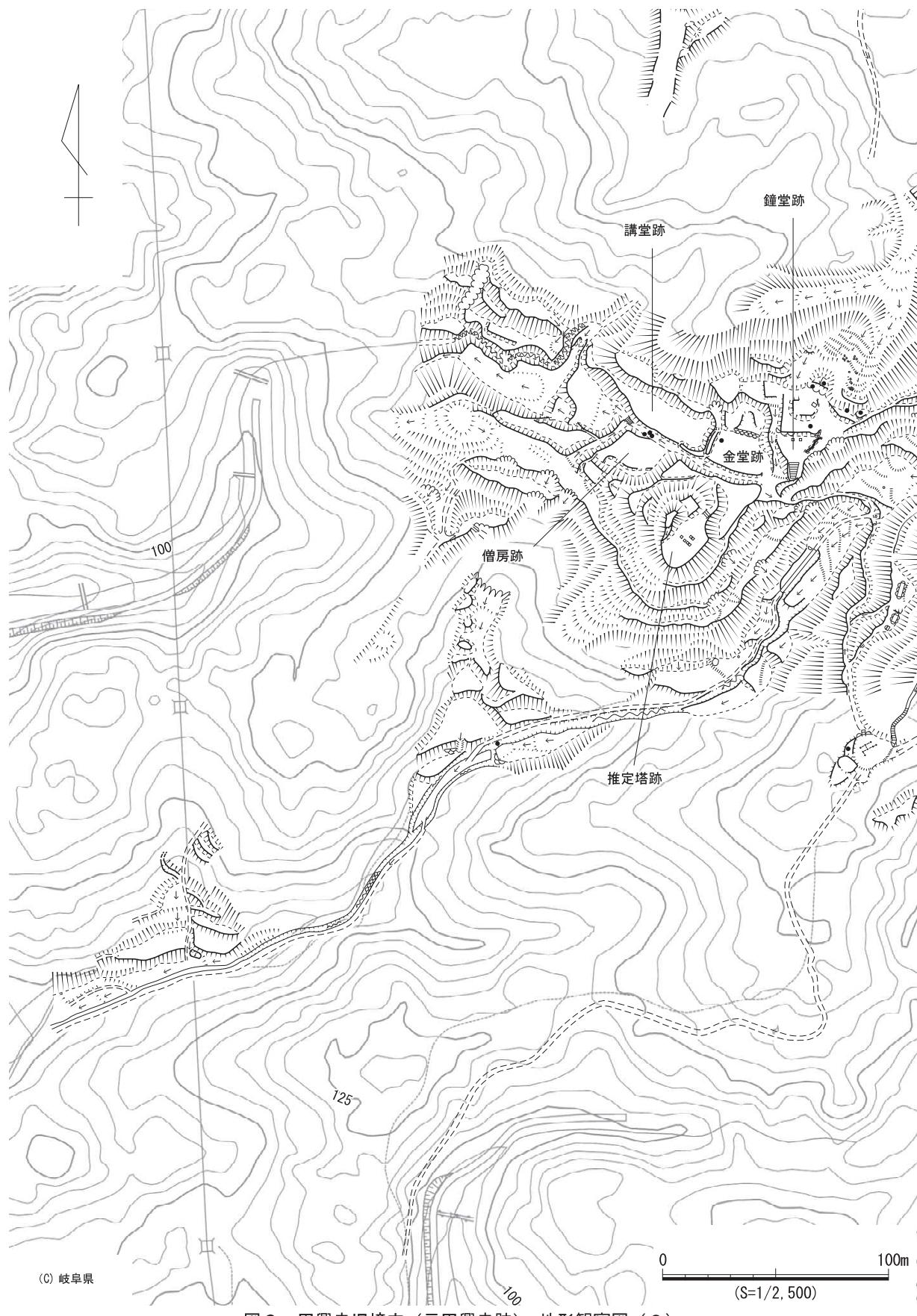


図3 円興寺旧境内（元円興寺跡） 地形観察図（2）

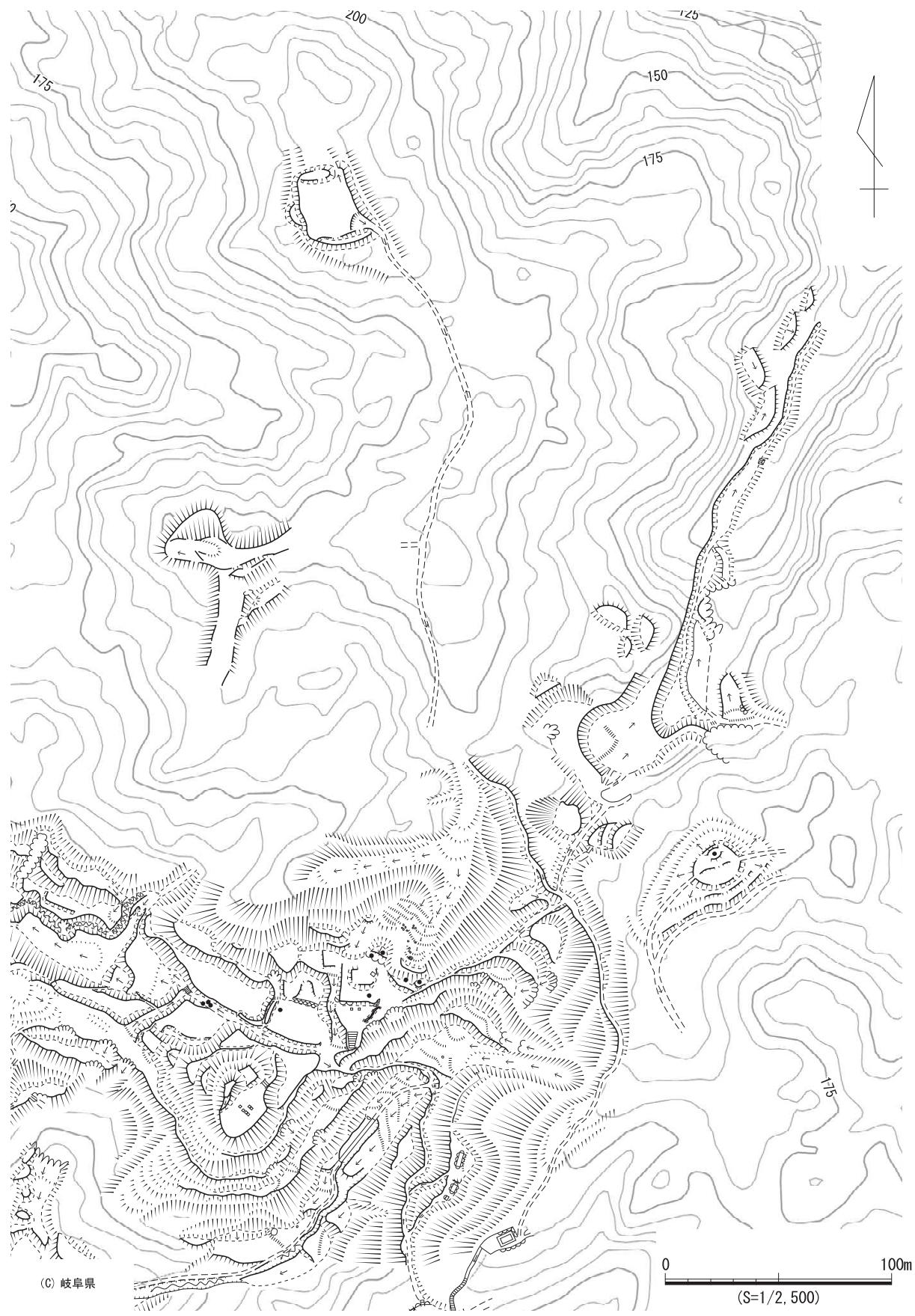


図4 円興寺旧境内（元円興寺跡）地形観察図（3）

地区	西濃	寺院番号	02107	県遺跡番号	—	分布図番号	N2
ふりがな	ぜんしょうじきゅうけいだい	所在地	大垣市上石津町牧田上野				
寺院名 (史跡・遺跡名)	善性寺旧境内						
時代区分	中世（室町）～			宗派	真言宗→真宗大谷派		
立地	山麓			現状(植生)	山林(コナラ)		
東西規模	150m	南北規模	120m	標高(比高差)	89(4)m	平坦面分類	D
沿革	文明年間(1469-87)、牧田村下平井の青蓮寺(正蓮寺か、関ヶ原聖蓮寺の前身)の順知坊が蓮如に帰依し、井口村に草庵を構える。大永3(1523)年に嫡子の西心坊淨巖が開基。慶長14(1609)年に寺号・木仮御免となる。元文元(1736)年、9世淨華の時に現在地に移り、現本堂を建立。天明年間(1781-89)では尾州における本願寺の直参であった(「いろは寺院帖」)。(上石津町役場1979、上石津町教育委員会2004、岐阜県地方改良協会養老郡支会1970) 往古は真言宗(岐阜県地方改良協会養老郡支会1970)						
遺構	—						
遺物	五輪塔、宝篋印塔						
有形文化財等	—						
参考文献	上石津町役場1979『上石津町史』通史編、上石津町教育委員会2004『新修 上石津町史』、岐阜県地方改良協会養老郡支会1970『養老郡志』、岐阜日日新聞社・県郷土資料刊行会						
備考	牧田地域の集落景観の核として、大垣市の景観遺産に指定						

**調査所見** 地元での聴き取りで、旧境内は現存寺院から約1.2km西方の今須川北側段丘上にあり「善性寺平」と呼ばれている。北側県道側からの流出土の堆積により上方は段差が不明瞭だが林道の両脇に一連の平坦面が存在しているようである。県道北側は斜面で、マウント状の高まりがある平坦面を最上段として下方に2~3段の段差で平坦面群が広がり、川沿いの平坦面とは3m程の段差がある。マウント状の高まりの頂部は平坦で角礫が多量に散在し、石組の一部であったと思われる。

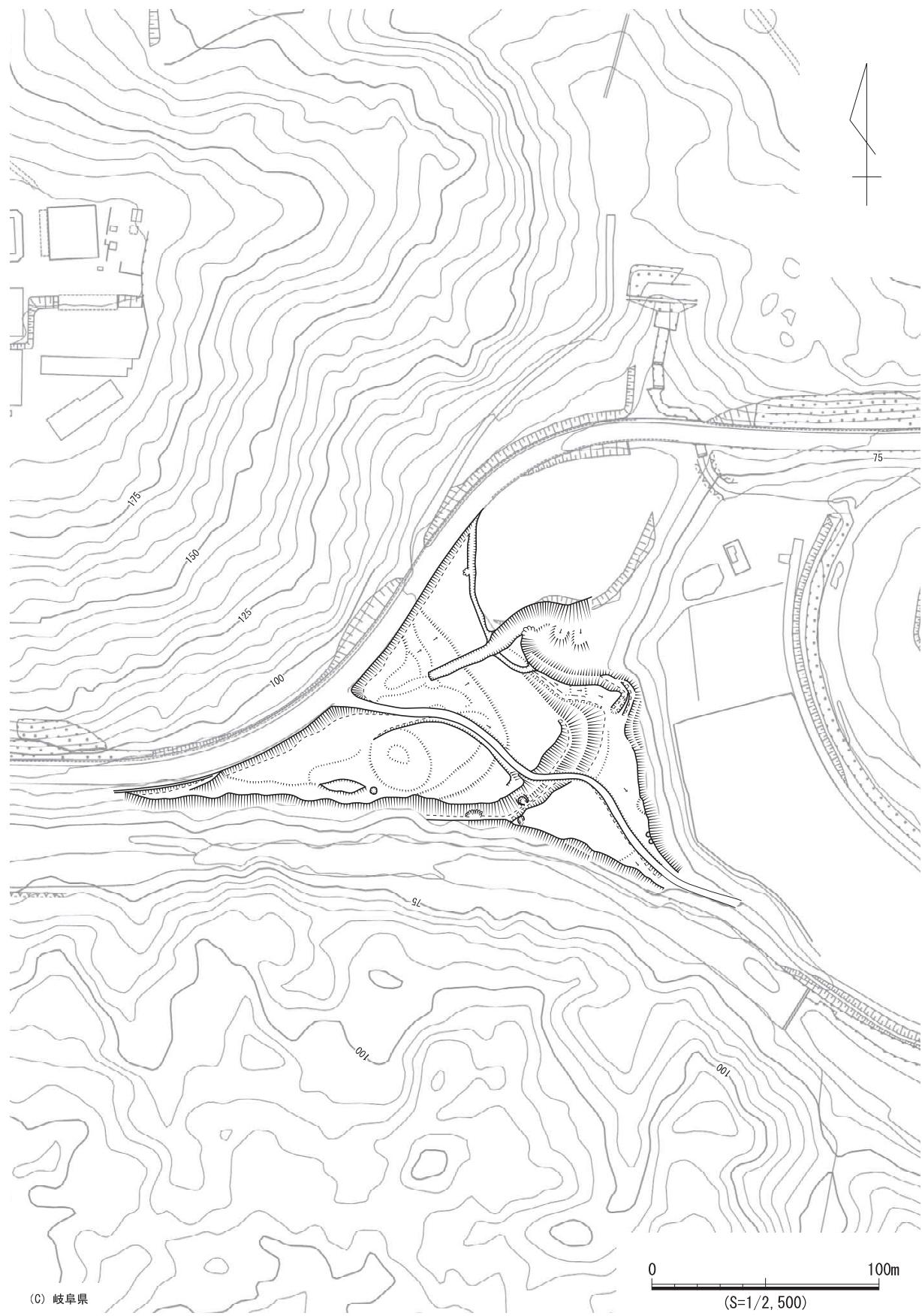


図5 善性寺旧境内 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	02205	県遺跡番号	一	分布図番号	N2
ふりがな		ずいがんざんてんきじ		所在地	大垣市上石津町一之瀬川東		
寺院名 (史跡・遺跡名)		瑞巖山天喜寺					
時代区分		古代（平安）～		宗派	天台宗→臨済宗		
立地		山麓		現状(植生)	境内、山林(スギ、ヒノキ)		
東西規模	55m	南北規模	80m	標高(比高差)	114(32)m	平坦面分類	A+D
沿革		伝承では、天喜5(1057)年、もと叡山の天台僧玄良開闢とされ、留錫堂宇を創建したこと。貞治5(1366)年(貞治3年とも)に近江永源寺の開山寂室元光(圓應禪師)の法嗣定巖唯一が開山(臨済宗妙心寺派)。足利尊氏の弟基氏が帰依し開基とされる。鳳栖庵・龍岡庵・玉鳳院・自徳庵・法喜院の五院の塔頭が建立され、周囲の地名にも残る。永祿7(1564)年火災により堂宇等焼失し、再建されるも検地により寺領の大部分を失う。慶長元(1596)には妙心寺第6世蘭翫の法嗣文革元郁を講じ、春沢が妙心寺派に転じて中興した。以降は桑原家を有力な壇越とし、元祿14(1701)年は本堂、翌年には庫裏を建立している。寺内には基氏と定巖の五輪塔が残り、貞治6歳と開山年号が刻まれている。応永22(1415)年の五輪塔基石が残る。(上石津町役場 1979、上石津町教育委員会 1990・2004、岐阜県地方改良協会養老郡支会 1970)					
遺構	石積み						
遺物	宝篋印塔、五輪塔、一石五輪塔、石仏						
有形文化財等		絹本着色涅槃図(県指定、室町)、絹本着色釈迦三尊図(県指定、室町)、木造雙桂定巖和尚坐像(県指定、室町)、木造彩色地蔵菩薩坐像(町市指定、室町)、木造薬師如来坐像(町市指定、江戸、円空作)、「宝永七年(1707)天喜寺境内書」、「天喜禪寺鐘銘並序」〔(享保2(1717))、「当山由緒「一之瀬村絵図」〔天保12(1842)【上石津町教育委員会 2004付図】〕					
参考文献	上石津町役場 1979『上石津町史』通史編、上石津町教育委員会 2004『新修 上石津町史』、上石津町教育委員会 1990『史料にみる上石津のあゆみ』、岐阜県地方改良協会養老郡支会 1970『養老郡志』、岐阜日日新聞社・県郷土資料刊行会						
備考	境内南西に「大門通り」「堂谷」などの地名が残り、薬師堂がある						

**調査所見** 現境内地は西方の集落域からは30m以上標高差があり坂道の参道を登って境内に至る。築約三百年の山門や薬医門がある。現境内の南方に位置する墓地には「卵塔」の地名が残り江戸期以降の無縫塔がある。14世紀のものと思われる宝篋印塔や15・16世紀のものと思われる五輪塔、一石五輪塔など多くの石塔が残る。宝篋印塔と五輪塔の部材は搬入の可能性がある。

現境内の西方、集落域へと向かう斜面に長細い平坦面群が複数残る。上方の平坦面は、方形状で石積が残る箇所が多い。中世の塔頭などの寺院の関連施設がこれらの平坦面に存在していたもの考えられる。現境内北方には「法喜院平」の地名が残り、塔頭の一つ法喜院が存在していたとのことである。その法喜院も文化元(1804)年に寺地を改め、表参道途中に再建されたようであり、それが現境内西方平坦面群のいずれかにあたると考える。また、現境内北西側の谷には、「龍岡谷」の地名が残り塔頭の一つ龍岡庵が存在していたものと思われる。



図6 瑞巣山天喜寺 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	02210	県遺跡番号	—	分布図番号	N3
ふりがな	かんのんじきゅうけいだい	所在地	大垣市上石津町上ノ山（多良三ツ里）				
寺院名 (史跡・遺跡名)	観音寺旧境内						
時代区分	古代（奈良）～	宗派	天台宗→臨済宗				
立地	段丘（山麓）	現状(植生)	山林（スギ、ヒノキ、サワラ）				
東西規模	80m	南北規模	100m	標高(比高差)	157m(12)	平坦面分類	B+D
沿革	伝承では、大同元年（806-10）の創立であり、本堂寺由緒に見える多良建七堂の同社のうちの觀音堂が前身と思われる。境内山中の標高170m程の丘の頂には、町内最古の仏教史跡とされる如法経塚が残る。自然石でできた経塚であり、「如法経 文治五季（1189）十月十四日 願主慶覚」の陰刻が記され、如法経護法神出現の靈地とされている（觀音寺縁記「三宝鳥来鳴記」）。堂宇頽廃し法灯しばらく衰えたが、寛文5（1665）年、高木北家2代貞元が、北方の慈溪寺3世大春元貞を勧請開山として建立（臨済宗妙心寺派）、菩提所とした。薬師瑠璃光如来を安置した薬師堂も存在したが創立年紀は不詳。昭和45（1970）年火災のため焼失し、寺は宮地区に再建された。旧寺跡は茶畠だが、経塚とその周囲は残される。（上石津町役場 1979、上石津町教育委員会 1990・2004、岐阜県地方改良協会養老郡支会 1970）						
遺構	石積み、觀音寺経塚（県指定、平安末）、旗本北高木家墓石群（町市指定、江戸）						
遺物	—						
有形文化財等	觀音寺縁記「三宝鳥来鳴記」、「金剛山觀音寺記」						
参考文献	上石津町役場 1979『上石津町史』通史編、上石津町教育委員会 2004『新修 上石津町史』、岐阜県地方改良協会養老郡支会 1970『養老郡志』、岐阜日日新聞社・県郷土資料刊行会、上石津町教育委員会 1990『史料にみる上石津のあゆみ』						
備考	觀音寺経塚は遺跡登録されており、觀音寺住僧慶覚が戦死者の耳を埋め、供養のために法華経の一部を書写してこれを納め、経塚を築いたとの伝承が残る。						

**調査所見** 観音寺の旧跡には茶畠が広がり地元の方の話によると、茶畠となる前は本堂の礎石や鐘楼、池などが残っていたとのことである。鐘楼は延焼を免れたため宮地区に移設されたようである。入口と思われる東方の石段は、その東側にも石積みが組まれ、良好な状態で残存している。石段を上がった右手には現在小堂が建つが、寺が移転した後に建てられたものとのことであった。

現境内地の西側背後には、如法塚を含む小丘陵が存在するが、その丘陵麓辺りには墓石が立ち並ぶ。江戸期に觀音寺を再興して菩提寺とした北高木家の墓所であり、江戸期を中心とした墓石が約30基以上残る。觀音寺経塚は、径25m、高さ3m程の小丘陵の頂部平坦部に、石組や「如法経」の石碑などが残っており、この小丘陵は墓域であったようである。また、現境内の北東には「城山」と呼ばれる小山が存在する。現況は確認できなかったが、中世城館跡とも言われており、觀音寺との関連も考えられる。



図7 観音寺旧境内 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	02258	県遺跡番号	一	分布図番号	N3
ふりがな	きんしょうざんようじょうりんじほうこういん	所在地	大垣市赤坂町				
寺院名 (史跡・遺跡名)	金生山明星輪寺寶光院						
時代区分	古代（飛鳥）～	宗派	真言宗				
立地	山腹～山頂	現状(植生)	境内・山林（アカマツ）				
東西規模	70m	南北規模	140m	標高(比高差)	147(130)m	平坦面分類	A+C1
沿革	寺伝によれば、朱鳥元(686)年、持統天皇の勅命により役小角が開山となって創建されたという。その後、延暦20(801)年に空海が再興し、真言宗に改宗したとされる。久安4(1148)年7月伽藍は残らず焼失した。この時の住僧寛延法師が伽藍の焼失を憂え、本堂を始め諸堂再建。慶長14(1609)年3月、高須城主などが大施主となり本堂並びに仁王門を再建、諸堂、僧坊の修復を図る。その後江戸時代には明暦2(1656)年7月大垣城主戸田氏信より、本堂及び諸堂の再建・修復、万治3(1660)年5月に寺領十石を寄付し領内安穏武運長久の祈願所と定む。大正15(1926)年11月15日に火災のため庫裡客殿など焼失、後再建。（大垣市2013、赤坂町史編纂委員会1953、不破郡教育会1927）						
遺構	石積み、岩窟						
遺物	五輪塔、一石五輪塔、石仏						
有形文化財等	木造地蔵菩薩半跏像（国指定、平安）、木造金剛力士立像（県指定、鎌倉）、梵鐘（銘明徳・癸酉年三月十二日）（県指定、室町）、石造如法経碑石（県指定、平安〔久安4年〕）、算額（県指定、江戸）、明星輪寺本堂（市指定、江戸〔文久〕）、観能額（市指定、江戸〔貞享〕）、近藤如行扇面型絵馬（市指定、江戸〔貞享〕）、金生山御闈版木（市指定 江戸）						
参考文献	大垣市2013『大垣市史』通史編 自然・原始～近世、赤坂町史編纂委員会1953『赤坂町史』赤坂町役場、不破郡教育会1927『不破郡史』下巻						
備考	西美濃三十三靈場第三十一札場。「明星輪寺の境内地とそこからの眺望」市景観遺産に登録(H22)。						

**調査所見** 金生山（標高 217m）にあり日本三虚空蔵の一つとして広く知られている。金生山は石灰岩や大理石の有数の産地であり岩石の露出も多く、本尊の虚空蔵菩薩では、洞窟（岩屋）の中にある彫刻である。明治期に神仏分離令により分離独立した蔵王権現宮（金生山神社）や、虚空蔵さんの伝承も残る蛇王権現など、周辺地域に寺院に觀点する施設や場所も多い。現境内地がある断崖上の山腹平坦地に、本堂、鐘楼、書院・庫裏、子安地蔵堂、仁王門などが屈曲した参道沿いに並ぶ。その北東の山腹から山頂にかけて石灰岩が露出した斜面が広がり、現在では市名勝「金生山岩巣公園」とされ巨石の側面に觀音を描いた「権現岩（觀音岩）」とその下に蔵王権現堂がある。他に不動明王を描いた「不動岩」や「行場岩」「星巖岩」「加持水岩」などがある。露岩地帯の西側山麓には愛宕神社や咤枳尼天堂などが残り、神社西には小規模ながら墳墓状の高まりとその中央に岩窟が存在する。この露岩地帯も寺院や神社の活動に関連した場所であった可能性がある。「星巖岩」の上方には、5×3 m程の石組を確認したが、小規模で性格は不明であり、山頂まで広がる露岩帯を確認したが他に遺構や遺物は確認できなかった。西方の斜面には、露岩が少なくなだらかな斜面が続き、平坦な箇所も残り、経塚状の小丘陵も存在している。下方には近現代の墓地が広がり、寺院の一部又はその関連施設などが存在した可能性も考えられる。



図8 金生山明星輪寺寶光院 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	02285	県遺跡番号	21202-5840	分布図番号	N2
ふりがな	そこうじ (そこうじあといせき)	所在地	大垣市上石津町細野				
寺院名 (史跡・遺跡名)	祖光寺 (祖光寺跡遺跡)						
時代区分	古代～	宗派	天台宗→臨済宗				
立地	山麓	現状(植生)	境内・山林 (スギ、ヒノキ)				
東西規模	150m	南北規模	300m	標高(比高差)	23(17) m	平坦面分類	D
沿革	伝承によると聖徳太子仏法有縁の地として一坊舎が建立された。壬申の乱（672年）の際には大海人皇子が仮行在所とし、大宝2（702年）には持統天皇が頓宮とされたとのこと。天平11（739年）には行基が諸国巡教の際に巡錫され造営したとも伝わる（七堂伽藍の設備）。泰澄大師も巡錫の際に仏像を刻まれたと口碑残る。最澄の伝道により天台宗に転じ、その後道元禪師によって臨済宗に改宗。元亀2（1571年）織田軍の兵火で焼失。仏像を地蔵ヶ谷に隠した伝わり同地内より仏像四百余体が出土し、一部は悟空寺に安置されている。「大門」「寺畑」などの地名も残る。元禄年中（1688～1704）には高木家の庄屋馬場十郎治によって再興したが、また廃頬に帰し、仏像と位牌が存するのみとなった。妙心寺派の本堂寺末で元禄10（1697年）の本堂寺に関する史料に記載あり。（上石津町役場 1979、上石津町教育委員会 2004、中西淳一 1931）						
遺構	石積み、参道						
遺物	宝篋印塔、五輪塔、一石五輪塔、祖光寺跡石仏像群（町指定、室町）						
有形文化財等	—						
参考文献	上石津町役場 1979『上石津町史』通史編、上石津町教育委員会 2004『新修 上石津町史』、中西淳一 1931『時村史』						
備考	—						

**調査所見** 石積みの中腹平坦面には、祖光寺跡に文化年間（1804～1818）に創建された悟空寺が現存し、その南に周辺域から集めた石塔・石仏群が「祖光寺跡石仏像群」としてある。西～南側の山中には平坦面が存在し、さらにその南方には十剣神社や平坦面群が存在する。地元での聞き取りで石仏群は山中から出土したものを集めたもので「大門」「寺畑」などの地名も残ること。寺域は広範囲に広がる可能性があると判断した。悟空寺は、祖光寺の庭だった場所に江戸期に建てられたとのことで、粗光寺の本堂の位置は不明である。現境内の東～南側の山麓斜面では平坦面や段差、通路状の窪みを確認した。石積みは現貯水池に近い南方の平坦面で確認した。西方の尾根を越えた反対側の斜面には近・現代の墓地があり悟空寺住職の無縫塔がある。貯水池の南方山麓に十剣神社があり、その南方には明瞭な平坦面群がある。下方には方形状の広い平坦面、両脇に小規模な平坦面とそれらをつなぐ参道があり廃寺跡であった可能性がある。悟空寺の東方には「大門」「門前」という地名が残り、現在の林道の入口脇には「寺畑」という地名が残り礎石があったが、北方の本誓寺の土台に使われていること。



図9 祖光寺（祖光寺跡遺跡）地形観察図

地区	西濃	寺院番号	2009b	県遺跡番号	21202-08548	分布図番号	N3
ふりがな	みのこくぶんじ (みのこくぶんじあと、こくぶんじいせき)	所在地	大垣市青野町				
寺院名 (史跡・遺跡名)	美濃国分寺（美濃国分寺跡、国分寺遺跡）						
時代区分	古代(奈良・平安)、中世、近世			宗派	不明		
立地	扇状地			現状(植生)	公園・水田		
東西規模	約 530m	南北規模	約 570m	標高(比高差)	21(0) m	平坦面分類	一
沿革	天平 13(741) 年、聖武天皇より発せられた国分寺建立の詔により創建。『続日本紀』には宝亀 6 (775) 年に大風による被害を受けたと記され、寺伝には天平 9 (737) 年に聖武天皇の詔を拝した行基が当地にて薬師如来を彫り七堂伽藍を建立寺を開いた。『日本三代実録』には、仁和 3 (887) 年に火災で堂宇全焼、寺務を席田郡定額尼寺（現本巣市）に移したと記す。その後再建され 12 世紀末頃に衰退していたが、元和元 (1615) 年に阿闍梨真教が寺院跡から薬師如来座像を掘り出し再興。						
遺構	七重塔跡、金堂跡、講堂跡、鐘楼跡、僧坊跡、中門跡、南門跡、回廊内建物跡、掘立柱建物跡、参道、道、幢竿支柱遺構、井戸、土坑、溝、柵、自然流路						
遺物	須恵器、灰釉陶器、綠釉陶器、黒色土器、製塙土器、輸入陶磁器、山茶碗、かわらけ、中近世陶磁器、墨書き土器、土製品(瓦・博・陶馬・土錘・陶錘・輪羽口・土製百万塔)、石器・石製品、金属製品(釣金具・銅錢・鉢・帶金具巡方)、木製品(人形代・斎串・下駄・櫛・糸巻・糸枠・箸・曲物・礎盤)現・國分寺に五輪塔、一石五輪塔						
有形文化財等	薬師如来座像（国指定、平安）、土製百万塔（市指定、奈良）、土製露盤状鉢（市指定、奈良）						
参考文献	大垣市 1977『大垣市史』青墓編、須田勉「ここまでわかつてきの国分寺」2001『～千年的時流れ～遠江国分寺発掘 50 周年記念シンポジウム資料集』磐田市・磐田市教育委員会、大垣市教育委員会 2005a『史跡美濃国分寺跡』、大垣市教育委員会 2005b『美濃国分寺跡—国分寺遺跡（伽藍南隣接地の調査）一』、岐阜県文化財保護センター 2021『国分寺遺跡』						
備考	塔跡周辺に「塔の下」金堂北側に「鐘堂・後当殿・古堂・十王堂」等の小字名あり（大垣市 2005a）大垣市教委範囲確認調査：昭和 43～45、49～51、53・54 年（伽藍地）平成 8～14 年度（南隣接）当センターの県道拡幅工事に伴う発掘調査：平成 28・29 年度（伽藍周辺地域）美濃国分寺跡歴史公園として整備されている。						

### 小結 国分寺の変遷(大垣市教育委員会 2005、岐阜県文化財保護センター2021)

I 期：国分寺前身寺院が建立される以前

II 期：国分寺前身寺院建立以降から国分寺創建（古墳末期～奈良前半）遺構無いが遺物あり

IIIa 期：創建期（奈良後半～平安末期）遺物量増の美濃須衛第IV期第2小期 755 年までには成立

IIIb・c 期：再建期（10 世紀前半～12 世紀）出土遺物から仁和 3 年に焼失後直ぐに再建開始

IV a・b 期：廃絶後（鎌倉～江戸初）伽藍の軸線とは異なる道・柵の存在 13 世紀に廃絶水田化

寺域東西 231m、南北 250m 以上。中心伽藍東西 120.6m、南北 93.9m 伽藍配置は大官大寺式。

塔跡は三間四面博積基壇花崗岩製の塔心礎(出納径 0.64m)を持つ。金堂跡は博積基壇礎石建物 7 × 4 間(五間四面)、講堂跡は石積基壇礎石建物(5 × 4 間(三間四面))。塔・金堂跡基壇から 7 世紀末～8 世紀初頭の川原寺系の複弁八葉蓮華文軒丸瓦・三重弧文軒平瓦が出土し豪族氏寺基調に造営説と前身寺院遺構は仮仏堂説とがある。

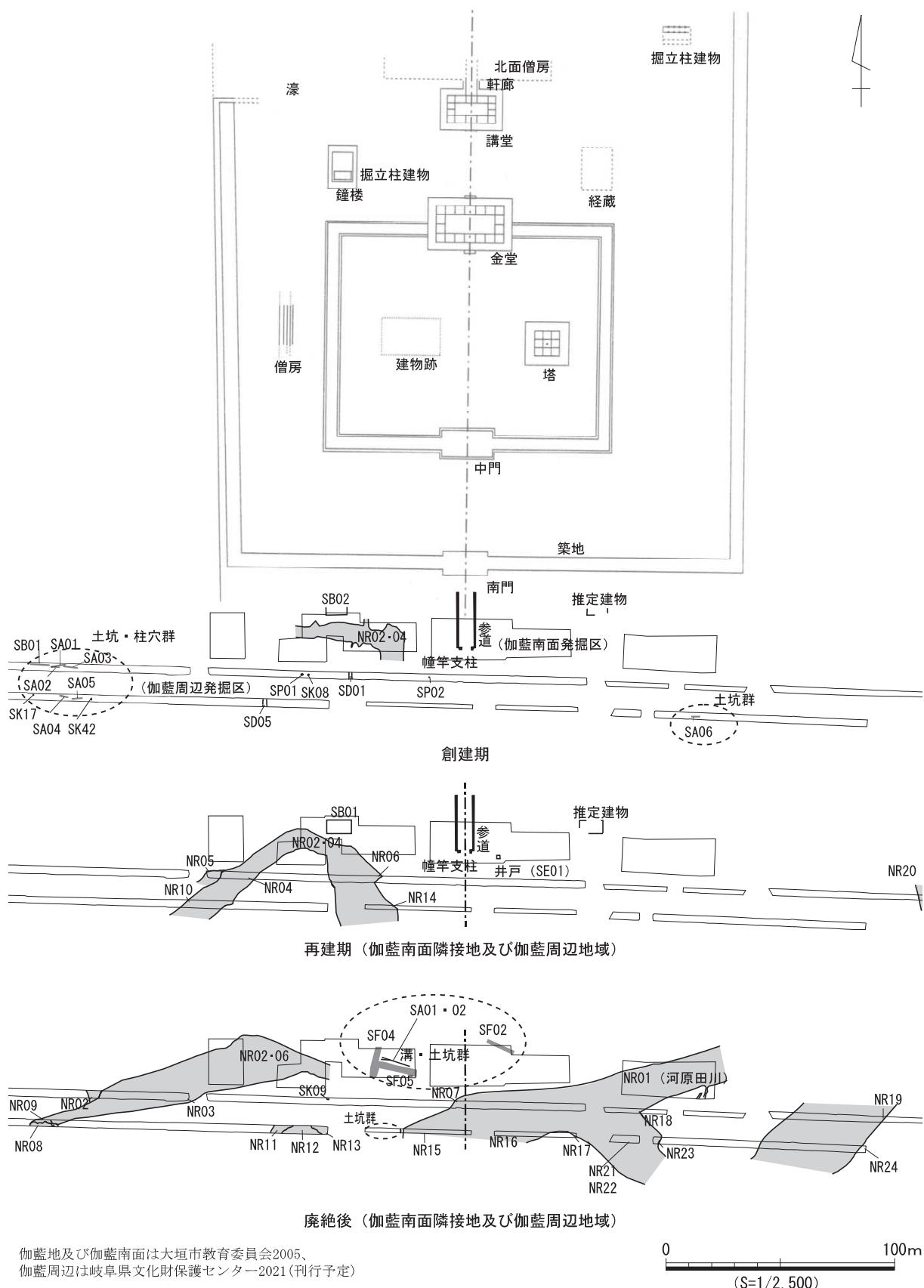


図10 美濃国分寺跡 遺構図

伽藍地及び伽藍南面は大垣市教育委員会2005、  
伽藍周辺は岐阜県文化財保護センター2021(刊行予定)

## [養老町]

地区	西濃	寺院番号	24086	県遺跡番号	21341-5880	分布図番号	03
ふりがな	かしわおでら (かしわおはいじあと)	所在地	養老郡養老町柏尾				
寺院名 (史跡・遺跡名)	柏尾寺 (柏尾廃寺跡)						
時代区分	古代（奈良）・中世				宗派 天台宗		
立地	山腹～山麓		現状(植生)	境内・山林（コナラ・アカマツ）			
東西規模	800m	南北規模	400m	標高(比高差)	105(40)m	平坦面分類	A+C1+D
沿革	天平年間（729～749）に建立。その後、7百年に及んで破滅するとある。また、廢頬時期は不明であるが、存徳寺記録には天正5年4月中旬織田信長の焼討ちによって焼失した。（岐阜県養老郡養老町1978）当初法相宗であったが、後に天台宗に転宗。なお、信長記によると永禄5（1562）年に焼き払われた。（養老町教育委員会 2007）						
遺構	石積み、土壘、溝、洞穴、礎石、基壇、金堂跡、墓域						
遺物	須恵器、灰釉陶器、中世土師器、山茶碗、古瀬戸、瓷器系陶器、中国製陶磁器、瓦質土器、瓦、瀬戸美濃、近世陶磁器、五輪塔（明応九（1500）年～天文十六（1547）年）、石仏（應永九（1402）年～弘治年間（1555～1557））、宝篋印塔、一石五輪塔、五輪塔、板状五輪塔、石塔類未成品						
有形文化財等	—						
参考文献	岐阜県養老郡養老町 1978『養老町史』通史編上巻、養老町教育委員会 2007『養老町遺跡詳細分布調査報告書』、岐阜県教育委員会 1998『岐阜県文化財図録』						
備考	多芸七坊のうちの1つで、柏尾山に24坊が所在したとされる。（養老町教育委員会 2007）						

**調査所見** 多芸七坊の一つで天平期成立の寺院である。北側の勢至南谷を挟んで光堂寺廃寺跡、南側の柏尾谷を挟んで南の滝谷には養老寺と、養老山脈の山麓に多芸七坊が並んでいる。神明神社より一段下の平坦面に、金堂跡と考えられる礎石群が現觀音堂周辺に、金堂跡の北には塔跡と考えられる基壇跡が残り、金堂跡からは東へ一直線状に参道が伊勢街道まで伸びている。これらの西側斜面上には墓域、北西の斜面には行場と思われる巨岩・洞穴・平坦面があり、参道の南北両側に坊院跡と考えられる平坦面が展開する。塔跡のそばには千体仏と呼ばれる石仏群がある。坊院跡は、勢至南谷に近い方は、川に沿いの一段低い所に展開している。直線参道両側に広がる南側坊院群とは比高差が5mほどあり、南側北端の切岸沿いにも参道が形成されている。南側坊院群の参道より南端には土壘をともなった道が東西に続き、中央部には水路と考えられる溝が東西に続いている。北側坊院群の東半分は、川沿いの地形に合わせて複雑に平坦面が展開しているが、西半分は直線参道南側の平坦面列に面を合わせて展開している。川に近い平坦面には土壘状の高まりや石積が残っている。洞穴への通路としては、本道から北西へ折れて西側に分布する平坦面を通り、北側の谷沿いに上がるルートが考えられる。平坦面西側の斜面は急で通路は確認できなかった。洞穴の奥行きは現状で2～3mである。また、谷沿いの巨岩北側に石積みを確認した。

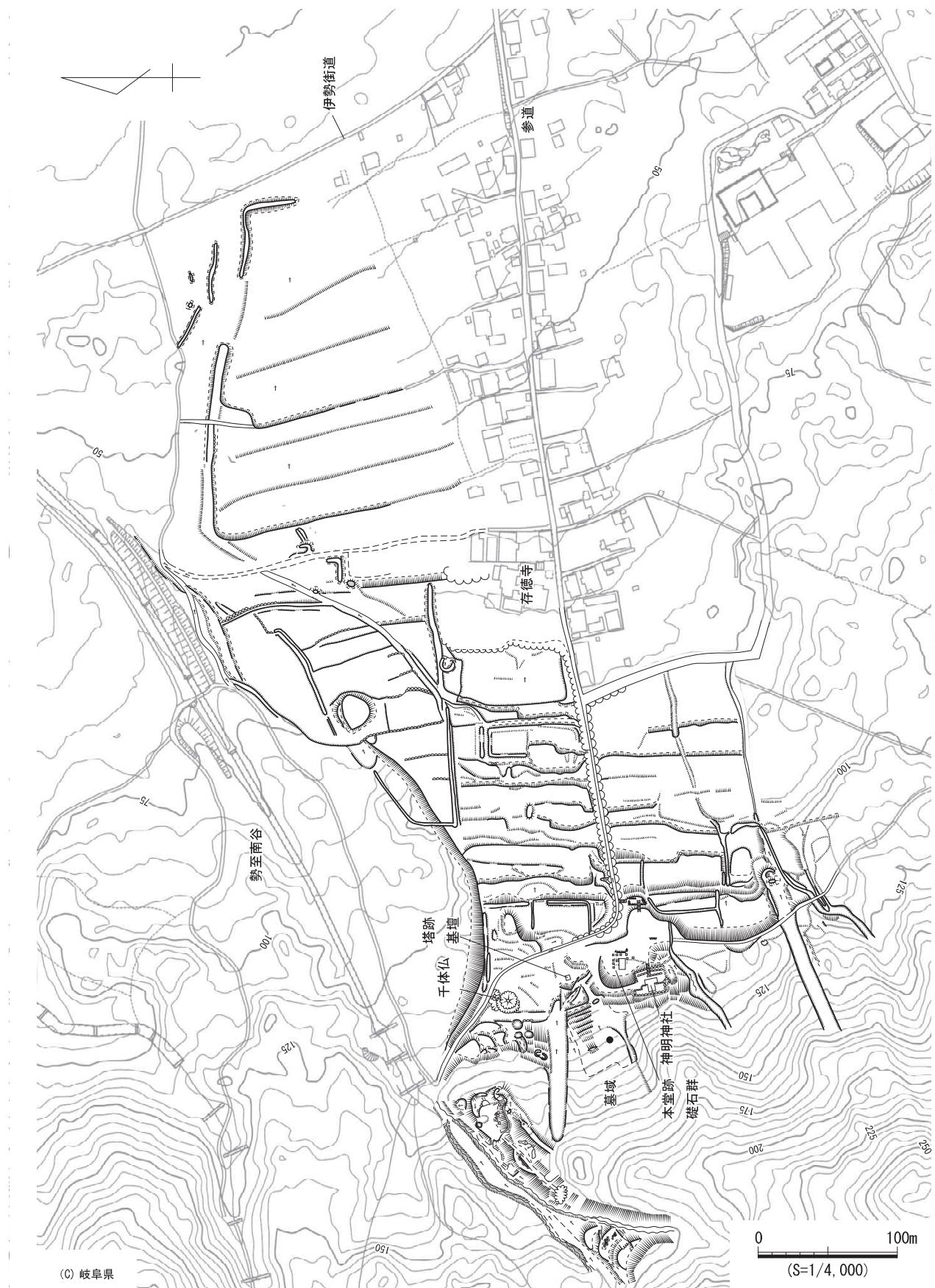


図11 柏尾寺（柏尾廃寺跡）地形観察図（1）

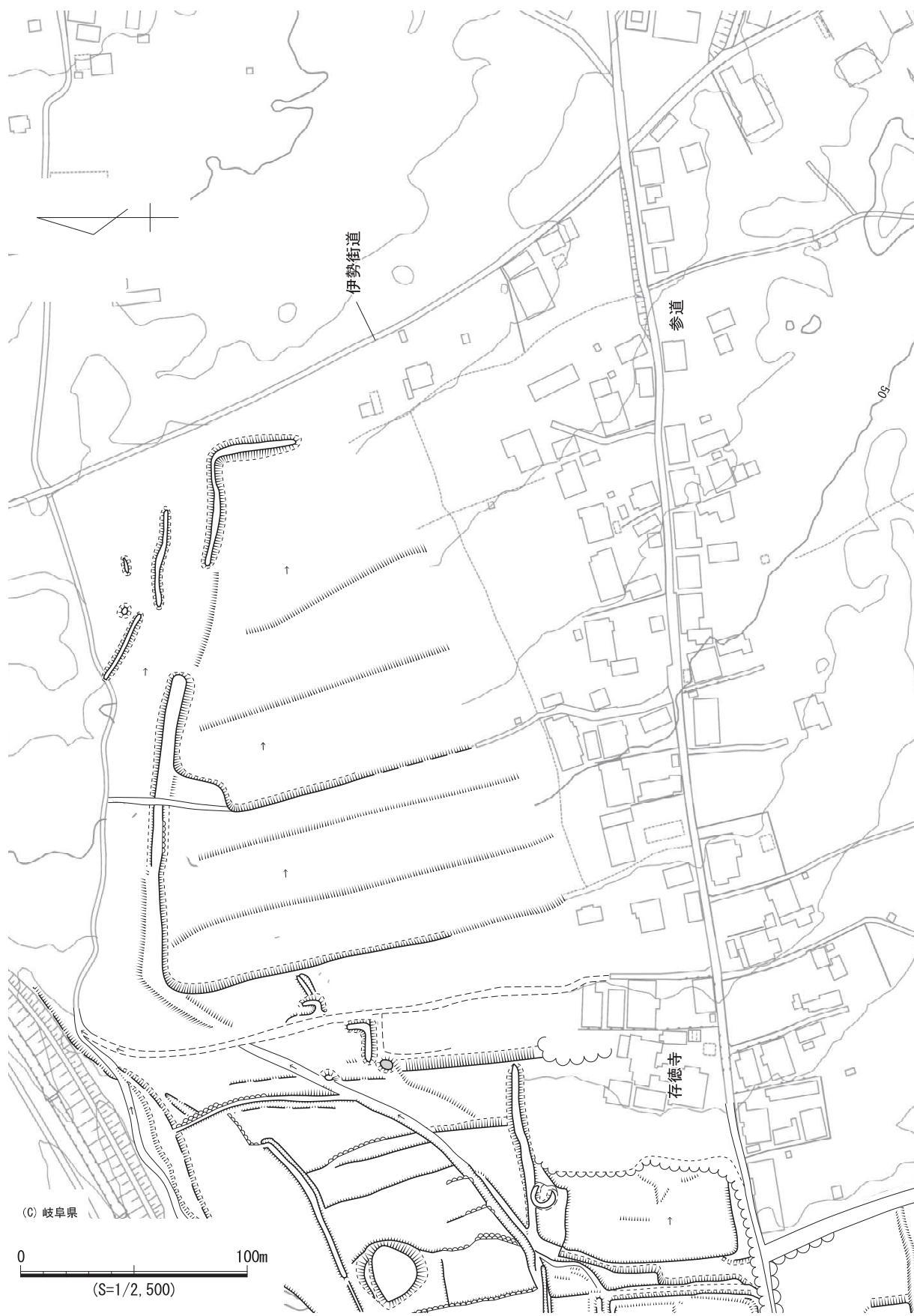


図12 柏尾寺（柏尾廃寺跡）地形観察図（2）



図13 柏尾寺（柏尾廃寺跡）地形観察図（3）

地区	西濃	寺院番号	24087	県遺跡番号	21341-5867	分布図番号	03
ふりがな	だいいとくさんりゅうせんじ（りゅうせんじはいじあと）	所在地	養老郡養老町竜泉寺				
寺院名 (史跡・遺跡名)	大威徳山竜泉寺 (竜泉寺廃寺跡)						
時代区分	古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）	宗派		天台宗			
立地	山腹～山麓	現状(植生)		山林（コナラ）			
東西規模	625m	南北規模	350m	標高(比高差)	200(130)m	平坦面分類	A+C1+D
沿革	当初は法相宗であったが、後に天台宗に改宗した。（養老町教育委員会 2007）文化年間（1804～1818）の記録に「天平宝字に建立、其後三百年を過ぎて破滅す。西山七坊の縁起この寺に在りて比叡山に納まる。七坊の内に大伽藍也。寺家四十八本有之。今に基跡あり」と記している。また、建立後3百年を過ぎて破滅したが、その後再建され織田信長の兵火にかかるまで創建以来約8百年続いた。（岐阜県養老郡養老町 1978）						
遺構	礎石（塔跡か鐘堂跡）						
遺物	須恵器、中世土師器、山茶碗、古瀬戸、瓷器系陶器、瓦、石仏、宝篋印塔、五輪塔、一石五輪塔						
有形文化財等	—						
参考文献	岐阜県養老郡養老町 1978『養老町史』通史編上巻、養老町教育委員会 2007『養老町遺跡詳細分布調査報告書』						
備考	多芸七坊のうちの1つで、大威徳山に48坊が所在したとされる。遺跡の最高所の一部は町史跡。						

**調査所見** 北の威徳谷と南の行平谷に挟まれた扇状地上に坊院が展開する寺院跡である。行平谷を挟んで南には光堂寺廃寺跡がある。扇状地の奥に墓域と礎石を伴う本堂跡や鐘楼跡等の中心施設を設け、山裾に向かってほぼ一直線に参道が伸びる。坊院は参道の両脇に階段状に平坦面を配置する。特に参道の北沿いの平坦面群は、平坦面中央部に土壘状の高まりがあって複雑に形成され、平坦面に比高差があり残存状況が良い。直線通路（表参道）は比高差2m程の切岸によって形成されている。また、表参道の北には阿弥陀堂跡を起点とした、比高差5m程の切岸によって通路（裏参道）を形成している。裏参道は流路の両側に形成され、平坦面の斜面には石積みが残る。裏参道は現存の安養院南脇に続いている。鐘楼跡から威徳谷に沿って時期は不明であるが、幅2m奥行1.2mで1mに1段の石段がある。石段は途中で途切れ、凹地状の道に変わる。この道には土壘状の高まりが伴っている。鐘楼跡の北西には墓域と思われる、五輪塔の部材が散在する5m×10m程の平坦面がある。この平坦面から西は急斜面の岩盤になる。表参道の南側に展開する平坦面群は北側に展開する平坦面列に対応して展開している。寺院跡南端には溝を伴う東西方向の土壘がある。阿弥陀堂跡の東には近年のものと思われる石積みを伴う平坦面がある。

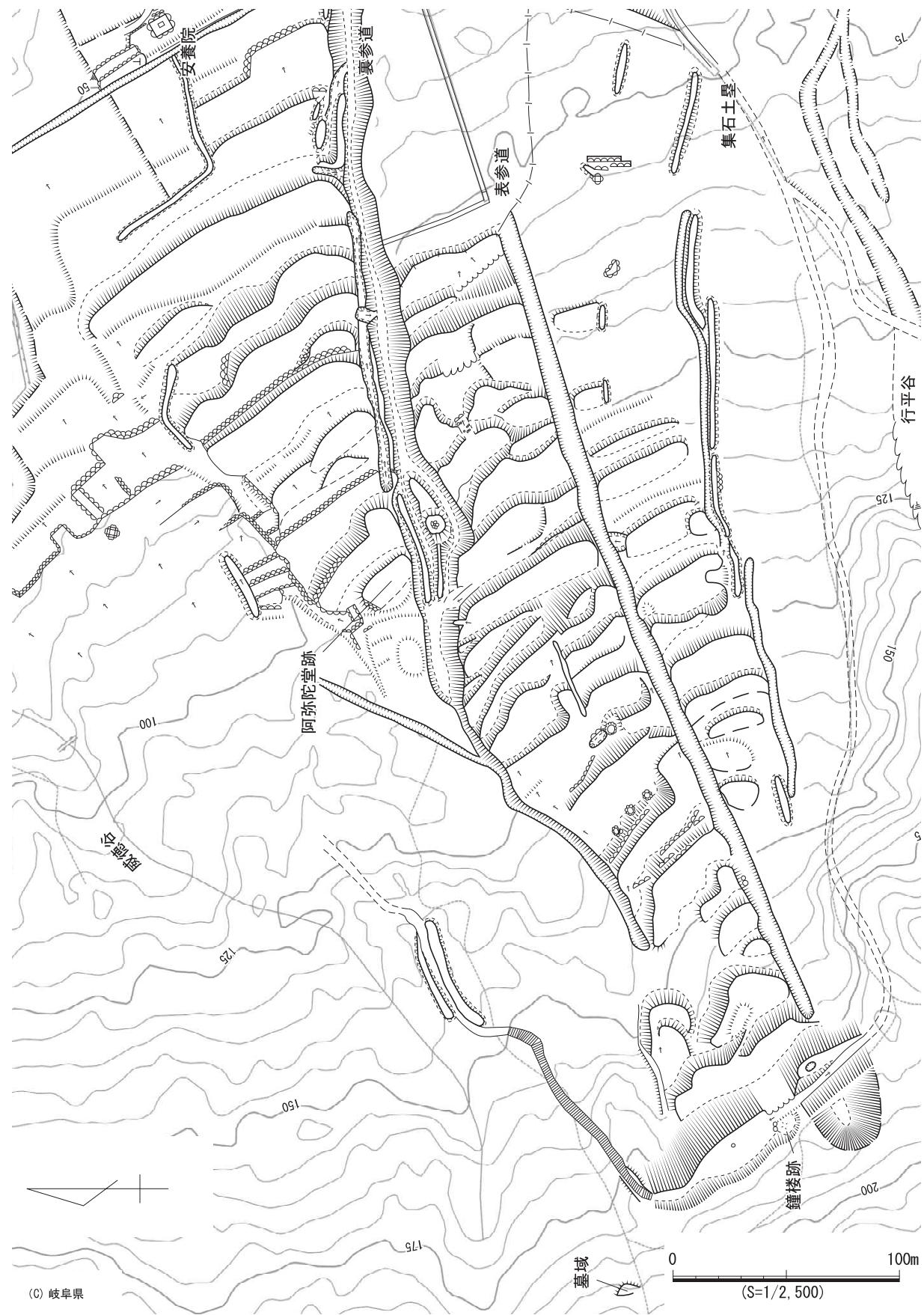


図14 大威徳山竜泉寺（竜泉寺廃寺跡）地形観察図

地区	西濃	寺院番号	24071b	県遺跡番号	21341-5869	分布図番号	03
ふりがな	せいしざんこうどうじ（こうどうじはいじあと（せいしじあと））	所在地	養老郡養老町勢至、石畠				
寺院名 (史跡・遺跡名)	勢至山光堂寺 (光堂寺廃寺跡 (勢至寺跡))						
時代区分	古代・中世	宗派	法相宗→天台宗				
立地	山麓	現状(植生)	山林(コナラ・アカマツ)				
東西規模	430m	南北規模	290m	標高(比高差)	145(95) m	平坦面分類	A+C1+D
沿革	文化年間(1804~1818)の記録に「勢至村、支署に勢至山光堂寺、天平宝字年中の建立。その後三百年を経て破滅す。」とある。応永7(1400)年には足利義満の御判物を紛失したと寺が申し出たので、寺域を従前通りとするため証文を渡している。それによれば寺域は、東境・伊勢街道、西境・一瀬山の峰、南境・馳尾口(南谷力)、北境・立岩の下大谷水落ち境である。また、光堂寺は寛正5(1464)年2月、住僧顕誓の時、兼壽に帰依して本願寺の末寺となり、勢至山専明寺と改めた。その後、寛永年中鷺巣へ移転して現在に至る。(岐阜県養老郡養老町 1978) 当初法相宗であったが、後に天台宗に改宗。なお、信長記によると永禄5(1562)年に焼き払われた。(養老町教育委員会 2007)						
遺構	土塁、岩窟						
遺物	須恵器、中世土師器、山茶碗、古瀬戸、瓷器系陶器、中国製陶磁器、近世陶磁器、五輪塔、石仏、五輪塔、一石五輪塔、板碑五輪塔、石仏、石臼						
有形文化財等	古瀬戸瓶子(県指定重文、古瀬戸前Ⅲ～中Ⅰ期)：喜勢遺跡、「土岐善弘書状案」(応永27(1420)年)						
参考文献	岐阜県養老郡養老町 1978『養老町史』通史編上巻、養老町教育委員会 2007『養老町遺跡詳細分布調査報告書』						
備考	多芸七坊のうちの1つで、勢至山に24坊が所在した。「土岐善弘書状案」(応永二七(1420)年)に「勢至寺」の境域が記載され、日吉神社の周辺で中世の遺物を採集しており町教委は、勢至寺跡としている。						

**調査所見** 光堂寺廃寺跡は、北の勢至北谷と南の勢至南谷に挟まれた尾根上部から現在の住宅地までの範囲にあり、東に勢至鉄座跡がある。勢至南谷を挟んで南に柏尾廃寺跡が、勢至北谷を挟んで北に竜泉寺廃寺跡がある。日吉神社周辺に礎石が残る平坦面があり、中心堂宇跡と考えられる。日吉神社の北西の勢至北谷の東斜面に巨岩・岩窟・集石が所在し、高台から本堂を望む行場の様相を呈している。日吉神社南側の平坦面群の東半分には近年の石積みが残り、北端の急斜面に北谷の水を引き入れている。勢至南谷の北側に沿った尾根上部の湧水地点と滝周辺には、川を挟んで南北斜面に小規模な平坦面群があり尾根上には防御施設がなく平野部の眺望が良好な行場で、中世陶器1点が採集されている。また、この尾根上には、斜面が急であるため残りは悪いが平坦面があり石仏・石塔が散在している。礎石の残る平坦面の入口と、鉄座跡に向かって伸びる参道の周辺に土壘状の高まりがみられる。行場は巨岩と岩盤が切り立った断崖を形成しており、岩窟はその裾部に位置する。岩窟の内部は幅約5×奥行約4m程の空間があり、その中央の基壇状高まりには五輪塔部材を確認した。古代の行場跡を、中世に入ってやぐらとして利用されていたのではないかと推察される。本堂からの連絡は、勢至北谷の谷川を渡る必要がある。谷川に近くに散見される集石は山林砂防整備のものと考えられる。



図 15 光堂寺廃寺跡（勢至寺跡） 地形観察図（1）



図 16 光堂寺廃寺跡（勢至寺跡） 地形観察図（2）

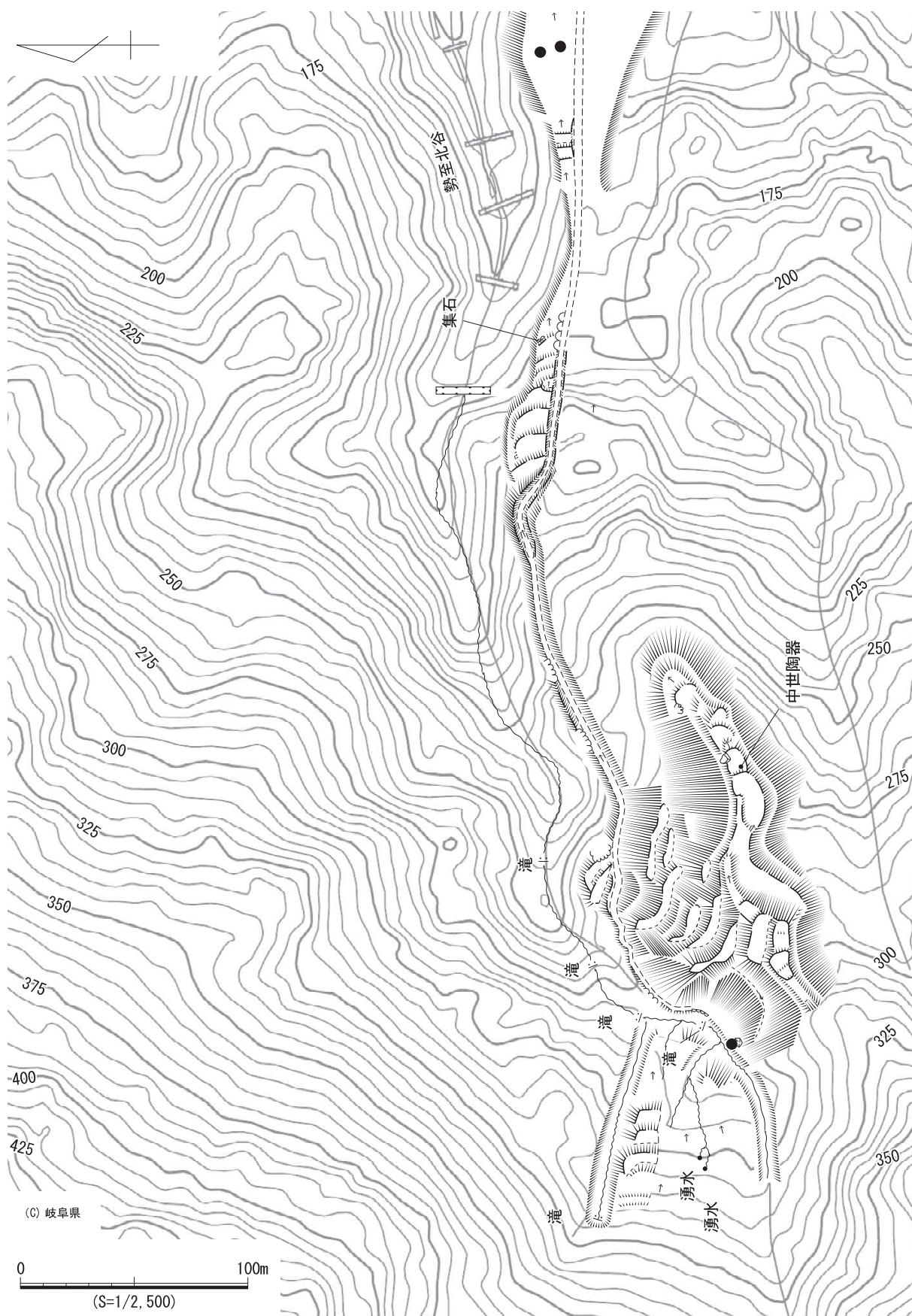


図 17 光堂寺廃寺跡（勢至寺跡） 地形観察図（3）

地区	西濃	寺院番号	24094	県遺跡番号	21341-11218	分布図番号	03
ふりがな	こうみょうじ（やくしやまいせき）	所在地	養老郡養老町鷺巣、若宮				
寺院名 (史跡・遺跡名)	光明寺 (薬師山遺跡)						
時代区分	古代・中世	宗派	天台宗				
立地	山腹	現状(植生)	山林(スギ、ヒノキ)				
東西規模	470m	南北規模	130m	標高(比高差)	170(55)m	平坦面分類	A+C1+D
沿革	天平宝字年間の創建。当初法相宗であったが、後に天台宗に転宗。なお、信長記によると永禄五(1562)年に焼き払われた。(養老町教育委員会 2007)						
遺構	溝、土壘						
遺物	中世土師器、山茶碗、古瀬戸、瓷器系陶器、五輪塔、石仏						
有形文化財等	—						
参考文献	養老町教育委員会 2007『養老町遺跡詳細分布調査報告書』						
備考	多芸七坊のうちの1つで、小倉山に36坊が所在したとされる。遺跡の最高部付近に五輪塔・石仏がある。(養老町教育委員会 2007)						

**調査所見** 養老山東麓で養老寺がある滝谷の南、小倉谷南側扇状地上に坊院が展開する。坊院の南を西から東へ流れる沢に沿って奥へ登ると、沢の奥に本堂跡があり、参道沿いに坊院の平坦面、小倉谷の河岸段丘北端部に土壘が残る。中流から上流は沢沿いに参道が伸びるが、東の坊院では段丘崖に沿って土壘を伴う参道が東へと伸びている。主要遺構となりそうな平坦面は、本堂跡周辺にある。坊院は土壘状の高まりや溝・段丘崖で囲まれた区画内にあったと考えられ、小倉谷南の扇状地上に坊院が展開していたようであるが、残存状況が悪く北東端に7段分が残っている。坊院の平坦面は奥行約10m南北方向幅約30mで、これらの南端と中央に、幅約1m程の道状の高まりが残っている。

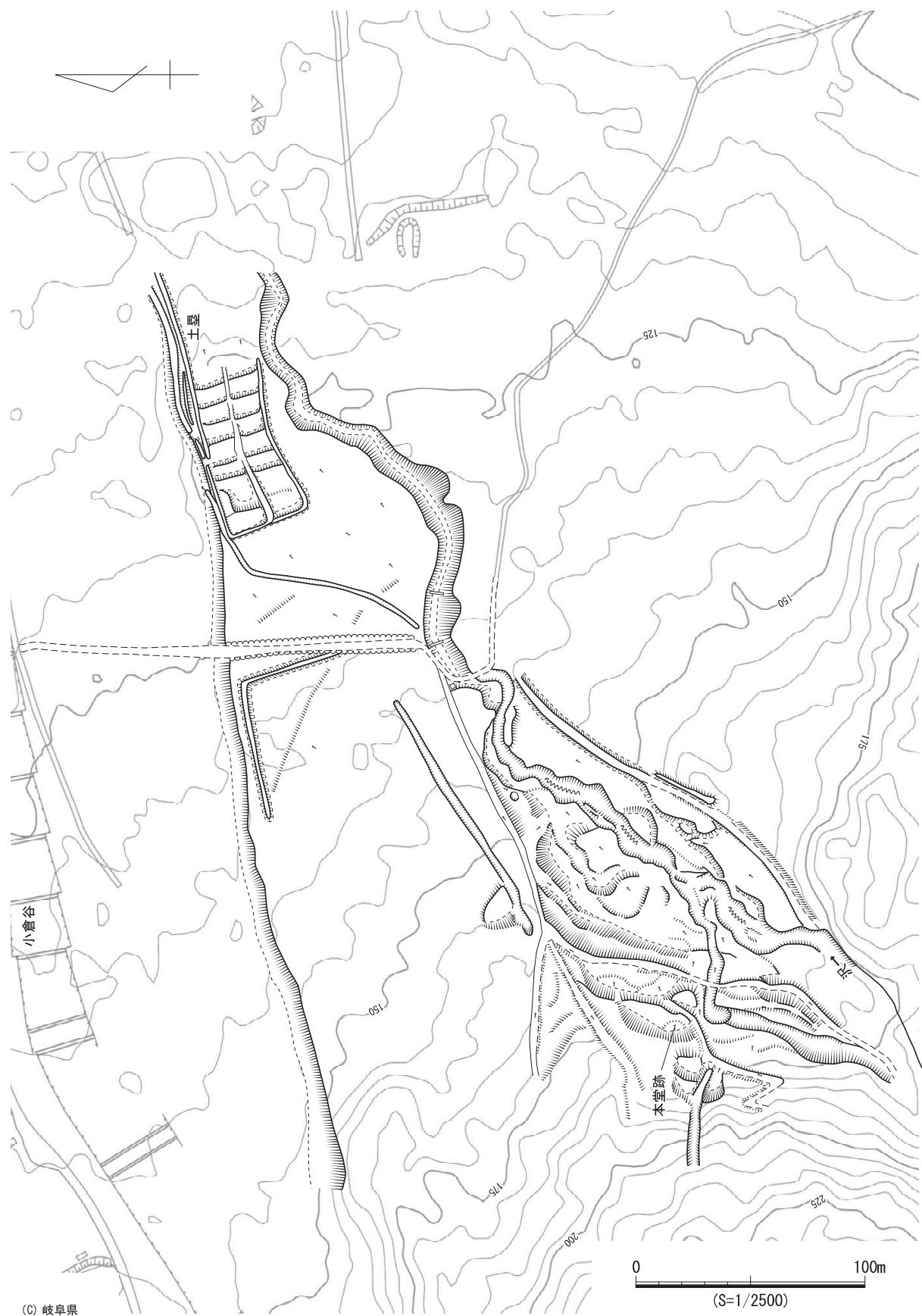


図18 光明寺（薬師山遺跡）地形観察図

## [垂井町]

地区	西濃	寺院番号	25003	県遺跡番号	一	分布図番号	N2
ふりがな		いちじょうさんぽだいじ		所在地		不破郡垂井町岩出	
寺院名 (史跡・遺跡名)		一乗山菩提寺					
時代区分		古代～		宗派		真言宗	
立地		山腹		現状(植生)		境内・山林(アカマツ、スギ・ヒノキ)	
東西規模	198m	南北規模	421m	標高(比高差)	145(35)m	平坦面分類	A+C2+D
沿革	<p>真言宗の布教のために当地に来た空海に対し、豪族の伊福氏が請い開基された。『類聚国史』には、「天長五(828)年十月美濃国菩提寺預定額」とあり、準官寺である定額寺に列せられたことがわかる。(垂井町史編さん委員会 1969) その後兵火に遭い、中世の事は不詳である。創建当初は山上にあったが、天文8(1539)年に僧祐運が山麓に移して中興し、寛永年間(1624~1644)に領主竹中氏によつて本堂が再建されたとある。(垂井町 1996) 定額寺に列せられたことについて、始めは伊福氏の菩提寺として創建されたが、当時伊福氏は朝廷に対して功績が多くあったため、定額寺に列せられたと説明している。(不破郡教育會 1927)</p>						
遺構	池、石積み						
遺物	五輪塔、一石五輪塔、石仏						
有形文化財等	菩提寺鰐口(町指定、室町)						
参考文献	垂井町史編さん委員会 1969『垂井町史』通史編、岐阜県不破郡垂井町役場、垂井町 1996『新修垂井町史』通史編、不破郡教育會 1927『不破郡史』上巻						
備考	菩提山城の登城口に位置する。						

**調査所見** 現存寺院本堂周辺に石積みを伴う平坦面があり、本堂東側の尾根上や山麓に複数の平坦面、白山神社が存在する。『新修垂井町史』の記述内容も含め、菩提寺の旧境内の可能性が高いと判断した。

尾根の最奥部の平坦面中央に、明和6(1769)年と享和元(1801)年銘の墓石、1段下の基壇上に無縫塔、五輪塔、宝篋印塔が多数あり、墓域であると考えられる。その南側には1段高くやや広い平坦面があり、礎石や基壇は確認できなかったが、この平坦面からの眺望を考えると、本堂や塔等の主要堂宇があった可能性がある。墓域の北側には尾根に直交して幅3mの高まり(土壘の可能性)があり、平坦面の南西隅が出入口となる。墓域の西側の平坦面には、石積みで囲まれた2×3mの湧水池があり、南東の池に注ぐ。墓域の東側の斜面には、小規模な平坦面が3段あるが性格不明である。

現本堂と墓域の間にある尾根上には参道があり、参道の途中には仏堂、最奥部の平坦面に白山神社が所在する。白山神社の西から、菩提山城へ向かう登城路が伸びる。

現本堂周辺には、庫裡・山門・石積みを伴う大小様々な平坦面があり、山門の南側にも規模の類似する平坦面がある。また、現本堂の南東部には、谷を挟んだ山麓部に水天宮が祀られている。

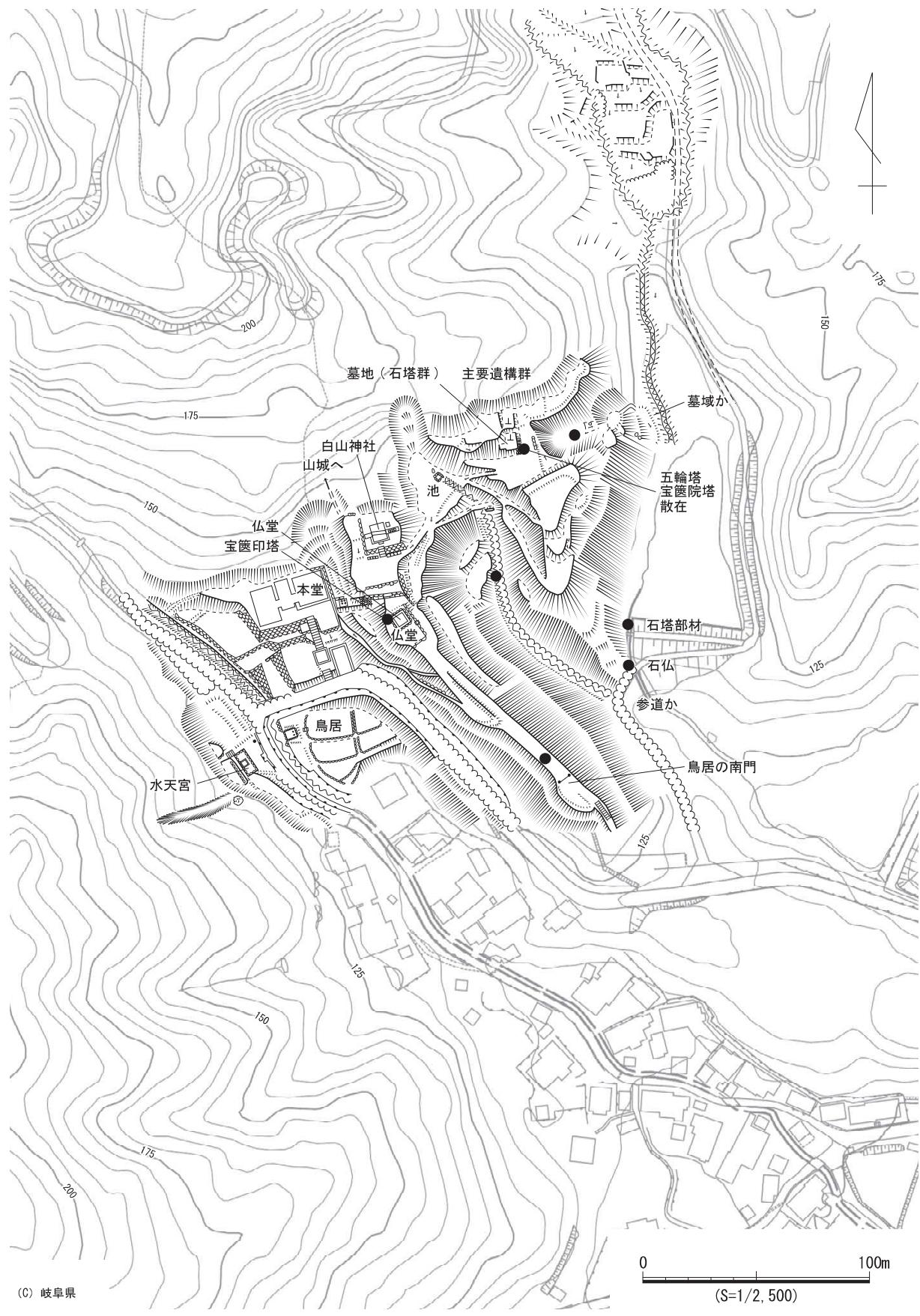


図19 一乗山菩提寺 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	25006	県遺跡番号	—	分布図番号	N3
ふりがな		かんのんじ		所在地		不破郡垂井町敷原	
寺院名 (史跡・遺跡名)		観音寺					
時代区分		古代（平安）～		宗派		曹洞宗→浄土宗	
立地		山麓		現状(植生)		境内・宅地(スギ・ヒノキ、アカマツ)	
東西規模	140m	南北規模	275m	標高(比高差)	114.5(12)m	平坦面分類	A+C1
沿革	<p>往古は、如意山妙勝寺と称した。本尊の觀世音菩薩は、最澄が宇佐八幡宮で彫刻した木像7体のうちの1体であると伝わる。元亀・天正(1570-1592)頃、堂宇が破壊され本尊仏が雨露に侵されたため、承応2(1653)年草堂を建てて安置した。貞享元(1684)年に堂宇を再建し、曹洞宗觀音堂と称するようになる。明治5(1872)年に廃寺となるも、同13(1880)年に信徒などが再興を請い、その許可を得て觀音寺と公称し、浄土宗に改宗した。（垂井町 1996）</p> <p>平安のころ国府の北の敷原村の山麓にちょっと有名な神社や仏閣があったという。927年に中央で編集した延喜式の美濃神名帳に、正二位敷原大明神とある。いま西屋敷にある熊野神社の前身にあたるのではないかといわれているが、その位置、規模など見当もつかない。祭神は伊邪那美神、速玉男神、豫母津事解神である。また、江戸時代に刊行された『濃陽志略』や『新撰美濃志』という本には、東屋敷の谷田のあたり東林坊に、古代、天台宗の如意山名勝寺の堂塔伽藍があつて、中昔廃寺になっていると記している。この廃寺の仏像がのちの浄土宗觀音寺の本尊となって文化財に指定されている十一面觀世音立像であるという。寺伝によるとこの敷原觀音は、伝教大師の作となっている。有名社寺や国府高官の屋敷原か湿氣原が敷原の語源とか。（敷原村 1980）</p>						
遺構	—						
遺物	五輪塔、無縫塔						
有形文化財等	木造不動明王立像（町指定、平安）、木造十一面觀音立像（町指定、平安）						
参考文献	<p>垂井町 1996『新修垂井町史』通史編 敷原村 1980『愛そう敷原』、郷土史研究会 1960「敷原を語る座談会」、垂井町教育委員会 1984『垂井のむかし話』</p> <p>敷原を語る座談会の敷原畧図には、山麓から谷中心を南北方向に直線道路が描かれ、道路沿いに南流する「寺川」、道路の東に「東屋敷」、道路の西に「西屋敷」と記載あり。（郷土史研究会 1960）</p>						
備考	<p>不破の滝・養老の滝にはそれぞれ滝を守護するお不動様がおりましたがいつも喧嘩をしており、それを見かねた偉いお不動様が天から降りてきて説教をされ、お互の良さを認め合い、不破の滝は男滝、養老の滝は女滝というようになったと伝えられている。（垂井町教育委員会 1984）</p>						

**調査所見** 南向き本堂（標高 114.2m）、庫裡、境内西に墓地を確認した。160m南西にもと天台宗の明円寺（標高 95.8m）、250m南西に熊野神社（94.1m）がある。觀音寺を北端とする南北方向の直線道路沿いには美濃国府跡があり、南端には美濃国一宮の南宮大社がある。本堂から明円寺前に続く直線道路沿いには水路と水路沿いの石積みがある。



図 20 観音寺 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	25015b	県遺跡番号	21361-11741	分布図番号	N3
ふりがな	いとくじきゅうけいだい (いしこしいせき)	所在地	不破郡垂井町平尾				
寺院名 (史跡・遺跡名)	威徳寺旧境内 (石越遺跡)						
時代区分	中世～	宗派	天台宗→真宗				
立地	山麓	現状(植生)	山林 (アカマツ)				
東西規模	200m	南北規模	160m	標高(比高差)	100(40) m	平坦面分類	A+C1+D
沿革	<p>創建時期については天文年間（1532～55）とあるが、天文 10（1582）年に真宗に改宗しているため、天文元～10 年までに創建されていると考えられる。（林周教 1961）</p> <p>応永 14（1407）年頃創建され、天台宗円興寺末、威徳坊と称していたが、天文 11（1542）年に当寺第5 世円純が真宗の証如に帰依したことで改宗し、名を了道、寺を現在地に移して寺号を威徳寺に改めたとある。慶長 7（1602）年の本願寺東西分派の際、浄土真宗大谷派に属す。（垂井町 1996）</p> <p>元は平尾東北山中の風越にあったが、住民が集団移住したのに伴い、現在地へ移転したという。</p> <p>（垂井町史編さん委員会 1969）</p> <p>風越の旧跡は、平尾地区北東部の石越遺跡と考えられており、開墾などにより改変を受けるが、現在も多数の石塔が集積し、明治 36（1903）年には壺に入った古銭が 8,388 枚（和同開珎～宋・明銭）が出土した（垂井町教育委員会タリイピアセンター 2017）</p>						
遺構	礎石、石積み						
遺物	一石五輪塔、五輪塔部材、山茶碗、古瀬戸（四（三）耳壺）						
有形文化財等	—						
参考文献	垂井町史編さん委員会 1969『垂井町史』通史編 岐阜県不破郡垂井町役場、林周教 1961『岐阜県真宗史』美濃文化研究所、垂井町 1996『新修垂井町史』通史編、垂井町教育委員会タリイピアセンター 2017『垂井町遺跡詳細分布調査報告書（1）』、不破郡教育會 1927『不破郡史』下巻						
備考	—						

**調査所見** 石越遺跡は、威徳寺旧境内と考えられており、谷筋に多数の平坦面と五輪塔部材を確認した。2つの大きな谷地形が尾根を挟んで平行に並び、その谷に平坦面が階段に並ぶ。北側の谷は、さらに1つの小さな尾根と2つの小さな谷に分かれしており、平坦面群が3列で形成されている。3列の平坦面の西端は、垂井町と大垣市の境の辺りで最も大きな平坦面を形成している。その西側の谷筋で多くの石塔類が散乱していることから、この最も大きな平坦面が本堂跡であり、その西側を墓域と推測する。また3列の平坦面群のうち、真ん中の平坦面群には北端に道があり、一部石積みを伴っており、これを参道と推測する。推定本堂跡の平坦面から尾根沿いに道が南側の谷へ続いており、南の平坦面群へと接続している。推定本堂跡以外の平坦面群は、幅が狭く小規模のものが多いことから坊院と考える。



図21 威徳寺旧境内（石越遺跡） 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	25061	県遺跡番号	21361-1115 21361-11751	分布図番号	N3
ふりがな	(やくしどうあと、やくしどういせき)	所在地	不破郡垂井町表佐				
寺院名 (史跡・遺跡名)	(薬師堂跡、薬師堂遺跡)						
時代区分	古代・中世・近世			宗派	真宗大谷派		
立地	山麓			現状(植生)	山林(スギ・ヒノキ)		
東西規模	100m	南北規模	300m	標高(比高差)	125(45)m	平坦面分類	B+C1+D
沿革	延暦12(792)年開基と伝えられる。江戸期までこの場所に薬師堂が建てられていた。(垂井町教育委員会タルイピアセンター2017) 現在は真禅院に移転されている。(垂井町 1996)						
遺構	石積み、参道						
遺物	山茶碗、古瀬戸、常滑甕等						
有形文化財等	美濃国南宮社之図(江戸)						
参考文献	垂井町教育委員会タルイピアセンター2017『垂井町遺跡詳細分布調査報告書(1)』、垂井町 1996 『新修垂井町史』通史編						
備考	分布調査では、薬師堂から北側に向かって山麓までの範囲(薬師堂遺跡)で山茶碗・古瀬戸・常滑甕等が確認されており、近世の薬師堂に伴う遺物ではないとされているが、中世南宮神社や南宮山信仰にかかる遺跡の可能性もあるとされている。美濃国南宮社之図に「薬師堂」の記載がある。						

**調査所見** 本遺跡は、南宮山山麓の北西側に位置し、中腹の觀音堂跡に向かう参道西側の北に傾斜する緩やかな斜面上にある。東と西の谷の間の尾根上に本堂跡と坊院が展開する。東の谷は、南宮大社北を東流する谷と合流する。坊院は北と南に分かれ、北側は現代の改変を受けている。南奥に本堂跡と思われる平坦面があり、本堂跡の北の緩やかな斜面に5段の坊院が展開する。南の坊院の北端に湧水地点があり、北にある池を通じて谷へと流れるが、池の周辺から現代の改変を受けている。南の坊院からはやや離れるが、参道沿いの尾根北端部にも3段ほどの平坦面があり、参道沿いに石積みが部分的に残存する。

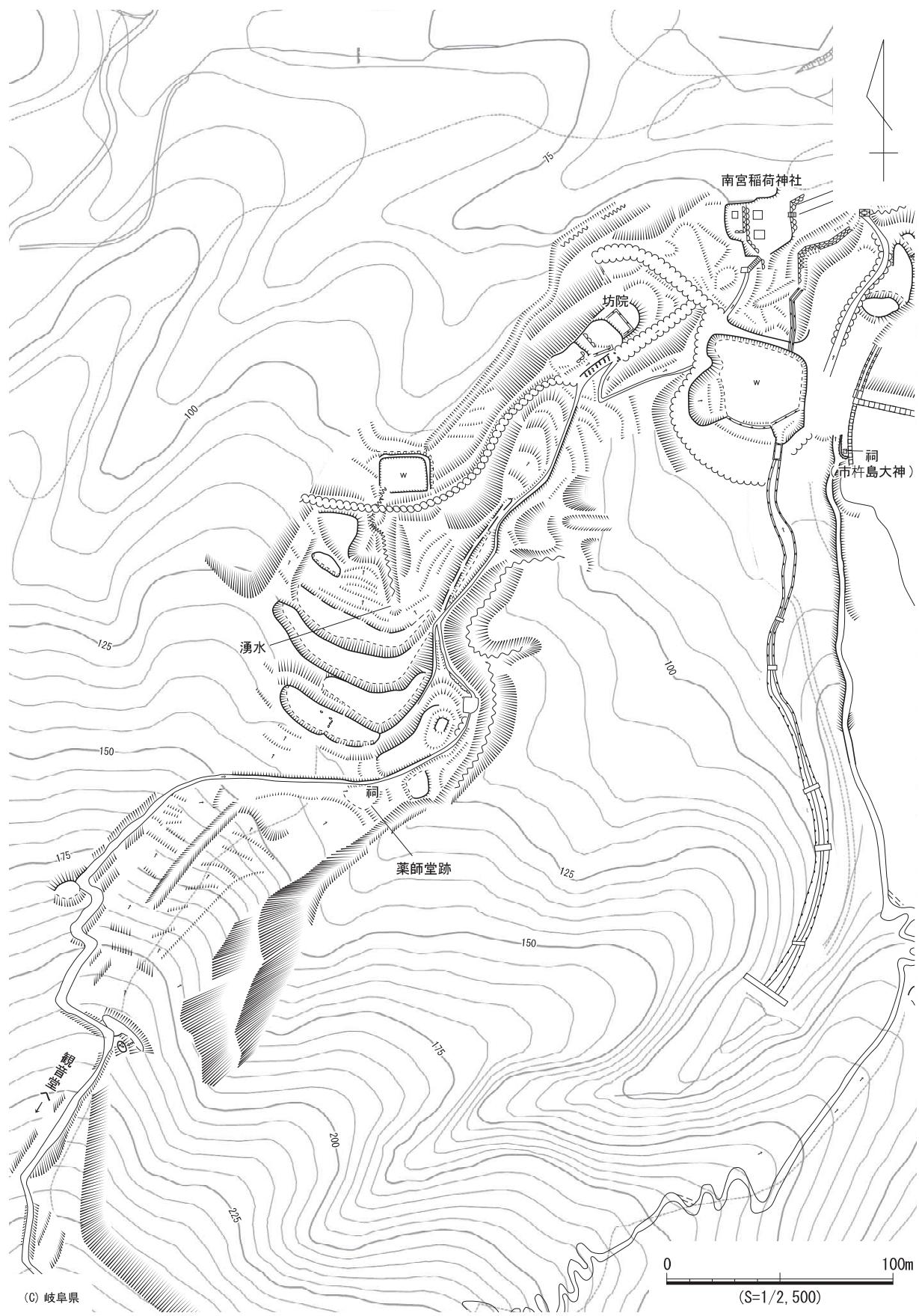


図22 薬師堂跡・薬師堂遺跡 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	25062	県遺跡番号	21361-11116	分布図番号	N3
ふりがな	(かんのんどうあと)	所在地	不破郡垂井町宮代				
寺院名 (史跡・遺跡名)	(観音堂跡)						
時代区分	古代・中世・近世	宗派	不明				
立地	山腹	現状(植生)	山林(アカマツ)				
東西規模	34m	南北規模	64m	標高(比高差)	265(197)m	平坦面分類	A
沿革	天平神護2(766)年創建と伝わり、かつては宝珠院、宝珠觀音堂と称し、南宮山山頂の奥院高山社近くに所在していた(垂井町教育委員会タルイピアセンター2017)。昭和46(1971)年名城大学による調査(名城大学理工学部住宅研究会古建築班1971)で測量調査が行われており、礎石及び石垣が確認されている。また、垂井町教育委員会の分布調査(垂井町教育委員会タルイピアセンター2017)では、觀音堂に関係する可能性のある遺物が採取されている。						
遺構	石積み、礎石、基壇						
遺物	山茶碗、藏骨器(磁器、近世陶器)						
有形文化財等	—						
参考文献	垂井町教育委員会タルイピアセンター2017『垂井町遺跡詳細分布調査報告書(1)』、名城大学理工学部住宅研究会古建築班1971『南宮神社建造物総合調査報告書』第1部						
備考	『木曾路名所図会』に觀音堂の記載がある。(垂井町教育委員会タルイピアセンター2017) 幕末頃に作成された「美濃国南宮社之図」には、「宝珠院」として記載されている。						

**調査所見** 本遺跡は、南宮山北斜面中腹の尾根上に位置する。山麓から続く現参道沿いの尾根上に、広い平坦面が1面あり、基壇状の高まり3か所と石積み、礎石などの遺構が見られた。平坦面の中央にあるものを「基壇①」、南側にあるものを「基壇②」、北側にあるものを「基壇③」とする。基壇①は、参道からの出入口正面にあたる基壇で、出入口と基壇の間には、幅約12mの帯状の空間がある。基壇は10×15mの大きさで、部分的に石積みを確認できる。基壇の中央部分には近代の瓦が散在している。北東面の石積は、基壇の北側にある小規模な平坦面へとつながっている。基壇②は、基壇①の東辺の法尻と一致することから、基壇①と基壇②は同時期のものと考えられる。基壇③は10m四方で縁に石列があり、基壇上に礎石がある。広い平坦面の北側と南西の尾根上に、山頂方向への旧参道が残っている。平坦面への出入口は、東側と南側の2か所にあり、石積みが部分的に残っている。觀音堂跡から南宮大社へと下る参道の北脇には、東向きの平坦面や緩斜面を確認できる。

地区	西濃	寺院番号	25063	県遺跡番号	21361-11117	分布図番号	N3
ふりがな	(せんじゅどうあと)	所在地	不破郡垂井町宮代				
寺院名 (史跡・遺跡名)	(千手堂跡)						
時代区分	古代・中世・近世			宗派	不明		
立地	山腹			現状(植生)	山林(アカマツ)		
東西規模	30m	南北規模	43m	標高(比高差)	265(202)m	平坦面分類	A+D
沿革	成立時期などの詳細は不明であるが、かつて小堂があり、南宮神社関係の堂宇であった可能性がある。明治期の神仏分離令で真禅院に移されたのち、昭和8(1933)年に正行院へ移築された。山中には平坦面が残り、「奉 読誦法華經三千部回向」の石柱と、堂宇跡の可能性がある高まりを確認できる。(垂井町教育委員会タリイピアセンター2017)						
遺構	石積み、基壇、集石						
遺物	—						
有形文化財等	—						
参考文献	垂井町教育委員会タリイピアセンター2017『垂井町遺跡詳細分布調査報告書(1)』						
備考	幕末頃に作成された「美濃国南宮社之図」には、「千手堂」という記載がある。「一つ松の旧跡」は町の看板に、「人来の松」と言われ、新古今集(1205年)に「おもひいづや みののお山の ひとつ松 契りしことは いつも忘れず 伊勢」と詠まれ、「伊勢は1000年前、小野小町と共にその双璧と言われた女流詩人で、以来この一つ松は、多くの有名歌人の歌枕にされてきた銘木の旧跡」とある。						

**調査所見** 25062 観音堂の約100m南にあり、観音堂とほぼ同じ標高に平坦面がある。平坦面中央部には、南北に分ける段があり、平坦面北半では、北西隅で約10m四方の基壇状の高まりと、南東隅で集石を1か所確認した。平坦面の北東隅にある出入口に「奉 読誦法華經三千部回向」の石柱を確認した。この石柱の後方に、L字状に石積が残存している。参道は約70m手前で分岐し、一方は千手堂跡へ、もう一方は山頂方面へと続く。千手堂跡への出入口はこの1か所である。平坦面南半にも道のようなものがあるが、平坦面から約15mで収束する。この平坦面の東側の斜面を見ると、北から南に向かって緩やかに傾斜する幅の狭い平坦面が確認できるが、用途は不明である。

千手堂跡の北西斜面の上には、「一つ松の旧跡」がある。3×3mの基壇上に「中山一つ松」と刻まれた石碑がある。基壇から北西に30m進むと、尾根に沿って平坦面がある。尾根の中央部付近には小規模な高まりを確認したが性格不明である。

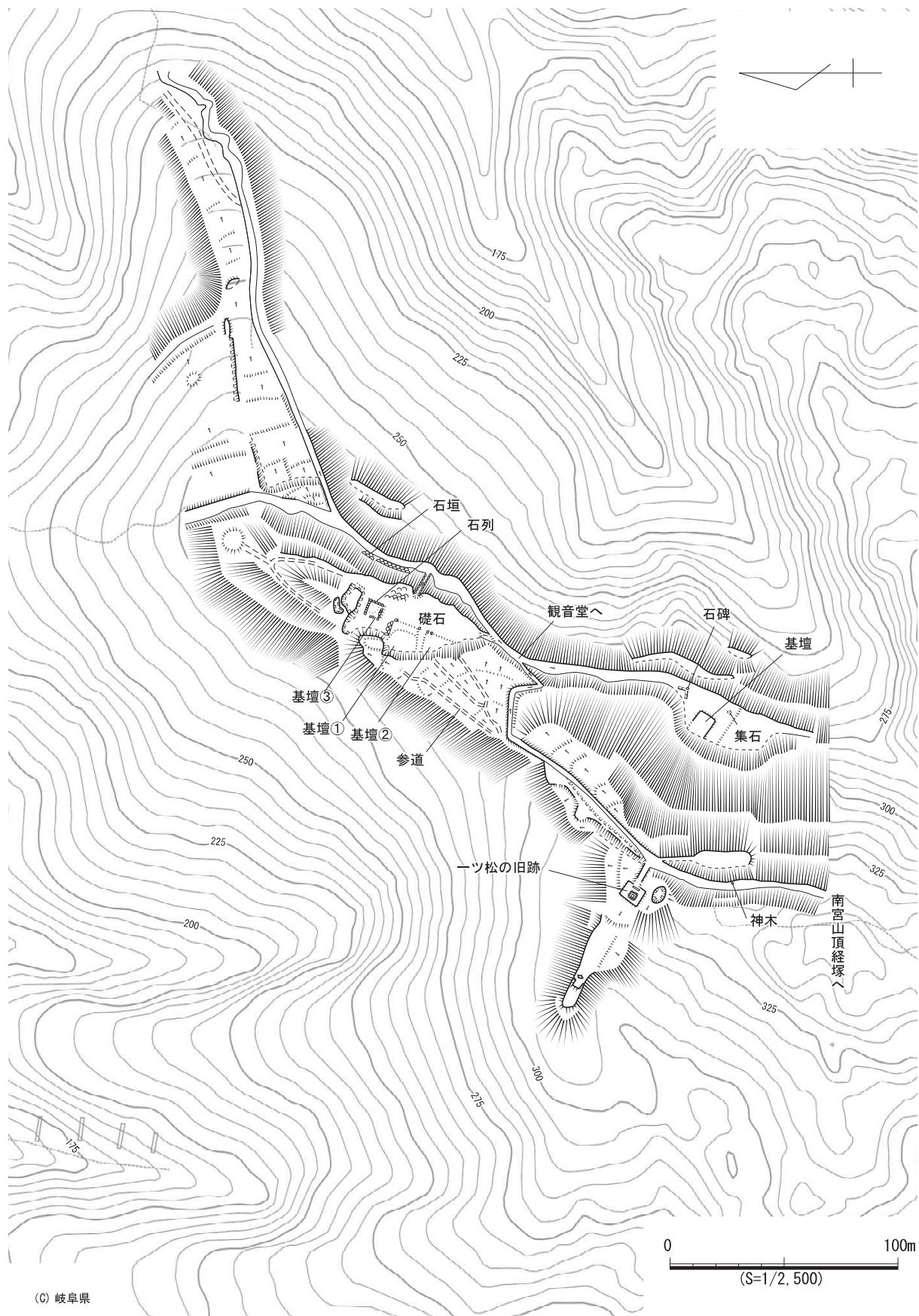


図23 觀音堂跡・千手堂跡 地形観察図

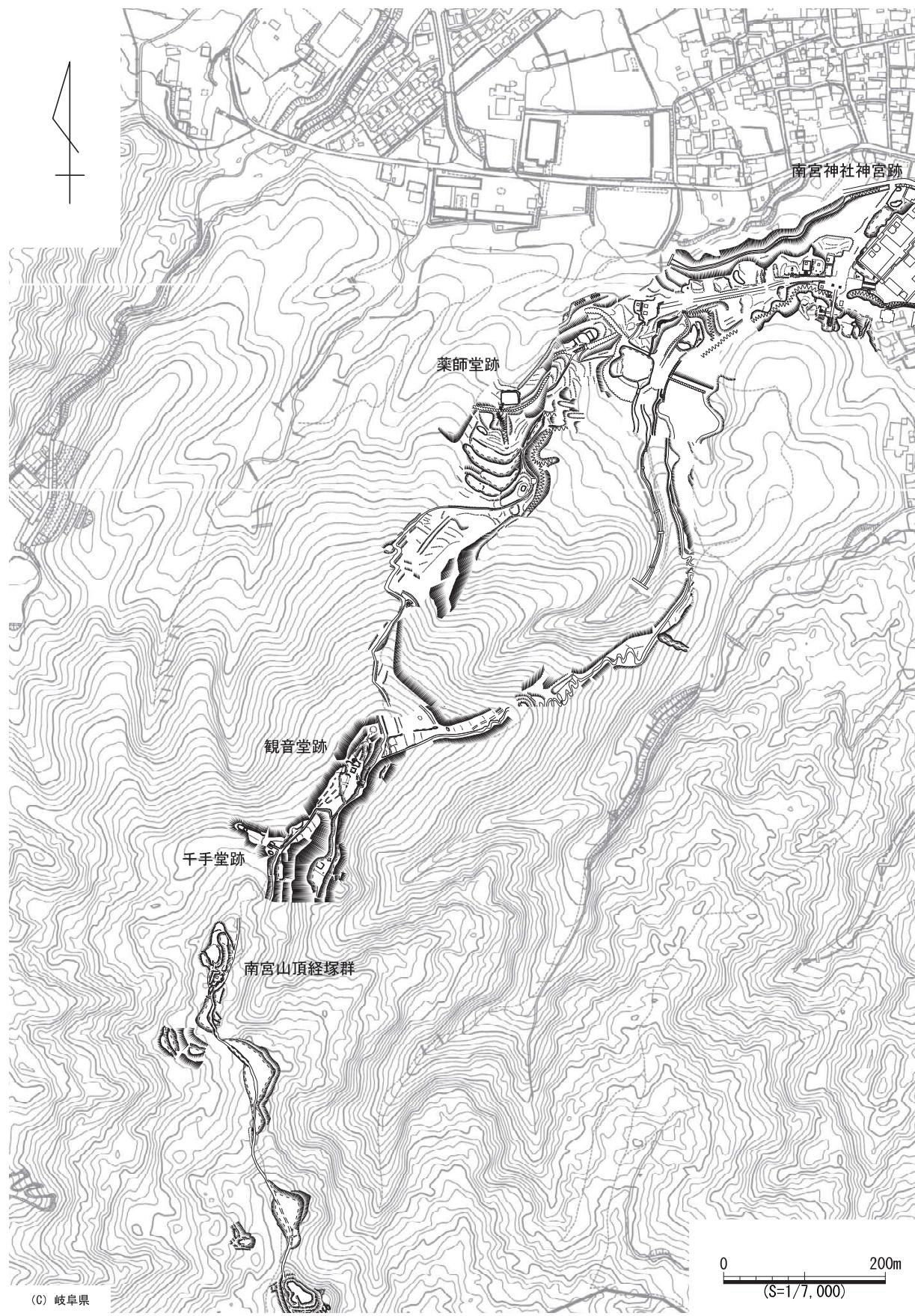


図24 南宮山全体 地形観察図位置図

地区	西濃	寺院番号	25064	県遺跡番号	21361-2052	分布図番号	N3
ふりがな	(なんぐうさんちょうきょうづかぐん)	所在地	不破郡垂井町宮代				
寺院名 (史跡・遺跡名)	(南宮山頂経塚群)						
時代区分	中世	宗派	不明				
立地	山腹	現状(植生)	山林(アカマツ)				
東西規模	40m	南北規模	45m	標高(比高差)	390(340)m	平坦面分類	C2+D
沿革	昭和34(1959)年に伊勢湾台風の影響で樹木が多数倒れた際、南宮山頂の高山神社境内にあった如法経石塔(如法経とは、法華経などの經典を「如法作法」によって書写したという意味)下より、鎌倉初期のものと思われる素焼きの經甕が発見された。甕は割れしており、經典類はなかった。この經塚は単独ではなく、13の經塚のうちの1つである。如法経石塔には、「如法経」以外に銘等はなく、造営時期や願主は不明であるが、南宮神社の社僧が願主であると思われる。(垂井町史編さん委員会 1969、岐阜県教育委員会 1998)						
遺構	経塚、石組、石積み						
遺物	如法経石塔、經甕(垂井町史編さん委員会 1969)、山茶碗、古瀬戸(御皿か・鉢か)、經筒破片(垂井町教育委員会タリイピアセンター2017)						
有形文化財等	—						
参考文献	垂井町史編さん委員会 1969『垂井町史』通史編、岐阜県不破郡垂井町役場、垂井町教育委員会タリイピアセンター2017『垂井町遺跡詳細分布調査報告書(1)』、岐阜県教育委員会 1998『岐阜県文化財図録』						
備考	「美濃国南宮社之図」には「高山社」の記載あり。						

**調査所見** 現在の南宮大社本殿から南西 1.2 km、標高差 315m の山腹には、南宮神社末社である高山神社が祀られており、その北側に経塚群が立地している。経塚群から南方 500m にわたって複数の平坦面があり、経塚群と関連する可能性がある。南北 20m × 東西 20m の平坦面に南宮山頂経塚群があり、一帯に石材が散乱し一部が石組になっている。平坦面の中央より少し南の地点には自然石に「妙法経」と彫られた石塔がある。石材の散乱する平坦面の南側に隣接する南北 15m × 東西 10m の平坦面に、高山神社と子安神社が並んで建っている。神社の祠は共に東向きて、境内の周りは石積みが巡らされている。経塚群・高山神社の東側に山麓から続く道があり、この道は南の山頂へと続いている。経塚群から南方 500 メートルの地点には、舟形状の虎口を伴った南北 35m × 東西 25m の平坦面があり、さらに南へ行くと標高 404m の峰に関ヶ原合戦の毛利秀元陣跡がある。

昭和38(1963)年に經筒の破片、常滑の外容器及び古瀬戸の片口鉢の蓋が出土している。また垂井町の遺跡詳細分布調査では、經筒の破片や古瀬戸を確認している(垂井町教育委員会タリイピアセンター2017)。

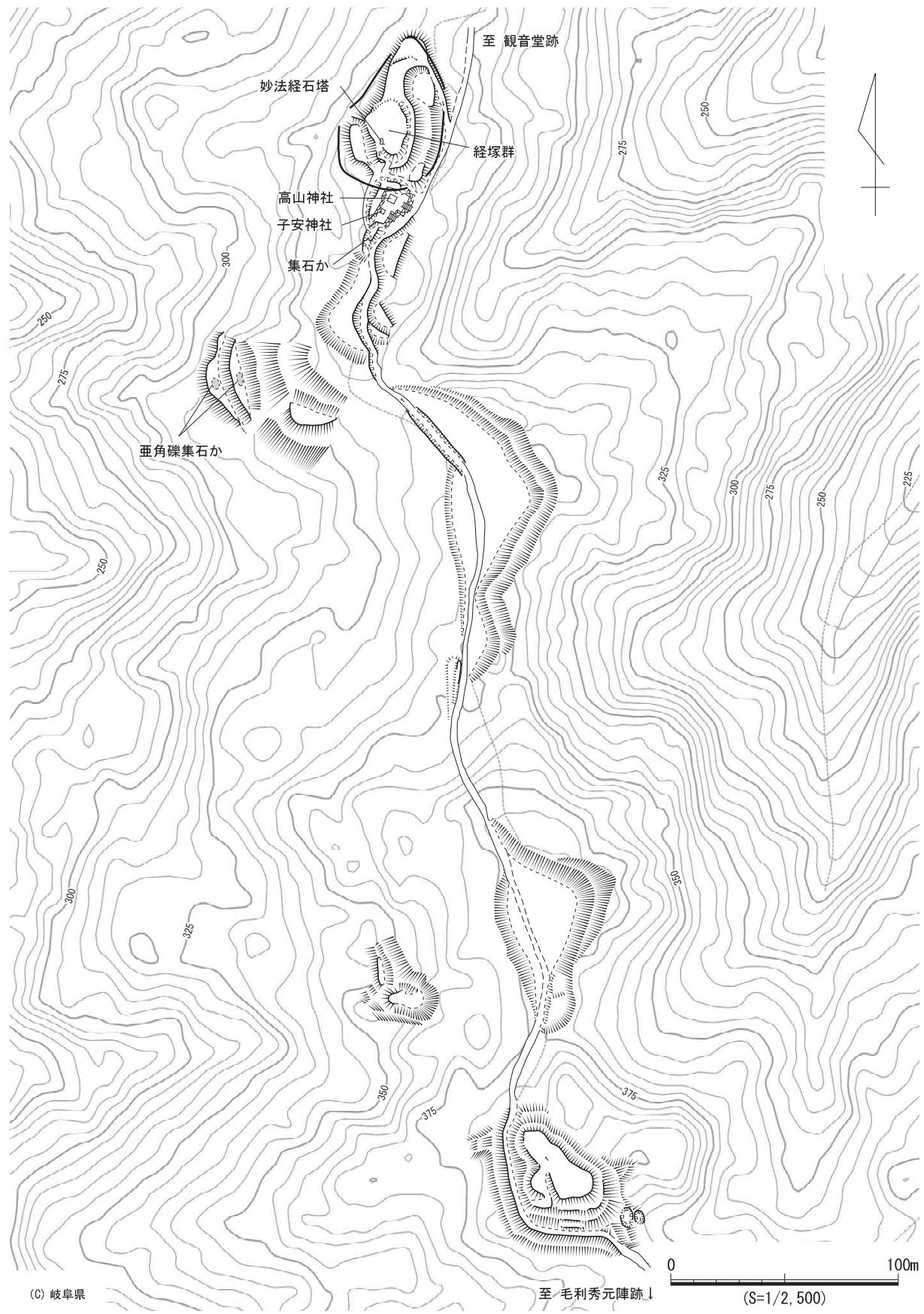


図25 南宮山頂経塚群 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	25072	県遺跡番号	21361-2039	分布図番号	N3
ふりがな	なんぐうたいしゃ (なんぐうじんじやじんぐうあと)	所在地	不破郡垂井町宮代				
寺院名（史跡・遺跡名）	南宮大社（南宮神社神宮跡）						
時代区分	古代～	宗派	不明				
立地	山麓	現状(植生)	境内地（スギ・ヒノキ）				
東西規模	250m	南北規模	150m	標高(比高差)	75(25)m	平坦面分類	一
沿革	町教委の分布調査で元山大師堂跡・弁天堂跡を確認し山茶碗片等を採取（垂井町教育委員会タリイピアセンター2017）。金山彦神祭神の式内社で続日本後紀の承和3（836）年8月条が初出「美濃国不破郡仲山金山彦神に、從五位下を授け奉り、即ち名神に預かる」と記載。「南宮社」の初出は『今昔物語』で12世紀前半には社名成立。続日本後紀や三代実録によると承和3年～貞觀15（873）年間に從五位下から正二位まで加階、律令政府から重要視される。天慶の乱後、朱雀天皇は延暦寺僧明達に命じ将門調伏の祈祷を行わせ十禪師社を造営し明達の弟子10人を置く（社僧拾坊）。その効験で勲一等に進み康平年中（1058～1065）奥州の乱の祈祷神験で正一位に加階される。承久の乱で京方に味方し幕府に社領を没収され鎌倉期初期に衰微。慶長5（1600）年関ヶ原の戦いで焼失し1642年に徳川家光が再建。神仏習合の時期等は不明、神仏分離で神宮寺は朝倉山真禪院に移転（垂井町史編さん委員会1969）。						
遺構	土壘、石積み、参道						
遺物	灰釉陶器、山茶碗、土師器皿（中世）						
有形文化財等	刀劍（県指定、室町・江戸）、紅糸中白威胴丸（県指定、室町）、南宮大社神事芸能諸資料（町指定、江戸）、神輿附鉢銘3対（町指定、江戸）、太刀（銘、藤原永貞）（町指定、江戸）、不破惟益の墓（町指定、江戸）						
参考文献	垂井町教育委員会タリイピアセンター2017『垂井町遺跡詳細分布調査報告書（1）』、垂井町史編さん委員会1969『垂井町史』通史編 岐阜県不破郡垂井町役場、垂井町1996『新修垂井町史』通史編						
備考	扶桑略記に「美濃國仲山南神宮寺」と記載。宮処寺が南神宮寺の前身と推定。「南宮社」の呼び方は国府の南にあって国守が奉幣使として参詣した社に由来（垂井町史編さん委員会1969）弘安期の梵鐘は、現在大垣市青野の徳勝寺に保管。南宮神社の周辺には、真禪院・知足院・十如院・利生院・円乗院などあり。聖武帝行幸の「宮處寺」と「曳常泉」の「曳常泉」は南宮大社境内社湖千海社のそばにある「如法水」。『濃飛両国通史』に「南神宮寺、不破郡宮代、南宮社神宮寺にて、聖武天皇行幸ありし、宮処寺是ならん（以下略）」また『不破郡史』に「宮処寺は思うに、南宮神社の宮寺たりし、神宮寺、即ち現在の朝倉なる真禪院の前身たりしなるべく…』とある（垂井町1996）						

**調査所見** 南宮山北山麓に位置し平安時代中期に現在地に移り、三重塔、本地堂、鐘楼等も同時期に建立。南宮大社の北と南を東流する谷で挟まれた範囲の北谷沿いに20～25m四方の石積の方形の区画が並ぶ。「美濃國南宮社之図」に「氏神・荒王社・東照宮・池・銭塔・胡害社・如法水」があり西から「袖神」「氏神社旧跡」「荒魂社」「東照宮」「往古本殿奉斎地」「往古宮処寺境内」「三重塔旧跡」「曳常泉旧跡」の平坦面、参道沿いに石積み、区画境に土壠あり。現南門から現南宮稻荷神社まで一直線に参道が伸び稲神社前で二つに分かれ東側の参道は観音堂跡へ続き西側の参道は薬師堂跡へ続く。



図 26 南宮大社（南宮神社神宮跡）地形観察図

地区	西濃	寺院番号	25065	県遺跡番号	21361-2065	分布図番号	03
ふりがな	(くりはらくじゅうくぼうあと)	所在地	不破郡垂井町栗原				
寺院名（史跡・遺跡名）	(栗原九十九坊跡)						
時代区分	古代（奈良・平安）・中世（鎌倉・室町）			宗派	天台宗		
立地	山腹～山麓			現状(植生)	山林（アカマツ、スギ・ヒノキ）		
東西規模	460m	南北規模	320m	標高(比高差)	160(145)m	平坦面分類	A+C1+D
沿革	栗原山上に、往古から「九十九坊」と称する寺があったと伝わり、象鼻山別所寺とも言う寺がありこれらが同一の寺を指すのか定かではない（安福彦七 1976）。天文14(1545)年に書き留められた文書の写し（南北朝初期の戦火で焼失した九十九坊の再建を足利義輝に願い出たものの許されなかつたため、九十九坊の管理者であった久保寺次郎衛門源時が子孫のために書き残したもの。）によると、「天台山正学院未美濃國不破郡栗原村久保寺双寺寺中百余坊騒動ヲ起ス」とあり、鎌倉初期には「久保寺双寺」と呼ばれ、100以上の僧坊があったということになる。久保寺双寺については、建武2(1335)年足利・新田両氏の戦いで足利勢兵火により焼失、または織田信長の兵火にかかって焼失という説がある（垂井町 1996）。垂井町教委の分布調査により山頂～東山麓の広い部分に平坦面が確認され、山頂部に集石墓による墓域、山麓まで広がる大規模な古代・中世寺院群の姿が想定される。						
遺構	石積み、方形土壙、中世墓						
遺物	須恵器、古代瓦、灰釉陶器、山茶碗、古瀬戸、常滑、五輪塔、一石五輪塔、石仏						
有形文化財等	—						
参考文献	垂井町史編さん委員会 1969『垂井町史』通史編、岐阜県不破郡垂井町役場、垂井町 1996『新修垂井町史』通史編 垂井町 1996『垂井町遺跡詳細分布調査報告書（1）』安福彦七 1976『栗原山九十九坊象鼻山別所寺の歴史を尋ねて』、岐阜県文化財保護センター2020『栗原九十九坊跡』岐阜県文化財保護センター調査報告書第147集						
備考	山頂の五輪塔・石仏群は全山に営まれていた僧坊にあったものを明治9(1920)年頃に集めた（垂井町史編さん委員会 1969、垂井町 1996）。 山頂付近は関ヶ原合戦時に長宗我部盛親の陣となり、土壙で囲まれた方形区画や削平地、象鼻山に続く尾根上に堀切や土壙と思われる遺構が確認されている。（垂井町 1996）						

**調査所見** 本遺跡は大垣市上石津町・養老町との境に接する栗原山の中腹及び山麓に存在したと伝わる。平成24～28年の垂井町の分布調査で、清水寺跡を含む東山麓の広範囲で平坦面が多く確認された。平成30年度に当センターが清水寺跡に近接しその前身寺院の可能性がある平坦面に隣接し発掘調査を実施している。聴き取り調査で、栗原山麓遺跡の範囲にかかる字丸山に門跡（仁王門跡の礎石があったとされる）が存在したという伝承が残る。栗原山中世墓群や栗原城跡のある山頂付近から山腹にかけての範囲には、方形基壇や塚状高まりがある最も広い平坦面がある。栗棘庵跡から白山神社、御嶽神社、丸山神社のある山腹から山麓にかけての範囲では、山頂からこれらの神社等を連絡し山麓へ下る参道がある。下段の平坦面ほど古代と中世の遺物が散布する。白山神社の北側斜面にも石塔や石仏がある。清水寺跡の西山腹と北東山麓に、墓地に伴う平坦面が存在し、「リショウジ」と呼ばれる寺があったと伝わり、かつて往来できる通路が谷上方にも存在していたという。平坦面の構成配置から、山にある「上寺」と麓にある「下寺」の存在が考えられる。

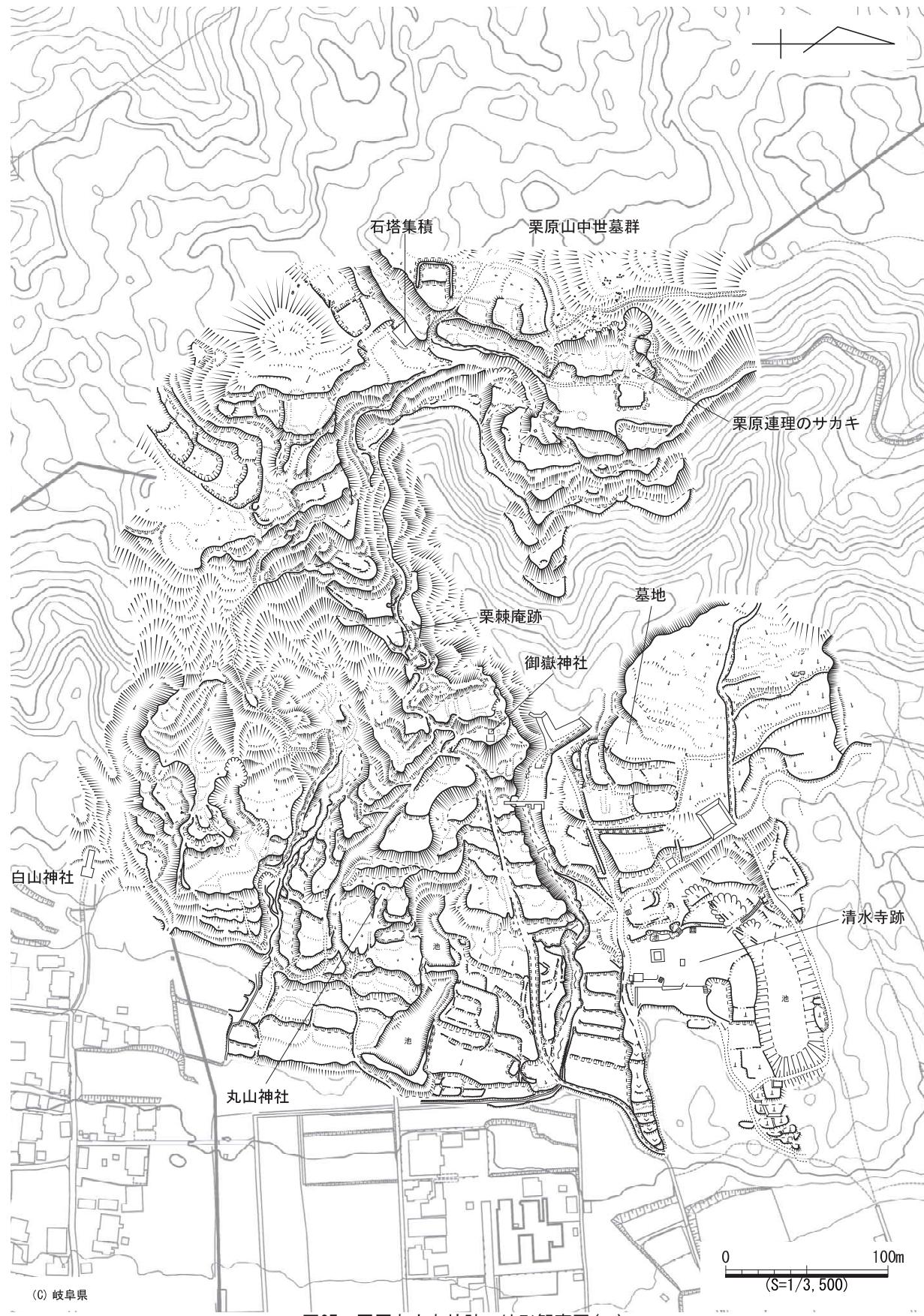


図27 栗原九十九坊跡 地形観察図(1)

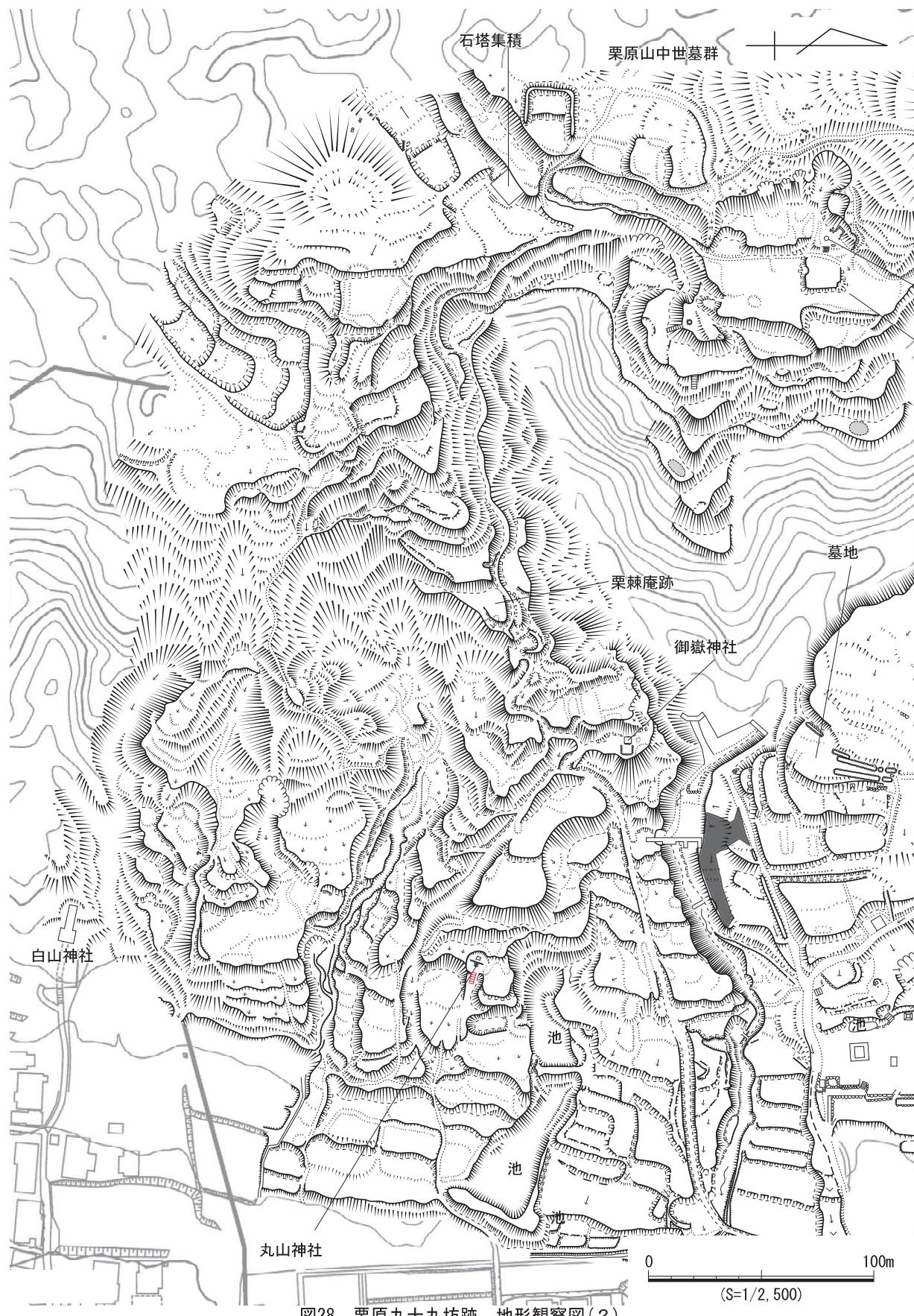
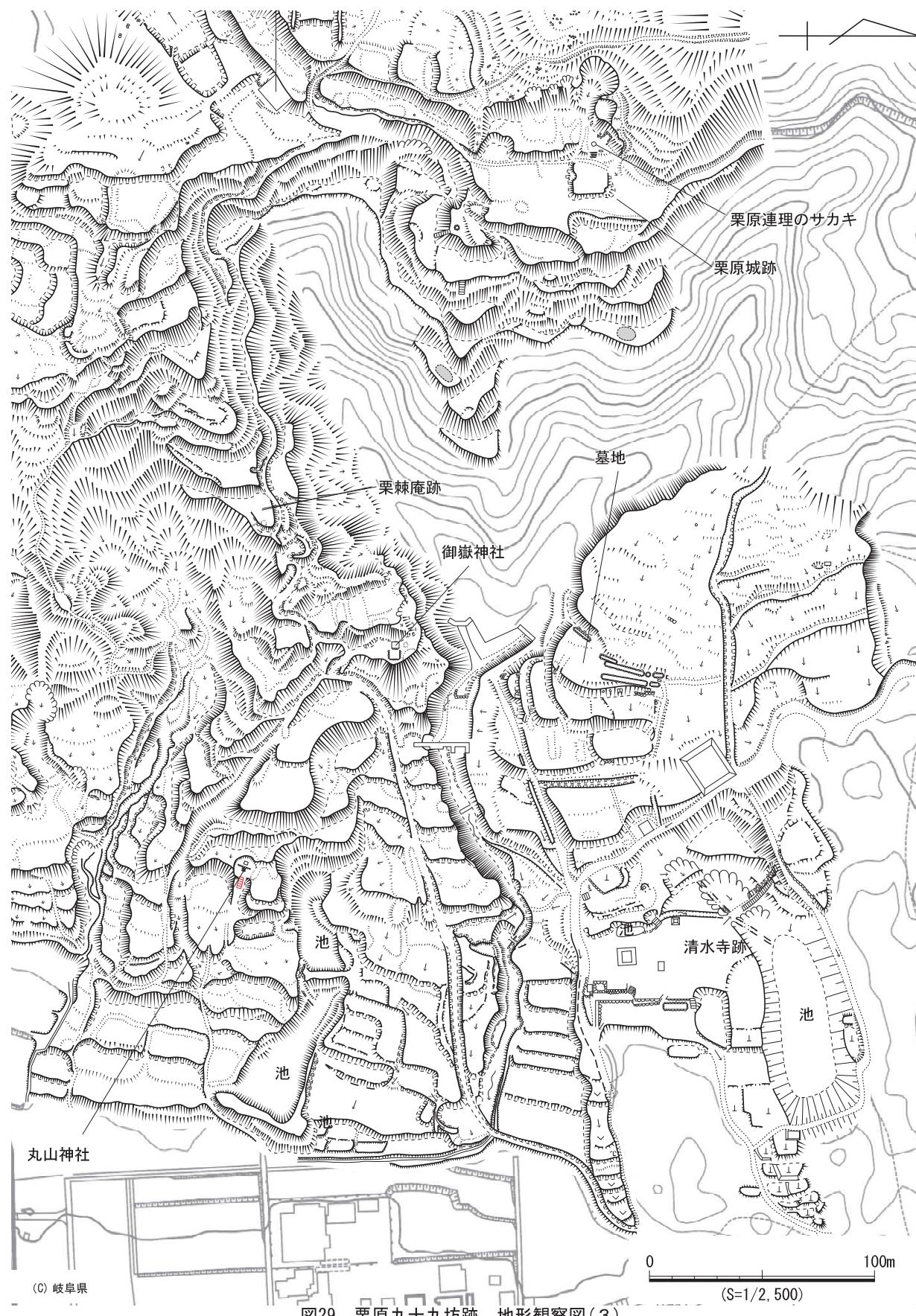


図28 栗原九十九坊跡 地形観察図(2)



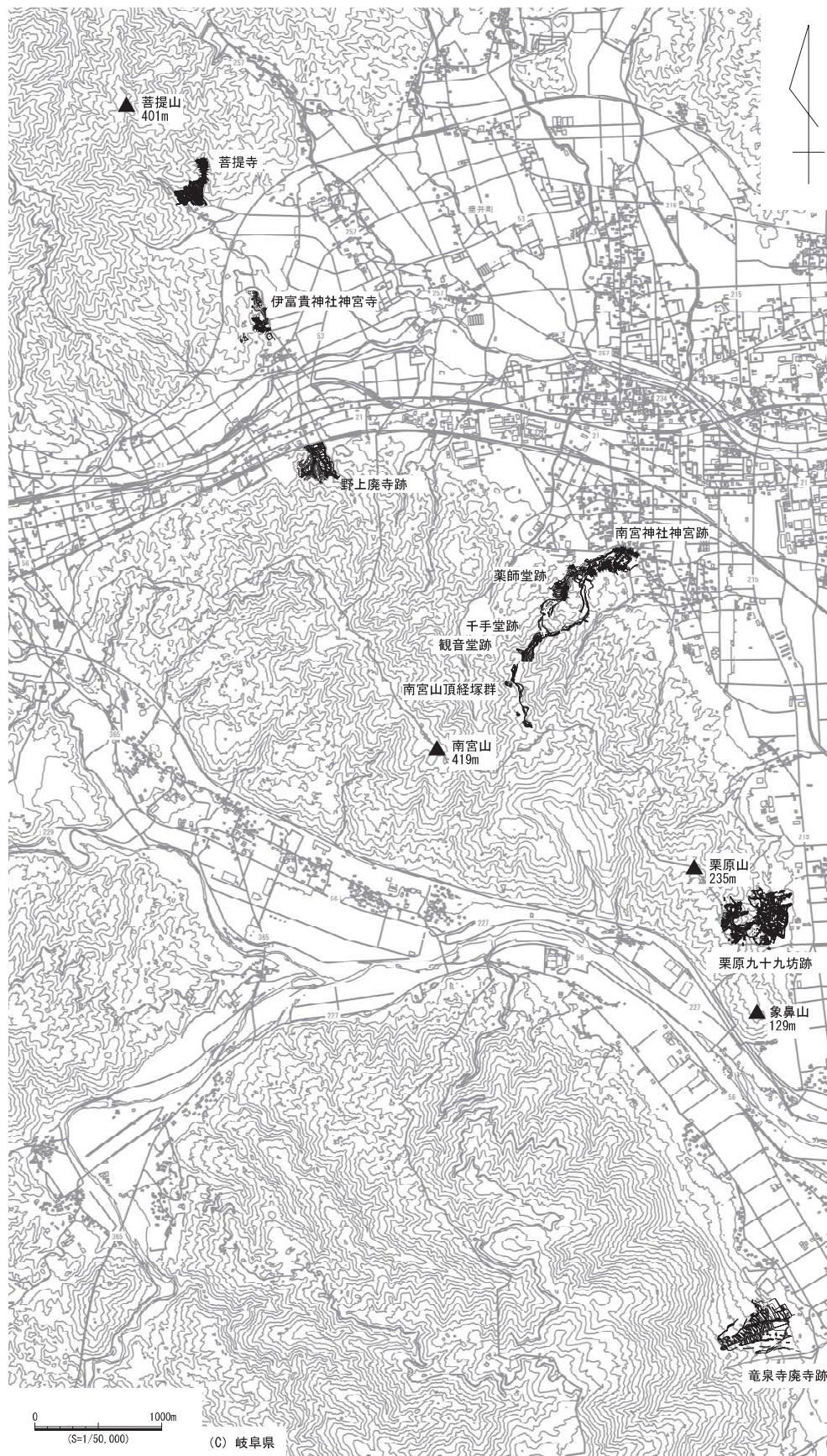


図30 菩提山・南宮山 地形観察図位置図

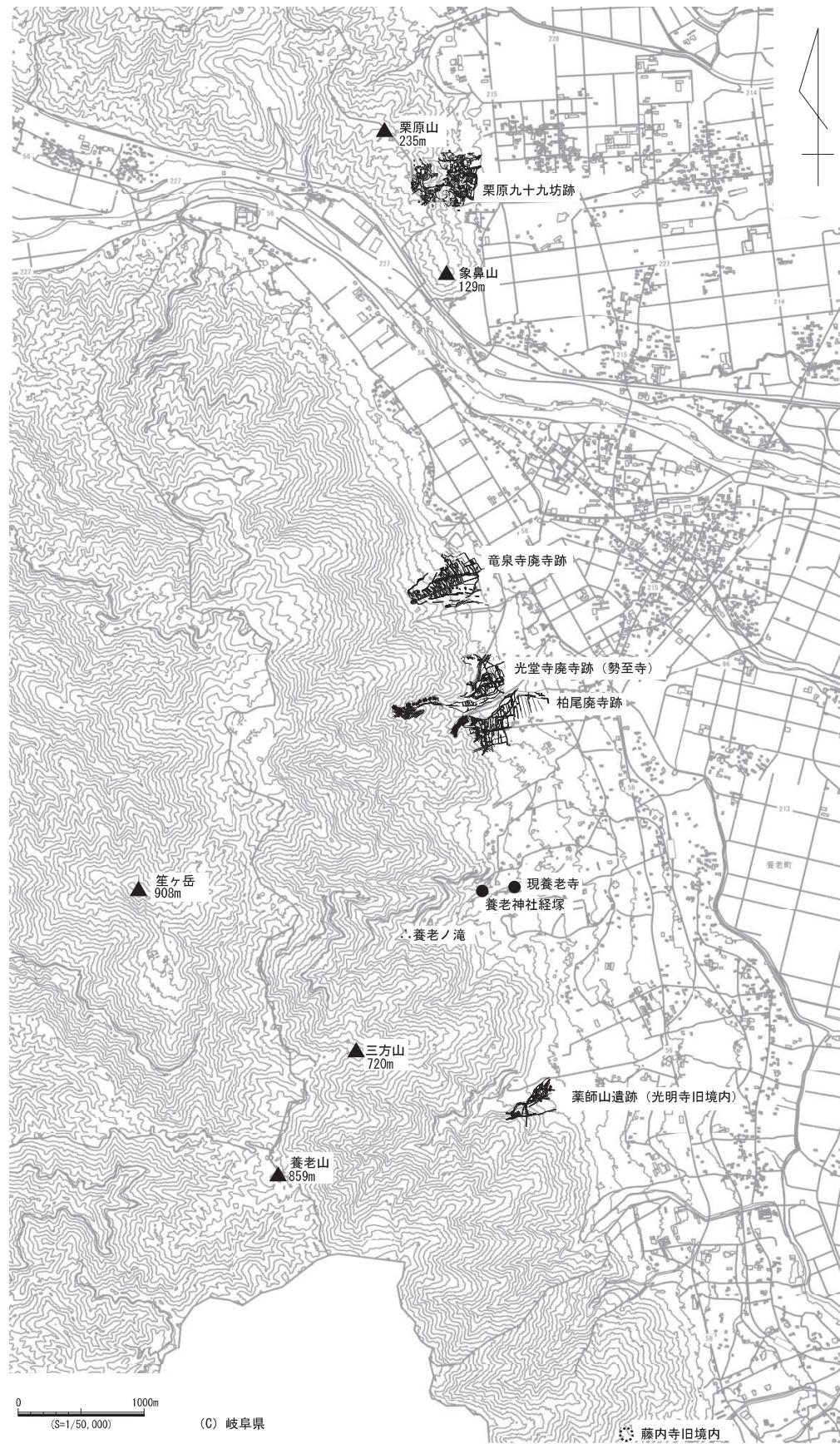


図 31 多芸七坊跡 地形観察図位置図

地区	西濃	寺院番号	25071	県遺跡番号	21361-1964 21361-11123	分布図番号	N2
ふりがな	いぶきじんじやおくのいん (いぶきじんじやあと、いぶきじんじやきょうづかぐん)	所在地	不破郡垂井町伊吹				
寺院名	伊富岐神社奥之院						
(史跡・遺跡名)	(伊富岐神社跡、伊富岐神社経塚群)						
時代区分	古代（平安）	宗派	不明				
立地	山麓～山頂	現状(植生)	境内、山林（アカマツ）				
東西規模	110m	南北規模	330m	標高(比高差)	101.8(34)m	平坦面分類	A+C2+D
沿革	伊富岐神社は式内社であり、美濃国二ノ宮とされる。当社の史料上の初出は『日本文徳天皇実録』（平安期）で、仁寿2（852）年12月癸亥条に「美濃國伊富岐神社を以て官社に列す」とある。以降、貞觀7（865）年に從四位下に、元慶元（877）年に從四位上に加階される。慶長5（1600）年の関ヶ原の戦いで焼失、寛永13（1636）年に再建された。伊福氏は伊富岐神社付近の地に居住し、壬申の乱には尾張氏とともに天武天皇の御為に行宮（あんぐう）を奉仕し、更に元明天皇の和同6年（713）には伊福部君荒田（いぶきべのきみあらた）が美濃守笠朝臣麻呂とともに木曽山道を開き、その功績により荒田は田二町を賜わった。氏寺として創建した菩提寺は淳和天皇の天長5年10月、伊予の弥勒寺・肥後の淨水寺とともに定額寺に列せられた。この後その一族が伊富岐神社境内の山頂に経塚を作ったか、大正十五年本殿再建境内拡張の際にその経塚が破壊されて経筒三個と鎌倉前期の和鏡3面が出土している。伊富岐神社は伊福氏の祖神を祭り野上、伊吹両村の古き氏神で、故に野上の住環側に一の鳥居を建て、更に古図によれば現在野上の中央南墓地の付近に社寺屋敷があったようである。（不破郡教育会 1927）						
遺構	経塚、池						
遺物	灰釉陶器、和鏡3面						
有形文化財等	伊富岐神社経塚遺物（町指定、平安）、伊富岐神社棟札（町指定、江戸）、伊富岐神社古絵図（町指定、江戸）						
参考文献	不破郡教育会 1926『不破郡史』上巻、不破郡教育會 1927『不破郡史』下巻、垂井町史編さん委員会 1969『垂井町史』通史編						
備考	不破郡史にある「伊富岐神社古図」（天平二十年の古図を慶長十三年にうつす）に「奥之院跡」あり。 天然記念物伊富岐神社の大杉						

**調査所見** 伊富岐神社本殿の北 180mの位置にある谷地形に数段にわたり平坦面が残る。その中で一番広い平坦面に、石積みを伴う4m四方の段とその北に幅3m長さ16mの土壘状の高まりがある。この平坦面には本殿の北東から参道が伸び、北にある山頂へは平坦面東尾根上に参道が続く。南東の山麓に池がある。山頂の経塚には現在も川原石を積み上げた集石が南北に長い25m×15mの方形平坦面上に残る。この平坦面は南と東端部を削り出し、南東にテラス状の平坦面を作り出している。経塚のある南北に長い尾根上には 10m×5mほどの平坦な地形が2カ所あるが、礎石などの顕著な遺構は確認できなかった。本殿の西には湧水のある谷があり、谷向の尾根上に数段の平坦面が確認でき、尾根の南東端に島を伴う池が2カ所ある。本殿から 270m離れた地点にある北向きの谷にも数段平坦面を確認したが用途は不明である。



図32 伊富岐神社奥之院 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	25078	県遺跡番号	21361-11742	分布図番号	N3
ふりがな	(せきぶつだにいせき)			所在地	不破郡垂井町平尾石仏谷		
寺院名 (史跡・遺跡名)	(石仏谷遺跡)						
時代区分	古代・中世			宗派	不明		
立地	山麓			現状(植生)	山林(アカマツ)		
東西規模	162m	南北規模	101m	標高(比高差)	88(31)m	平坦面分類	B+D
沿革	谷部には耕作された痕跡(水田の畦畔・石垣)が残り、大正年間に石仏谷東側に溜め池が造られた。石越付近にあったとされる平尾の旧集落は、当遺跡まで広がっていたとの伝承がある。(垂井町教育委員会タルイピアセンター2017)						
遺構	基壇、石積み						
遺物	須恵器、灰釉陶器、山茶碗						
有形文化財等	—						
参考文献	垂井町教育委員会タルイピアセンター2017『垂井町遺跡詳細分布調査報告書(1)』						
備考	—						

**調査所見** 本遺跡は、谷間の緩斜面にあり、地名の由来となった石仏である千手觀音が、谷の合流地点北東の基壇上に南向きで1体祀られている。谷の合流地点南側には、谷川に沿った不定形の平坦面が広がる。谷奥部や尾根端部に扇状の小規模な平坦面があり、それらのうち、谷奥部の平坦面にのみ石積みが崩れたような集石が残る。石仏谷南側の尾根上にも、不明瞭であるが平坦面があり、そこへの参道を確認した。千手觀音の西と、西側谷の尾根先端部分の2か所に湧水点を確認した。

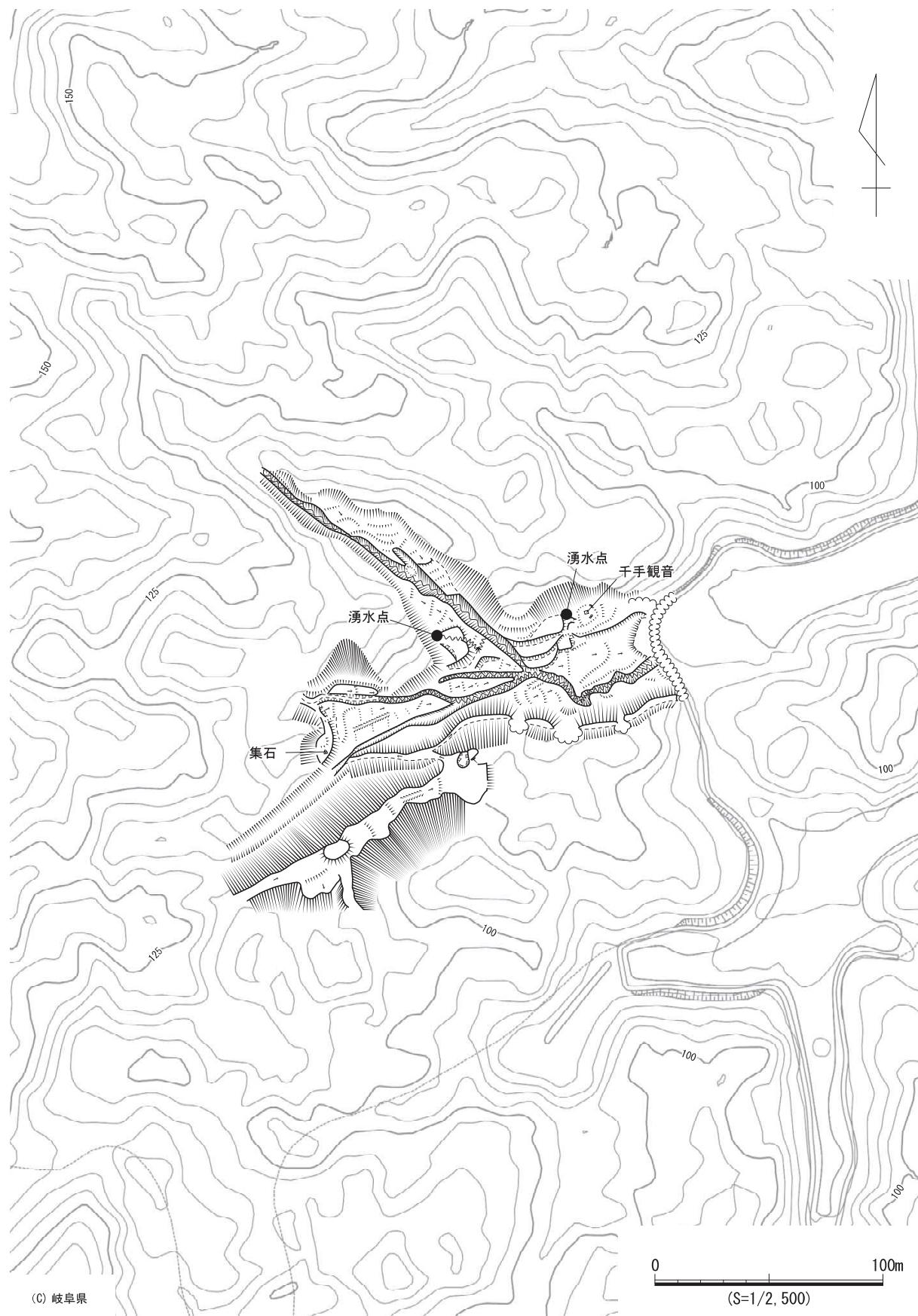


図33 石仏谷遺跡 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	25002c	県遺跡番号	21361-02020	分布図番号	N3
ふりがな	ぞうせやまぐうしょじ（ぐうしょじあと）	所在地	不破郡垂井町				
寺院名 (史跡・遺跡名)	象瀬山宮廻寺 (宮廻寺跡)						
時代区分	古代（飛鳥・奈良）	宗派		不明			
立地	台地	現状(植生)		宅地			
東西規模	約150m	南北規模	約190m	標高(比高差)	42m	平坦面分類	一
沿革	朝倉山真禪院の寺伝によれば、行基開基とされ、自國の阿弥陀如来を本尊とし、象瀬山宮廻寺と称したという。『続日本紀』天平12(740)年12月条には、「十二月一日不破郡不破頓宮に到る。二日宮廻寺及曳常泉に幸す。」とあり、宮廻寺が当寺院と解釈されている(垂井町史編さん委員会 1969)。宮廻寺は延暦年間の勅令によって最澄により南宮神社と両部習合されて南神宮寺と改め、明治初年の神仏分離令により、堂宇が統廃合された(垂井町 1996)。						
遺構	礎石、基壇、石積み						
遺物	須恵器、灰釉陶器、古代瓦						
有形文化財等	—						
参考文献	小川榮一 1940「宮廻寺址」『岐阜縣史蹟・名勝・天然紀念物調査報告書』第9輯岐阜県、垂井町史編さん委員会 1969『垂井町史』通史編、岐阜県不破郡垂井町役場、土山公仁 1992「宮廻寺跡」『第9回東海埋蔵文化財研究会岐阜大会資料集 I「古代仏教東へ—寺と窯」・寺院』、東海埋蔵文化財研究会岐阜大会実行委員会、土山公仁 1997「14宮廻寺跡」『第42回埋蔵文化財研究集会 古代寺院の出現とその背景』埋蔵文化財研究集会第42回研究集会実行委員会、垂井町教育委員会タルイピアセンター 2017『垂井町遺跡詳細分布調査報告書（1）』						
備考	西側の御所野遺跡では須恵器・灰釉陶器、東側の神明屋遺跡では須恵器・灰釉陶器・古代瓦が確認され、当遺跡と関連する可能性がある(垂井町教育委員会タルイピアセンター2017)。出土した瓦から7世紀後半に創建された、美濃地域最古の寺院と位置付けられている。						

**遺構の概要** 地形の状況や遺物の分布範囲などから、伽藍は1町3段あるいは2町歩以上の面積に広がると想定されている。大理石の礎石、基壇状の高まり、石積み、漆喰の出土状況から塔・金堂・講堂・中門・回廊の位置が推測され、また伽藍地の北東部(「平瓦水瓶甌を出土した地点」)には僧坊が想定されている。(小川 1940、垂井町史編さん委員会 1969)。

**遺物の概要** 出土した瓦には、单弁八弁蓮華文軒丸瓦、複弁八弁蓮華文軒丸瓦、複弁六弁蓮華文軒丸瓦、单弁十二弁蓮華文軒丸瓦、均整唐草文軒平瓦があり(土山 1992)、单弁八弁蓮華文軒丸瓦は宮代廢寺跡出土と、唐草文縁複弁蓮華文軒丸瓦は不破関出土と各々同范である(土山 1997)。遺物分布調査では、古代瓦の分布は小川氏が想定した範囲に収まることが確認された(垂井町教育委員会タルイピアセンター2017)。

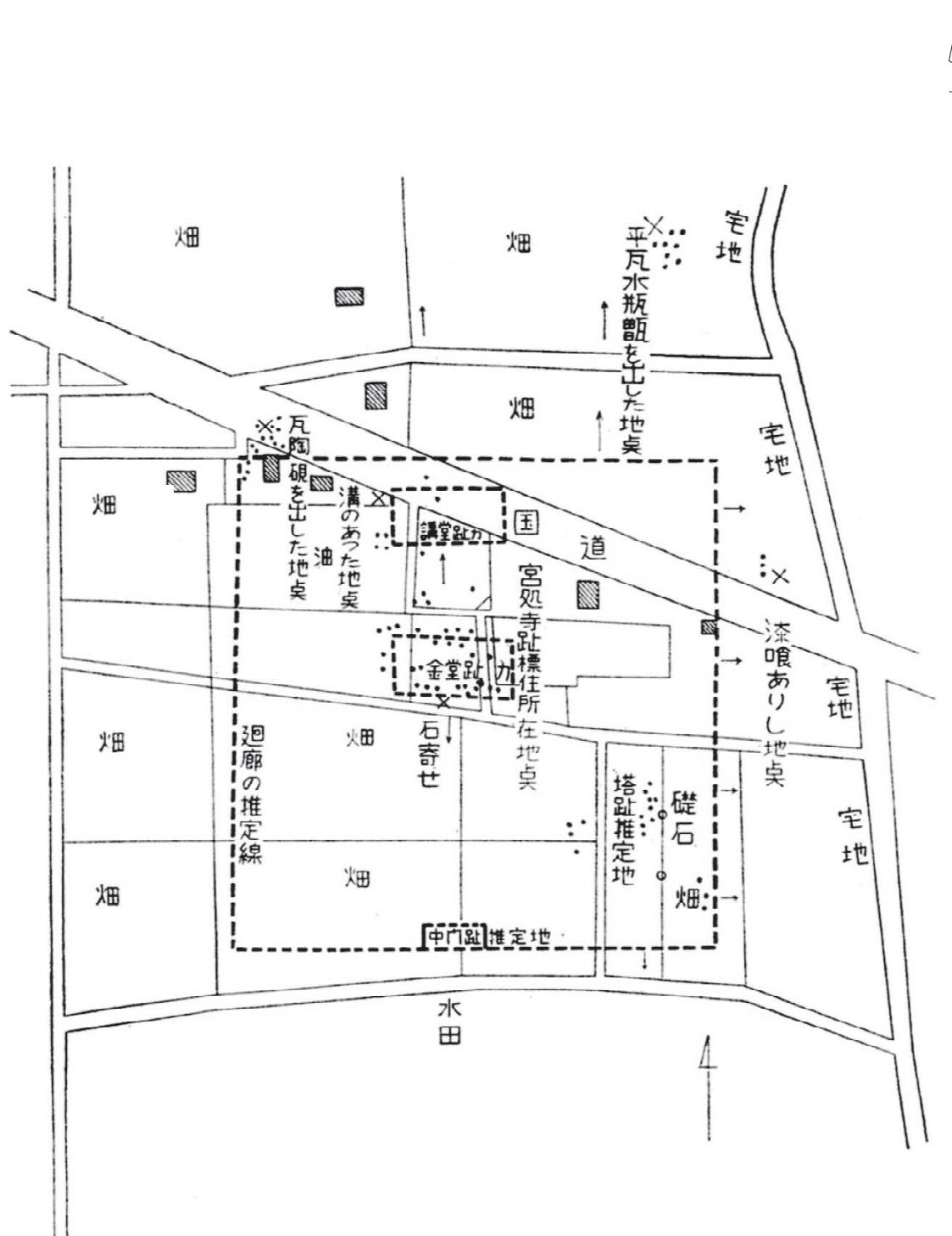


図34 宮処寺跡 遺構図

地区	西濃	寺院番号	25057	県遺跡番号	21361-02000	分布図番号	N3
ふりがな	(みのこくぶんにじあと、 みのこくぶんにじあとすいていち)	所在地	不破郡垂井町平尾				
寺院名 (史跡・遺跡名)	(美濃国分尼寺跡、美濃国分尼寺跡推定地)						
時代区分	古代(奈良・平安)	宗派	不明				
立地	扇状地	現状(植生)	境内地・宅地等				
東西規模	約 210m	南北規模	約 210m	標高(比高差)	32m	平坦面分類	—
沿革	天平 13 (741) 年、聖武天皇の発願により創建されたが、寺院の沿革は不明である。						
遺構	基壇を伴う建物、掘立柱建物跡、土塁、溝、土坑						
遺物	須恵器、灰釉陶器、土師器、古代瓦						
有形文化財等	—						
参考文献	垂井町史編さん委員会 1969『垂井町史』通史遍岐阜県不破郡垂井町役場、土山公仁 1992「美濃国分尼寺跡」『第9回東海埋蔵文化財研究会岐阜大会資料集 I「古代仏教東へ—寺と窯」・寺院』東海埋蔵文化財研究会岐阜大会実行委員会、高田康成 2004「美濃国分尼寺の研究 その伽藍地の範囲について」『「かにかくに」八賀晋先生先生古稀記念論文集』三星出版、垂井町教育委員会 2010『美濃国分尼寺跡発掘調査報告』、垂井町教育委員会タリイピアセンター2017『垂井町遺跡詳細分布調査報告書(1)』						
備考	当寺院の推定地としては、ほかに本巣郡定額尼寺や垂井町の宮廻寺がある(垂井町史編さん委員会 1969)。平成 17~20 年度に、垂井町教育委員会が範囲確認調査を実施した。						

**遺構の概要** 範囲確認調査により、基壇を伴う建物 1 棟(SB4101)、掘立柱建物跡(SB5101)、土塁、溝(SD4102 他)、土坑、中世以降の遺構が確認された。SB4101(東西 11m 以上、南北 3.5m 以上)は、掘込地業を伴う基壇(高さ 0.85m)の上に建立された瓦葺建物で、出土した瓦が美濃国分寺と同型であるため尼寺に関係するものと考えられている。SD4102 は石列南側が基壇外装の最下段とし石列北側が犬走りとみるか、異なる時期の基壇外装とみるかの 2 通りの解釈が提示されている。SB5101 は SB4101 の北側に位置し、南北軸の方位は N-5°-W、桁行 2 間以上・梁間 2 間以上(6 m 以上 × 5.4 m 以上)である。柱穴出土遺物から 9 世紀以降の建物とされている。現・願證寺周辺の土塁は、中世末の居館又は寺内町のもの(土山 1992)あるいは願證寺に伴うもの(高田 2004)と指摘されている。

調査の結果、当遺跡が美濃国分尼寺跡の推定地として有力となった。SB4101(図 35 上-E 付近)については講堂又は金堂、SB5101(図 35 上-F 付近)は尼房の可能性が指摘され、伽藍地は 500 尺四方に近い規模でありその周辺に寺地が広がると推測されている(高田 2004)。

**遺物の概要** 8 世紀中頃から 9 世紀末にかけての須恵器、灰釉陶器、土師器、瓦、戦国期以降の遺物が出土した。美濃国分寺跡創建期と同範の单弁十六葉蓮華文軒丸瓦も確認されている。

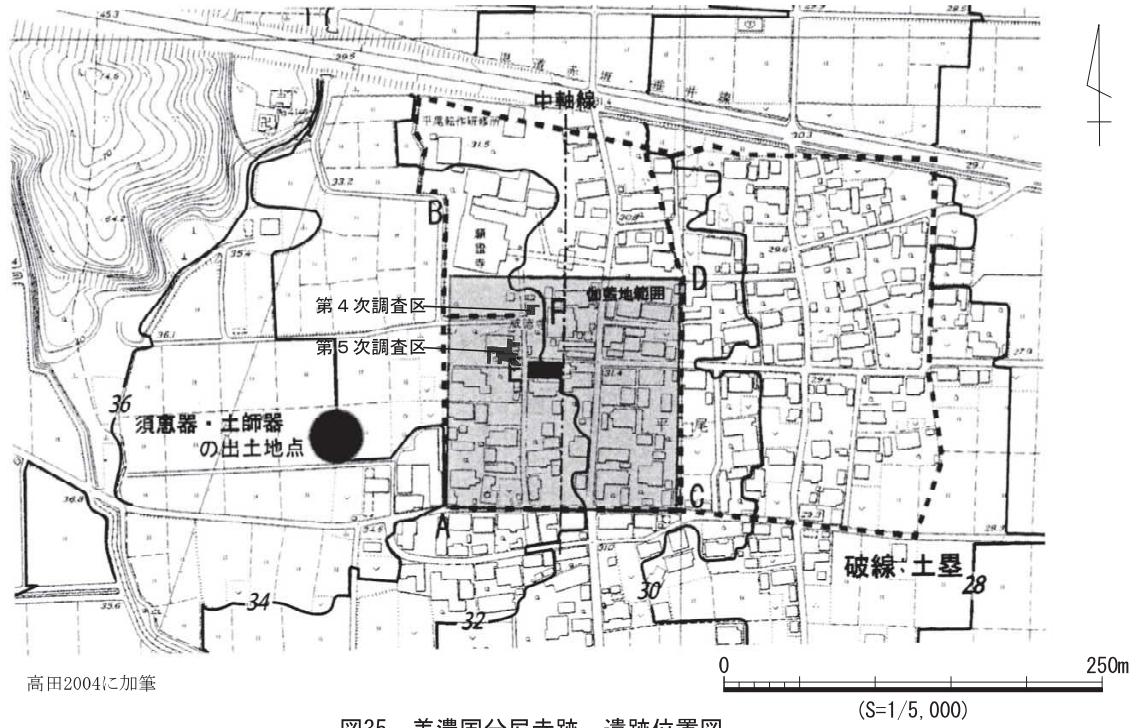


図35 美濃国分尼寺跡 遺跡位置図

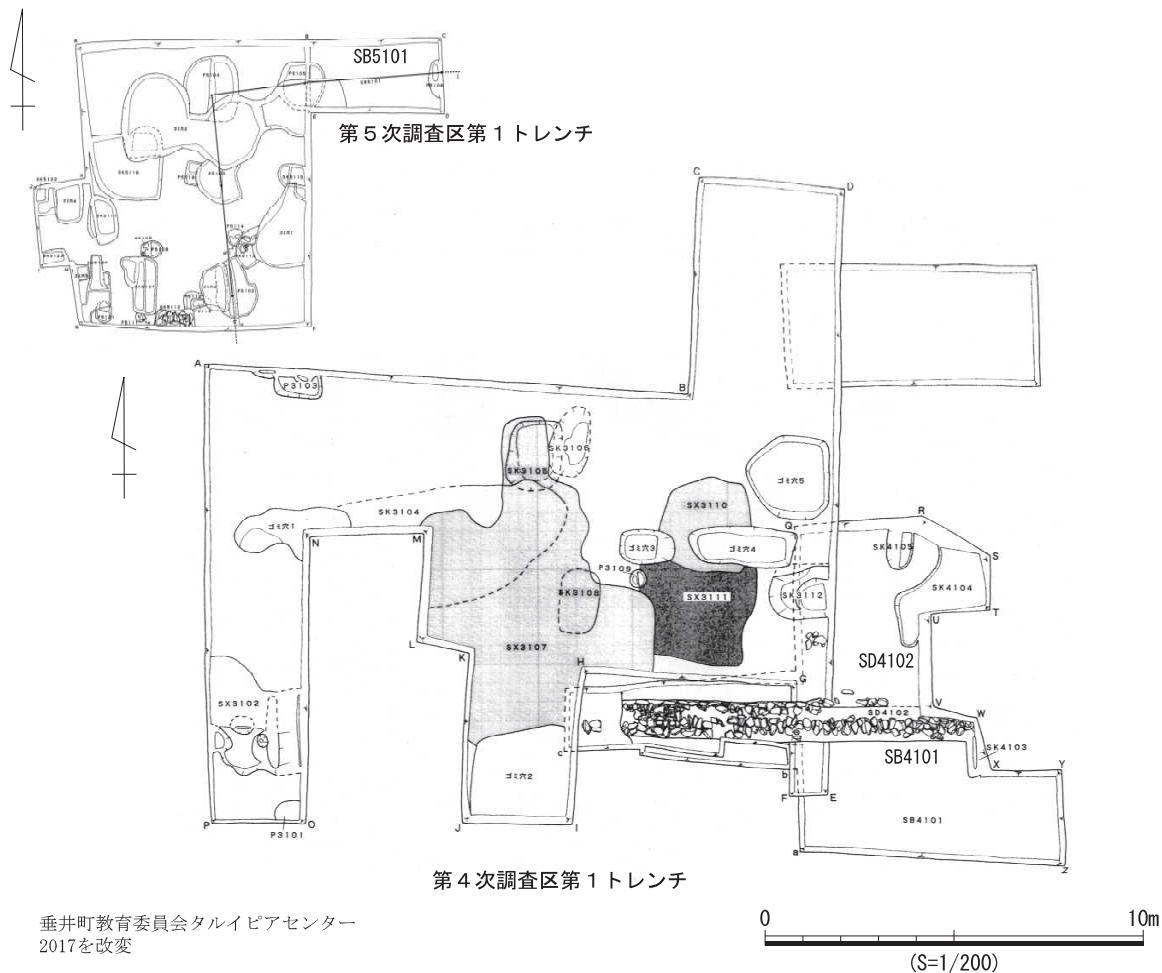


図36 美濃国分尼寺跡 遺構図

地区	西濃	寺院番号	25060	県遺跡番号	21361-02047	分布図番号	N3
ふりがな	(みやしろはいじあと)	所在地	不破郡垂井町				
寺院名 (史跡・遺跡名)	(宮代廃寺跡)						
時代区分	古代(平安)	宗派		不明			
立地	台地	現状(植生)		境内地・宅地等			
東西規模	約 230m	南北規模	約 110m	標高(比高差)	33m	平坦面分類	一
沿革	現・藤樹寺の周辺に所在する。沿革は不明である。						
遺構	塔跡(瓦積み基壇・塔心礎・階段・雨落溝)、築地跡						
遺物	古代瓦						
有形文化財等	一						
参考文献	岐阜県教育委員会 1971『岐阜県文化財調査報告書』第14巻、垂井町史編さん委員会 1969『垂井町史』通史、岐阜県不破郡垂井町役場、垂井町教育委員会 1973『史跡宮代廃寺跡発掘調査報告』、土山公仁 1992「宮代廃寺」『第9回東海埋蔵文化財研究会岐阜大会資料集 I「古代仏教東へ—寺と窯」・寺院』東海埋蔵文化財研究会岐阜大会実行委員会、垂井町教育委員会タルイピアセンター 2017『垂井町遺跡詳細分布調査報告書(1)』						
備考	昭和42・47年に、道路拡幅工事等に伴い垂井町教育委員会が発掘調査を実施した。 当寺院は宮勝氏の氏寺として建立されたと考えられている(垂井町史編さん委員会 1969)。 当寺院は白鳳期初期(7世紀末)に創建され平安時代初期まで存続していたと考えられており、寺域は約150m四方と推定されていたが、遺物分布調査では寺域の東側にも古代瓦が分布することが確認された(垂井町教育委員会タルイピアセンター 2017)。						

**遺構の概要** 部分的な発掘調査ではあったが、塔基壇の規模と構造が明らかにされている。基壇は瓦積み基壇で、旧地表面に直接瓦を置いて基底部とし、その上に半截した瓦を積み上げたものである。基壇の中軸線はN-2°-W、規模12m四方・高さ1.2mと推測されているが、基壇北面の幅が狭く基壇全体の平面形は整っていない。基壇上に花崗岩製の塔心礎(2.4×1.6m)が露出し、塔心礎の上面には円形の柱座(直径0.65m)が穿たれている。また、基壇北辺では基壇端部から約0.8m外に雨落溝の可能性がある溝、東辺では階段跡の一部を検出し、築地状の高まりは北面築地跡(南北幅3m)であることが明確になった。

**遺物の概要** 出土した瓦には、单弁蓮華文軒丸瓦、单弁八弁蓮華文軒丸瓦、複弁蓮華文軒丸瓦、細弁十六弁蓮華文軒丸瓦、单弁十二弁蓮華文軒丸瓦、三重弧文軒平瓦、均整唐草文軒平瓦がある(土屋1992)。白鳳期初期から平安時代初期にかけての時期幅があるが、基壇基底部から出土した瓦から、塔は奈良時代末以降に再建されたと推測されている。なお、階段跡から開元通宝1枚が出土した。

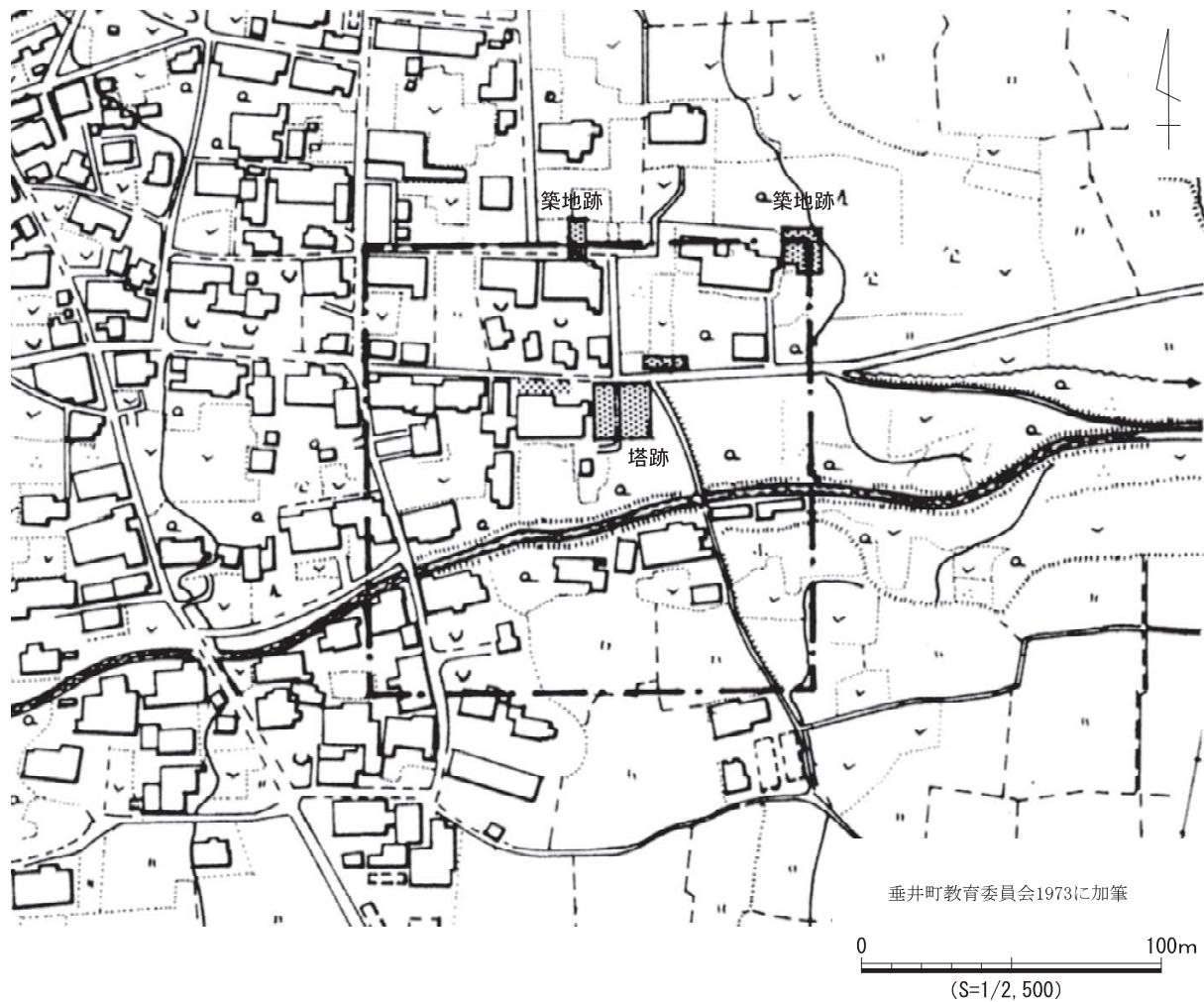


図37 宮代廃寺跡 遺跡位置図

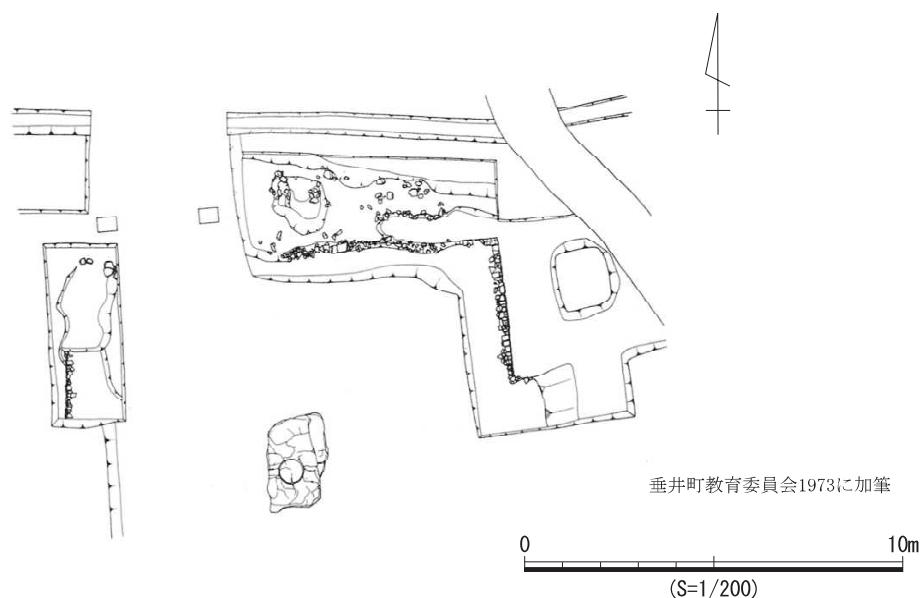


図38 宮代廃寺跡 塔跡遺構図

## [関ヶ原町]

地区	西濃	寺院番号	26025	県遺跡番号	—	分布図番号	N2
ふりがな	きょううちざんぎょくよういんりこうじ	所在地	不破郡関ヶ原町玉宇堂之前				
寺院名 (史跡・遺跡名)	鏡智山玉養院瑠璃光寺						
時代区分	中世・近世			宗派	真言宗		
立地	山腹			現状(植生)	山林(スギ・ヒノキ)		
東西規模	45m	南北規模	30m	標高(比高差)	179(10)m	平坦面分類	A+D
沿革	成立時期不明。元禄5(1692)年の住持由篤の奉行所宛届け出によると、近江国弥高護国寺を本寺とし、鏡智山玉養院瑠璃光寺と称するとある。遷宮前の五社明神の奥(字堂ノ前か)に存在し、玉村の城主奥平越前守の祈祷所として栄えたが、落城後衰退し、元禄の頃は堂と庫裡を残すのみとなった。元文5(1740)年の玉八幡社棟札に遷宮導師として現れ、明治4(1871)年の「美濃国不破郡玉村差出明細帳」には記録が残るため、廃絶はそれ以降と考えられる。(関ヶ原町 1993)						
遺構	石積み、基壇、池						
遺物	土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、陶器、五輪塔、石仏						
有形文化財等	—						
参考文献	関ヶ原町 1993『関ヶ原町史』通史編別巻						
備考	堂ノ前遺跡(21362-1530)縄文時代散布地で登録範囲内にある。昭和57(1982)年及び平成22(2010)年に関ヶ原町が当該地及び周辺地域において分布調査を実施						

**調査所見** 玉堂之前的小丘陵(標高 190m) 中腹にある。玉養院瑠璃光寺は、元禄5(1692)年に記録が残るのみであるが、町史には「玉村城主の祈祷所」とある。寺跡の約400m南の城山にある玉村城は南北朝の築城と推定されているため、玉養院の創建が中世である可能性が考えられる。玉養院の位置は不明であったが、昭和57年の町分布調査では当該地の丘陵上で五輪塔を確認しているため、現地確認を行ったところ、基壇状の高まりや石積み、石段、石囲いの池などを確認した。町分布調査では「神社跡」としているが、基壇状の高まりは、町史に記された玉養院の堂跡の大きさとほぼ同じで、方形状に切り出しう墨状に囲まれた平坦面に基壇状の高まりが残る。石積の間を降りた下段、さらに石段を下りた下段も平坦面であり、石囲いの小池(井戸か)が残り、下方からの通路も残存する。小規模な建物が存在した社寺跡と思われ、南西脇の平坦面には、五輪塔(水輪36・火輪18・風空輪8)や石仏3体が置かれている。町史では、玉養院は「遷宮前の五社明神の奥に存在」「元禄の頃は堂(2.5×3間)と庫裡(3×5間)を残す」とある。五社明神は字堂之前に存在したとされ、この社寺跡が玉養院又は五社明神であった可能性が考えられる。当該丘陵の西半分は調査後の開発により削平され、五輪塔はその際に移設した可能性もある。五社明神は大正2(1913)年に字上羅の玉神社に合併・移転しており、玉養院と共に江戸前期に存在の記録が残るもの創建年代は不明である。また、町の分布調査では、丘陵内やその周辺、丘陵北側の水田地帯などにおいて、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、土師器、陶磁器などを採集しており、幅広い時期の複合遺跡が存在する可能性があると推定されている。

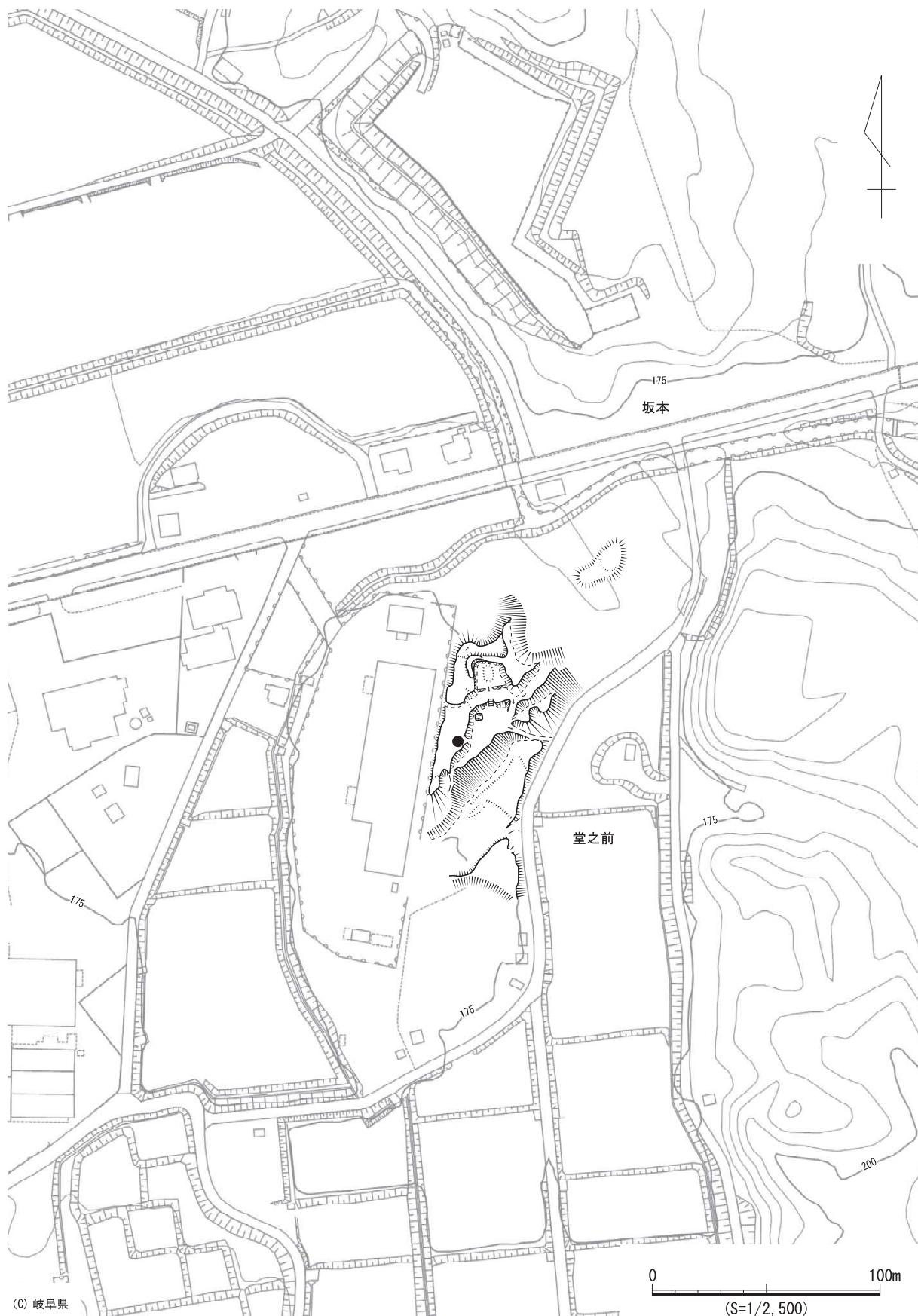


図39 鏡智山玉養院瑠璃光寺 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	26027	県遺跡番号	一	分布図番号	N2
ふりがな		みつぞういん		所在地	不破郡関ヶ原町松尾字西松尾・細尾		
寺院名 (史跡・遺跡名)		密蔵院					
時代区分	中世（室町）・近世			宗派	真言宗		
立地	山腹			現状(植生)	山林（スギ・ヒノキ）		
東西規模	30m	南北規模	30m	標高(比高差)	130(20)m	平坦面分類	B+D
沿革	成立時期は不明だが、松尾の井上神社の天文5(1536)年の棟札に「密蔵院」の名がある。また、天保9(1838)年の「村差出明細書上帳」には江州坂田郡上野村悉地院末寺と記載されている。天保～文久頃(19世紀中頃)の「竹中図書助領分関ヶ原宿より今須宿まで間之村々絵図」(関ヶ原町 1988)にも松尾山山麓に表示がある。天保7(1836)年には「松尾村密蔵院大石除去方願書」を密蔵院名で願い出ている。文久元(1861)年の「家數人別書上帳」(関ヶ原町 1984)に「自性院無住」とあるのに対し密蔵院には無住の付記がないことから、無住ではないと思われるものの、他に史料はなく存続時期は不明。ただし、明治11(1878)年の「廃寺名簿」(岐阜県郷土資料研究協議会 2006)には廃寺として記載されている。(関ヶ原町 1993)						
遺構	石積み、基壇、土塁、溝、池、参道						
遺物	土師器、陶磁器、瓦質土器、瓦片、五輪塔、一石五輪塔、石仏						
有形文化財等	一						
参考文献	関ヶ原町 1993『関ヶ原町史』通史編別巻　関ヶ原町 1984『関ヶ原町史』史料編一、関ヶ原町 1988『関ヶ原町史』史料編二、岐阜県郷土資料研究協議会 2006『廃寺名簿〔明治十一年七月抄録〕』						
備考	「密蔵院跡」と銘記の五輪塔が記載されている(関ヶ原町 1993)が場所は不明。町の分布調査(2010)では松尾山麓で中・近世の五輪塔などを確認しており、「松尾山麓廃寺跡」と仮称。						

**調査所見** 松尾山（標高 293m）の北側山麓に位置する廃寺跡で、貞享3(1686)年の松尾村絵図面によると、松尾山の麓に「密蔵院」と「自性院」の2つの寺が描かれ『関ヶ原町史』には26018自性院は江戸期に記録が残るが成立時期不明、密蔵院は室町時代成立とされる。平成22(2010)年の関ヶ原町の分布調査では、小早川秀秋陣跡に向かう松尾山登山道入口から 250m程西に入った場所に廃寺跡を確認しており、密蔵院・自性院のどちらかであると推定されている。現地確認調査を行ったところ、石積みを伴う平坦面群や参道、五輪塔などを確認した。神社付近には、池と参道沿いに石積みが残る平坦面があり、基壇の石積みや中・近世と思われる五輪塔部材などを確認した。背後の山の山腹には金刀比羅神社があり、山頂には近世の墓碑や石龕に納められた中世の一石五輪塔（笏谷石製）などを含む墓地が残る。神社より北東にも土塁や溝で囲まれた区画があり、南西には「法華堂」の字名が残る。「密蔵院」と「自性院」の関連は確認できず、図化範囲の一部が「自性院」跡である可能性も考えられる。また、26011法忍寺も室町中期に松尾山麓に寺院を成立したようである。

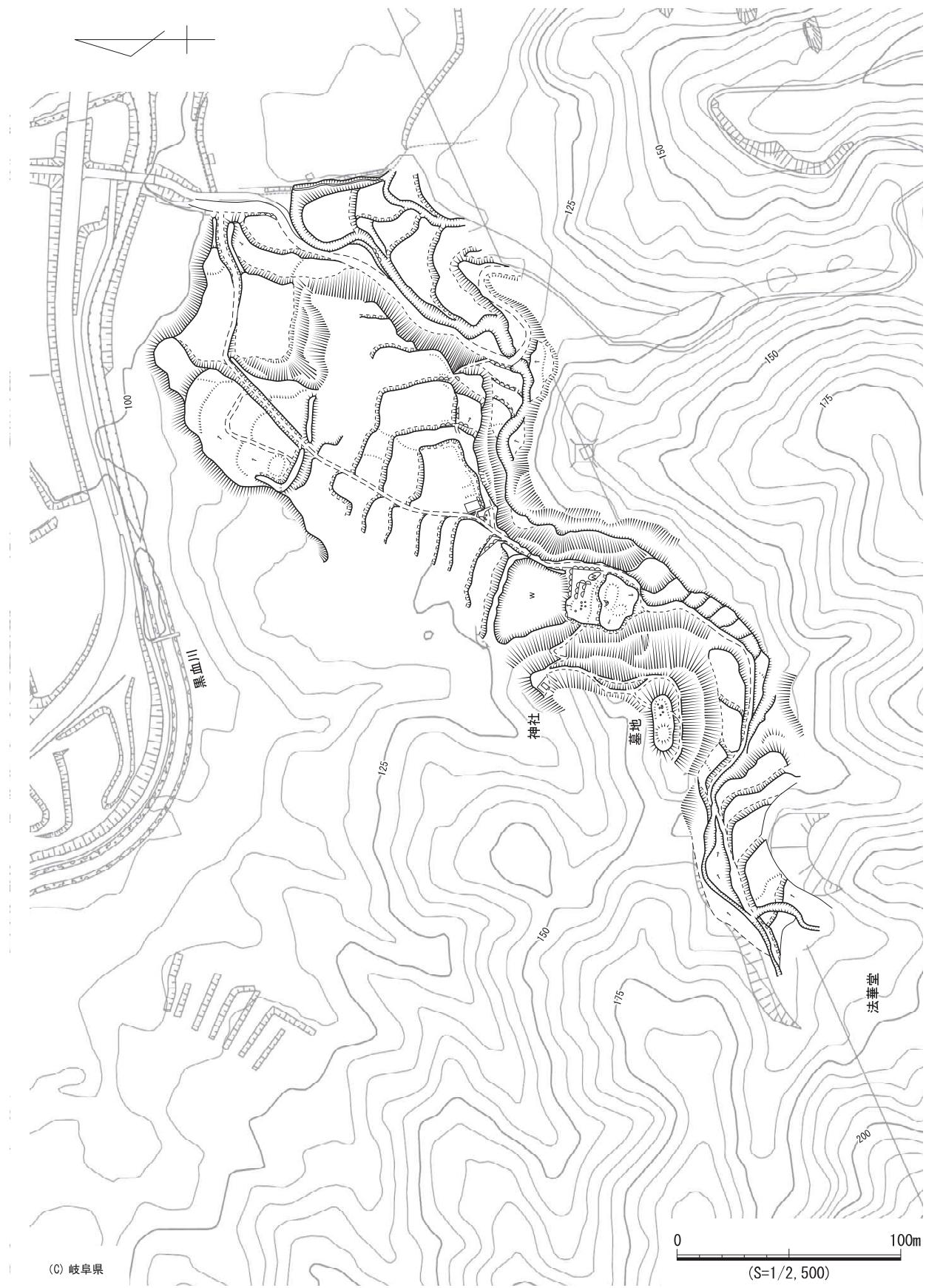


図40 密蔵院 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	26033	県遺跡番号	一	分布図番号	N2
ふりがな	しょうえいさんしょうこうじ（しょうこうじあと）	所在地	不破郡関ヶ原町今須字谷山				
寺院名 (史跡・遺跡名)	長英山宝藏院照光寺 (照光寺跡)						
時代区分	中世・近世	宗派	真言宗				
立地	山麓	現状(植生)	山林(スギ・ヒノキ)				
東西規模	120m	南北規模	60m	標高(比高差)	195(46)m	平坦面分類	B+D
沿革	宝暦2(1752)年の「今度寺院号願書留書」(町歴史民俗資料館蔵)では、「天正年中大鐘房開基凡当年迄百七十九年」とあり、天正年間(1573~1592)に大鐘房による開基と思われる。無住の期間が長く、木田喜兵衛が世話人であったよう「古暦雜記」(若山氏蔵)の谷山寺と同一の可能性も考えられる。「山寺院号願一件留書」(町歴史民俗資料館蔵)では、同じ甘露王寺末寺の薬師寺・今寺とともに宗門改帳に僧号のみの記載で、山寺院号の記載を元禄5(1692)~安永6(1777)年に渡り願い出ている旨が記載されている。明治8(1875)年の「不破郡今須村廃寺境内並控地原由取調帳」(町歴史民俗資料館蔵)では廃寺として記録されている。(関ヶ原町 1993)						
遺構	石積み、基壇、溝						
遺物	土師器、陶磁器、瓦質土器、砥石、一石五輪塔						
有形文化財等	「今度寺院号願書留書」「不破郡今須村廃寺境内並控地原由取調帳」						
参考文献	関ヶ原町 1993『関ヶ原町史』通史編別巻						
備考	町の分布調査 H22(2010)年で江戸時代の五輪塔、陶器・磁器片など300点を確認。						

**調査所見** 本堂跡と思われる平坦面に基壇、石積み、区画溝などが残り、本堂の北西谷部に墓域がある。町の分布調査では山茶碗と江戸時代以降の遺物が多量に出土し、「天正年中大鐘房開基」の史料、「慶長」銘の墓石があることから安土桃山時代の成立で江戸時代まで続いたと推定する。谷山川沿いと、川の対岸にも平坦面がある。本堂跡の東の平坦面群近辺は「本屋敷」と呼ばれていたとのことである。26031 薬師寺は、草創期である室町中期には字谷山に存在したとされ、その所在地が今回の調査範囲に含まれている可能性も考えられる。また、「古暦雜記」に記された「谷山寺」が「照光寺」とは別の寺であり、それがこの近辺に存在した可能性も考えられるが、いずれも特定はできていない。

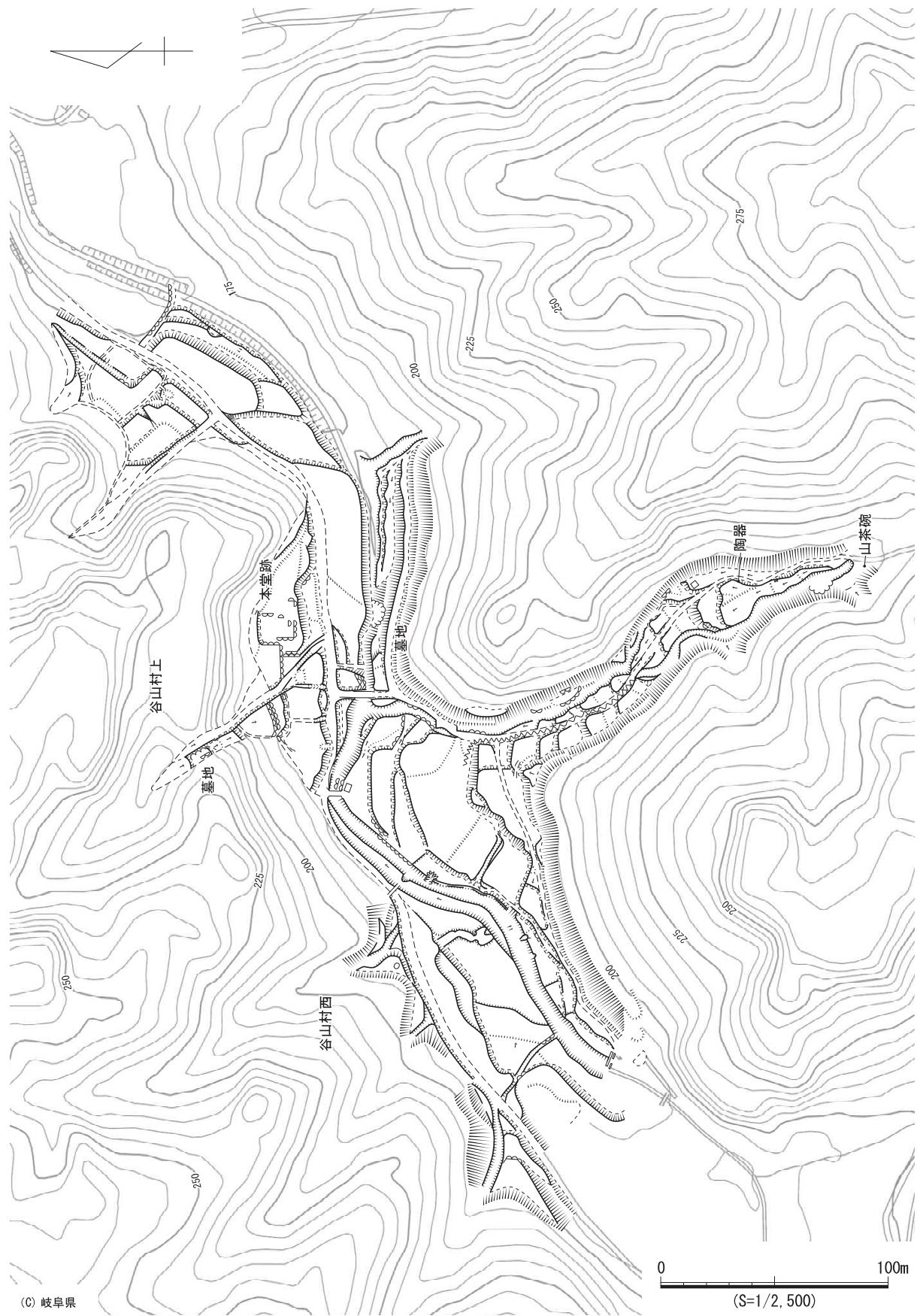


図41 長英山宝藏院照光寺（照光寺跡）地形観察図

地区	西濃	寺院番号	26036	県遺跡番号	—	分布図番号	N2
ふりがな	しょうくうざんれんじょういんそほうじ	所在地	関ヶ原町今須字祖父谷・口足谷				
寺院名 (史跡・遺跡名)	照空山蓮淨院祖宝寺						
時代区分	中世（室町）・近世	宗派	真言宗				
立地	山腹～山麓	現状(植生)	山林（スギ・ヒノキ）				
東西規模	70m	南北規模	180m	標高(比高差)	167(14)m	平坦面分類	A+C1+D
沿革	「古曆雜記」（若山氏蔵）では、永正9（1512）年に江州弥高寺が兵火にかかり、一部の坊が長久寺に落ち、さらに祖父谷に移ったと記載されている。その後坊舎が発展し「祖父谷十五坊」と称され、延宝2（1674）年にはそれぞれ田畠・屋敷を有する（関ヶ原町 1984 「今須検地帳」）。その後坊跡ばかりになつたが、元禄6（1693）年には寺の再建許可を得ている〔「拾十五坊一件手形之事」（町歴史民俗資料館蔵）〕。18・19世紀には本寺ともめ事を重ね、宗門改等に山寺院号が書かれることもあったが、経済講など布施以外の収入も多く、資力は豊かであったようである（弥高寺文書など）。（関ヶ原町 1993）明治3（1870）年には近江密藏院弟子盛俊が入寺した瀧本坊以外は無住で〔「今須村社寺戸籍」（町歴史民俗資料館蔵）〕明治11（1878）年の「廃寺名簿」（岐阜県郷土資料研究協議会 2006）では瀧本坊も含めすべて廃寺となっている。						
遺構	石積み、基壇、礎石						
遺物	陶磁器、瓦質土器片、瓦片、石製品、五輪塔、一石五輪塔、宝篋印塔						
有形文化財等	—						
参考文献	関ヶ原町 1993 『関ヶ原町史』通史編別巻 関ヶ原町 1984 『関ヶ原町史』史料編一、岐阜県郷土資料研究協議会 2006 『廃寺名簿〔明治十一年七月抄録〕』						
備考	関ヶ原町の分布調査で200点以上の江戸時代以降の陶磁器片等が出土						

**調査所見** 祖父谷川の東岸には、石積みが伴う南北方向に長い平坦面が広範囲に広がる。本堂跡近くには社があり、石積みの階段や池と思われる窪みもある。室町～江戸時代に存在した廃寺跡と思われる。本堂跡の背後には、現在も祠が残る平坦面、さらにその上方にも平坦面が山腹に残る。最上の平坦面は近・現代の貯水槽となっているが、石積みを伴う平坦面は以前からのものを利用したと思われる。本堂跡の北には、五輪塔が集積されていた墓地周辺に平坦面群があり、墓域と坊院である可能性が考えられる。祖父側の対岸にも平坦面群が北と南の2か所にある。石積みを伴う参道に沿う入口・石積みを伴う平坦面群が連続する。対岸北の平坦面群では室町から江戸時代の石塔群、礎石を確認した。



図42 照空山蓮淨院祖宝寺 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	26040	県遺跡番号	—	分布図番号	N2
ふりがな	のがみはいじあと	所在地	不破郡関ヶ原町野上字堂ヶ谷・南方				
寺院名 (史跡・遺跡名)	野上廃寺跡						
時代区分	古代・中世・近世	宗派	天台宗か				
立地	山腹～山麓	現状(植生)	山林・墓地・畑地 (スギ・ヒノキ、アカマツ)				
東西規模	100m	南北規模	50m	標高(比高差)	127(37)m	平坦面分類	A+C+D
沿革	野上行宮跡(推定地) の北側の墓地(参道入口) 及び西側山中に五輪塔や宝篋印塔、基壇状の高まりを含む平坦面が確認されている。延喜年間(901～923)に比叡山無動寺の相応和尚が南方六坊を建て、弟子6人を置いたという(奈良時代に行基が行ったとの伝承もあり)地元の伝承が残り、その廃寺跡の可能性が考えられる。なお、野上行宮跡(推定地)は、壬申の乱の際に、大海人皇子(天武天皇)が吉野宮からこの地に来て尾治宿祢大隅の私邸を掃き清めて行宮としたといわれているが、その場所は明らかではなく、桃配山(関ヶ原合戦の際には徳川家康陣地)に行宮があったという説もある。 (関ヶ原町 1990・1993)						
遺構	石積み、基壇、礎石、参道						
遺物	土師器、須恵器、灰釉陶器、山茶碗、土師質土器、陶磁器、瓦質土器、近世陶器、瓦、砥石、宝篋印塔、五輪塔、一石五輪塔、石仏						
有形文化財等	—						
参考文献	関ヶ原町 1990『関ヶ原町史』通史編上巻、関ヶ原町 1993『関ヶ原町史』通史編別巻 関ヶ原町の分布調査(2010)で、北側墓地周辺や西側山中などで遺物を採集。						
備考	地元での聞き取りで、「南方六坊の一つで最後に残った観音寺で、班女伝説の残る池もある」とのこと。班女の伝説(平安期、当地に来た中将と契りを結んだ遊女が、その間に生まれ亡くなった子供のため狂気のごとく踊り観音に念じ続けた。池は「班女の化粧水」とされる)が残る観音堂は、明治12(1879)年に26012 真念寺境内に遷されたとの記録がある。真念寺は享保元(1716)年に現在地に建替えており移転前の位置は不明。野上地内で所在地不明の26014 龍泉寺などの可能性も考えられる。						

**調査所見** 北東向きの緩斜面奥に基壇が残り、本堂跡の可能性が考えられる。この緩斜面には本堂跡以外に南脇に池のような窪地、本堂跡に続く参道と参道両側に平坦面がある。緩斜面は3方を山に囲われ、伊吹おろしが直接当たらず冬でも暖かい。基壇周辺には近代の瓦が散乱し最近までお堂があつた可能性がある。関ヶ原町の分布調査では、平坦面群において灰釉陶器、中世土器片、近世陶磁器が確認されている。字名は「堂ヶ谷」で、北麓墓地に集積されている石塔類は、山中に存在したもので室町～江戸時代のものである。堂谷川沿い北麓や、本堂跡東の山麓にも石積みを伴う平坦面群が存在し、最南は池の脇に一段高い平坦面が存在する。これらは本堂跡とは方向が異なるため時期差がある可能性も考えられる。北方の現在真念寺があるあたりに「大門」の字名がある。東の平木川沿いにも石積みを伴う平坦面群が存在するが畑地のため詳細は不明である。



図43 野上廃寺跡 地形観察図

地区	西濃	寺院番号	26041	県遺跡番号	—	分布図番号	N2
ふりがな	(どうまえいせき)	所在地	不破郡関ヶ原町今須字堂前・大河内				
寺院名 (史跡・遺跡名)	(堂前遺跡)						
時代区分	不明	宗派	不明				
立地	山麓	現状(植生)	山林(スギ・ヒノキ)				
東西規模	70m	南北規模	90m	標高(比高差)	282(46)m	平坦面分類	B+D
沿革	史料無し。						
遺構	石積み、参道						
遺物	中近世陶磁器、五輪塔、一石五輪塔、石仏(小形板碑)						
有形文化財等	—						
参考文献	—						
備考	平成22(2010)年に關ヶ原町が分布調査を実施し、室町～江戸時代前期の五輪塔・石仏を多数確認。 仮称「堂前遺跡」。地元での聞き取りで祠は「観音堂」と呼ばれている。						

**調査所見** 字名「堂前」に祠がありその周辺に石塔が集められている。字名からこの地に寺院跡があったことが推定され、祠に集められた石塔(一石五輪塔約20基、石仏3体、五輪塔・宝篋印塔部材50点以上)から墓域がそばにあったと考える。字名「堂前」の今須川西対岸にも、石積みを伴う平坦面、石積みを伴う参道、墓石が残る。五輪塔や石仏は室町から江戸時代のもので、中世陶器片などが採集されている。若宮八幡宮そばの祠にも小形板碑の石仏2体があり、2つの祠周辺が現在でも信仰の対象として参拝・整備されている。

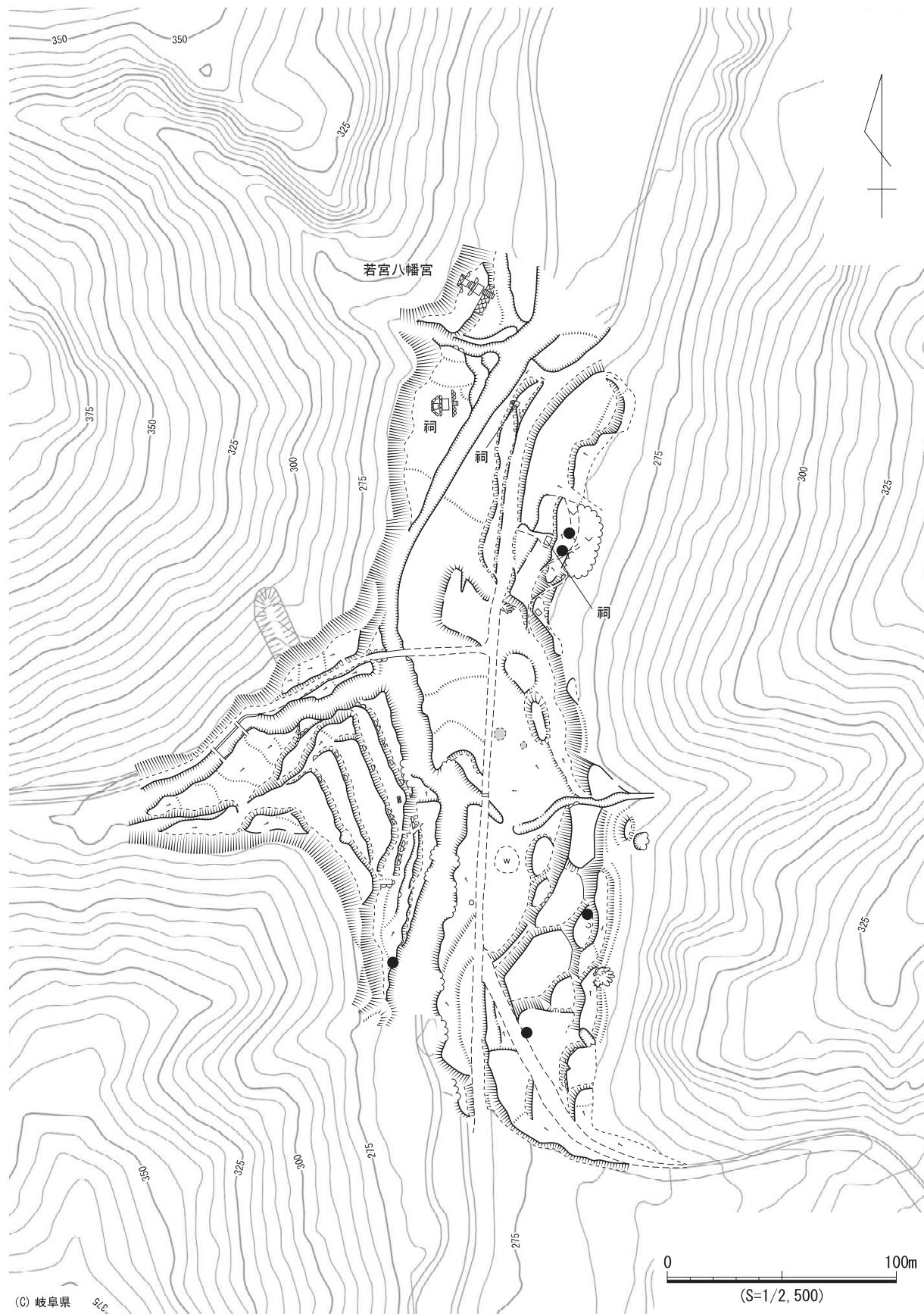


図44 堂前遺跡 地形観察図

## [神戸町]

地区	西濃	寺院番号	27034	県遺跡番号 21381-2282	分布図番号 M3
ふりがな	(ほんじどうあと、ひよしじんじやはちぼうあと)	所在地	安八郡神戸町神戸		
(史跡・遺跡名)	(本地堂跡、日吉神社八坊跡)				
時代区分	古代（平安）～	宗派	天台宗		
立地	低地	現状(植生)	境内地		
東西規模	110m	南北規模	270m	標高(比高差) 16(2) m	平坦面分類 一
沿革	境内の三重塔坊跡と共に日吉神社内に本地堂跡を物語る史跡。この堂は明治5年頃まであり、神仏分離令が出された本地堂は廃寺となり取り壊すに至る。塔は天正13年(1585)稲葉一鉄修造の棟札が善学院に遺るが約70年前に斎藤伊豆守利綱が建立。室町時代様式の塔は天正の修造を経て貞享年間に大修理実施。文部省が解体修理時に礎石の位置を調べ今の大塔発見。八坊は日吉神社参道両側で東西約30m、南北約130mの範囲に東西各四坊ずつ。西側は南から福泉坊(一反一步)常落坊(八畝十五歩)蓮華院(一反三畝三歩)十輪院(不明)。東側は南より法光坊(一反二畝五歩)中ノ坊(八畝七歩)十光坊(一反二畝十五歩)淨法坊(不明)と並。現日吉神社社務所は中ノ坊と十光坊の中間に位置。蓮華院が奥行6間、間口4間、その他奥行5間、間口3間。正保2年(1645年)二坊(十輪院と淨法坊)廃止で跡を六坊に配分記録。(石原文書)惣門の西側に南より常楽坊、蓮華院、法光坊、東側に南より中ノ坊、十光坊、福泉坊と左右三坊ずつ六坊相対並。明治維新前に五坊荒廃、蓮華院が残り廢仏毀釈時になくなる。(神戸町教育委員会 1993) 天正検地では八坊あり「安八郡神戸村寺社領御除地書上帳」には福泉坊・蓮華院・法光坊・常楽坊・十光坊・中ノ坊・淨法坊・十輪院の八坊あり。(神戸町 1980)				
遺構	本地堂跡、八坊跡、三重塔(国指定重文)				
遺物	五輪塔、石仏				
有形文化財等	日吉神社八坊跡(町指定重文)、日吉神社三重塔(国指定重文、室町)、十一面觀音菩薩像・地蔵菩薩像・石造狛犬(国指定重文)、日吉神社本殿(県指定重文、江戸)、三重塔婆(国指定重文、室町)日吉神社蔵 室町時代の様式、本地堂跡(町指定重文)、木造十一面觀音菩薩像(国指定重文、平安)日吉神社蔵、木造地蔵菩薩座像(国指定重文、鎌倉)、大日如来像(町指定重文 日吉神社蔵) (神戸町教育委員会 1993、神戸町 1980) 安八郡神戸村寺社領御除地書上帳(元禄11年(1698))、日吉社由緒録写。				
参考文献	神戸町教育委員会 1993『神戸町の文化財』、神戸町 1980『郷土の歴史ごうど』				
備考	比叡山延暦寺の荘園として栄えてきた神戸町は、日吉神社を中心に貴重な文化財が数多く残る。 27001 密厳寺(勧学院)、27002 神護寺(善学院)に関連する。				

**調査所見** 池田山東の揖斐川右岸に広がる低地上にあり、西に養老線が南北に走る。平安期創建の神宮寺で北は日吉神社境内、南は鳥居までの参道両側に八坊跡がある。現地表面では遺構が確認できなかったため地籍図で検討。昭和初期の公図字上ノ宮と日吉新宮境内図から推定すると鳥居までの参道両側に坊院あり。公図の参道西は坊院の規模がほぼ等間隔で位置特定するが、参道東は細かい区画があり坊院の位置不明。字上ノ宮東は字井田で更に東に字川田が北東方向に伸びる。字上ノ宮以東は川と水田で、西に字高塚、南に馬場町が参道の東西に広がる。参道から高塚の方角にL字に曲がる街道がある。

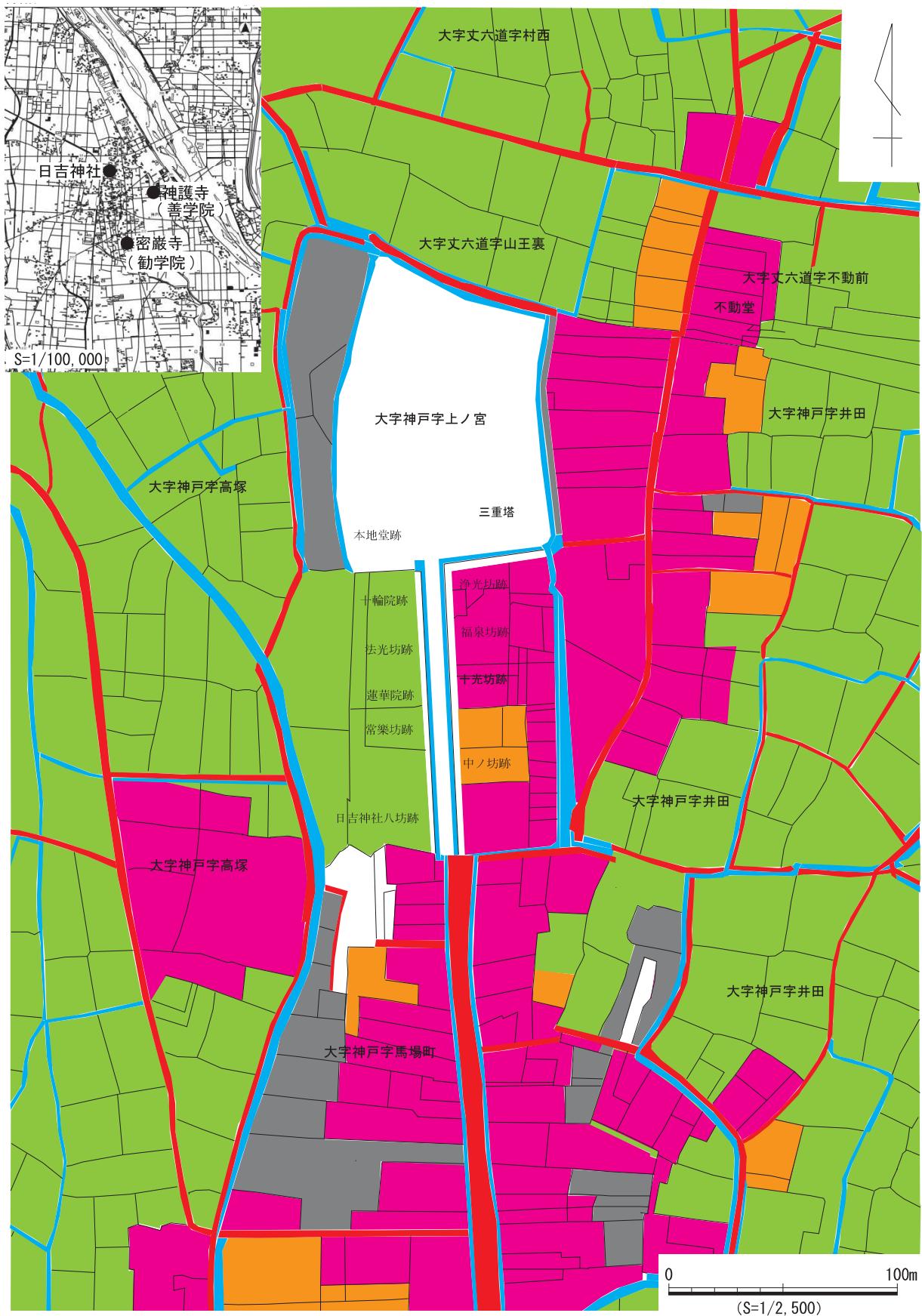


図45 本地堂跡・日吉神社八坊跡 地籍図

## [揖斐川町]

地区	西濃	寺院番号	30001、30001b	県遺跡番号	21401-1094	分布図番号	L3
ふりがな	よこくらじきゅうけいだい (きゅうよこくらじあと)	所在地	揖斐郡揖斐川町谷汲神原字坂本				
寺院名（史跡・遺跡名）	横蔵寺旧境内（旧横蔵寺跡）						
時代区分	古代（平安）～				宗派		
立地	山麓（山腹）				現状（植生）		
東西規模	230m	南北規模	150m	標高（比高差）	450(273)m	平坦面分類	A+D
沿革	延暦22(803)年、最澄が山の持ち主であった藤原助元とともに、現本堂から谷を隔てた山の頂上近くに草堂を建て、薬師如来を祀ったことに始まる。本堂は天長5(828)年に4世澄円の時に建立。19世慶山の時、村上天皇からの勅許で開始された会式・無差会により広く民衆が集まるようになったが、保元元(1156)年、45世唯藏の時に源平の争乱によって無差会が中絶された。天文年間(1532～1555)までは七堂伽藍と一千貫の寺領（小津・樫原・津汲・横山・神原・乙原の38坊）を有したが、將軍足利義晴の時にその半分を没収されて12坊となる。永禄8(1565)年に織田信長が寺領を没収したため伽藍が荒廃し、寛永元(1624)年に舜祐によって古堂の閉鎖と山麓への仮堂設置が行われる。寛永14(1640)年の二月門前の火災により過半が焼失、正保3(1646)年に定祐が現在の場所に境内を設ける。（谷汲村 1977、揖斐川町 1971、揖斐郡教育會 1924、岐阜県 1971）						
遺構	礎石建物跡、集石遺構、石積み、本堂跡、推定塔跡、講堂跡、仁王門跡、池、墓域、馬場						
遺物	陶磁器、五輪塔（部材350点）、宝篋印塔（平安末～鎌倉初期：武将熊谷直実の墓）、一石五輪塔						
有形文化財等	金銅造薬師如来像（貞元21(802)年）、板彫法華曼荼羅（平安）・木造深沙大将像（平安）・木造大日如来像（平安末）・十二神将像（平安末～鎌倉初）・木造薬師如来像〔現本尊〕（鎌倉中）・四天王像（鎌倉後）・木造金剛力士像（国指定、鎌倉）、両界曼荼羅図（室町）、伝教大師像（室町）、本堂・三重塔・仁王門（県指定、中世・江戸）「美濃國両界山横倉寺縁起」「横蔵寺歴世恩高録」「横蔵寺常念仏縁起」「古玉実録集」						
参考文献	谷汲村 1977『谷汲村史』、揖斐川町 1971『揖斐川町史』通史編、揖斐郡教育會 1924『揖斐郡志』、岐阜県 1971『岐阜県史』通史編古代						
備考	西美濃三十三靈場第一番礼所。元本尊の大日如来は、その由縁から比叡山延暦寺再興に際して移され、その代わり山城国御菩薩池から薬師如来像が移された。旧跡東方の白山神社も横蔵寺と同時期に山麓へ移された。（谷汲村 1977）						

**調査所見** 旧横蔵寺跡は現横蔵寺から約800m北東の丸山山頂付近にある。9世紀の創建以来、江戸初期に現在地に移転するまでは山上に七堂伽藍を備えていたとされ、現在も本堂跡や仁王門跡には礎石が残る。平成30年度に遺物分布調査及び地形観察図作成、令和元年度に地形測量を実施した（第6分冊参照）。本堂を要として谷上に扇形に多数の平坦面が形成され、丸山を挟んで西に墓域が、本堂の東に登ると白山神社がある。本堂跡より西の斜面には、下からの参道上に仁王門跡、馬場、講堂跡が、東斜面には推定塔跡と性格不明の多くの平坦面を確認し、中には石積みを伴う基壇と礎石のある平坦面がある。これら東側斜面下方の平坦面群は、本堂跡などが存在する上段からは20m近く比高差があり、崩落・堆積土も多いが、小規模ながら多くの平坦面があり石積を伴うため、坊院など寺院関連の施設が存在していた可能性が考えられる。丸山の山頂や山腹には巨石の露岩等が存在する。

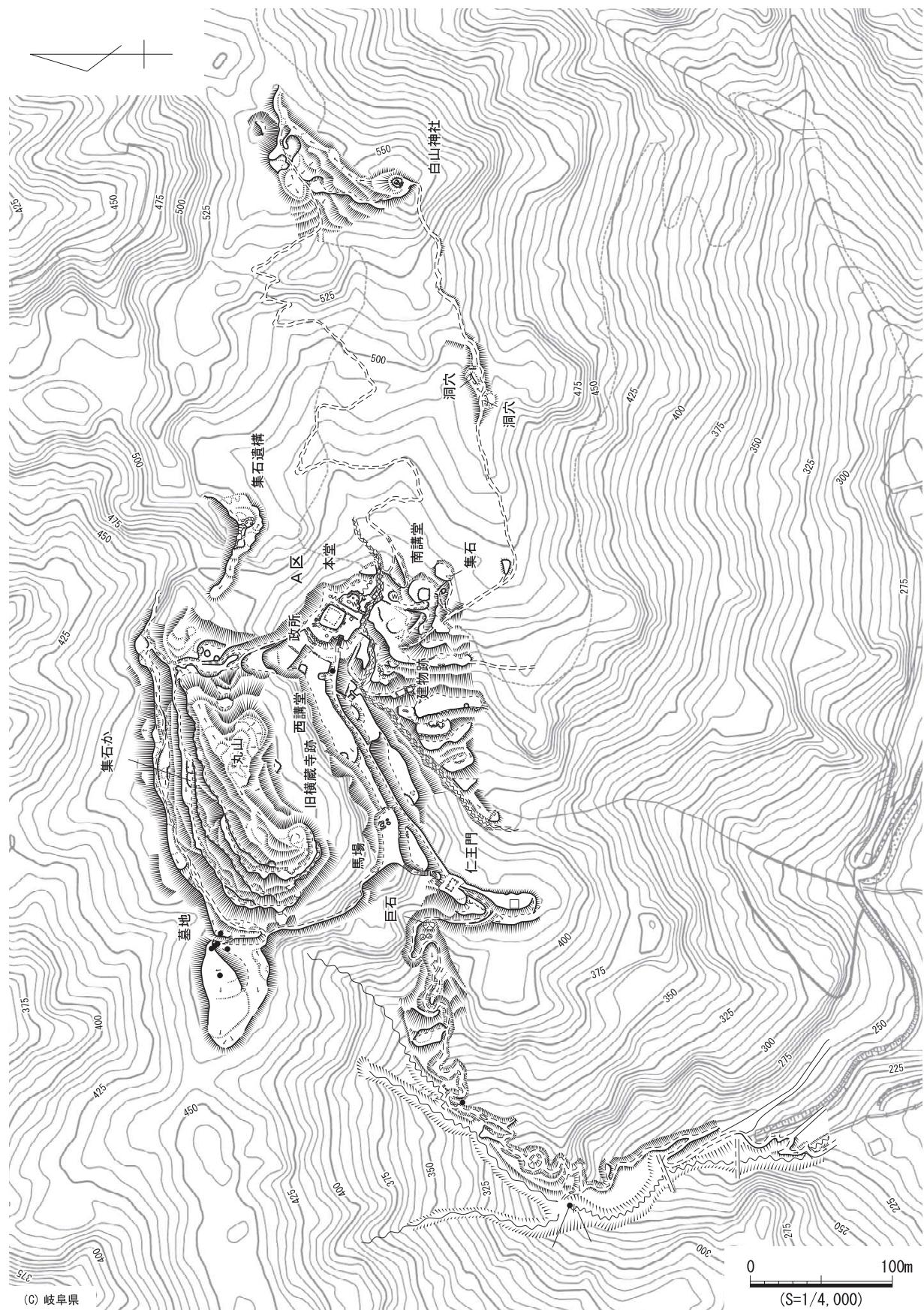


図46 横藏寺旧境内（旧横藏寺跡）地形観察図（1）

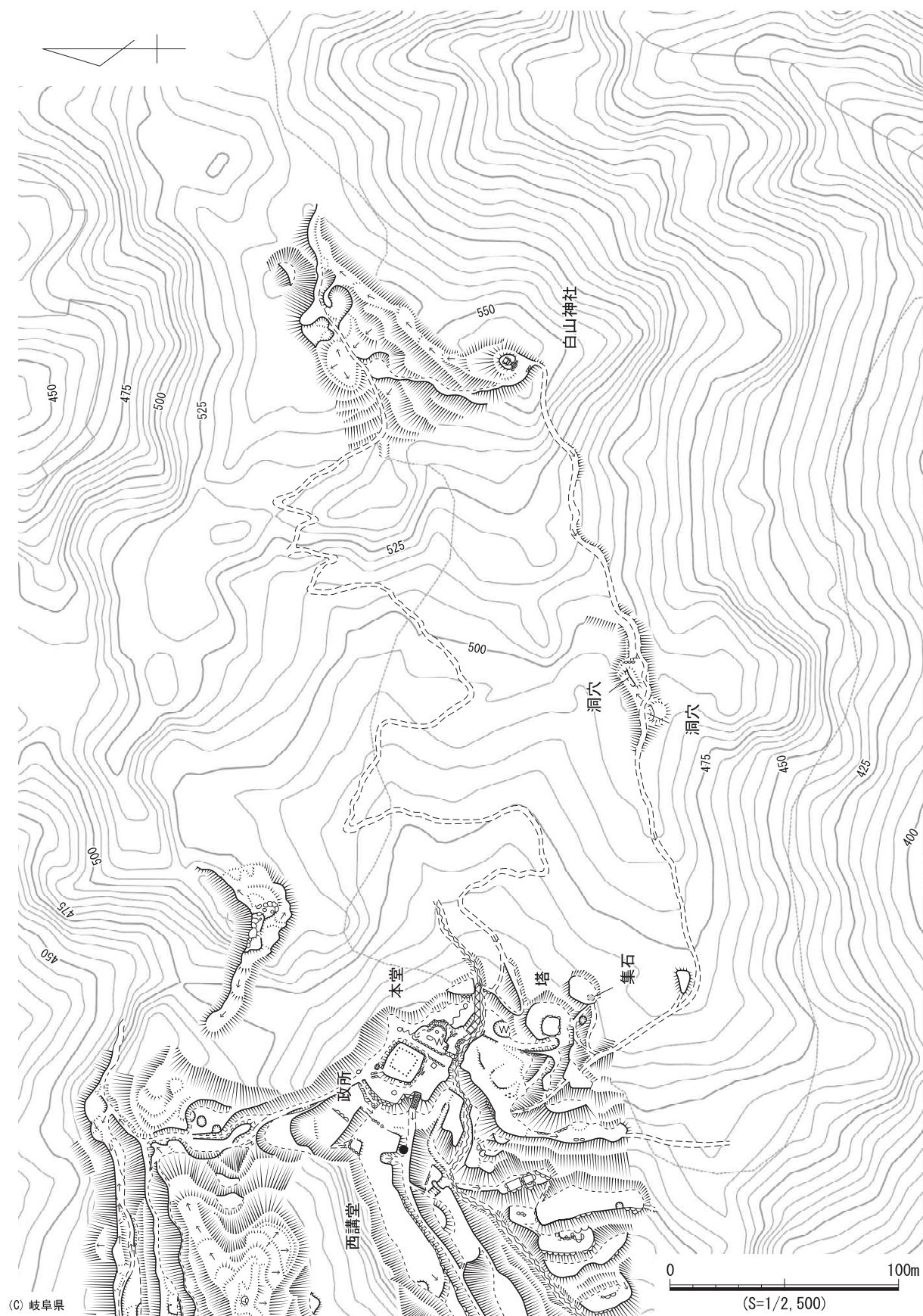


図47 横蔵寺旧境内（旧横蔵寺跡）地形観察図（2）

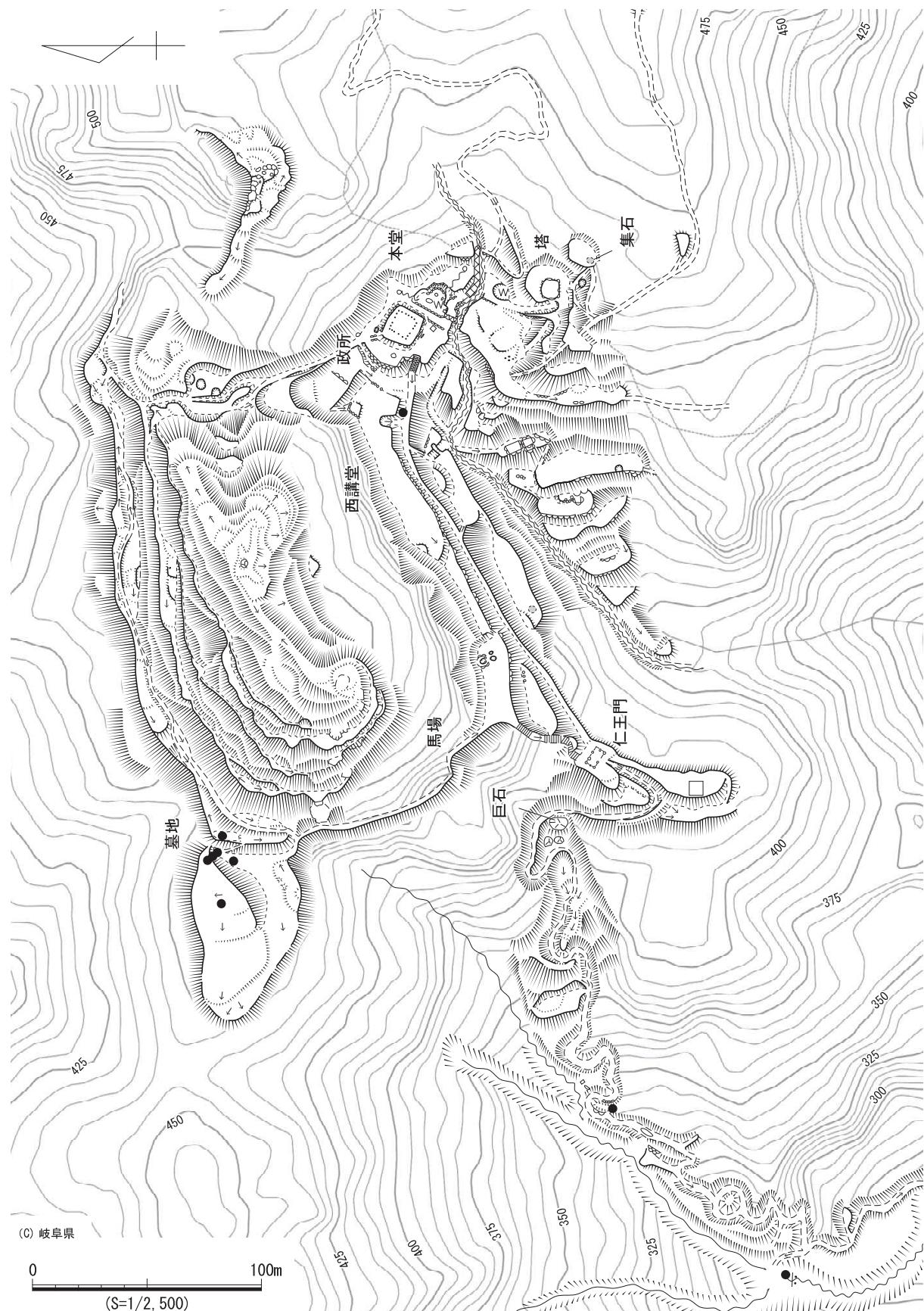


図48 横蔵寺旧境内（旧横蔵寺跡）地形観察図（3）

地区	西濃	寺院番号	30007	県遺跡番号	—	分布図番号	L3
ふりがな	たにぐみさんけごんじ	所在地	揖斐郡揖斐川町谷汲穂積字芝間				
寺院名 (史跡・遺跡名)	谷汲山華厳寺						
時代区分	古代（平安）～	宗派	天台宗				
立地	山腹～山麓	現状(植生)	山林・境内地(アカマツ、スギ・ヒノキ)				
東西規模	480m	南北規模	248m	標高(比高差)	141(51)m	平坦面分類	A+C1+D
沿革	願主は、奥州会津郡黒川合富岡の住人大口大領で、京都で作らせた観音像を奥州へ持ち帰る途中、靈夢により観音像を現在の地に留めたことが創建の由来。「美濃明細記」ではこの尊像が奥州への帰路を自ら歩き華厳寺南の丸山で足を止め、豊然と大領が現在の地に華厳寺を建立し尊像を移したとう。観音像に華厳經が掛かっていたことが寺名由来。延喜17(917)年には勅額を受け、天慶7(944)年には勅願所となる。承久3(1221)年兵乱により寺領没収。建武元(1334)年11月新田・足利合戦の折、新田一族の堀口美濃守貞満が9年間当山の峯に立てこもり房舎焼失するが、永和年間(1375～1379)年土岐頼康が修造。文明11(1479)年2月26日に本堂が全焼、文明14(1482)年に薩摩国谷山福本慈現寺住僧の道破が本堂を建立。（谷汲村1977、揖斐川町1971、揖斐郡教育會1924）						
遺構	石積み、池、本堂、門、						
遺物	五輪塔、宝筐印塔、一石五輪塔、石仏						
有形文化財等	木造十一面觀世音菩薩（平安初）、木造毘沙門天立像（国指定、平安初、菅原道真作・道真筆経文三十巻胎納）、絹本着色三十三所觀音像（国指定、鎌倉）、大黒（道破作）、谷汲山根元由来記（室町、定賢著、旧記5本から抜粋編集）						
参考文献	谷汲村1977『谷汲村史』、揖斐郡教育會1924『揖斐郡志』、揖斐川町1971『揖斐川町史』通史編						
備考	西国三十三所第三十三番札所。大口大領が当寺を建立した際、岩を穿ったところ石の中から油が湧き出し、それを汲んで常夜灯に使っていたことから山号を「谷汲」とした【美濃明細記】。明治・昭和の絵図あり。						

**調査所見** 妙法ヶ岳南側の谷地に境内が位置する。現本堂から900m北西の奥之院から山門までを調査対象とした。谷地の奥に本堂等の中心施設があり山裾に向かって一直線に参道が伸びる。総門から約1km南に仁王門があり本堂まで石畳が続く。仁王門以北の参道両脇には一乘院、地蔵院(跡地)、法輪院、明王院の塔頭のほか、地蔵堂、十王堂、羅漢堂、英靈堂、三十三所觀音堂、一切經堂などが並び、本坊の一画に大師堂、内仏客殿、庫裏が建つ。参道突き当りの石段を上ると本堂、周辺に鐘樓堂、阿弥陀堂、笈摺堂、子安堂、満願堂が建つ。奥之院は満願堂から徒歩約1時間に位置し、拝殿および岩窟（「菅原道真參籠の岩屋」）を確認した。「東光坊」という字が残り、谷幅前面に坊院が広がっていた可能性もある。標高365m付近の尾根裾に堂宇が建つ広さの平坦面があり奥之院と称されている。その西部から山中に続く小道は標高415m付近の谷地形に造成された平坦面に達し、祠と拝殿が建つ。祠の裏側に約7mの自然礫が覆いかぶさるような岩窟がある。窟内は奥行き狭いが横幅は広く、湧水があり窟内には不動明王の石仏が7体祀られている。奥之院までの参道沿いには西国三十三所の觀音像を奉った小規模な祠が建つ。寺での聴き取りで、一時は門前より約350m南の丸山に堂宇があった時期もあるとのこと。

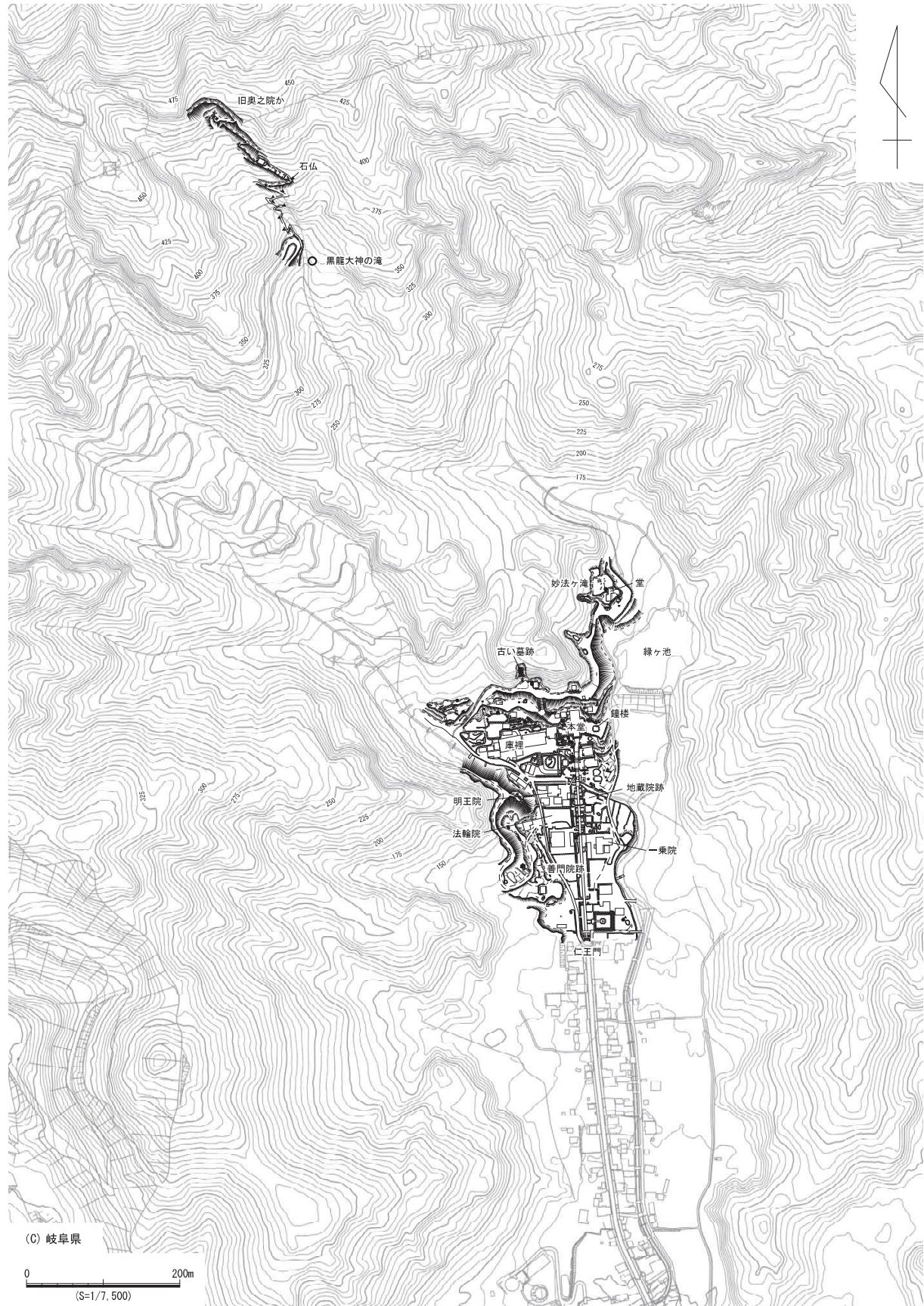


図49 谷汲山華厳寺 地形観察図（1）

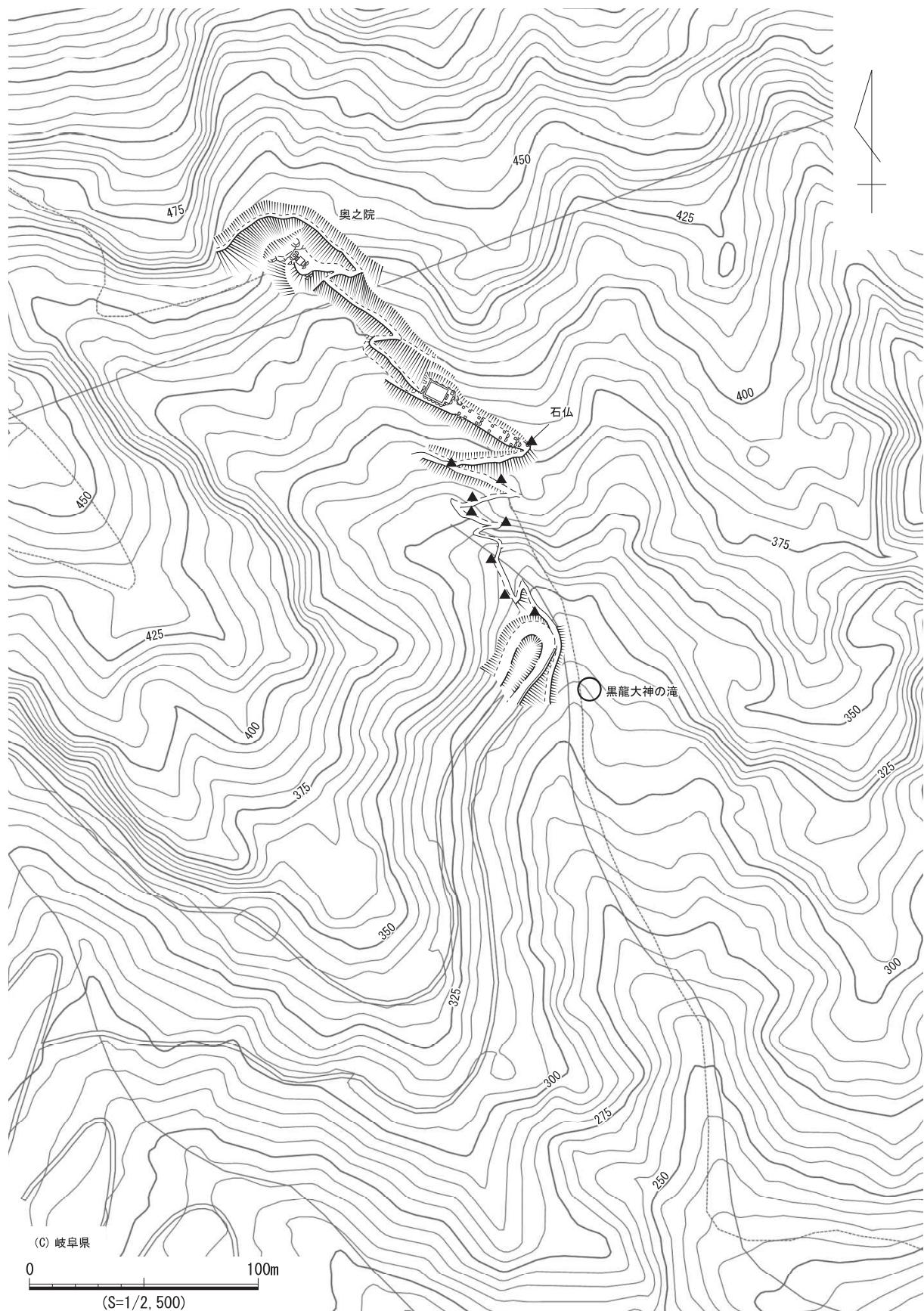


図 50 谷汲山華厳寺 地形観察図（2）

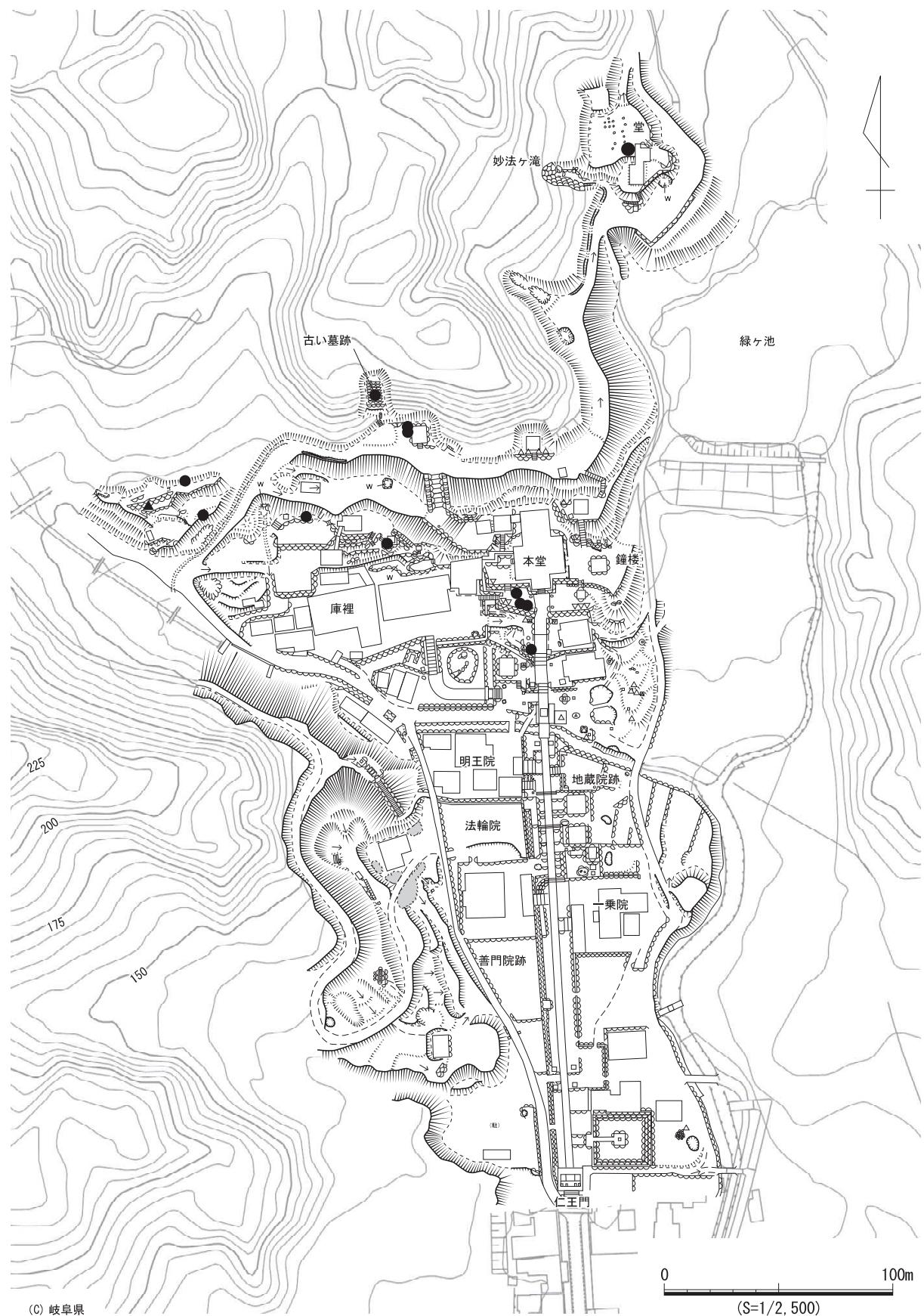


図51 谷汲山華厳寺 地形観察図（3）